

聖書に導かれて  
南無妙法蓮華經

- 1 広自苑 H29年6月
- 2 聖人の休日 H29年8月
- 3 沈黙の歌い手 H31年3月
- 4 幸せは逃げない R2年4月

善なる自分を崩す世界ならぶち壊せ。

---

義人

令和2年

義人の想い、く真実の愛く

私が神、再臨したイエスであることを信じてほしい。私は自覚と聖書の導きによって生きています。私は世に問いたい。ルサンチマン(恨み)からではなく、人々を弱いとか強いとかに分ける価値観を、もう一度再確認してほしい。後ろからぼつ立て、競争に仕向け、苦しむ人々の姿を見て、悦に入っているのはサタンです。勝つためにはどんな汚いことでもする。負けたものには容赦ない侮辱。そんな世界はもう終わりにしないとつけません。どうか皆様のおおらかな賛意をください。私は私の書きものが世に流布されることが唯一サタンへの対抗手段であると訴えます。真実の愛があるからです。ここに共鳴した善人に神の国、不老不死、永遠の命が約束されるでしょう。すべての経緯が判明します。神の国は近い。永遠の命を確かなものにするため、愛を確かなものにする。すべてはひとりひとりの信仰にある。私を信じて下さい。私は多くの方々福音にふれ、幸せになり、神の義、愛に、涙も消え去ってゆくことを望んでいます。欲望から放れ、美しい想いを抱くこと、大事です。不完全な人達も誠意と思いやり、信仰によって神の義を抱き、完全円満な姿、成仏と呼ばれる境涯へと誘われてゆきます。日蓮は久遠元初の仏であり創造主(神)です。つまりイエスと日蓮は同一の存在。復活と

成仏、同様に愛に包まれた暖かい境界にあります。私、梶原義人はその名の通り、煩惱が燃え盛る、火事原野にひとり立つ正義の男です。皆様に真実の信仰を掴んでいただきたい。一人でも多くの人が神の王国の住人になれるよう衷心より願う次第であります。私は三位一体の支持者です。聖霊は固定観念から放れ自由に生きていくことの大切さを体感によって知らせてきます。そして聖書とのダイアローグ（対話）は私にとつての神への自覚を促す基本です。すべての完結が私、義人によってなされるといふことです。人々の不安を煽るような終末論は展開致しません。ただ何かが生まれ起こるはずで、それだけは確かです。皆様と共に幸福へと歩んでゆきたいです。本物の信仰を抱いて。「子たちよ、誰も惑わされてはならない。彼が義人であると同様に義を行なうものは義人である」（ヨハネの第一の手紙 3章7節）ご覧下さりありがとうございます。「義人の想い」と銘打って、これにて私のあいさつに代えさせて頂きたいと思えます。尚、私の他の作品もPDF（電子書籍）で無料、開放しています。是非、そちらへと宜しくお願い申し上げます。この小道が広く大きな愛の街道となり皆さまの幸福に必ずや貢献されると信じて疑いありません。では、いざ、よろしく。

わたしたちが神の子と呼ばれるためには、どんなに大きな愛を父から賜ったことか、よく

考えてみなさい。わたしたちは、すでに神の子なのである。

世がわたしたちを知らないのは、父を知らなかったからである。

2 愛する者たちよ。わたしたちは今や神の子である。しかし、わたしたちがどうなるのか、まだ明らかではない。彼が現れる時、わたしたちは、自分たちが彼に似るものとなることを知っている。その御姿（みすがた）を見るからである

3 彼についてこの望みをいだいている者は皆、彼がきよくあらわれるように、自らをきよくする。

4 すべて罪を犯す者は、不法を行う者である。罪は不法である。

5 あなたがたが知っているとおりに、彼は罪をとり除くために現れたのであって、彼にはなんら罪がない。

6 すべて彼におる者は、罪を犯さない。すべて罪を犯す者は彼を見たこともなく、知ったこともない者である。

7 子たちよ。だれにも惑わされてはならない。彼が義人であると同様に、義を行う者は義人である。

こう      じ      えん

# 広 自 苑

平成 29 年 6 月

雄さん、あなたの方の方便としては必然なのかもしれませんが、浅井さんがイエスの死を横死と侮辱することは極めて遺憾です。私は南無妙法蓮華経を日蓮の時代に戻したい。一体になる。正当なる合流を目指すのが方向性ではないかと思えます。早稲田の高慢とあなたに言ったけど俺にも愛と正義、気概と自負がありません。いずれにせよ、侮辱、揶揄はよくない。俺は差別のない、雄さんが好きだ。雄さんの菩薩行に幸あれ。製本しだしてもう十一冊目、無代価でやってきた。年末の車検が心配だけどあまり気にしないようにしている。すべてに御守護と促しを感じるからです。幸せです。南無妙法蓮華経。涅槃経に転重軽授の教え（前世の業を今世で償い来世は幸せになる）と共に破戒武装を促す一節があるのだけど日蓮はどこか容認しているみたいだ。絶対生命尊重を訴える日蓮。この兼ね合い解りますか。よろしくご教授下されば。大蔵経をもとに法華経を最重要としたからには日蓮は他の仏典にも敬意を払っていますね。それでこそ諸経の王、法華経が活きるのです。南無妙法蓮華経、です。立正安国論のなか既成の権力、武力より仏法を守るため僧兵を認めた節がある。真偽が知りたかった。日蓮も武装した護衛がいたみたいだ。それほど厳しい時代だったのかもしれない。悪魔には徹底抗戦ですね。勇ましい気概は伝わりました。お休みなさい。ありがとう。

念仏。雨乞いにも、何にも役に立たない。極楽へ旅立つためだけ。そして悪を自然に自ら容認しろと言う。そうすれば罪悪感がなくなると。役に立たないどころか。迷惑千万、人々の心の中に悪魔を植え付け無感動へと向かわせるものだ。批判、なげいけない。「人の悪口は言うものじゃない」。そのくせ心の中はドロドロだ。正しいことは正しいハッキリ言う。何が正しい。人殺し、盗人は悪人であるということだ。道徳と違い。人が関係性のなかで生きていくとき守らねばならぬ最低限度のルールはある。

道元、「仏法とは己を忘れること」。我執より離れる。貪瞋痴から抜けよう。渴愛を滅ぼそう。実はそんなことよりキリスト教でも仏教でも大切なのは他の人を心底、思いやりなさい。そしてそれが己を忘れることに繋がり祝福、サトリへと向かっていくと訴える。

敵とは南無妙法蓮華経を疑う心、どこに立っているかで不幸は決まらない。陽が差せば影もできる。私は今回、広辞苑をもじって広自苑なるものを作った。これは苑という漢字の持つ意味を広辞苑で引いた時に閃いたものだ。つまり庭、自らの周りという事である。私は物的環境をあまり意識しない男。そして自分の周りと考察するとき、人間関係しか浮かんで来ない。大事なのは、肉親であり、未知も含めた友人、隣人達であると当然のように思うのである。私の語ることが

本当に人の幸せに貢献するのか、自分は人を幸せに導くことが出来るのか。釈尊〔仏陀〕に妻ヤシヨードラは「息子ラフラに遺産をください」と責めるが釈尊はラフラをその場で出家させてしまう。王位を継ぐより心の平安を得ることの方がどれだけ幸福であるか示されたのである。人は各自の人生を生きる。自分はその分の人生を生きるしかない。一目見た、ラフラには自分と同じ道を行くことが善きことだと仏陀は確信されたのだろう。そしてラフラは密行第一と十大弟子のひとりとなる。蛙の子は蛙とも。仏陀は聖徳太子が倣ったようにこの世は仮のもの、仏だけが真実と如実に語る。

実は「報愛抄」、聖書は提出してはいけないと示してきました。

「彼女はいま、お子さんにすべての愛を注いでおられ、恋が出てくる隙はない。お前のでしゃばる余地はない。」と。

私も贈らない選択の方が正しいと思いました。

真由子さんと一緒にお茶でも啜りながら、「お医者さんになるまでの苦労話など聞いてあげられたらな」。

大した聞き役にもなれないけど。うなずくくらいならできるだろうと。そんなことをいつも考えていました。

そしていま、確かに私の心境に変化が生まれました。

真由子さんをただ求める、渴望するような気持ちが無くなった。自然と消え、心に冷静さが訪れたのです。真由子さんはこの時期を待っておられたのでしょうか。

貞潔な真由子さん。だからこそ好きになったのですね。きつと。

吉本先生への書簡の中、この意味は後ほど解ると記しましたが、

「何も期待しなければ傷つかない」。さみしいけどそれが正解だと思えます。

聖書は言います。「来たる世、神の御使いのようになり皆が平和に暮らせる日が来る」と、

「その時、美しい心をもつ真由子さんと再会ができる」と。それを信じます。次回からの作品の贈呈に関してもその度ごとに、聖書の神託に委ねたいと思います。

このような気持ちになれたとき聖書は今回、本の提出を認めただのです。

聖書の奴隷みたいですが、すべて私、義人の意志でもあります。

精神医療の世界ではさせられ体験と言いますね。

主体性は失っていません。つまりキリストイエス、神の意志です。

仰々しく書いてしまいました。それは私と聖書への信頼を真由子さんに強く覚えていただきたいからです。

真由子さんお元気で。お子さんとの幸せを祈ります。

いつか晴れて会える日まで、神は見つめています。

美しい心を忘れないでください。

私が好きになった最高の女性。そう思い続けさせてください。お願いいたします。

ではさようなら、

いま、私を呼ぶ猫の声を耳にし、少し気にかかり心がそれかけましたけど、

最後、本当に幸せを祈り、深い愛をもって、哀しいですけど、筆を擱かせてください。

さようならの言葉、いつかありがとうございますに変わるまで。

H29.年2月吉日

義人

真子、千華へ死も病も神、イエスを信じることで乗り越えられる。おたおたした信者になってはいけない。主体性をもち正しい教えに帰依せよ。わしを信じなさい。美しき清纯な乙女ならその方がいい。男の過去には無頓着になれよ。深い男の真意は明るくて貞潔で意志が強くて少し涙もろい女性を探しているからね。泣き虫とは世間知らずにも見えるが、もとめられる女性とは才能も容姿の美しさもあるが、その前に情けがなければいけない。そこには本当の真珠の（涙）があるからだよ。自己憐憫オーケーだからこそ他人のために流す涙は尊いのだ。それが情け、人情である。愛情深い人になれ、損しても。見えない世界を信じるのだ。おじちゃんの新しい本がもうすぐできます。「報愛抄」といいます。よろしく。お休み。おふくろは儀礼にこだわるところか冷酷なところがある。お前たちは洗脳されず温かい血の通った人になれ。祈りの家を商売の家にしたくないね。今後、絶対に金品など厚意をねだったりはしない。心配するな。なんとでもして食っていく。それより温かい愛を忘れるな。サタンが暗躍している。人々の温もりを踏みにじり分裂をはかる。おふくろはおじちゃんが神であることを理解できないから侮辱が顕著だ。自分の思惑を都合で押し付ける。鬼である。おじちゃんの語る大義を、すぐ忘却の彼方へ追いやるのだ。

お前たちが美しい心で暗闇に光をもとめるとき、愛という名の太陽の光線が嬉し涙を映し出してくれるだろう。純粋に清くあれ。幸せは訪れる。必ず。

テサロニケ人への第一の手紙、神があなた方を召したのは不品行から離れた、聖潔を得させるためです。拒むものは聖霊を与える私、神を拒むものです。

おじちゃんには聖書という強い味方があります。孤独から解放され自由になりました。最終的には自律した自己支配が目標です。神にすべて委ね、愛をもつてね。とりあえず生きていく術だから仕事はマイペースで覚えよ。ライバルが

現れたなら先を譲れ。余計な神経を使うことから離れよ、それが大事。敵愾心は発達させるな。出世、カネ、男、少し距離を置いて俯瞰してみよう。そんな

に自分の良心まで犠牲にして手に入れたものかなあ。よく考えて。仕事は解雇されない程度でいいのでは。善き休日だったか。憂さ晴らしのシヨッピング

にうつつを抜かしてはいけないう。スーパーが流行る時代だ、一円でも安いところへ誰もが、殺到する。皆、守銭奴と呼べるのかな。安息日は身も心も

リラックスして充電せよ。そして洗脳されず心を託せる本物の宗教を見つけることだ。仕事が修行。やがて安楽が待つ。わしを神と信じてることだ。友人か

らの自由、時間へのコミットメント(関与)を少し許容する。もちろん、範囲内で

いい。あれこれ言葉尻に逆らつてはいけない。特に男性には独善の押し付けにならぬこと。相手は答えを最早、持つている。ただ頷くだけでいい。お仕事、

お疲れ様。人には是々非々で臨め、つまり主体性を無くすな。それが責任を果たすことにつながる。眼前の問題は必ず将来、成長、果報をもたらす。あせるな、くさるな、まけるな、誰か言っていたなあ。心に鬼を住まわせないと生きて

いけないこの世。でもやはり仏がいないと辛いね。鬼を愛と錯覚する人もいるよ。執着は良くない。真子、千華、とにかく美しい心で祈りを捧げよ。愛に

忠実であれ。ただ相手の幸せを願うことだ。それは自分と一緒にいることだと信じよ。いつまでもね。独身であろうと既婚者であつても互いの愛をないがし

ろにしてはいけない。それは神を踏みにするのと同じことだからだ。正義と節制。節度ある美しい男女関係は幸せを呼ぶためにはとても大事な要件だ。愛を忘れてはいけない。世の中には屁理屈をこね、話し合いの土俵にさえ上がらな

い人がいる。そういう人はただ一番になりたいだけの人のなのだ。くだらない大人だ。絶対になるなよ。恋せよ乙女。美しい恋を沢山せよ。失恋をいっばいせ

よ。さすれば男性、人間というものが解つてくる。「さようなら」、別れの言葉が「ありがとう」と感謝の言葉に変わる素敵なお恋を。横柄で傲慢な人には卑屈

に見えてもへりくだれ、相手は馬鹿だと思う。そして逆らわないものには手出しはしないだろう。侮辱と感ずる必要はない。　　いいひとばかりなら良いけど大半は悪感情を秘めた人で余裕がなくなると顔を出す。人を傷つけることには臆病になれ。愛を念じて。

知識はひとをたかぶらせ愛は徳を生み出す。あまり偉くなるな。適当にやる方が愉しいぞ。眉間にしわを寄せる必要はない。大きな声はいらない。　　知識をもつても昂ぶるな。人の心を察する智慧を身につけよ。そして思いやりをかたむけよ。明日のことは心配せずに神仏に委ねよ。心を美しくせよ。

人間、憂さ晴らしに享樂に慣れ親しむとき、魂の進歩は停滞気味となる。真理を深く考察できなくなり俗的悩み事に心ざわつくことになる。

神の愛をないがしろにし、まごころ、真意を自己本位な悪感情にて曲解すれば不幸のつぼになるのは仕方がない。神の為にどうあるべきか考えなければいけない。　　神は絶対に悪心は持たない。常に真理と公益が人々の中に求められ、見出されることを願ひ祈っている。だから神の発信するものはすべからく好意的に扱わなければならない。真理とは愛だからである。　　嫉妬心ほど醜いもの

はない。どんな不遇なときも善なる自分を信じ雄々しく生きよ。他人を羨むことはない。女性として堂々と自分の道を歩むのだ。　　世の中、不思議にひとを傷

つける意地悪な人が多いね。つられて自分も嫉妬深い恥知らずになつてはいけないよ。善良な己を発信せよ。仕事では最後の席次につくことがベスト。気分的に楽である。下流に幸せがあるとはこのことだ。自由と愛からくる発想を良心の限界だとして安易に切り捨ててはいけない。

千華、人間の生き死に。それより大切なのは人格の尊厳である。見栄張の人もいるが温かく見てあげよう。それらが反射して自らの尊厳の意味を従事者は知ることになるからだ。真

子、購買意欲を高めるものは人の心を打つものと信じていね。真実を温かく表せ。普遍的な愛に優るものはない。元コピーライターのおじちゃんが言う。

自分に執着し愛を求めふらつきまわる。だがそんなときは自分が愛を発信しまた受け入れられる態勢にあるかよく考えよう。案外、孤独はひがみからくることも多い。しかし世間は悪意に満ちているのも本当だ。理屈が通らぬ場合は

多々ある。おじちゃんは今、善意か悪意か解らぬものに悩まされ続けています。でも負けません。自分の道を毅然と勇氣をもつて進むだけです。お前らも夢を追うなら強くなれよ。信頼できる大人の知り合いを作ること。理性的で献身的

で人の痛みの解る人。当たらず障らずではなく、適度な距離を取ってくれる人。正直で自分のことには開放的な人だよ。そんな人になるのは難しいと思う

かもしれない。でも人情味はないといけない。ホロリと流れる涙。相手はホーとするだろう。それが大切だ。恋愛の条件は当人同士の満足である。けど当人

同士の満足でしかないともいえる。つまり年収、学歴などではなく普遍的な愛、思いやりに価値を置き生きる。大事だよ。何度も言うが主体性を失うな。自

ら判断せよ。限界を踏まえる智慧をもて。理に合わぬことには屈するな。その為には自分を磨け。力強く戦え、正義のため。主体性を持つということはけし

てわがままを通すことではない。人の言葉は1から10まで丁寧に吟味し咀嚼し、そして話を進めよ。尊敬されること、確実である。勝負事は負けるに限

る。しかし侮辱したものの言い、態度には毅然と抵抗の意思を表さなくてはいけない。お前たちは誰の奴隷でもない。誇り高く協調せよ。理不尽な言葉や行動

に翻弄されてはいけないよ。組織は人形、兵士のように人間性を消そうと画策するのだ。絶対に自分を見失うなよ。正しきことを念じ続けよ。正しいとは人

を想うこと。勝手な思惑や打算で弱者を従属、手下にしようとする目論む者たちは実は脆い。蹴散らせ。愛を掲げよ。自分を愛し、信じよ。誰も常識のある人な

ら優しくされた方が嬉しいはず。人間性。厳しさの中から人の本質を見抜くことを学べ。常に主人公であれ。資本主義、国益を守るために欲に基づいた外交

は展開される。しかし日本人は義理、人情を大事にする人もまだ多い。好きなのだらうね、私もその一人だ。法律、規則も大事だが人の心、愛を忘れてはい

けない。その兼ね合いをいつも考えて行動せよ。想いの中で人は生きている。君たちも同じだね。

極端な場合、人間より神に従えと聖書は言う。人間とはころころ変わる道徳、規則であり、神とは不変の愛である。究極においての選択みたいな感じもするが、普段からいつも横たわっていていざというとき、決断を迫るものである。

お前たちに言う。守銭奴にはなるな。健全な経済を心得よ。できる範囲で神仏、父母、友人にお布施をすること。それは醜い執着から離れるため。心身、共に健康になる。

イエス、命は人々の命と平等だが、全ては同格ではない。彼は神の義をもち、不遇な人生を後方から支援する愛を説いたのである。特別の人である。なるべく粗食に慣れ、感謝することを覚えよ。さす

れば御馳走の前で躊躇する。許可を得、楽しくゆっくり適量を頂ける。感謝が増すね。礼儀も外れないね。むさばらない。好意的な人には親切もできるし、

ときには献身的にもなり感謝も生まれる。しかし人間関係を作ることにおいて、錯覚した己のことだけ考慮する人には優しくするのは難しい。お互いに哀しいね。平和は認め合うことから生まれる。それはまず相手を立てること。でも無理

することはない。侮辱には静かに己の哀しさを伝えよ。問題がないのなら物理的に離れよ。でも仮にも友なら思いやりが伝わるといいねえ。

本当の評価とは互いの心の交流の中にしか生まれず。まず自分を真に愛することです。そして他人に思いやりを向けるときそれは高まるでしょう。良心がつぶれたとき、友を失ったとき、負けるな、自分の義、志まで失うな。お前たちの

後ろには幾千万の夢が控えているのだ。諦めるな。もう駄目は、ダメだ。適当にやれ、周りの人を大事にせよ。原点に返ったが、お前たちの仕事は人の心を見つめる仕事だ。冷酷な人にできるかな。温かい人間になれ。神は見ている。

嫉妬による悪口、雑言を以て自らの位置まで引き落とそうとするやつがいる。絶対に乗せられて怒りに縛られるな。心に涼風を吹かせばやがて嵐は去っていく。利害を意識しながら計算より離れる。その時、真の友が生まれるか、孤独に至る。

真つ直ぐ愛を抱き生きよ。後悔しないように。神は心を捨てない人を愛する。心とはころころかわりすれ違うものである。みな自意識があるからね。善意の優しさを侮辱ととる人は偉くなりたい人の中にはたくさんいる。哀しいね。目

に見えない世界を信じよ。心を美しくせよ。さすれば身も美しくなる。けど時宜が整わなければならぬ。いい頃合いが来るさ。ママ、パパ、じいちゃん、

羽根バアちゃん。そして神であるおじちゃん。皆、心からお前たちを愛している。だから愛のない軽率な非道はしてはいけないよ。　　義というものが愛なら良

いけど、ただ人を縛る義理人情であれば、激しく迫る恋に命をかけるのも良い。

父母に心配をかけても自分らしく真摯に燃えよ。　　千華、お前は明治天皇が設

立された施設に縁があつて就職した。これは神との兼ね合いからいつても深い

宿命のものである。心配はいらない。自由に生きよ。　　美しい恋、清らかな愛

に生きよ。情欲から離れ独身を守るのが最善かもしれない。いやベストである。

なぜか。それは神を想うため、つまり愛を広げるためである。　　偽善的恋愛は

絶対受けてはいけない。ことさら悪びれる必要もないが、素直に清らかな愛を信

じよう。自分をけして捨てちゃいけないよ。　　千華の誕生日は3月の末だった

ね。はつきり覚えていなくてごめん。年齢を重ねるうちに感慨深いものがあるだ

ろう。でもいつも今の年齢が最善なのだ。主人公であれ。　　真子、パパも組織

人だ。だけど人間的に慕う、若者たちもたくさんいる。獅子舞などね。会話の成

り立つ人である。きれい好きなだけさ。愛せよ。温かく同情してね。　　男女関

係は自慢、噂話ある。虚実諸々だ。自分の価値観を信じて美しい恋をせよ。後悔

しないように。真実の愛はその果てにある。自分を主人公にして。　　一人ぼつ

ちになつても心配いらぬ。久遠の本仏にすべて委ねるのだ。南無妙法蓮華經。強制はしない。すべてはおじちゃんを信じてから始まる。犠牲とは欲望

があるから存在する。家族といたい。安樂でいたい。でもそれは否定できない価値だ。捨てるものがなくなつたとき犠牲は栄光に姿を変える。　　だけど大切な

家族を捨てたりできないね。でも苦しむことはない。子は三つまでに親孝行を終えているのだ。自分らしく愛の本道を歩んでいけ。　　夜遅くご免。たとえどれ

だけ仕事は優れていても職場にある限りは最低限のルールを守るのは必要だ。ふてくされるやつ。そんなもんはろくなものじゃねえ。　　世の中には家族のた

め自分のため力ネに走る人がいる。本当に大切なのは家族、力ネ、名誉ではなく純真な気持ちだ。お忘れなく。　　個、つまり自分を認め大切に扱ってくれるか

ら家族は成り立つ、君も愛情をもって父母に接しよう。たまにはケンカもあるさ。それを純真と呼ぶ。　　つまり純真な心があれば家庭は上手くいく。余裕が

あるときは愛情ある言葉でガス抜きをはかる。お互いに。辛いときほど笑え、笑え。信仰とはそんなもの。　　継続は力なり。思いやりも同じで自分らしく心か

ら人に関わり続けることが大切です。その姿はたくさんの良識ある人の口になる。愛が愛を呼ぶと言つことです。　　以前に、人にあまりかわらぬ。自愛を

祈れと言った。矛盾。だが時宜がきた。愛、友情のため一命をかける。素晴らしい。そして永遠のいのちを得る。　悩むのはその1日だけにせよと言う。だが

悩みは持ち続けなければならぬ。その時期なのだ。ただ悩めばいい。解決は自らの自由な信心にある。

悩むということは今のところそれが必要だということだ。どんなに苦しくとも。精神疾患のおじちゃんは神であつた。今は幸せだ。正しく美しく、悩みなさい。　バアちゃんは品格を付けたという。意地とい

う高慢。現役に執着する。過去の恩への、感謝が無に帰してしまふ。悲しいね。ただ話に頷けばいいのね。　おじちゃんは慣れました。思いやりを理解する

人はいないかもしれない。愛が解るからこそ神なのかもしれない。ただ無口な青年が笑みを向けました。もしかしたら、彼は存知しているのかも。少しこの世に期待をもった。　愛情ある言葉とは真剣に相手と公益を思うとき生まれる。

できるだけソフトに核心を突くこと、思いやりは忘れずにね。　正義の力を行使するとき相手の自尊心を踏みにじることもある、覚悟せよ。つまり恨みをかう

ことも。勇気をもってひるむな。まあ仲間を沢山作つてからだ。流れにまかせよ。夜明けは必ず来る。　富と名誉を追い続ける限り真実は見えず争いが生まれ

る。愛と平和を求める人には暖かい幸せが訪れ、神が保護してくれる。　聖書

には男女の関係における制約がいろいろある。自制心をもて、サタンの誘惑に負けるなど。でも美しい心があればそんな因縁は自然と遠ざかっていく。すべては神に祈ることから始まる。偶然は必然。精神疾患のこじつけと思われてしま

うが、仏教の世界では因縁果報と、常識とされている。全ては自分から始まる。いつも美しい心でいなさい。人間は納得するまで反抗したり抵抗したりす

るものだ。自分らしく生きる大切さ。それを知ってほしい、全ての人に。もう傷つけ合うのはたくさんだ。そうだろう。真子、商品を綺麗にラッピングして

あげるのが君の仕事だ。仏教に空の教えがある。デザインを生かすも殺すも当事者次第だ。愛を忘れなければ大丈夫だよ。お前たちの後ろには幾万の夢が待

機している。挫折したものも多い。そしてお前たちは彼らを失望へ追いやることになるときもある。この原罪がイエスを見ることに繋がっていく。まずは美

しい心をもつこと。誤解されないように正直に言葉を発すること。本質を求めない人とは距離を取ること。悪意なき非常識があることを認識すること。本質とは思いやりである。

性善説で人を見ると悲しき憤りに苦しむだろう。性悪説で見るととき善意を見落とすことが多々ある。ただ真つ直ぐ見よ。人生は勝負ではなく修行だよ。

絶対、無神論者という罠に陥るな。悪魔に魂を売るということだから。心を失い独善的に物欲に走る。行先は地獄だ。そこには醜い計算と雑言がある。神を

信じ愛せよ。そして本当の隣人を愛しなさい。恨みをもたず裁きは神に預けること。心の平和を大切にし、ゆつくり人生を歩め。美しい夢をもつてね。無神

論者にとって殺人も病死も一緒だ。想いが無い。無論、人が皆、罪人ならば誰もが悲惨な死を迎える可能性はある。避けるには心の底から回心することだよ。

勉強したかな。親鸞の教えは悪を犯さねばならぬ庶民の気休めとなった。しかし悪の肯定は人殺し、盗人を増長させた。真面目で一途な神、日蓮には赦せない。

真子、無印商品とか世の中にデザインは不必要だという考えもあるが、人には個性というものがある。デザインは最も必要なのだ。乱暴な話だったが自信もつて突き進め。おじちゃんの本からです。自由に自分らしく生きていく。その覚

悟ができたとき青い鳥が訪れる時だ。まずは毅然と主体性をもち生きよ。思いやりだよ。千華、デイズ二ーのお土産、マグカップずっと使っているよ。重か

っただろ。一度バアちゃんと口論になり床に叩きつけたけど破損しなかった。ありがとう。良かった。煩惱、心配、不安を煽る者から距離を保て、時事に疎

くなつてはいけませんが、できるだけ樂觀的に生きよ。幸福が舞い込むよ。神を信

じて。やたら几帳面なやつ。真面目だと気取っている完璧主義者である。向

上心はあるが周りの人に余計な緊張感を与える。仕事には安らぎと愛が必要であろう。宗教団体は重んじなくていい。ただ見えない世界を信じなさい。そ

して先祖に感謝の祈りを捧げなさい。うち婆ちゃんのよりどころだった、南無妙法蓮華經を寝る前に布団の中、十回唱えてみて下さい。昔、友人のお母さん

が、かつ井を用意してくれた。おじちゃんも素直に頂かずに帰宅した。無念な思いをされたという。人の厚意は有り難く受け、忘れないことが大事だよ。計

算とは違い、意図的に自己演出をしなければいけないこともある。自分のためではなく周りの雰囲気、空間を温かく、さわやかにせよ。謙遜が過ぎ卑屈に見え

る人。本人は他人と争い傷つけ合いたくないのだよ。とろくて気が小さいと馬鹿にしてはいけないよ。それがいじめの正体だからね。自慢すればするほど人

としての値打ちは下がる。人はどれだけひとの幸福に貢献したかで評価が決まる。それは目立たないものかもしれない。後ろ姿に聞け。戦争を知らない時

代におじちゃんも君たちも生まれ育ち、食べ物にも困らない。これは奇跡だ。想像してごらん。過去ではなく現在も残酷な戦は尽きていないのだよ。身の程

知らず、偉そうに、おこがましい、生意気。意見を止めようとする卑劣な真理の

究明を妨げる悪意だ。気にしてはいけけない。堂々と。感情をコントロールで

きたら自己演出、自己プロデュースも大切だ。計算ではなく公益のため。犠牲になる必要はない。ただ皆の幸せを願い、自分らしく生きよ。美しさ。先に不

実な関係があつた。が後、反省の中から生まれてくるもの、イエスを信じる者はことごとく罪が許されます。愛を信じるからです。この世は善と悪のせめぎ

あいだ。欲望からはできるだけ離れよ。デザインとは矛盾しているようだが愛を描け。看護師も、それが真の道だ。死後に幸福を追いやる他の界の仏、阿弥

陀に自らを委ねてはいけけない。久遠の本仏、釈迦如来に帰依するのだ。うち祖母ちゃんの無念に、南無妙法蓮華経。人生を積極的にね。真宗はその性質上、

門徒は宗教から離れ物質にはしる。阿弥陀はお寺さんの戯言くらの感覚だ。無関心、無感動、諦め、悪の肯定、そこに罰がくる。どんな悪人も皆死んで極

楽へ行く。シャンシャン。なんと人生を侮辱した物言い。号泣しろとは言わないが涙のひとつもこぼれないか。執着の前に心があり、想いがある。解るか。千

華、物事、世の中、勝負事、できるだけ席次は下位につけ。上にのぼるほど自由はなくなり責任に縛られ、部下に裏切られないかとビクビクすることになる。

真子、まず皆の心を知る度量をもて、コンセプトはいかなるときも愛でなくては

ならない。その為の独立なら結構。カネのためでなく愛、夢のために懸けてみるさ。人が一番善きものを見つけるため、経験が必要だ。とくに失敗すること。何度でも。すると対応の仕方が解ってくる。世の中の、濁流と清流を感じる事ができる。絶対に人を侮辱したり揶揄したりせぬこと。信用を失い惨めな自分に陥るだろう。人を傷つけず大切にすることは尊敬される。決して忘れてはいけないよ。人は褒めよ、褒めちぎれ。そしてどんな時でもできる限りでよいから、微笑みを浮かべなさい。きつと幸せの方がむこうからくるみたいです。本当に。夢があります。富山型アイをみんなで作ることです。真子のデザイン、ケアマネージャーのママ、看護師の千華、そして精神科医の真由子さん。私は信じる。計算して作務的に人に働きかけてはいけない。ずるさが抜けず必ず怒りを買うことになる。人には常に誠実であれ。愛をもって事に当たれ女性として。たとえ利にならぬことでも邪険にせず話は聞こう。自分の誠実さが伝わるようなら弁をつくせ。神を信じれば悪縁は自然に遠ざかってゆく。良心は痛めるな。生きて行くとき、金儲けなどあるだろう。一番大切なのは夢をもち善き人間関係を作れるかどうかだ。温かで爽やかな繋がりが結べればよき男性は後からついてくる。世の中は一番になれなかった人が大半だ。だからこそ敗者の哲学が

必要だ。恨みからではない。愛、思いやりで理論武装して勝ち続ける。多分、全員に言えることだね。二人におじちゃんから、願うこと、ひとつあります。

今度会うとき、はにかんでもいいから微笑みを返してほしい。それが素直になるということです。おじちゃんの人生が報われる瞬間になる。仕事をする人たちが幸福であることを本当に願っています。素浪人のおじちゃんは製本によつて眞の幸せとは何か示し続けるつもりです。愛の存在を。梶原は桃井氏の家臣で南北朝時代、都から眞の南無妙法蓮華経が広まるよう、お坊様に同行した。私たちには因縁があります。述べ伝えよう。智慧と慈悲と愛を。富山型デイ

が生まれた暁にはピアフレンズとして当事者の情緒に働きかけたい。フィンランドのオーブンダイアログという当事者を含めたカンファレンス【話し合い】が行なわれる治療法。日本でも導入されれば医療関係者がフラットになりヒエラルキー（権力構造）からくる差別が消えるのでは。コストの問題が大変みたいだ。医者になるには力ネがかかるみたいだからなあ。特別か。千華の看護師という仕事も難しい勉強しているのになあ。当事者だって馬鹿ではないのだぞ。ハッキリ言っておく。世の中、表現力は拙くてもみんな馬鹿じゃない。医者も知らない深いことも考えているのだ。医療従事者は謙虚であれ。武力をもつ、戦いに備

えなくてはいけない。寛容、慈悲を護るため僧兵は生まれた。そして叡山は信長に焼打ちにされる。非戦、不殺生を忘れた結果である、

天から与えられる労働にて得られる、衣、食、物は付属物に過ぎない。ふたりには厳しく聞こえるかも知れない。だが物欲のみにはしるとき人間性は墮落している。気をつけよう。

はつきり言う。仕事などどうでもいい。仲間ひとりひとりを大切にせよ。その時君たちは本当の仕事の意味を知るだろう。そして有能と呼ばれるだろう。釈

尊は餓死寸前までの厳しい修行をされた。やがてその誤りに気づき快樂にも極端にはしらない中道を以て覚りをひらいた。抜苦する慈悲が大切なのだね。

金儲け、大抵の人が目的とするものだ。いやしい、そんな気もする。それは力ネだけをぼっかけるからだ。カネのたまらなかつた人生は失敗か。ただ生きるのみ。どこか近在で花見した後、家によってくれないかなあ。笑顔にならな

れば、微笑みだけでもいい。無言でよいから、それが肉親血族。血は水より濃いきつと来いよ。出来れば、新聞を隅までひと通り読むだけの時間と余裕が君

達にあればいいのだが。世の中に美しくアンテナを張って深く考察する習慣を身につけよ。尾崎が言う。自由になりたくないかい。悲しいのは自分だけで

はなかつた。独りになりたくない。争いあいたくない。彼はもう傷つけあいたく

なかつたのだね。

自分勝手に生きる。相手は無言の中に怒りをしまうだろう。そして本人は自分を正当化することに懸命になり、人の心も察せず思いやりを無くすのである。自分が、自分がと思うときは要注意だ。周りを見渡せ。捨てるものと大事な物との判別は怒りのあるときしてはならない後悔しないために、思い出を抱きしめて。

誰かの為とか喜んでもらう為とか偽善はもういい。ただ正直に素直に好きなように生きるのだ。後悔しないように。人を傷つけるのは絶対いけないよ。闘っているのは君達だけではない。みんなそうだ。悲しいね。皆、愛し合うってことを忘れている。生活の中、闘って得るものなどあるのか。幸せを犠牲にして。世の中で売れる本は一番を取った人のものばかりだ。おかしくないかい。人は一番になれない人が大半なのね。思いやりについてのものが本当にあれば。目に見えない世界は確かにある。人生の答えなどはないかもしれない。しかし天に恥ずべき行為は慎むべきだ。いつか明るみに出るからね。静かに微笑むことを忘れないでください。勝とうと思うな。タイミングを見計らって負けよ。そんな人は世界広しいといえどなかなかいない。でも犠牲になつてはいけない。誰かがその徳を解ってくれるよ。自分勝手にワガママな者には何を言っても無

駄だ。知らずに人を傷つけたのを聞いても本人は逆に恨みを持つ。自制心が効かなくなる。生きて行くことは理屈ではないのかもしれない。米国と北朝鮮が

戦争になれば多くの犠牲者が出るだろう。これに無感情になるのが権力者、為政者だ。看護師などの感覚からは正反対の計算だ。無力の私がいる。旅立つと

きは今生の別れになるかもしれない。家族、友人大切な人に心残りないよう愛を告げよ。そして衣を整え、神にすべてを委ねなさい。大丈夫だから、心配ない。

一番をめぐすのは小さい頃から下品だと思っていた。いつの間にか忘れ、ひとを傷つけた。そしてまた思い出した。ただ自分らしく生きよ。愛をもって、人間らしく。成功というのも一番と同じく何か後ろめたいものがある。ただ周りの

人を愛し、虚心で生きよ。何か大事な輝くものが見つかるはずだ。大安心である。思いやりだと馬鹿を言うな。人生は闘いだ。愛というものは奪うことから始まる。競争を勝ち抜け、その為に歯を食いしばり、汗を流せ。さあ君たちはどうとらえるかな。人間五十歩百歩、他人との比較は意味がなくやめなさい。ひと

の評価も気にするな。ただ人を傷つけず愉しくやりなさい。それでいい。人生、正解である。好きなことをしているなら多少、嫌なことがあつたりやケチを

つけられたりしても、素直に正しさを求め反論によって抗することはできるは

ず、そしていつも好きな人といなさい。

なぜ私だけがこんな苦しみを。悩む

だろう、だがそれは神仏の深いお慈悲なのだ。苦しみを与えられないと他人の苦しみ悲しみが解らず愛ある人になれないからだ。そこに気付き他人のため祈るときおのずと悩みは消え、幸せになっている。自己執着から離れるからである。

人の痛みの分かるものになれよ。軽蔑は愛なきものにだけ。その他はしてはいけないよ。侮辱すれば何らかの形で返ってくる。目上の人には尊重と敬愛と信頼をもって当たれ。お前たちが無事に生きていてくれるだけでいい。素直にそう

思う。冒険はしなくていい。しっかりと堅実に生きよ。その果てに愛ある幸せをその手につかみなさい。人を知る、世間を知るにはシヨップングモールに行つて美味しいものを食べるよりいい映画を見たり、名作を読んだりして感動することだ。成長しろよ。尾崎は弱き者の見方です。だから喧嘩、競争、威嚇などを本質的には嫌っています。払いのけても、かかる雪にこぶしを。哀しみは

愛ある所に添う。美しさが最も光るとき天は非情を計らう。勇氣、崇高、無私、覚悟がいるぞ。遮断機の中、老人を救うために飛び込み亡くなった銀行員の方の話です。今日の読売、コラムからの要約と想いです。おじちゃんは今力ネで悩

んだことがあります。祖母ちゃんが酒を売ってくれたからです。そして売れた

のは神仏の御陰でもあります。そしておじちゃんも物欲が少なかつた、楽観的に。威圧、威嚇はしてもされても嫌だね。もし暴力を行使すれば互いに傷つ

くことになる。神仏を信じ南無妙法蓮華經と心の中でもいいから唱えよ。善神が来たりて悪魔は避けて行く。旅行は目的があつてもなくても好きじゃない。

どこも山があつて海があつて同じだと思つていた。物凄い濁流を見た。熊本はじめ震災に思いを寄せていた。善意による悪意。雇用となると、従属性と責任

感を持たせようと組織はうるさい。単なる我儘をぶつけてくる人も多い。そんな中、自分らしく思想を持って。一目置かれるから。どんなに優秀でお金持ちで

も愛、優しさのない人には悲しくて辛いのがこの世なのである。比較、怒りより離れ、親切に生きて行きなさい。幸せに暮らせるよ。苦難は君たちに神の慰

みが訪れるため、そして人々を慰める力が与えられるためにある。情けは他人の為ならず。天国が待つている。人の痛みを感じよ。人々の間を離し、和合を

破るものは時期がくれば必ず罰を受ける。下流のひとだからこそ偏見のない立派な人間は沢山いる。それは本質、真実を見抜く人たちである。遙か、久遠

の過去。永遠に続いていく未来。その線上の一点で僕等は生きている。不思議だ。無神論者は偶然と言つたろう。また、いま、地球で信仰していることさえも。

私の本を読んだある男。「いったいお前にどんな功績がある。」失礼な物言いだ。人を意図的に侮辱し平気。嫉妬も含まれる。ありがとうと感謝で返し、後は知りません。さらばと言おう。全世界の連中に言う。俺は皆に好かれよう、気に入られようと神でいるわけではない。甘えるな。いい加減にしろ。俺は遠慮し察するのをやめるぜ。そういう時期だ。自己執着、渴愛、人は幸せになれない。皆、哀しいのだ。親切に対し甘えたり無視したりするのはもうやめよう。卑劣で神は嫌悪するだろう。愛(アガペー)するのみ。賢い金持ちは短気が多いと聞いた。速やかで的確な判断が求められるからだろう。もし経営者の立場なら孤独であろう。顔色を窺われるのもしまい嫌になるはずだ。神は誰かによつて証明されるものでもなく、否定されるものでもない。ただ愛について、その査定はいつも存在する。神はいつも合格である。神の御名を知らせる。この意味は神、すなわち私の為というよりはあなたの方の為であるということ。神だから賢いとか偉いとか一切言わない。そして顕示欲、名譽欲とかにこだわっている時ではない。ただ素直に利他の精神で表すのみである。馬鹿になつていればよい。その裏側で私が本当は賢い。驕慢。こんな人はのど元過ぎれば熱さ忘れるで、につちもさつちもいかない。どうしよう。途方に暮れる。平常心とは心

が悪感情に流されたり支配されたりするとき理性で制御すること。愛がある、泣き笑いはどんだんやれ。それが人間だよ。解るか乙女たちよ。　完璧な大人な

どいない。期待するな。保護とみるか束縛とみるか。なんでもそうだが意識するからおかしくなる。だが互いにけん制してバランスを取るのが大人。　なんで

もいちいち気にするな。世間とはそんなものだと言き直れ。そして愛ある人たちと楽しく暮らしなさい。辛いことも斜に構えて笑ってしまおう。いいね。　愛

をもつて戦い疲れたら、いつでも、ゆっくりのんびり引きこもれ。勇気がわいてきて楽しくなったら、また世間と向き合いなさい。皆、例外者だ。心配ない。

窮乏した友人が訪ねてきたら出来るだけのことはしてあげなさい。見返りを期待するな。天にそのことは記されるから。この世間で有名になっても窮屈なだけだ。　慢心はいけませんが、自尊心を大事にして自信を持って事に当たれ。それ

は逃避することかもしれない。自分を大切にして他人の領域に踏み込むことは控えよ。　堂々と生きよ。私の価値観と違う人間には真剣に関わるな。所詮、

地獄修羅の欲望の追求のものであるからだ。私の姪なら成仏を目指せ。智慧と慈悲を以て両輪として。　罪を重ねて地獄魔界におちる。欲望の叶えられない世

界である。しかしこれは自主的に禁欲に向かえば仏界に入ったともいえる。そこ

には仏陀のサトリがある。世の中とは辛いものだね。悪いことはすぐ伝わる

けど、善いことはなかなか伝わらない。噂をするとき思いやりを忘れてはだめ。

確かなひとが聞けば、愛が解る。

お土産ありがとう。まずは自分らしく生き

ることを一番大切にする。愛と思想を抱き偏見差別に負けないで活躍しなさい。直感を信じ暮らさない。思想を抱くとは自分を信じる。善悪の

判断にマヒした人が世間に横行している。君たちはできる限りでいいから社会正義に尽くせ。愛、自由、平和のために。

真子、何度も話したが欲望を掻き  
たてるのではなく美しい人の真実を描きなさい。千華、聖書は寡黙で献身的なお  
前が一番偉いと言っている。二人、努力である。真子、初対面では微笑みな

さい。寡黙な千華は沈黙していても好い、相手がどういうアプローチで来るか、  
それで人物が解る。沈黙中、わずかな間だと思いが神に祈りなさい。愛をもって。

もう照れ隠しはやめなさい。家族でも個々の人間だ、甘えて傷つけてはいけな  
い。愛には愛で返しなさい。それが大人というものだよ。尊重、敬意、礼儀、大

切さ。ただ富、名誉を追いかけてはいけない。大切な真理を見落としてしま  
うから。欲望と真実の愛、両方を同時に望むのは困難だ。恥辱のない交際をしな

さい。ハッキリ言う。君たちの敵は孤独だ。変に迎合せず、価値観が違う愛

のない人とはなるべく離れよ。神仏は看てなさる。美しく生きよ。独りも淋しくないだろう。誰もいなくなっても心配ない。神すなわち愛はいつも存在している。君たちが愛を失わない限りは。編集のため少し休刊します。元気で。

中山さんへ、孤独を克服したらいいことばかりです。寂しさから派生する人への依存、迎合がなくなります。私には聖書という親友がいるからだけど。孤独の件ですが、人間の幸福は関係性の中からしか生まれません。善き友を作ることは大切だと私は思います。神、隣人に、心を尽くし、力を尽くし、精神を尽くし、愛するとき現れるのではないでしょうか。ある宗教思想家は「南無そのまんま、阿弥陀にすべて任せよ」と諦めを勧めます。でも私は幸せになるには美しく執着から離れることが大事だと思えます。諦めず、無難を目指し南無妙法蓮華経を唱えましょう。「結果はどうなっても仏の計らいと受け止める。仕方ないと思い、悩むな。」私はこれを断じて違うと思う。たくさん仲間たちが心を一つにして題目を唱え精進することができれば功德は必ず頂戴できるからです。つまりたくさんさんの思いやりを一つに集結させるということです。心配ご無用。

ひろ さちや様

こんにちは 先生 悪筆ではありますが直筆させていただきます。聖書を開くと、ひろ 先生はサタンだと何度も示します。なぜでしょう。幸福な関係、真理は、「まっとうな人が、欲望を膨らませて、悪意に満ちる、人殺し、盗人と同席

することはできない」と、ひとつに、「善なる人の隣人愛」、そこにしか見出されないと考えます。ミソもクソも一緒にした「そのまんま」という姿勢には賛同しかねます。雑然から離れ、ゆらぐことのない仏国土を建設しなければなりません。私はS会とは縁もゆかりもありません。また人に改宗を迫ったこともないのです。私は宗派云々という前に、私と同じ愛による思考回路に基づき、人間として、隣人への思いやりを大切にします。それこそが、人が報われる第一の条件であると信じているのです。私にとって他宗攻撃は、真の宗教者としての務めを果たしたい、そのためだけのものです。またしても贈呈させて頂く資料、何卒、御高覧下さるよう、伏してお祈り申し上げます。寒さが続きます。体調に御留意下さるよう、衷心よりお祈り申し上げます。御精読ありがとうございました。

合掌

神は沈黙する。イエスの十字架の死。キリシタンへの棄教を迫る拷問。そして殉教。司祭の背教。むごい。が、神はそのことに心を寄せるのはあまりにも馬鹿馬鹿しいことと感ずるので。踏絵に足を置くこと、改宗すること、神にとって、彼らを思えば心を痛めなくてはならぬことなのであろうが、そのことは仰々しく見えても核心ではないのだ。神のためと言って勝手に苦痛を帯び死んでいく。実

はそこにあるのは醜いエゴとプライド、つまり執着からくる強情である。そんなことより無垢な一匹の子猫を救うために神はおろおろ奔走するのである。そして神、イエスの存在も知らず独り暗い部屋でリストカットをする少女、そんな子供たちに同情し、すべてのいたいたいけなものたちへ神はエールを送り、救いの手を差し伸べたいと思っっているのだ。明るく素直に温かく生きることが伝えるために。

本当の意地とは夜明けが来るまでジツと夢、愛を胸に秘め、支え続けるものである。

優しいとは「大切にする」をモットーに対象に向かうことである。先本

でチベットがIS(イスラム国)のようになると記したことに友人のネパール人のラマちゃんが不快感を表したのでメールで弁解していた。チベットの焼身も自らへのテロともいえる。ISのようにはならぬと思うが活仏(ダライラマ)に何かあればわからない。しかし配慮が足りませんでした。赦してください。チベットの惨状も知らず筆が滑りました。しかしISにも理由があると思います。暴力を行使しなければならぬそんな現状と悲劇を憎みます。聖書はイエスを信じる者は愛によってことごとく罪の赦しが受けられると明かしていま

す。本当にご免なさい。簡単に幕引きするみたいですが怒りからは何も生まれません。未来志向でまた友情を育みましょう。浅はかな男ですが悪気はありません。暴力を許容しません。

ラマちゃんは仏教の基本には「誰も責めない、否定はしない、非暴力主義」があるとテレしてきました。私はその日の夜半、聖書に促されメールを打っていた。

仏教の寛容性はキリスト教の博愛に繋がります。しかし外道は存在し、またイエスは殺されたのです。正邪はやはりあるのです。何か皆勘違いしている。神が悪人を地獄に落とすと。そうではなくこの世を愛に包まれた平和な世にするときこぼれ落ちる者がいるのだよという事です。私は責任を負いかねるというのも辛い、神の子、悪魔の子。予定調和です。

ラマちゃんへ、仏教の寛容性は解る。けど比叡山の山法師みたいに武装した例も歴史にはある。理想を守る口実に暴力にはしることも。冷静に正邪を決する。大切である。ラマ教、チベット教。彼らは暴力にははしらない。肩を持つのは解る。しかし侮辱されたと怒って終わるのではなく、大事なのは実際に宗教の名において暴力がなされているということだ。狂信か、貧困か差別か

原理主義者か解らないがたくさんの悲嘆がそこにあるということである。そこに着目してほしい。人はひとに自分を解ってもらおうとするからいさかい

が生まれる。相手を理解しようとするところに平和は生まれる。 イエスは唾

をかけられ殴られ言葉で侮辱され、ほとんどの人に世を惑わす悪人とされた。名誉などはなかったのである。日蓮も同じである。だが彼らは救い主は自分だと信じていた。

なぜ神は十字架の上のイエスを助けなかったのか。神の業をもつイエスも自らの身を救えたはずだ。だがそれはエゴイズムにつながる。そしてそんなある意味で素直でないイエスに、共にある神は複雑な想いで沈黙したのだ。だがイエスは決して犠牲で死んだのではなかった。自らの栄光と彼を信じる者への祝福がそこにはあった。 ED状態が神の本当の姿なのだ。男女とも情欲

から離れなければならぬ。 日蓮は言う。夫が死んだ場合、財産を受け継ぐ

夫人は剃髪して尼となり操を守らなければならぬ。一方、姦淫した女の罪に罰を与えないイエス。相反しているようだがそこには理想と現実がある。彼らが言いたかったのは情欲ではなく美しい寛容な愛。それを切に願っているということだ。またイエスの時代、遺産と呼べるものもなく夫と死別した女にとって生きるすべは新たな男との婚姻だった。そんな現実の中、生活よりも愛、本当の命を自覚し求めることを勧めたイエス。そうすれば神の国、仏国土が待っている。自由、平和、安らぎである。この世の価値観をすべて捨てたときイエス、神、日

蓮の心が理解できるだろう。損得ではなく利他の愛を神への大きな信頼にて追い求めるとき男も女も幸せになっっているのだ。しかしこんな声も聞こえてきた。「すべては善を追い求めるから自らやましいと思ひその罪悪感に勝手に苦しむのだ。罪など誰かに作られるものだ。善悪にこだわるな」。姦淫の罪に特化してみよう。信仰というものがある以上、各位の愛というものに信頼を置かねばならない。罪悪感が本当にならないなら罪に苦しむこともない。それもありかと考えてみる。神である私の未熟さか、「自由な気持ちがない」。だが人は関係性の中において生きています。相手が契約を破れば当然、怒りが生まれる。また神の子は、嫉妬心から離れたフリーセックスが仮に人々に許されたとしても享樂的であり人間の本質として自らが墮落したと意識し、肉欲的な悪徳であり、美しい愛を否定したとして暗い絶望感にさいなまれることになる。寺山修司の言う道徳への潔癖かもしれない。私は神である。同じく精神的で聖なるものに縁が無くなり辛い苦しみとなる。また矛盾しているようだが煩惱の習気（カス）が残る私としては欲望がなくなることは一抹の哀惜の念に堪えない。この行き場のない迷路は、結局、渴望が、来たる世、滅却されれば、みな神の御使いのようになり真実の清らかな愛が現出されることで消し去られるのだ。それを信じて私は純粹に、開放

的にならず姦淫の罪を犯さず生きるだけである。すると自然と奔放な悪は、たとえ欲情したとしてもことはなしえず避けてゆくのである。やはり私は善を追い求めるよう運命づけられている。それが神であり、信仰というものである。そして真実の善とはどんな場合、状況においても互いを思いやる、ただそれだけである。本当にこの世で一番、重要で大切なものである。真の善悪がなくなるのは善が愛と一体となり義(思いやり)として皆の心、世界の空間に広がるときであり、悪は消え当たり前という意識すらなくなり寛容な温かさでいっぱいになることである。殺人、盗み、またその根にある貧困、侮辱、強要が意識されることさえなくなる世界。悪魔の子は去るのである。親鸞の弟子である唯円のようにひと人も殺せない、そんな心に仏をもつものたちだけでいっぱいになるのである。そんな美しい世間、早くこればいい。

法華経の寛容性とふところの深さ。日蓮は専門家である僧侶に対して止暇断眠の修行をもとめる。その厳しさ。また邪教へ向けての排他性。一方、在家の人々には南無妙法蓮華経の唱題という安楽な行を示す。イエスの神への愛、その厳格さ。そして人の自由と博愛、二人とも厳格と寛容の使い分け、棲み分けを表出させ人々に対し布教していくことになる。ふたつの側面が必要なのである。そして言えること、彼らは人々には限りなく優し

く、自分には本当に厳しかった。

わたしは酒屋に生まれた。商売屋といつて

もあまり人の顔色、思惑、腹の中を探る因縁はなかった。それがある意味、素直に真つ直ぐ、物事を見たいと純粹に思うもとにあつた。それは組織人として生きていくとき悲劇につながる大きな原因となつた。しかしその中で私は大いに成長するとともに、主体性という正義は失わなかつた。そして今、人の善意、悪意がお人好しの私にも見えるようになってきた。利、義、愛、見知らぬ人への警戒。コネの大切さ、そして感謝。だがすべては神仏に恥じない生き方をしていれば自由にして自然に始まり完結していく。自分を信じていきたい。欲望、執着から離れ人々の想いが美しくあるよう祈りを込めるとき、成仏へと向かうのである。ヘルパーさん。きつい仕事である。幸福は「少しおいしいものを食べることに」私は何も言えなくなつた。彼女のささやかな幸せはよくやっている自分へのご褒美にある。これは神仏の本当に喜ばれる素直な心である。そしていろいろなたくさんの煩惱がある。けどそのなかで、平和を願う、正しい希望、美しき望みは必ず叶えられるのだ。

工木八の証人の排他性。そして顕正会の謗法の罪。他の宗派のものを読むと罰が当たる。私は聖書、法華経についてもそうだが、思想に関しての図書が読めない

のだ。南無妙法蓮華經のものなら何とか受け付ける。だが思惑か何かを伝えようとするものには拒否反応があり、自筆しか読めないのである。他人の自己表現が入ったものは何かが悪魔して読めない。読む先から自分の見解が心の中から湧いてくるのである。不思議だが科学的裏付けを重視する彼ら（工木バの証人）はどうか。私が読めるのは、時事を伝えるのが目的の新聞だけである。「真理

は独立を望み、虚偽は依頼する」内村の言葉、同感である。「イエスも釈迦も口の上手い、ろくでなし乞食」と呼ぶ人もいただろう。一步、間違えば私もそう呼ばれるかもしれない。特に母を攻撃することについては。幸せだと言

う。想いがなければ幸せは見いだせない。神は自証と他との関係性の中にしか存在する意義がないとしたら聖霊に満ちた神が、イエスという神を保証する。釈尊の真理を保証した法華の多宝如来のように。

コ口サイ人への手紙、1章21、22節 あなた方もかつては悪いことをしたはずだ。キリストの贖いはこれほど尊く私たちの身より肉欲の醜さを消し去ったのである。節度なき関係に美しき幸福はない。主は言った。相手が死を迎えるなら願っている人と結婚できると。しかしパウロは賛成していない。操を通せ。主の愛とパウロの戒かどちらか、自らに問いかける。七人の夫が死んだ女がいる。

主は言う。来る世、神の御使いのようになる。自由。つまり結婚という契約はなくなり束縛から離れ生きるのだ。これは大きいよ。中国は明の時代の冊封体制のように周りの国と朝貢外交を目指していると新聞にあつた。これを日本はどうとらえるべきか。アメリカから中国に乗り換えるだけ。そうだろうか、アメリカの呪縛はかなりきついものがあると最近知つたのである。やはりアメリカ

追従が外交の第一線にあるみたいだ。仕方ないなあ。国体、愛国と叫ぶものほどアメリカに下卑た笑いを向けるのはなぜだろう。もしかしたら腹の中で「この野郎」と思っているからかもしれない。でも媚びることに酔いしれているようにも見えるなあ。安倍さんよ。私は作品を発表させて頂くことにより共感してくれる人、それだけを求めていた。また優しいたくさんの友人、隣人をもとめて書きものを著しています。

神はイエスの十字架上の死を含め基本的に犠牲は嫌いである。悦びのため、そして重ねて歓喜のため福音を受け止めてほしい。泣いたペテロを神はすでに認めておられ、その感謝にペテロは各地に福音を知らせ殉教したのである。AI（人工知能）。雇用が奪われると言う。カーツラ

イルという人がそして訪れる不老不死の世界に言及している。食欲はなくてもよいが皮膚の触感を残しておきたいと言う。つまり性欲だけは残しておきたい。個

人の願望であろう。私は清らかな愛なんて言う鼻で笑うやつもたくさんいるだろうと勝手に憶測する。オルガスムス、エクスタシーを超える美しい快感はないものか。欲望を打ち消したところに生まれる静かな法悦だけが恒常的に永遠に続く、そしてすべてに自由な境涯が答えであると、ここに断定したい。「中国の経済について」講演会に行くか迷った。知識欲は興奮を生み出し自己執着となる。しかし私はどうしても知りたい。それは私の書くものになるべく真実に近いものから働きかけられたものであると保証されたいからである。これは真摯に思うものである。講演会へ行った。結果、アメリカには誰も逆らえない。これが真実である。北朝鮮が今のまま少しおとなしくしているのが、日本にも中国にもアメリカの国益にもなる。特に日本としては大コリアの出現は安全保障において反日が変わらなければ発達した脅威になる。外交においては複雑な方程式を解くことが必要だと締めくくっていた。姦淫した女を罰しないのかとパリスイ人に責められたイエス。ヨハネ8、15、あなた方は肉によつて人を裁くが私は裁かない。16しかしもし私が裁くとすれば、私の裁きは正しい。なぜなら私は一人ではなく私を使わされた方が私と一緒にだからである。そして互いに明かしあう。

男女は半々に生まれくる。ということとは愛する人は一人必ず見つかるということだ。この神の摂理、仏の計らい。よき伴侶が見つかるよう、それを糧として明日へ進まなければならぬ。善き人々よ。本当に愛すべき人を見つけよ。貧しくてもいいではないか二人でいると割とあつたかいぜ。

宗教とは人を結びつけるものだが事実は真理へ向かうみちで見解によって平静に、友情もすて別れを認めねばならぬものなのか。真実、絶対善を見出すとはそれほど峻烈なことなのだろう。エホバの証人、ただ一言「私は神、隣人を愛したいだけです」と答えれば良かったのに。

母は私と真由子さんが医者と患者の立場、一線は超えないと約束したと今、語った。母のどこにそんなことを彼女に誓わせる権利と資格がある。患者の母親だからか。私が母に求めたのは、なぜ私と喧嘩になるのか相談してこいということだった。真由子さんは愛を訴える私と、それを阻む母との板ばさみになり苦しかったのではないか。母が憎い。まずくて気持ち悪い5分で完成する味噌汁。この溺愛、まるで俺を自分の疑似亭主にしているのではないか。本当に気色悪いぜ。

ヘリコプターの操縦士になりたいと思った。少しコンプレックスとジェラシーを感じた。その後、子犬の頭をなでる知的障害者を見た。なにかに究極の選択を

迫られるなら、私は真由子さんの愛より無垢なソチの命を選ぶだろう。やはり私は神だ。仕方がないみたいだ。そしてその日、ヘリコプターの墜落事故があった。この因縁はやはりその職種は危険でサタンの餌食になりやすいということだったのか。亡くなった方の御冥福を祈る。涙もこぼさず南無阿弥陀仏と念仏するより、泣きながら南無妙法蓮華経と唱題することが本当。

私の祖母は厳しかった。でも決して悪人ではなかった。むしろ修身の手本のような人だった。彼女のおかげで今の私がある。吉良仁吉、乃木希典、清水次郎長、大石内蔵助。源義経。楠正成。義というものをこの身に叩き込まれた。質素、儉約、低年金で生きているのはすべて祖母が遺してくれた精神的遺産によるものである。私は今、本当に祖母に感謝している。私の中に短気な母に罵声を浴びせかける容赦ない攻撃的な姿と「大根の花」というTVの人情劇に涙する心の機微が解る、優しい祖母の面影が交差する。幼かった妹は恐かった印象しかないというが、銭形平次と裏番組とでチャンネル権を争ったが、私は誇り高い祖母が嫌いではなかった。西郷さんにはなれなかったけど神様になった。これで満足してくれ、祖母ちゃん。そして妹に「かわいらしいわ」と独特な言い回しで頭をなでながら微笑みかけていた、彼女の姿を教えてやりたい。妹は昔臭くて嫌だと言うが

「初恵」という我が家に女の子がはじめて生まれたとの喜びから名付けた祖母。薩摩から未開地樺太へと赴任した電気技師の夫との別れ。極寒の地。住まいは満足な防寒装備もない小屋みたいなものだったろう、遠地への出張。いつ帰るかわからない夫を只一人待つ新妻。そこには義が持つ残酷な側面と、富国強兵、和魂洋才、急激に高まる近代化への着手、上手く利用される滅私奉公、封建的思想。そのひずみに翻弄される、ひとりの明治の女。泣きつ面をさらしながらも毅然と立とうとする姿。今はただ私の心の中に影のようにぼんやり見える。本当に優しいとはどういうことだろう。祖母ちゃん、あなたの教えは父を通して私たち孫二人に引き継がれましたよ。あなたのように幸せな人生の幕切れを迎えるのはいやしい根性をもっていてはありえませんか。常に正義を希求する心。私からは誰も奪えませんでした。安心してください。またいずれお会いしましょう。孤独と寒さ、お国のため。それに反して任地から逃れた女として鹿児島に帰れなかった、あなたの淋しい気持ち今なら解つてあげられます。喜んでくれますか。義人も成長したでしょう。神という、つまり聖書の神は私だけだが、カミという土着のものはたくさんある。日本でいうカミと聖書の神は全然違うものなのである。私と氏神は相性が本当に悪いのである。律法にあるからと言って残

酷な刑を科す。命を助けることの方が律法を守るより大切である。　　さんざん

悩んだ、獅子の花を打つかどうか。周りの者は付き合いたとかおひねりだとか言っている者もいる。無神論者みたいでもある。私の悩みが理解できない。花を打たないことは祖父、父、いやそれ以前からの土着の氏神信仰に対し絶縁状を叩きつけるほどの意味があるのだ。かつてR会の釈迦の立像という本尊を、仏壇の中央に存在した南無妙法蓮華經の曼荼羅本尊の代わりに掲示した私は、後に穴があつたら入りたいくらいに先祖に対し申し訳ないことをしたと思つている。そしていま、この葛藤はなんだ。自然に湧き上がる想い。歴史に対しての背任のような、なにかの呵責による辛い気持ち。悪魔の画策か。私が受けねばならぬ必然的な苦しみのだろう。母は「5千円出しとけよ」と相変わらず安易に切り捨てようとする。しかし私はイエスと同様に祭りには縁が無かった。積極的に喧騒に関われない、そこが辛いところだ。氏神との関係、聖書の神としてどう折り合いをつける。毅然と手を切るか。手を結びなおすか。幕藩体制が終わるとき、懊惱、憤慨した武士たちの気持ち解る。思い入れがなければ、いとも簡単なのだ。私は苦しまなければならぬ。大げさかもしれないが天皇の生前退位が論議されたように。しかし最終的には自分で答えを出さなくてはならない。どうという結果

になろうと私は責任をもつ、なぜ母親の意見だけは胸にとげのように刺さるの  
だろう。ええいうつとうしい。結局人間は楽な方に流されればいい。私は一筆、  
書くことにした。わずかな千円札を角封筒に入れて。「懐寒し、許されたし、健  
康、平和、繁栄を祈っております」きわめて玉虫色の決着ではあるが神事ではな  
く、あくまで獅子という芸能に対しておひねりを打つ。聖書は小声で「そうした  
ら」と言った。私の中の「金が惜しい」という心を見透かしている。しかし私は  
自らの製本によって法施、財施、身施。を行っている。そう考えるところに傲慢  
さがあるのだが。引つ掛かっていたものは、ある友の一言で消え失せた。「ない  
袖は振れない」つまり同意。キリのないことだ。みつともないと何かがけなす。  
相場を気にする、大切なのはお前の心だ。良心が叫ぶ。私は何かを絶ちたいのだ、  
しがらみというか、私自身の神を確かなものにするため。「ただ、人間として小  
さいだけ」か。いや金が一番という評価に一石投じ、貧者の一灯というものを提  
示したいのだろう。何度も言っているがそこには神の評価しかない、愛である。  
メッセージを変えた。「若い衆の皆さん、この世知辛い世の中で本当にありがと  
う。大変だったろう。みんな可愛い嫁さんをもらってくれ、それも因縁だが、独  
り身でも笑っていなさい。来る世では神の御使いになって幸せに暮らせますよ」。

そして獅子には伝統芸能という「コンセンサス(合意)」があった。つまり氏神に付随した芸事なのである。花を打つことは我が神に対しての違反ではない。解釈はそれでいい。母が嫁いですぐのことだった。祖母が一枚の写真を母に見せた。父が入浴剤のセールスで長野に訪れているとき知り合い、結婚を祖父母に反対され断念したいきさつのある女性だった。「なぜこんなことを」母は父の前で写真を細かく千切った。私にはその祖母の行為の意味と理由が痛いほど解った。祖母は自分の気持ちを理解してもらいたかったのである。そして母に人というもの、の悲しみを知った大人の女性として思いやりを持ってほしかったのでしよう。祖父が二つのことを母にふと漏らしたことがあるという。一つは大阪、釜ヶ崎にいた頃、著名な社会主義者と交流があったというものだ。詳しくは言わなかったが活動家めいたこともしていたらしいのだ。警察に引っ張られたこともあったのだろうか、二度とその話はしなかったそうだ。そして最初の結婚。死別。祖父は母に一言「かわいそうだった」と背を向けた。ここに祖母の気持ちか推察できる。母にはとても理解できる事柄ではなかった。いまでも祖母のその行為の意味は解らないという。万事その調子だったのだろうか。サザエさんである。だが母が悪いということではない。祖母の峻烈な教育が潔癖で真つ直ぐな母に合

っていたらどうか。結果は今も出ていない。

ある男が私の先の手紙の件に対

してケチをつけた。実をいうと私の底にある気持ちは、亡くなった特攻隊員のた  
め金襴緞子の帯を締めた花嫁人形を靖国だつたらうか、奉納し続けた人がおら  
れ、その心情に共鳴したのである。男は特攻隊員の戦死も自動車事故死も病死も  
殺人も皆一緒だといった。真宗。もしくはは無神論の発想である。憤りに涙が出そ  
うになった。「この人たちはかわいそうに悪魔に心を売り渡したのだ」帰宅した。  
彼らの心を如実に知った。無神論者とは付き合えない。私は一般の死んだ人に対  
し弔意を抱かないわけではない。ただ片道燃料で敵艦に突っ込みに行く年端も  
いかに若者たち。そんな彼らの心情に想いを馳せることができないのか。我々、  
失言、冗談で済まされる年齢ではない。冷血漢である。私自身への屈辱ならよい。  
戦死した特攻隊員に対し、あまりにも侮辱したものである。そんな折、ある宗教  
団体に所属している女にその話をした。女は「男がそういう考えをもっているの  
だから仕方がない。カッかくるお前の方が、仏の眼からいっておかしい」と不機  
嫌に言った。こういう人はうんざりするほどたくさんいる。私は帰宅してから彼  
女にショートメールを送っていた。「怒らないことが良いことではない。息子ラ  
フラが嘘をサンガの中で触れ回った時、釈尊は彼の前で、足を洗った洗面器を蹴

り（汝もやがては皆にそう扱われるのだ）と諫められた。人は真剣で誠実で真つ直ぐであればあるほど正義の憤りは尽きない。そして火に油を注ぐような否定的な言動は慎まなければならぬ。サトリとは自覚にある。そしてやはり言葉にしないと伝わらない。姿、様相は自然と示現するものである。だからわたしの実相はいかなるときも最善である。核、仏性はぶれない。私の中の神が憤っているのである。私は神である。あなた方が判断するのではない。私が裁くのだ。高くなるものは低くされ、低くされるものは高くされる。」私が聞きたかったのは彼女自身の気持ちなのである。カレーハウスの店長の林さんに賛辞を送って

いた。「林さんのバランス感覚は本当に素晴らしい。全幅の信頼をもつことが出来ず。少し心配性に見えるのは管理者なら必然ですね。ありがとう。林さんの想いが伝わってきます。私も周りの雰囲気、空間が温かく爽やかなものになるよう。それだけを心掛けています。感謝しています。私こそ人を傷つけないかビクビクしている小心者ですが、林さんという聡明な女性のもと存在できること本当に嬉しいです。またよろしく、です。優しいのは取り柄でもあり弱点かも。否定はしません。一応、神ですから。」

悟ろう、仏になろうといういろいろ努力をする。怒り、貪り、愚かさから抜け、渴愛

を滅し執着より離れようとする。しかし人として大切なのはそんな自己鍛錬のようなことより思いやりを持って人々の心情へ思いをはせることである。そうすることが仏を意識せずともサトリというものに近づくことになる。智慧と慈悲の両輪である。自覚した暁には、自然に善き関係をすべてのものと繋げることが出来る。それはもしかしたら無様な格好なのかもしれない。だがきつと誰かを愛でもって支えているからにちがいない。そして、「仏になどならなくてもいいのでは」と思った時こそ、本当の真理は見つかるのである。結局大差ない。皆一緒50歩100歩ということだ。「驕慢、傲慢は一番よくないよ」、最後に各教団の幹部さんたちへ一言申し上げました。

獅子舞の件、若い連中、笛を吹く少年少女。私の措置は正しかったのかと自問自答を獅子が舞わされている間、尻尾を見ながらずっとし続けていた。人間よ、正しき信仰をもて。絶対に滅びに至るな。何度も言うが罪を憎んで人は憎まず。今一度、胸に刻んだ。一番をめぐすというのは小さいころから下品だと思っていた。いつの間にか忘れ、独り歩きしだしひとを傷つけた。そして再び気づいた。下品だと。

中山さんへ、新聞社の報道センターに神についてのレエジユメをファックスで

送りました。しかし私は必要のないことだと思いました。つまり目に見えない世界で敬愛と信頼を既に受けている神なら、あえて人間義人が名誉欲にかられ悶々とするのはばかばかしいことだとやっとなづいたのです。神は芸能人ではない。いきさつから私の自由、平和をうばわれてしまったてはそれこそ元も子もない。私はただ製本において神の国の奥義を説くだけです。その因縁から何か良きものが生まれるといいのですが。

「林さんへ、サービス精神。人を楽しくしたい、優しくかわりたい、結果的に傷つけてしまう。私は神に委ねました。あえて答えが見えなくても、私への好意は消えませんか。神の進む道。答えを目的にしては自由な発想、展開はありません。答えに縛られるのも変です。遊び人の常套句みたいですが、案外リンクしているのかもと思う、最近です。理屈が好きなのです。何故答えなどいらぬか。安らぎに向かうのに邪魔になるからです。一瞬、瞬間に人を大事にしたいと思えます。神ですからね。(笑)」

林さん、不審なメールを何本も送ってしまった。なにぶん障害者なもので。逃げるわけではないのですが今日も何かと疲れ果てています。そんな感じです。ありがとうございます。さすが林さんですね。違う一番。林さんの気配りと大局に立ち俯瞰し分析される能力には一目置きます。また尾崎豊を

知ってやってくださいね。いいやつだから。話すと止まらなくなる。いつもしんどいとき支え棒のように一声かけて下さりありがとう。本当は傷つきやすいちっぽけなやつです。また。唐突です。私はやはり恋愛関係妄想だと思うのです。大概の女性に対し好意めいたものを持ち、また相手にも敵意は無いなと思うのです。多情かなあ。やっぱ多情だ。何か変なメールでごめんなさい。特別枠はちゃんとあります。真由子さんは未だそこから去りませんが、林さんはじめ隣人の皆様方に恵まれ苦しみが霧消したのを感じます。皆、答えを出そうとする。哀しいけどね。愛情と友情の境界線を自分らしく神によって歩んでいくだけです。でももう孤独ではない。林さんがいる。ありがとう。ハートのいい二人です。そして相手の心が解る。まずそれが正解。ありがとう。ありがとう。明日もよろしく。林さんが嫌でなくて真由子さんが離婚しなかつたら八十歳くらいで結婚するのはどうですか。完全に役には立たなくなっているだろうけど。(笑) なぜかハートマーク付けやすくなりました。正直に生きるって楽ですね。多情な男より。ありがとうございました。また明日よろしくお願い申し上げます。ハートマーク10個。あなたしかいないからあなたしかいないと思ってしまうのでしょうか。それが縁か。敷居も高ければいいというものではないですよ

ね。本物はどこでも本物。ごめんなさい。真知子ではなく真由子さんです。林さんに送ったメールです。一般的医療従事者は携帯番号などを教えないということです。就労施設の責任者、貴重品、林さんです。くだいようで、どうでもいいことですけど真由子さんです。あしからず。え、わざと。林さん今日もありがとうございます。これに懲りずまたお願い申し上げます。いつまでもカッコよくて素敵な林さんでいて下さい。心より思います。風邪、たいしたことのないよう祈っています。大事な体ですものね。またね。」

母親が凌辱されれば息子は侮辱される。息子が恋に生きても母親は侮辱されない。ここをきちんと押さえねばなるまい。プロ野球。多分ベンチを温めているやつはチャンスが回ってくるようにとプレーしている選手が三振、もしくはケガ、病気になってくれることを望んでいるのが本心ではないか。私は嫌である、そんな世界が。だが地獄、修羅の弱肉強食の世界がどうしても好きだと言う人が沢山いるのだ。観戦する人たちは憂さ晴らし。フィールドにいる選手たちに浴びせるヘイトスピーチ。子供に見せるものではない。いやむしろスポーツは子供だから喜んで応援できるのか。憧れか、無残なものだ。人は楽で少し金がある。そして優しく。これが嬉しく愉しく生きて行く基本である。それを捻じ曲げようとする鬼のよう

な親たち。横暴な洗脳が生まれるのである。

ローマ人への手紙3章10

節、から思うこと。「義人はひとりもない」。律法を守るだけでよろしいとして罪人の自覚がない人達がいる、すべてのものが罪人なのだ。その後イエスにより神の義が明かされた。それはイエスキリストを信じることで義であり、人々に神の義が与えられる。人が義とできるのは律法ではなく信仰によるのである。つまり形式的法令順守ではなく魂が大切なのである。繰り返す、神の義とは罪人である人々がイエスキリストを信仰することにより、彼の名(愛)によつて与えられるものなのである。自分の行いを誇つてはいけない。日蓮は仏でなくても

仏であってもどちらでもいいような気がする。しかし仏でないと日蓮の教えは信ずるに値せずと言う人もいる。南無妙法蓮華経が絶対とされるためには仏であると断言することが大切なかなあ。父は生きるということの不条理を

痛烈に批判して死んでいった。母はおのれのことを考えていた。そのモチベーションになるのは子育てである。それが殺し合いの弁明であつた、ある人が母に同調して欲しかったのだろう。(あんたも子供がかわいいのだろう)良心の痛みに慰めが欲しいのか。母親という宿命の哀しさ。(被害者のように泣き、言い訳みたいな涙が海にかえるまで)ある曲の一節が胸に響く。ただ原罪に対するときは

無垢な愛つまりイエスを信じることでもたらされる愛(アガペー)しか救われる道はない。それは「善なる人による隣人愛」南無妙法蓮華経へと繋がって行くのである。中山さん、いつでも、今の年齢がベストだと思うといいですよ。

林さん、い

ささか、また羽目を外し、だべりすぎました。お許しください。林さんはどんな器がでかくなりますね。アスリート経験者の方がサトリは早いのかも。中途半端にしゃべると真意が伝わらず誤解されてしまいます。今日は申し訳なく十分に演説させていただきました。今更ながらに林さんは良き人だと思いません。気が張らず正直でいられる空間、仲間たち、本当にありがとうございます。それ以上の言葉は見つかりません。重ねてありがとうございます。誰かと狭い空間にいたとしても、独房に一人いるとしても、大勢の価値観の違う思いやりのない人の中にいるよりは孤独を感じないだろう。ある男がグループホームへの入居を迫られている。自由がなくなるが、何人かで住むので寂しさからは逃れられると言う。重度の障害者なので管理される運命にある。だが傷つきやすい、心ない無残な言葉に弄されている。つまり悪魔にもてあそばれている。彼にはホームか病院を選ぶしか選択肢はないと思われる。悲しいかな。彼に欠けているのは仕事、お金であ

る。この世での貢献と存在価値がある、それを仕事人と呼ぶなら、待て、ある施設の幹部職員の女が言った。誰かの世話になる必要がある、ひとりで生きていけない。それを障害者と呼ぶ。侮辱、差別的発言である。人間みんながそうであるように、人はひとりでは生きていけない。尾崎がうたう。(ごらんしたたる涙のその意味と理由を。人がひとりで生きられない悲しみなのに)女よ、もう静かにしてくれないか。よく解ったから。実は彼もこの女をよく知っている。差別主義者は最もはいけけない所にいるのだ。これが事実。生きている証明が仕事である。それでいい。

私が社会主義を好きなように見えるが、私は分かち合い、譲り合い助け合う。そんな世界を求めているだけである。人を貶めたり、いじめたり、からかったりする悪口でなく、神、日蓮と同じ、裁きの批判はあるだろう。俺は真宗門

徒を憎む心があった。が、それは違っていた。憎むべきものは時代と悪魔である。救いを彼らにどう与えられるかだ。かつては私も地獄へ落ちる身であった。本物の南無妙法蓮華経の唱題により救われた。

真宗を信じる民に罪はない。だが因縁を引きずっている。私が念仏を批判するとは正しい。門徒の中で本当の意味での念仏を理解し信心をもつものは少ない。それが皮肉にも安易に念仏を唱える素地を作ること繋がつた。念仏の恐ろしさを理解していないのだ。心に悪魔を住まわせることになる。その性質から家の宗派が浄土系であるものたちは世俗の富にはしる。つまりモノを欲しがらる傾向があり仏法の真理を求めるといふ姿勢をたもつものは少ないみたいだ。呉

服屋のスミさんは自分の先祖のことをぼろカスにいう。だが正義を希求しているという真実がある。これは日蓮のころではないか。その正直な心が人を引き付けるのである。自らの悪を表白し、その批判の矛先は父親まで及ぶ。それが日

蓮の四箇格言に通じる。吟味し善きものは良い、悪いものは悪いと明らかにしないといけないのは当然である。 R 会、法華經の功德により元氣な老婆もい

る、人間的に問題があっても。

民主主義とはある意味で無秩序であることが

トランプの出現でわかる。神は無秩序ではなく平和の神である。啓示を受けた預言者の身にはよく解る。さあ語り合おうじゃないか、真実を知ったもの達よ。

聖書が真由子さんは子供のために生きる。私に成長せよという。真由子さんから離れ神の道をひたすら歩めと。つまり独身を通せ。そして時がみちたときひとり女性が現れると予言している。真由子さんは子供に全力で愛を注いでいると聖書は示した。 命の重さ。テロリストたちが一番命の重みを知っているのか

もしれない。だから自爆テロが神への価値ある忠誠だと思っているのだろう。だが世俗の見方から言えば彼らの肉体的命は軽く扱われている。彼らの念頭には地獄のようなこの世と違う、魂が永遠に生きる幸せな天国の存在がある。 洗

脳、資本主義も力ネへの忠誠をちかわされるマインドコントロールと言えないか。また組織、団体への帰属意識と、そこから離脱することへの恐怖心がある。

群れから離れば死が待っているという掟である。

ローマ人への手紙11章、

32、すなわち神はすべての人をあわれむために、全ての人を不従順の中に閉じ

込められたのである。33、ああ深いかな、神の知恵と知識の富は、そのさばきは窮めがたく、その道は測りがたい。34「だれが主の心を知っていたか」誰が主の計画を預かったのか。35また誰がまず主に与えて、その報いを受けるだろう。36、万物は神から出でて、神によつてなり、神に帰するのである。栄光がとこしえに神にあるようにアーメン。つまり靈云々よりも仏性が神から出でたものであるというニューアンスを受ける。仏性 $\equiv$ 靈と考察しても当然ではないだろうか。靈的存在として生き続けるということは、脆弱な肉体のまま生きるより自然で美しく、靈に付随して魂も浄化される、なんらかの世界が待ち受けているような気がするのだが。真宗門徒、真面目で平和を好む人間なら各家の宗派の非難は避けてほしいという。だがすべてに批判はつきものだ。なにも怒鳴り合うということではなく、感情的にならずに、ゆっくり話して解ってもらうしかない。人をだますのは人殺しと同じ。真宗は南無阿弥陀仏で悪を許すこと

だと思つていたが悪のまま極楽へ行くものだぞうだ。煩惱にまみれて仏になる。この絶対的矛盾。この意識の齟齬は私のとつて大きかった。戦争に行かなくて済んだ。それだけで人生は儲けもんだ。だが巷では血を見せない争いが転がっている。私は抜けだした。私は安堵し、本当にこの因縁に感謝している。犧

牲にはしる、心の病の人たち、「犠牲は良くない」この一言で患者の数が激減するのは確実である。教育でも犠牲はよくないと伝えなければいけない。そして皆、公益のための話し合いをするべきだ。協議する。自然と促された行為を犠牲と銘打つ人たちは得てして自分の利と名誉を考えているものだ。素直に人に尽くすことは自らの幸福の枠内でなければいけない。恥ずべきことではない。そうでないから愚痴になるのだ。わたしがつねづね寺山修司の影響を受け母親を殺せと言っているのはもちろん実際に殺してもいいのだが、それは現実には不可能に近い。母親に自分の主体性を閉ざされている。だが社会的にいろいろな

未知なるものへ触手することを余儀なくされるとき、また望むとき、迷惑をかけた覚えもないなら自立するため、精神的に「価値観の違いから、子供の手足を食い散らかす鬼の母親を殺せ」と言っているのである。母親には色々な意味で感謝せよと言う。しかし子供を育てるのは親の義務である。媚を売る必要は毛頭ないのである。殺せ、殺せ、鬼の母親を。仏の母にありがとう。これにて良識ある人間という。良心に痛みのある方ほど実行してほしい。エホバの証人はネクタイを締め正装と呼ぶ。まるで姿はビジネスマンではないか。少し漂う雰囲気は違うが。聖書にある生活の心遣いをなくすとは無礼講、幼児にかえるというこ

とか。私は製本に際し見返りを何も求めていない。無代価であった。ただ単

なる力ネのつながりではなく私が訴える義すなわち命を理解していただきたいのである。命すなわち愛である。白いご飯を食べて少しおかずがつく、それが贅沢。そんな生活がいま私にとってベスト。

人に勝つためとは人を虐げることを目的とするものである。現在、執着でない契約が大切、つまり愛の約束である操はまさに愛の象徴。フリーセックスを目指してはいけない。来る世、

肉欲は滅却した方が幸せになれる。欲のあるうちはそう思えないだろうが。阿弥陀経、「赤い色の花は赤く光っている」。ある宗教思想家が言った。「そのま

んま。引きこもりの人もそれが実相なら苦しみ死ぬしかない」。なにこれ。苦しみから救うのが仏教だ。そして「苦しみを無くそうとするから辛いのだ。」完全

なる詭弁である。南無妙法蓮華経。諸法の実相とはその人の心の内底を浄化する

ため久遠の本仏に委ねることで見えてくる。そして功德は頂戴できる。生活保護でも障害年金でも孤独に打ち勝ちさえすれば人への依存、迎合から離れて心が

軽くなり毅然とコンビ二弁当を買って引きこまれる。それが功德かも知れない。親の思惑など「糞喰らへ」と言ってそしらぬふりでいい。ドンキホーテとして六

畳一間で世間に向き合うのだ。その時、君は光に包まれ天使たちによってパラダ

イスに迎えられるだろう。誇り高く心優しき者たちよ。人を恨みさえしなければ確実に來たる世、幸福になれるのだ。「フランダースの犬」のネロとパトラッシュのようにね。生殖以外のセックスはやはり互いの情欲の交換であり醜い。神

の許しの出るささやかな自慰行為は許されるだろう。性感は神の領域だからである。だが私は自然と肉欲が減していくのを感じる。自由と平和は両立しな

ければならない当然である。

私の家の宗派は法華宗であるが、昔から私は日

蓮上人を重要視してこなかった。その好戦的スタイルが寛容な仏の道というものと結びつかなかつたのだ。ひたすら釈尊(仏陀)の教えを求め続けていた。一度目の入院、母は信心していた日蓮宗のお寺の仲間と一緒に、佐渡へ苦しみの渦中、年老いたお寺の奥さんに促され参拝へと向かった。そして日蓮が塚原の三昧堂でいつ殺されてもおおかしくない中、飢えと寒さに耐えながら入り込む雪を釈尊からの真綿だと押し抱き、やがて法華経の功德により成仏できると嬉し涙を流したと聞いて、突如、母は慟哭し涙があふれ出した。寺のお上人は「先祖が喜んでいなのだ」と言われたそうだが、私はその時、精神科閉鎖病棟の豊部屋にて七転八倒の苦しみにのた打ち回り、己が罪の罰を受けていた。失望のもとに。これは日蓮として私の最初の島流しであった。法難である。母はその過酷な運命に

向き合わなければならぬわれら親子、目に見えない世界が関連し、涙と嗚咽が激しく溢れ出たのだろう。私はまだ自分の因縁を把握していなかった。しかしいま解る。なぜ日蓮には気も留めず釈尊をひたすら恋慕渴仰したのか。それは私が菩薩、日蓮本人であり、本当の仏陀の教えとサトリを得心するのを渴望していたからであろう。やがて法華經の修学、そして南無妙法蓮華經へとたどり着く。詭弁に満ちた念仏はやはり悪なのである。命をかけ政治権力、悪魔に立ち向かった日蓮の姿勢は末法の仏のあり方と言えるのでは。その誇り高い気概が眞の法華經行者の証明に繋がるのである。 神の言葉を人々は肯定するしかない。聞こえないのは自分の行いに責任がある。不従順。なぜ神に責任がないのか。神は善きものを与えるばかりで何も求めていないからである。ただ愛が広がるのを希求しているのだ。パウロが使徒行伝のなかアテネ人に言ったように、神は時代と国土の区分を設けられた。私が初めて発症したときテレビの画面いっぱい明治天皇の写真が立ち代り映り続けるのだ。皇室も聖書の神に繋がっていることをいま振り返り確信するものである。皇女達がキリスト系の大学に進んだこと、

私の姪が明治天皇の設立した医療機関へと就いたこと、これらの因縁は大きな力をもって私に流れ込んでくる。皆、幸福になれ。 先程のR会、老婆。人間

との関係性において常に優位に立とうとする。彼女は大変卑劣であり、組織の上層部に対しては自分が責められぬ間は媚にも近い従順な態度を見せる。だがひとたび矛先が向くと豹変して敵意を見せるのだ。彼女をどこか私は忌避し軽蔑していた。自らを仏の使いと称し市井の人たちを睥睨する。彼女は齡80になろうとするがいたって健康である。仏に愛されていると信じ、清廉潔白と思い込んでいる。私は気づいた。彼女にはストレスがないのである。つまり自分だけが賢く絶対正しい。世の中の人は欲のドブの中につきりこんでいる人殺しどもだ。なるほどそういう見地に立つと彼女の健康体は彼女の持つ独善的なあやふやな仏の法則にのっとりあり得るのだ。

法華經の中、釈尊からの授記がお弟子になされて行く。ではそのことを今、我々はどう捉えれば好い。即ち南無する。久遠の本仏へ委ねる。ままならぬ自分でも南無妙法蓮華經のおかげ様で日蓮上人より正しき一念三千の想いを首にかけられ幸福になる。ある宗教思想家は「幸福にならなくても、仏様はいいと思われているのです。そのまんま、南無阿弥陀仏」。そこには想いが無い。全肯定と銘打った冷酷な薄情さが流れている。宮沢賢治や上杉鷹山、その功績は世の人々に多大なる影響と幸福をもたらした。そうして彼らは他人の苦しむ姿を見るのが自分のこと以上に、本当に辛かったのだと思う。

血の通った人は南無妙法蓮華經の道を行くものだ。鷹山の葬儀には多くの領民、老若男女が、慈父を失ったように泣いたという。そういう生き様に感動するのが南無妙法蓮華經なのです。鷹山の宗派は知らないが彼が言ったとされる「成せばなる何事も成されないので成そうとしないからだ」これを批判する人がいる。努力もしない諦観の薦めである。私は彼の「ただ何があろうと誠意を尽くす」そんな生き方がとても好きである。やはり彼も日蓮を慕っていたのではないだろうか。大將が人を殺戮する戦に向かうのとは違い、家臣、領民を窮乏から救おうとする。その美しい心に神々は微笑みかけたのである。日蓮は取り囲む念仏

の中、題目を唱えることを打ち出す。イエスも言っている。私は平和をもたらしに来たのではない。親子、夫婦が価値観でぶつかる時、絶対真理。本物の神仏の教えを見出すため。永遠と続くいのちを得ることの完遂のため、ありきたりの生活に費やす心遣いは捨てなければならぬ。単に達者が幸せと考えてみる、人間の行いなんてどんなに立派なことを言っても50歩100歩。性格の良し悪しよりも仏をどこまで信じているかで健康を担保されるのではないかと、最近思った。決して悪を肯定するわけではないが悪人云々よりも信仰の方が大切なのでは。つまり健康は欺瞞でも自分の良心の安心とそれに伴う行動から生ま

れるのでは。ある女性の例から語っている。自ら仏の使いと盲信するから、ある意味錯覚だが仏を信じて平安である。人は信仰がないほど厳しくさびしいことはない。南無妙法蓮華経。 「所詮俺は悪人よ」ではなく、罪人でも信仰により自分が世の中において掛け替えがない善人であると腑に落ちた時、救われるのである。だが過剰で浅はかな、自分勝手な内省と自己分析。それと性善説に基づいた他人への否定的な評価。勝手に仏を持ち出し、自己本位な評価を押し付ける強制的態度。結局、人々からの孤立と侮辱を受けることになる。仏界と世間の境界線。悩む者は人格完成という自己執着から解放されることを考えよう。周りの

の人たちの生活をよく理解しよう。偉い人などいないのだ。神のみが善である。誰がいけないというわけでもないが、人は皆わがままである。信仰をもつていても人に褒められることは少ないと心得よ。名誉欲ではなく本当に相手のことを思いやろう。それが仏に向かう一筋の道である。 信心というものは人から教

わるものではない。親鸞はそのことを知っていた。だから「南都へ行け」と関東から命がけて来た人たちを拒否した。自分さえよければいいのか。極めて冷酷な気がする。だがどこか親鸞の態度を否定しきれない、なまくらな私もいる。だが求道してくる民があれば、その機根、理解力に応じて働きかけなければいけない

だろう。氣運が熟していないといけないが。そこには不惜身命がある。悪魔とは怠惰への誘惑である。そして説かないことを慈悲から離れた怠惰と呼ぶなら、やはり親鸞は悪魔だ。日蓮は彼の体中から語りたいたことが湧き出てきた。日蓮は正しく、神である。先ほどのおばあさんの話。では健康体でさえあればいいのか。

それなら僧侶になる必要もないし門徒、会員として信心しなくともよい。現世利益さえ達成され維持されればいいのか。それなら科学を用いるだけでいいではないか。やはり智慧、愛、慈悲、思いやりある人間になることが必要だ。それが仏である。つまり仏教で大事なものは渴愛から生まれるものではなく天から与えられたものへの満足にある。これにて欲より離れ感謝が生まれる。衣、食、住は満たされる。ただ愛だけは持ち続けよう。美しく。人をだますということは人を殺すということだ。心の中で殺すとは人を赦すということだ。真理は愛

である。人生に対し真摯に向き合ったものにもたらされる果報だ。これは損得勘定から生まれるものではない。そうだ愛こそが幸福の源泉なのだ。自分がど

うあるかの方が他人にとってより大事である。能力であろうと経験である

うと己を誇示するのは他人の評価を気にするものであり、他人からすれば全くそれは関係なく無意味なものであり、またチキンレースに臨む者はすべからく

臆病者である。母親の笑顔に接したくないときもある、嫌いなものは母が作

った味噌汁。あの娘が作ったクッキーが欲しい。答えなどなくていい。安ら

ぎの始まりに、生きること。尾崎が歌う。俺が何故お前らの期待に応えなく

てはならない。お前らが俺の期待に応えなければならぬのだ。パリサイ人

（律法学者）のような者、つまり理屈で話す人が多い。だが激しい感情が必要な

こともあるかもしれない。「役に立たない人間だ」と言って本当の役に立

つ人間になりたい。神は時節にあわせて教えを説く。つまりイエスの教えは

形骸化したモーゼの律法より人々の心を解放した。そして福音によって愛の率

先を促し、ゆるぎない義とした。人々は心を縛るより互いに愛し合わなければな

らない。宗教団体は事業と一緒に、カネから離れるわけにはいかない。善

人と悪人を見分ける目安。善人は愛を考えるが悪人は罪のことしか考えない。わ

が母はどうだろうか、疑問符が付いた。私は思った。ただおのが持ち分を果たせ。

聖書を開くとパリサイ人たちがイエスを殺すことが一番良いと話すシーンが出

てきます。規則、法律、である律法を順守すれば天国へ行ける。しかしイエスは

人間の心を大事にします。真由子さんは人の末期に際しての精神医療につ

いては名を連ねておられませんでした。そんな彼女の無垢で純粋な真面目さに

私の信頼はますます深くなつたのです。

私の書きものはカンカンの狂信者

よりも教養として宗教知識の素地がある人に理解されるだろう。

悪がなけ

れば善もないと言う。それでいい。善は当たり前になり愛となり広がる。

私

が何故自慰行為を認めるのか。女犯にはその名のとおり悪感情に結びつくことが大いにあるからだ。自慰行為にあるのは結果、目的は快感のみである。「青空に竹とんぼを飛ばすことを思い描きながら」といった年配者もいた。快感なら、今の世、オルガスムスを超えるものは見当たらない。自然の成り行きなら静かにことを行うのがいいだろう。性愛から離れない快感。複雑な心持だがそれもありとしておこうか。純愛という理想を追い続ける限り悩みは深まる。愛情の居場所

は、静かに、そう静かに念ぜよと、心の中の神がすすめる。限りなく無神論

に近い信仰が浄土教である。阿弥陀に南無するということは阿弥陀がいなくてもいいと言うことである。聖書の神や、久遠実成の本仏と違って阿弥陀にはちゃんとした意味付けがなされてないからである。ただ法蔵比丘はすべてのものを救える身にならないと仏にはならないと言った。いま本願を果たし阿弥陀如来になったからには、どんな悪人でも救って下さる。「念仏を1度唱えればいい」。そして親鸞は「救われるとき、善行みたいいな小賢しいものを自慢するものは計ら

いがあり素直でなく、自然に生きた悪人より始末が悪い」という。浄土教の他力本願の本質とは、「全ての人々は何も考えず無作為に阿弥陀の方から救ってもらえる」というものだ。阿弥陀は愛と慈悲の象徴だと言う。しかし正義を失った西方浄土の仏様である。私は人の善、心を重視する娑婆の仏様、釈迦如来。そして久遠の本仏を信じ支持し、その教えに従うだけである。きわめて横暴のよう

だが私の考えに共鳴されない方は去らねばならないだろう。そこが民主主義と違う神権体制である。

私はかつて幼い日。ある兄弟に「お前の親父はきちがいだ」といじめられた記憶がある。私は母の割烹着の御腹にしがみつき「父ちゃんはきちがいじゃないよね」と泣きじゃくった。母も父も困惑し、かすかに哀しい笑みを浮かべていた。親父は精神疾患か、アルコール依存症かわからない状態で入院していた時期が事実としてあった。ときが経った。実はその兄弟の父親もアルコール依存症で「おばちゃん酒屋をやめてくれよ」と泣きそうに母に懇願していたという。母は父が亡くなり子供二人と老人一人を抱えていた。「おばちゃんとか、食べられなくなるがいね」。みんなそれぞれの生き方を選び成長していく。私が精神疾患を特化し悩みつづけていたら、私は未だに暗い闇の中、もがき続けていなければならなかったろう。醜いすがたをさらし。だが、いま毅然と思

いやりの中、神として、また、差別をもものもしない人間として立ち上がった。理論武装をして。力強く。欲望ではなく真のポジティブな愛をもつ障害者たちよ立ち上げられ、俺についてこい。俺の求道し生きる姿を見よ。 教団、サンガを

分断し分裂をもたらしたものは地獄に落ちると仏典にはある。私はR会をさんざん非難して来た。聖書も私は地獄に落ちる身だと示す。そしてだからこそ南無妙法蓮華經の唱題を勧める。旧友の嫉妬深さ、欲深さをあげつらう悪人が私である。しかし私は正直に、素直に発している。すべてはイエスを信じ南無妙法蓮華經。 日本の場合、災害の少ない場所に生まれる。治安もいい。処女で初夜を

迎えた、母親の先頭男子として生まれる。イエスの処女懐胎は聖霊によるものと聖書には記してある。因縁である。悪徳である自殺とも言える行為を神のために為したイエスキリスト。淑女を娼婦と同じに扱えば烈火のごとく怒るだろう。自殺と好色淫乱ふたつのことは罪なのだ。しかし預言者イエスを信じることによって誰もが救われる。悪を自覚し愛に目覚め心の悪魔を追い出し信仰へと導かれるからだ。自然災害、紛争がある。いわゆる貧病争もある。天地人ではなく、すべての人は例外がなく罰を受けるべき罪人であるということである。すべては罪人だ。神だけが善であり、彼の周囲は平和に満ちている。そう心から思えた

時あなたは本当に救われているだろう。心からイエスを信じ驕慢が去り欲深、嫉妬が去り神を真に尊く思えたときだからである。愛の存在を認識するからだ。□  
—マア人への手紙 13章13節そして、享樂と泥酔(でいすい)淫乱(いんらん)と好色。争いとねたみを捨てて、昼歩くように、つつましく歩こうではないか。  
14節 あなた方は、主イエス。キリストを着なさい。肉の欲を満たすことに心を向けてはならない。病院に勤めていた。人間関係の悪さに問題意識を持っていた。利用者への影響が懸念された。チエックが各部門間に入るのは解るが、互いに責任のなすり合いを繰り返して醜悪であった。私は職員の意識改革を計ろうと身の程も知らず心に誓った。ただ主幹へ上訴するだけでは流動的で一過性のもものとなり継続する平安は訪れないと思った。ただ、今、後悔するのは透明性を確保することをおろそかにしたことだ。私はある作戦を練り、自己犠牲に徹することを選択した。「意識改革の為には彼らの信条を根こそぎ正さなければならぬ、勤勉、清廉なものへ、」そう想い突っ走った。当時、寡黙な皮膚の色素が欠如するという個性をもった美しい看護助手の女の子がいた。おばあちゃんのお口をブチュとキスする若い看護婦さんもいた。本当に可愛かったのだらう。闇の部分が多い場所だったけど、彼女たちの幸福を信じおこがましくも守り

たかつた。彼女たちの前でおどけていた、馬鹿な若い俺がいる。傷つけたのではないかと今も心苦しい。実は当時欲望を意識していた私は本当に汚かつたのだろうか。怠惰、貪欲、ねたみ、計算、好色、弱い者いじめそれらを追放したかつた。正義感。そこには多分、本当に曇りはなかつたと思う。今、何度も言う。犠牲はいけない。けがれた我欲と表裏だからである。万機公論に決すべし。ひろく深く、勇気をもつて利他の精神で己の愛を言葉で発することが大切である。権力が必要だとこぶしを握るとき、目に見えない世界に愛は確実に存在することを忘れないでほしい。強い気持ちで祈り、前を見よ。対象から目をそらすな。た

だ悲しいが、人は何かの変化の誘因を得る時その基底からひとつの恐怖が漂わねばならないときがある。それは私には怠惰で不実な彼らを後ろから蹴り上げる、もしくは彼らの首に手をかけるようなものだったのかもしれない。真の意識改革ではなく、彼らの単なる恐怖から生まれ、わざと演じられる部分が表出されただけのものであつたとしたなら哀しいことで残念だ。しかし先人に感化され真心からの愛が大ムーブメントとして醸造し継続されていくことを、かなり過去に存在した私は心から祈りたい。

皆が必要としなければ私は神として認識されないのであろう。それでいい。静かに死ぬのも悪くないが、少し夢がない

ような氣もする。取り敢えず、人を傷つけない、いい人たちだけがいる威圧のない世界に旅立てればと思う。目に見えない世界を信ぜよ。天に名をしるされていることを喜びなさい。つまり心を美しく神と感応させなさい。この世の力ネ、名誉という価値観。俗界で目立ち、栄光を掴んだりすることを捨て、ただひたすら愛を抱き、思いやりある、温かく、ひとを傷つけない人をめざしなさい。また傷つけられても笑顔で返せる人になりなさい、そんな人たちは互いを傷つけ合うこと無く永遠のいのちを生きることにあります。この世はすべて仮のもの。神仏の世界だけが本当、真実のもの、聖徳太子は毅然と言い放つ。日蓮の名を唱え奉るといふ。南無妙法蓮華經の曼荼羅から伝わって来たのは神である日蓮からのパワーであった。つまり御名(宝号)南無妙法蓮華經。ここでも精神医療で言う。させられ体験があった。自らが自らへパワーを送っているのだ。赦しを与えられるのは神だけ罪障消滅 南無妙法蓮華經 念仏、罪悪感が消えるだけ罪は消えない。

世界のためなら母親、我が子も殺す。子猫一匹のために世界中敵に回す。どちらも神である。　　学生時代から、一番を取りたい奴は世間でも地位、カネを目指す。愉しくやりたい奴はただ楽しく生きていく。それだけのこと。自分らしく生きる。それだけ。　　アメリカは世界の警察を標榜していた。ということが一番、

法を順守しなければならぬ立場にあつたのではないのか。国際的な法、秩序、条約を脅かしてきたのはアメリカである。国連の力でも勿論、抑えることはできない。　　世の中の災禍はすべて欲望から始まっています。悪魔に仕組まれているのです。欲望が想いに変節した日。本当の自由、愛、平和があるのです。　　神

は計算が苦手でした。ただ周りに自分より優れたものを集めるのである。　　ただ神

よりほかに善き者はいない。事実である。　　差別は良くない、無くせ。だが差

別はある。　　結局、真由子さんが、私が神、イエスであるのを受け入れるかど

うかで恋の行方は決まると聖書は言う。真由子さんが生活の心遣いから離れ、つまり観念上でもいいからすべて生活に関わる一切を捨てる。そして私と心を一緒にする。幸福はそこにしかないでしょう。財産のある人が神の国に入るのは「ラクダが針の穴を通るより難しい」。カネ、名誉、財産、特技、頑健、度胸に依拠するものはそれを維持するのに悩み続け重荷となる。誰も捨てることがで

きない。この世の価値観から抜け、離れることは難しい。しかし悲しみ、喪失、人の痛みに分かる人は容易に捨てるのである。そして真由子さんは選ばれた、神の伴侶となる偉業を成し遂げられる女性かも知れないのです。日蓮は言う。

う。念仏をすてよ、とじよ、さしおけ、なげうて。自爆テロ。自分は天国へ

行くと信じている。だが周りの人を殺傷した罪は消えない。押し付けられた宗教

上の見解がそこにはあると思う。逃れられない彼ら、若者、心が痛む。善人

とはそう思っている者、義人とは神を愛している者。律法を変えればいい。

俺は神だ。正解、不正解の境界線は俺が引く。神にもイエスにも救えない苦

しさ(罪)はあるか。ヨハネによる福音書10章11節「善き羊の為に命を

捨てる」。イエスの死は破滅の表れではない。そこを外れるなと誰かが尻を叩く。

神か、悪魔か。安らぎから離れさせるものなら憎みたくなるが、使命を感じる。

弱さの内に神が完全に現れる。弱さを誇りましょう。キリストの力が満ちてく

る。日蓮の一途、真面目さは渴愛とは違うだろうか。彼は執着から離れてい

るか。彼の中に神がいる。神がいなければ善悪の判別はつかない。彼の善なる性

向が政治への訴えと進ませた。

私はコミュニティーを含め国の恩を痛いほど感じるようになった。微力でも

何か恩返しをしたい。弱い人に対する国の思いやりはある。しかし国難というべき戦争。愚かな為政者による災いもある。皆が幸せになるように祈り続けます。

母親は私の母親に生まれたおかげで地獄に落ちずにいる。その有り難さも解らない。周りの人は私の炊事洗濯をやってくれる大切な人だと思っっているだろう。実際は私の身の回りの世話をやくことで罪の罰を受けずにいるのである。彼女がそこに気づいたとき私への否定的な発言、侮辱がなくなり、私は解放されるだろう。ヨハネによる福音書8章48、49、50、51節 ユダヤ人たちはイエスに答えて言った。「あなたはサマリア人で。悪霊に取りつかれていると。私たちが言うのは当然ではないか」。イエスは言われた。「私は悪霊に取りつかれているのではなくて、私の父を重んじているのだが、あなた方は私を軽んじている。私は自分の栄光を求めてはいない。それを求めるかたが別にある。その方は、またさばくかたである。よくよく言っておく。もしひとが私の言葉をまもるならば、そのひとはいつまでも死を見ることがないであろう。」 56、57、5

8. あなた方の父アブラハムは、私のこの日を見ようとして楽しんでいました。そしてそれを見て喜んだ。そこでユダヤ人たちはイエスに対し、「あなたはまだ五十にもならないのに、アブラハムを見たのか」。イエスはかれらに、「よくよくあ

なた方に言っておく。アブラハムが生まれる前から私は、いるのである」。このことは法華經の釈尊が生まれる以前から法として存在すると言う久遠実成の本仏と同じニユアンスが見える。イエス、つまり神の摂理はアブラハムがいたずっと以前から存在したのだ。　　身体を鍛える人はけしてストイック（禁欲的）ではない。筋力をつけ、人に対しての威嚇、誇示するためのものだからだ。そして

他人をけなし評価を得ようとする人もいる。生きる人の真面目なストイックとは生命維持のための欲望だけで生活することである。　　実は偉い坊主ほど偉

くない。一休宗純を見れば解るではないか。ある人たちにとってはいろいろな世間の制約から解放されたモデルになったのかも知れないが、実は最低の人間なのかもと思う。　　人は罪を犯すものであり、そして罪を犯した人間を救うことが大事で、それはイエスを信じることである。姦淫した女は救ってくれたイエスを深く愛すだろう。それが神の国へ、永遠のいのちへ向かう姿勢なのである。

なぜか世俗的な西洋型科学万能主義とイスラム型宗教原理主義との衝突が中東の諸問題を招いているように受ける、また新聞を読んでいる限りではスンニ派とシーア派の正統性争いが表面上は見える。が、アラビア錬金術から生まれた化学。これがアラビア、イスラム世界から発展してきたことはイスラム教と科学

が結びつかないわけはないことを示している。問題は自由という言葉の持つ深い意味である。契りを結んだ夫婦も姦淫の果てに別れる、泥酔する、カネの分配もせず貧困者への無関心を装う、そして白人による人種差別の匂い。神から離れた自由の往来。そんなものへ怒り、恨みみたいなものがるつぼのようにはうずまいている。実はアメリカと仲が悪いイランの映画には素晴らしいものがたくさんある。諸悪の根源、自分だけ好ければという飢えた欲望。この大きな怪物の処理は、各個人、神を大切に心に抱くしか解決の様相は呈しないだろう。親鸞は

善行を人の計らいとして、計らないこと、つまり悪人がまず極楽へ行くとした。人殺し、盗人がまず好い思いをするわけだ。真の信仰はひとの計らいでするものである。善を希求する心と神仏との感応である。どんなときも神仏を信じ祈り、隣人を大切にす。それが幸せに繋がるみちである。人と心が善によって繋がらなければ幸せはない。すなわち南無妙法蓮華経。大同小異。何が大で何が小であるか、それをどう決めるかだ。R会は都合のいいようにごじつけている。

しまった。犠牲を書いてしまった。真由子さんの愛よりソチの命を救うと。選択には答えられないこれが正解である。どちらもかけがえないものだからです。カネが善くないのは計算するからだ。計算は裏の読み合いに繋がりが温か

いい心を無くす。ただ素直に愛し合うとき強者の大金は邪魔になる。家業の酒

屋を終わらせたのは天の意志である。托鉢の意味。罪を犯させないこと。需

要、供給、雑然から来る、貪欲、物惜しみなどの悪感情。そこから離れさせてあげるために布施を受ける。そして教えを説く、それが自由(サトリ)への道。托鉢で得たものは生命を維持するだけの飲食でなければいけない。布施する者も考えなければならぬ。布施されるものは断れないからだ。食、呼吸だけは無余涅槃、般涅槃に入らねば離れることが出来ない。肉体的生命への繋がりだからである。釈尊は毒ゴケを供養したチユンダを「責めてはいけない、彼は私を本物の自由にするのだ。大きな功德がある」とかばった。「私はこれで本当に自由になれる」釈尊(仏陀)は永遠に久遠実成の本仏と一体になった。

かつて「真由子先生に捧ぐ」の冒頭で紹介した詩をもう一度復唱したいと思います。

アメリカに存在する安宿の帳面に記されたもので祝福のうたと言います。

強くなりたくて、力を求めたのに、優しくなれるように弱さを授かった

幸福になろうと富を求めたのに、賢くなるように失うことからの自由(貧困)を

授かった

求めたものはひとつとしてこの手に入らなかったけど心の奥の本当の願いに目を覚ました

みんなにほめられたくて成功を求めていたのに悲しみがわかるように失敗を授かった

人生を楽しようとあれこれ求めていたのにすべてを喜ぶように心を授かった

言葉にならない思いの中で確かに感じられたこと

私はあらゆる人の中で祝福されていた

求めたものは、ひとつとして、この手に入らなかったけど心の願いに気づいたとき

祝福されていた

言葉にならない思いの中で確かに感じられたこと、私は、あらゆる人の中で祝福されていた

共感して下さるひとがたくさんいればいいなあ。

衣食住に関わる態度でその人の本質が解る。「衣、食、物は天から与えられた労働の後の付属物である」と内村鑑三は言っている。イエスの矛盾を突き、陥

れようとたくらむ勢力。イエスは残酷な石打の刑に処せられそうな姦淫した女に対し聴衆の前、大上段に、「今回は仕方ないお前の罪は定めない」とは言っていない。「あなたの罪を罰する者はいなかったのか」とみんなの心理を問うたのである。ただ女の命を救いたかったイエスは「みだらな気持ちをもったものは最早姦淫しているのだ」とハードルを上げ、地面に何かを描き続ける。そして人々の寛容。善意に期待し祈るのである。なおも地面にかきものをするイエス。集まっていた人間の中、人生、酸いも甘いも辛いも知った年寄りから一人去り、二人去る。イエスは裸同然の格好で、恥ずかしさと怖さで震えている女を辱めたりはしない。「私もあなたの罪を定め罰することはしない」と優しく言います。女は本当に好きであった相手と無理やり離された境遇にあったのかもしれない。女も財産の一部とされていた時代である。カネと権力がまかり通っていた時代。愛はむしろ姦淫した女にあったかもしれない。イエスはそこまで見とおしていたのだ。パウロも罪の贖いのためイエスの名を広めようとした。しかし迫害した罪は深くイエスの名により殉教した。工ホバの証人の山口さんはイエス

が十字架の死において贖罪をなしたのに、まだ世の中には罪が残っているのは何故かという問いに「それはイエスを信じるかどうかです」と答えた。それは工ホバの証人の会衆になり信仰をもつということだろう。そして私は発見した。イエスは未来永劫にわたって罪を犯さずにはおれない人々の分まで、十字架を背負いよろめきながらもしつかりと前を見据えときには目を伏せながら歩き、贖罪のため高架で死んでくれたのである。そして復活によりイエスを信じるものは罪悪感からくる、良心の痛みの苦しみからも取り払われ、善き仲間たちと永遠のいのち、神の国を自覚することになる。イエスを信じる者は心が美しいからです。本当の幸せを願うからです。そしてヨシトは愛に満ち、恐怖、窮乏のない素晴らしい王国を選ばれた人たちと共に造り上げることがここに誓います。私は死か、なにかが恐ろしいのであろうか。聖書への忠誠心から、その擁護のため書いているのか。やはり自分自身へのミッション(任務)であらう。神としてイエスとして善良なる人々の永遠の幸福のため、私はその日まで書き続けなければならぬ。昔、工ホバの証人に聞いた話を思い出した。この世界は悪魔の体制である。そしてすべての選択は人間の自由意思に任された。神から離れたきわめて不完全なもの。その結果、戦乱、貧困がはびこり、その根絶などは夢のまた

夢である。自由民主主義は欲望の叫びあいであるからあらゆる面で平和などは訪れるはずはない。だからハルマゲドン（世界最終戦争）が起こると彼らは言う。悪魔は炉にくべられ、信じる者は神の国で生きながらえる。神と悪魔のせめぎあい。それに翻弄される人間。違うのだ。ここは心してかからねばならない。善も悪も関与しなくなった人間はもっと恐い、唯物論に走り、神、悪魔さえも意識せず恣意的に行動し、すべてを破滅と混乱へとおとしめるのである。曲がりなりに悪魔は支配体制を維持してきた。悪魔の目的は神に成り代わり崇拜されること、モノ、カネつまり富への人間の執着心を鼓舞することである。そして誘惑、疑惑、嫉妬など悪感情を蔓延させることである。だから悪魔を滅却するということは、ある意味人間らしい悪感情も捨て聖人になれと言うことであるかもしれない。悪魔は人間がいなくては困るのである。悪も二通りあるのだろう。不幸をもたらず欲望と悪感情。それと無神論から唯物論へとはしる心を殺した冷酷な無感情。いずれにせよ、どの場合も悪徳にちがいない。そして悪魔は自らを否定することになる無神論を支持するだろうか。終わりが迫った今、なりふり構わず人間を道ずれに火の海へ向かおうとしているのか。いや、唯物論こそ神に成り代わったこの世の主サタンの思想なのだ。無感動は高尚なる不動心とは違う。そこ

には冷酷な名譽欲に駆られた権力者の姿が見える。自らを誇示することとは違  
う、強さは、やはり優しさから生まれるのだらう。すべては人間次第である。神  
は愛を注入し広げるのである。悪徳を拒否し神の下に集まるひとがたくさんい  
ればよい。正義は必ず勝つ。神は悪魔に勝つということだ。なぜなら悪は悪  
だけでは決して生きられず、例を挙げれば暴力団は威嚇し脅し取る対象がいな  
くなれば困るのである。悪魔は神が生み出し突然変異したものである。悪魔は神  
を倒せば自分の居所もなくなることを知っている。そして絶対になんかあるこ  
とはない。神に甘えているのである。しかし愛、つまり正義だけが存在しても  
世界は喜びこそすれ悲しむ者はいないだらう。善良な人はホツとするだらう。神  
の愛に包まれた世界が生まれるのを期待しよう。私の母はその日、東京の上  
野公園にいた。義兄が兵役につき私の祖母と面会にやってきたのであった。母十  
一歳であった。こさえてきたおはぎ、少し臭くなっていた。祖母はまぶしてあつ  
たあずきを落とすよう母にうながした。母は箸で少しばかりのあずきの粒を地  
面に掻き落とした。するとどこからか幼き女兒がとんで来てそれを拾うと一目  
散に集まりの中に戻り、瘦せて背の高い無表情の少年に手渡した。浮浪児たちで  
ある。少年は親分格であったのだらう。あとに皆で分けるのだらうか。母は祖母

に言った「かあちゃん、わし、なんか気持ち悪くて食べられない」自然に現れた彼女の複雑な胸中からの思いやりの言葉だったのだろうか。憎むべきは戦争。母は自分には親がいる。そのことに対し罪悪感をもったのであろうか。母は浮浪児がたくさんいたことを私が幼き頃よく語っていた。彼女の二人の子供たちを親なしにできない。強い気持ちがそこからは伝わってくる。私にはただ感謝しかない。と言いたいんだけど彼女の理不尽さと節操の無さを目と耳にするたびその我儘さのため息が出るのである。それが彼女の生きて来たという証左であるなら、よすがであった、彼女の信仰というものは何であり、それは地に堕ちたのだろうか。私は彼女が喜怒哀楽を表すのがあまり好きではない。大概がとるに足らないか、自分勝手な低俗で下卑たものであるからだ。献身的ではあるがそれも自己満足の為であろうと疑心を持つ。私はまた母親攻撃をしてしまった。自己嫌悪に陥らねばいけないか。いやここで良心の呵責から離れることは大事である。世の中のいい子であろうと思ひ悩む少年少女を救う、大げさに言うと思想になるにちがいないからである。イエスは言う。親、兄弟、家を捨てよ。つまり神を信じる為、まずは精神的でも、経済的でもいいから自立せよということである。さあ、みんな頑張れ。

親孝行、めしと、寒暖の心配をしてやればそれでオーケ

一である。それ以上に思想、信条まで一緒にしようとするから喧嘩、懊惱に繋がるのである。生きてきた時代も環境も違う。無理やり話を合わせようとすると苦しくなる。親も自覚し孤独を生きるしかない。力ネと徳がなかったことを無念としよう。子供はただ自分の道を、愛する伴侶と共に開拓していけばいい。何か見つかるだろう。親は選べないけど、愛する想い人は勇気をもつて選べるからだ。

仏陀、神は崇め奉るものではない。どちらも観念的である。人間である釈尊、イエス、彼らを高い位置につければ権力者、偶像崇拜となる。自分の欲望を叶えてくれる対象物。石。狐と一緒だ。大切なのは聖書と、釈尊亡き今、法華経から伝わる日蓮の教えである。つまり南無妙法蓮華経。そして人は正しき願いを知る。そこをはき違え、怪しげな教祖の舞台装置、演出に騙されてはいけない。おかしいものはおかしい。目にもえない世界は道を求めるとき感ずるだろう。それを大切に。

偶像崇拜を嫌ったからこそイエスは「天の父」と観念上の神を創作、崇め拝した。イエスは神だったのだ。その演出の巧みさはまさに神業である。釈尊も「私を見てもどうにもならない、法を観るものが真実の仏陀を知るのだ」と言っている。彼らは自分のことより如何にして人々が幸福になるか、そのことだけを愛、慈悲を以て考えていた。

アメリカの一番の子分にいるとき、

対中国に役立つ奴だと思われなければならない。日本は価値があり、ぬけてもいいのだよとアメリカに強気に出るのは無理か。当分はアメリカの子分だ。ある男へ、「等身大に正直に生きないから自己嫌悪を繰り返さなければいけないのだ。それより嫉妬で人を傷つけたりするな、自己執着より離れよ。自己嫌悪なんかに陥る暇はないぞ。思いやりを人に向けよ」。中山さんお疲れ様です。宗教を売り込む。少し神である私には葛藤があります。その心持は必要なのでしょうか。布教は縁と力が確実に働き、そして何かの促しがなければ進まない気がします。良風を待っている自分は欲望の罠にはまったのかなと自省してみます。私は、ジツとしていることが悪魔にとつて嬉しいことなのか嫌なことなのか、それが重要だと思えます。人が善きことをなそうとするとき一つの魔性が働くと言います。善魔です。それを踏まえて表舞台へと駒を進めることは、やぶさかではありません。次への展開を期待しているのは事実ですから。素直にゆこうと思いません。私にとつてそのことは渴愛でなく、只の発展でしかありません。人々に必要であるなら私の言葉は日の目を見るでしょう。そうあるのが自然であると思います。しかし今ひらめきました。目に見えない世界。私は栄光をもうたくさん受けております。なぜなら世界各地で私は望みませんが神を崇拜までしています。

人間義人は目立たず存在しているだけ。でも見えない世界で深くリンクしているのです。つまり私は皆に敬愛を既に受けているのです。義人は静かに眠っていても良い。ただ真実の教えは広がっているか。製本の目的は因縁ある人が、神の最終的な福音を受け取る。その為だけにあります。私の生活を思うとき現在があらゆる点において最良なのかもしれません。私は名誉が欲しいとは思いません。栄光は神とイエスが譲り合い、たくさんの愛を善良な人々からいただいた参ったからです。私は世界中の義を求める人に、過去から現在に至るまで祈り続けられてきました。また私は愛をもって心ある人に応えてきたつもりです。何故こういう表現をするかというやはり結果的に心が美しくないと神の愛は受けきれないからです。まず自分は罪人であった。その自覚から始まると思います。どんな酷い罰を受けても仕方がなかったのにキリストイエスの十字架の死による贖罪のおかげでこんな良き生活をさせてもらえる。ありがとう。どんな時もそう祈ろう。そこからすべては始まり、そして幸せな終末を迎えるのです。 他宗攻撃をする。結局自らの党派を信じているということは他宗に攻撃をくわえているのと変わらない。ダイレクトでないのは信者がただ常識人としてのたしなみで口に出さない方が平和的で高尚な人間に見られると思っっているからである。

またR会信者のような本当の意味での信念のない輩のようなもの達もいる。彼らは頑迷で仏法の本質を知らないため、怪しげでその場しのぎの法座修行という雑談めいたものに駒を進め、真理を探究するという目的から外れていくのである。

お前に宇宙を創れるか。そんな質問。ストーブが作れるか、それも大事か。そうだな。でもストーブがあつて暖かくて助かった。その方が大切に幸せな気持ちになるだろう。そしてそう思った時ストーブを作った人も報われるのだ。宇宙をどうやって創ったかよりそこから生まれた愛に感謝することが大事であると思いませんか、皆さん。

大逆事件(幸徳事件) 1910年(明治43年)長野を手始めに大阪を含め各地で社会主義者、無政府主義者が検挙され26名が天皇暗殺を企てたとして24名に死刑の判決が下された。不備も多く裁判史上最大の(暗黒裁判)と言われる。大逆事件は天皇制反対の革命闘争を、個人的テロリズムの方法で実行しようとした、数名のアナキスト(無政府主義者)の計画を大仰にし、社会主義運動、無政府主義運動、民主主義的運動は危険であると、一般に対し徹底的弾圧を行使する口実として利用された、天皇制政府の政治的陰謀であった。その後、悪法により、多数の人たちが生命、職、生活を奪われた。この暗黒裁判は世界にも衝撃をあたえた。当時18歳であった、多感な時

代。「働けど働けど我がくらし楽にならずジツと手を見る」。祖父はかなり思想的に影響を受けていたみたいだ。慕う先達や、友人。日本の労働者の現状、そして未来のあるべき姿を教授してくれる、師匠。そんな仲間たちの命、生きる糧が次々と失われていく。その危機は彼自身にも及んでいたかもしれない。彼は不条理をかみしめていただろう。この一連のことは辛い精神的挫折になったのではないだろうか。転向しそれなりに成功した彼は病を機に故郷に帰り、戦後まもなく、村会議員補欠選挙に立候補する経緯になる。そして新人のシベリア抑留帰りの若き共産党員の立候補者に大差で敗れることになる。彼はこの皮肉をどう感じていただろう。時代は変わったと苦笑いしていただろうか。まじめで優しかった祖父。その日も日本酒を一合だけ飲むとすつと湯呑をうつむけたに違いない。若き日のがく悲しい思い出に一筋の涙をつたわせながら。明治天皇は大逆事件で死刑判決のた半数を無期懲役と減刑し（仁慈）を示したという。そこにある彼らの真摯に貧しき者を想う熱き心を、不敬などよりも強く感じ取ったのかもしれない。祖父は母にふと漏らすと黙り込んだ、その後、鬼籍に入るまでそのことは誰にも語らなかつたと言う。母は彼が死ぬまで沈黙していたことを明らかに出すなと止めた。だが私は反骨の彼、このことをどうしても書きたかつた。

幼い私を抱くようにこたつに座る祖父。その手の甲の浮かび上がった静脈と明治の男にしては柔らかかった面影。ハッキリと忍び、私は十日ぶりにコンビニで買ったカップ酒を頂く。

工ホバの証人の山口さん、西村さん（名称がないのは御一方に送ったもの）、並びに顕正会の雄さんへ、真如苑のやすよさんへ、ネパール密教寺院に生まれたラマちゃんへ、私、義人だけが救われるのではない。愛に基づいて回路をたどれば辿り着く。ひたむきに。変わるべきはあなた方なのだ。雄さんへ、世間の価値観にどっぷり浸かったやつばかりで愛を説く神はないがしろにされます。

彼らは生きても死んでも地獄です。かわいそうだが。雄さんへ、宗教は正邪を問うとき各自の履歴から生まれる世界観、生き様、自意識も絡み、互いの見解

の一致、信仰の正当な普遍性を、打ち出すのはなかなか困難です。顕正会の現証、功徳の重視はありなのか。聖書が言う。日蓮の生き方、思想、温かさ、内外

に周知させなさい。人間日蓮ととるのは不敬になる、ではいけない。顕正会に好意的になった私が確かにいる。聖書はもはや工ホバの証人への埋没は許さ

ず。私の見解、湧いてきたことを伝え、触発を与えよと促します。それを踏まえ

てご来訪いただきたく思います。神を自証するのは当然の必然です。同時に人が関係性の中でしか生きられないとしたら神の存在意義もそこにあります。ご理解ください。雄さん、今更ながら良かったね。信仰を同じくする女性と

結ばれて。俺は真由子さんから卒業するよ。いい夢見せてもらったよ。聖書が教えてくれた。彼女は素晴らしい女性だ。でも今は子供だけに愛情を注いでいると。お前は神として成長し独身を当面は貫けと、その先に幸せはまっていると。雄さん、俺たちは啓示を受けたのだねえ。互いに宗教からは抜けられないみたいだ。永遠のいのちが確実に約束され、幸福は実現される。絶対に。聖書、「神があなた方を召したのは不品行から離れた、聖潔を得させるためです。拒む者は聖霊を与える神を拒んだのです」。つまり私を。雄さん、俺たちは宗教の道を歩んで良かったね。そう、どこか陽の当たらない所で、カネ、女と愚痴っていたらう。孤独を超える世界観。聖書が教えてくれた。幸せだ。思案です。私があなた方から離れることはあなた方に罪を犯させ絶望へ至らせると聖書が示すのです。困惑します。愛あるがゆえに。人より組織を重んじるのは良くない。神の契約は個人と結ぶ。イエスはただ石打の刑から女を救いたかったです。踏絵などは泣いて静かに踏めばいい。雄さん、俺はイエスキリストだ。侮辱されに食事に出かけるわけにはいかない。明日の約束はなしにしてください。では。見解が違うとか。異端だとか。愚かな人間の狭量と、求心力を高めるため、排他的原理の追求が見える。寛容、従順は聖書の聖霊の力、靈感に

よって生まれる。 □□サイ人への手紙一章三節から二十三節までお読みく

ださい。まさに私の説く神とイエスの関係です。温かいでしょう。三位一体です。御子が世界を創造したのです。 私と同じく内村鑑三はその所感の中で「聖書

智識ではすくわれず聖霊の加わりによつて靈魂は救われる。聖書は死せる文字である。聖霊によつて働き給う。靈魂を生き復らしむなり」。(詩編19、7)か

らと言っている。まずは私と同様に靈感として聖書を活用するものが神から選ばれたといえよう。私はあらためて特定の人にししか救いを与えられないのかと

苦悩する。きつと愛の回路をもつて生きている人たちも大勢いるだろう。必ず美しく優しく感化された彼らの意識に、神の救いという想い願いが働く時が確実に

来るだろう。私はそう信じたい。 雄さん、ありがとう俺の気持ちを持ってきて。難しいやつと思われてもいいが、俺は素直なだけだ。もちろん、貴殿の

真意、十分理解いたしております。が、高圧的な態度はやめましょう。 イエス以外に罪の贖いがないとすれば、後、意地を張つて十字架についた連中は

傲慢だ。パウロ、ペテロの殉教は信念に生きた喜びであつたらう。 あなた方の言う犠牲は神の為でも民の為でもなく組織の為である。本当の信仰とアイデ

インティティを確立されるよう祈ります。 少し勇気が必要な、たとえば布

教であつても犠牲としないで、使命、ミッションと自覚し認識しよう。喜びに変わるだろう。聖書が促します。私の言葉を聞くつもりがないのなら今回を待

たず研究会を打ち切りましょう。連絡なき場合、承諾されたとみなします。ありがとう山口さん、西村さん。本当に楽しかったです。見解の溝は埋められなかつたけど犠牲の空しさ主体性の大切さを自らの意志で把握してほしかった。本当に。

内村が言っています。「異端とは奇跡を認めるか否かとかそういうことで決めるものではなく、キリスト者が憎みあうことにあると」。私の心は青空です。精進を希求します。努力が大切ですよ。（山口さん、西村さん、パ

リサイ派のような組織から抜けたみたいだ。私は自分の言葉が聞けないのなからもう来なくていいとメールをうっていた。聖書は彼らが主体性を活かすときだと氣遣っている。彼らの意志で連絡してくるか見ようといっている。わざわざありがとうございます。雄さんのようにソフトなアプローチだと現証、功

徳が顕著である、顕正会はもつとスピードを上げて発展してゆくとおもいます。南無妙法蓮華經。合掌。浅井さんが書かれた日蓮の教学、一念三千。南無妙法

蓮華經について本当の意味での正当性が著された図書があれば有り難いです。是非欲しいです。顕正会に頑張ってもらいたいです。エホバの証人には、私

の言葉を聞く気持ちがないなら研究会を止めるよう告知しました。 雄さん

本当ですか。本を下さる、これほど嬉しいことはない。とりあえず南無妙法蓮華  
経を唱える者は強い。取り囲む念仏を圧倒しなくてはならない。 雄さん、長

旅、お疲れ様でした。その熱情と信念は素晴らしい。前述の凶書の件ですが何卒  
良しなをお願い申し上げます。そしてご自愛くださるよう祈っております。

山口さん、勘違いしていました。最終の日曜日だと。確かに私は冷淡かもしれま  
せん。友情を育んではいなかった。しかし隣人愛は統一され強制されるドグマ  
（独善的な教理）からは生まれません。 少し惜別の情はあります。お二方にも

組織の見解に対して懸念がわいていたのでは。憤怒を横において新たなアプ  
ローチを考えませんか。連絡お待ちします。 雄さんへ、正義を真面目に一途

に希求するとき日蓮の心が見えてくる。想いである。無神論者はひとを傷つける  
ことにも非情で無感動になっている。唯物論。恐ろしいことだ。 雄さんへ、

日蓮の尊称にこだわり自由人である私に強制、指示、命令を加えるなら、いらぬ  
緊張を生み出し、関係悪化に向かうことを覚悟されよ。罰の心配をしていると言  
われるが自分自身に罰を与える馬鹿はいません。不敬を慎みたまえ、貴殿に申  
す。真の主体性をもちたまえ。日蓮は誰にも罰を与えはしない。正しいとは正し

いことを傲慢にすることではない、ただ邪教にはしるものを憐れみ回心を祈ることである。私が言う。日蓮は敬称とやかくなぞで怒ったりしないということ。好戦的、傲慢だったのは迫りくる悪魔に対し自然に示現したためです。察します。また私は罰を受けることなど何一つしておらず、そのように罰をまるで凶器のように振り回しては本質的な道理が引っ込みます。貴殿は感情移入が強すぎます。日蓮の何を信じ、なぜ敬わなければいけないのか。それは言葉、理屈を尽くさねばなりません。暴力、恐怖を以て従わせようとは言語道断。よく考察されよ。臨終の相の話は何度も聞きました。貴殿の一途さは影響されやすいところに裏付けられます。まず日々の暮らしに余裕を持つことです。何かが見えてきますから。ご自愛ください。雄さん昨日はどうも。何度も言うけど。人は安易に容易な道を選択する。いずれにせよ、その一途さが真に伝わればいいね。恋慕渴仰には日蓮も感謝しているだろう。昨日聞かされた上行菩薩と諸天善神が法華経すなわち南無妙法蓮華経に関するとき、人間に賞罰を与える。何品にあるかお知らせください。経文には確かに法華経を誇るものは仏を誇る者より罪は重いと記してあります。法華経は善を求めて実践するもの。鬼神たちも陀羅尼により行者への関与を約束します。R会でも一緒に、団体を含めて謗法すれば罰がく

るといふ。真理は日蓮の尊称などという瑣末なことではなく南無妙法蓮華經の本當の功德です。それを私は語り自らの書きものに表しているのです。日蓮は己の名誉欲、権勢欲などはどうでもよく、ただ神として本當に神の子の幸せを願っていたのです。改宗を強く迫るとき裏には深い慈悲心がなければいけません。安易に罰を持ち出し人々の自由、愛、平和を乱すのはあまりにも自己本位です。悪魔を内に秘めた人でも愛さねばならない。決して悪を肯定するわけではありません。罪を憎んで人を憎まず。それが南無妙法蓮華經の道です。北風より太陽の暖かさです。雄さんにはそれが理解できると思うのです。死相がキレイ、功德です。義を求める、複雑な、良心の呵責に苦しむ心に、南無妙法蓮華經はあります。この真理で罪障消滅させる。私、日蓮の教えです。罰が一つの契機となる確かに一理ある。しかし教師の暴力と同じで服従は強制できるが真に善悪、正邪の判断をつけることは乖離するだろう。山口さん西村さん、有り難うございませう。明日は無神論の共産党の街頭演説を聞きに行きます。正義は意味、質感を変え存在するかも。またご加護があれば何処かで合えるでしょう。人の前で私を受け入れるものをイエスも神の御使いたちの前で受け入れるであろう。その逆もある。そして絶対聖靈は汚すべからず。赦されないからね。イエス

と共に神は十字架についた。これはユダの退出後イエスは、私も神も彼により栄光を得たと言い。また死ぬのは自分の意志によるものだ。と他で語っています。自己犠牲ではありません。雄さん、私は私の書きものと時事を伝える新聞しか読めなくなりました。無学、つまりもう学ぶものはないということみたいです。因縁があればまた向こうからくるでしょう。心配されたかな。「日蓮聖人の仏法」はもちろん購わせていただきます。雄さんありがとう。また。雄さん、仏を誇るより法華経または行者を誇るの方が罪は重いです。頭が破裂する。つまり脳溢血です。日蓮系教団間の確執は南無妙法蓮華経で痛み分けだよ。日蓮は大聖人様と絶対権力に奉られる一方、菩薩として釈尊を慕い続ける。利ではなく行者として南無妙法蓮華経を歴史に刻みつけたい。その一心だった。「家の本尊からのパワーを顕正会の勤行によって感応し南無妙法蓮華経として一体になれ」。と聖書が示した。神とイエスと日蓮の熱き涙を理解できないかな。雄さん、俺の軽四の助手席で語った想い。振る舞ってくれたうどん。それを日蓮は喜ぶ。相手を失言で傷つけず、本音、想い、愛を発す。贈られるものには心がかもっている。山口さん、世襲、二代目の人の活動は既定路線。疑念をもつことは自己否定にも繋がります。しかし懸念がわいてくると思えます。信仰が普

遍的なものであるなら真理を求める新入り達の方が会の存在意義をつかんでい  
るのではないでしょうか。　　マタイ10、41、「預言者は預言者によって報  
われ義人は義人によって報われる」。イエスを信じるか私を信じるか、この愛あ  
る二つの選択肢に祝福あり。　　聖書が示した。ペテロは三度イエスを知らない

と言いつつ激しく泣いた。この時点でペテロは報われているのです。弱者の嘆き、そ  
して良心の呵責があるからです。イエスの愛は働くのです。その後、ペテロの福  
音の布教は神への感謝によるものだったのです。　　雄さんへ「ご自愛ください。

今日は祭りでイエスのように遅れてそつと獅子舞を見ました。満寿泉もあって。  
一般の人でもよき人はいます。欲深、嫉妬癖はだめです。熱意と思いやりを感じ  
ます。無理だけしないでください。止暇断眠、誠意、神の愛を伝えなければいけ  
ない。　　今日の山口さんは心につけこもうとする悪魔のようでした。ちゃんと

やれ。エジプト人を殴り返しをしたモーゼのように暴力、卑劣な手を使えば味  
方が怖れるようになります。気をつけて、神はすべてお見通しです。裁きに合わ  
ないように。　　やすよさんへ　ヨハネ3、16「神はそのひとり子を賜ったほ

どにこの世を愛して下さった。御子を信じるものが永遠のいのちを得るため  
である」。私を信じなさい。真実だからです。不思議、因縁だと思わないかい。宗

教を始めたら実家の隣家に、神、イエス、日蓮が現世に示現した姿があつた。どんな罪もイエスへの信仰によって赦しを得る。つまり神を愛し隣人を愛することにつきます。あいつのことは本当に気にかかっています。昔の義人とは少し違つから気軽に訪ねてみると勧めして下さい。弟みたいに。真如苑。それより君が靈感により啓示を受け人々に教えを説くなら聞く耳を私は十分に持つている。吟味し信仰の意味を素直に感じよう。

山口さん、信仰とは神を愛し隣人を愛する。それでいいのでは。あなたがたパリサイ人は災いであり、行く先は滅びである。回心は難しいですね。哀れだが仕方ないなあ。イエスによる民の贖罪を信じる者が救われる。一理ある。私はすべての人が救われてほしい。ありがとう。また疑問にお答えください。ご来訪お待ち申しております。真の信仰をつかむために。　　ラマちゃんへ、恐い話だが涅槃

経の中には正法を守るためには戒を破つて武装しても良いとあります。実際、比叡山、チベットの僧兵がそうです。私はもちろん、忌避します。　　山口さんへ、

御子を信じる者すべてが永遠のいのちを得るためにイエスは言っています。

あなたは辛いでしょう。心を殺し組織のために詭弁を弄する。回心し純真な若者になれ。イエスは律法学者でも祭司長でもなく大工だった。やわらかな布を身に

つけている者は宮殿にいる。ヨハネもイエスも荒野に存在する。あなたたち父子を救いたい。君は確かに場数を踏んで巧言を繰り出す。頭もいいのだろう。またハートもいいはずだ。あのお父さんの子なら杓子定規ではなく愛、優しさは消えていないだろう。組織に対し責任はありません。イエスは犠牲を嫌います。喜びをもち、生活の心遣いを捨てる。イエスへの責任と幸福は義務です。愛の裏付けがあるのです。校則の譬え、原則はケガをさせないため。決して廊下を静かに歩かせる規則のためのものではありません。神は愛をもって安全を保障します。それを祈り確信するのが信仰です。サウロよ、サウロなぜ私を迫害する。私はあなたが迫害しているイエスである。私は狂っていない。真実を語っているのです。あなたはこれまで散々苦労されたと思う。宣教師としてここまでになるには大変だったでしょう。山口さん。でもね。心は固くなつてはいけないのだよ。パリサイ人からは離れなければいけない。あなたは外に見せない不動心を立派なことだと思っているがイエスは友人、ラザロの死に涙する人間味あふれ温かく魅力的な人物でした。明るく、陽気だね。 やすよさんへ、日蓮は立正安国論の中で涅槃経には、破戒をしてもよい。武装し正法を守れとあると言う。寸心を改め法華経に帰依せよ。破戒、武装を肯定した涅槃経は世情に対しての対抗措置を

著したものであったかもしれないが釈尊の教えとは絶対にマッチしない暴論である。やがてその気運は僧兵などを生み出し一大勢力となっていく。そしてその最たる叡山は信長によって焼打ちにされる。武力をもった時点で俗的になり聖なる力は失われていたのである。権力者の庇護を受けるべきだったのか。しかし僧侶たるもの、善なる道を隠し隠れず説くべきだったろう。それが尊敬を生み、仏の教えは引き継がれていくはずであった。

山口さん、組織のため、組織人のため。それは宣教とは何の関係もない。英国のカーライル、露国のトルストイなど個人の与えた影響、計り知れず。本物は届き残っていく。山口さんひとりで訪問できませんか。虚心で向き合い、今までの苦勞などを聞いてあげたい。あなたは誰の奴隷でも手足でもない。責任は愛のみにある。

やすよさんへ、涅槃経、武装認可。日蓮も擁護した形跡がある。転重軽受の教えもあり、彼は受難の意味を法華経、勸持品と兼ね合わせて説いています。あなたが邪教とは言えないかも。聖書でも仏典でも悪に見えるものもある。そこをどうとらえるか。善なる資質が問われる、それが仏性である。場合によって善意に解釈しなければいけないだろう。

山口さん、犠牲が自らのために使う時間を少し神のために使うと言う意味合いなら理想像ではありませんが皆の意識として

仕方なく許容範囲としてそれを認めます。しかし福音の布教精神からは乖離します。ご教授賜りたくご訪問を待っております。パリサイ人になつてはいけない。君が物怖じしない男になつたのは組織の為ではなくイエス、神を信じる人達に貢献するためだ。犠牲ではなく喜びの為である。私は意図的に牽制、懐柔してゐるのではなく私の見解を無視、ないがしろにしないでほしいのです。素直にどちらが良識ある人に頷かれる教えなのかをはつきりさせましょう。あなたの良心を信じています。お待ちしております。神はあなた方父子をけして見捨てたりしない。必ずや連絡下さい。卑怯にイエスは逃げたりしませんでした。福音を伝えるのに躊躇しなかつたのです。 やすよさんへ疑問だった破戒、武装を認める涅槃経。聖書に問いました。悪魔、権力者に対抗するには仕方なく良心を痛めるなど示しました。以上、報告まで。 山口さんへ、エホバの証人の見解云々より、救われるのは人々の罪をご自分の罪とされ一身に背負つたイエスという神の心が解るかどうかだけです。目覚めよ。

山口さんへ、姪に送つたメールを紹介します。「読売のコラム。遮断機に人助けに入った銀行員の男性。咄嗟に身を投げ出す。これは犠牲でも天の計らいでもない。あつばねな正義感であり、栄光ある行動である。」イエスの究極の心情

と同じであると思います。

雄さんへ、「日蓮大聖人の仏法」、語弊はあるかも

知れませんが面白いです。ただ組織立って活動するのが好きでないものですか  
らそのことは遠慮しておきます。横死したとしているイエスの死は民の贖罪の  
為でした。この先また新たな展開が見えてくるでしょう。期待します。久遠元

初の自受用身という無始の始めから存在する聖人。それこそが一番宇宙の大本  
の仏様、日蓮即ち神であり、いまは、私自身である。顕正会、万歳。雄さん、

教学書ありがとう。俺はなにかよすが、求めていたのだよ。あらためて俺の中  
も神、日蓮という因縁、関係性に対し理論武装できた嬉しさがある。雄さん、

教学書、面白いです。私は日蓮。すべて自覚です。信ずるに足るかどうかは各個  
人に任せます。読めば読むほど今世に存在する本物の仏として三十二相をもつ  
て確信します。山口さん、壁に立っている、ロボットと話をするみたいです。

切れば血の出るような教えでないと。何度も言います。パリサイ人はひとには敬  
礼を要求し責任を負わない。泣くときは泣く、笑うときは笑う。そして人間味

あふれる人になる。それがイエスを倣うことでは。木で鼻をくくったような物言  
いは良くない。三十日、お待ちしております。テモテへの手紙の中パウロはむ  
だな論争はいけない。俗悪な話は不敬虔につながると語っています。私は真実を

語るのです。エビデンス(印)は私である。愛には融通性、寛容性が必要です。その配分をするのは神、イエスです。あなた方は終末を迎えたサタンのように頑なです。そこに懸案があるのです。雄さんへ、イエスは愛のために死んだ。愛は斬新な概念。日蓮には当時、無下に奪われる命、それは慈悲の源泉となる確かな愛とも関連していたのである。日蓮とイエスの思想の一致である。私の父親は酒売りを生業にすることに罪を抱きアルコール依存にはしつた。畜生道に墮ちたと思うかもしれないがこれこそが南無妙法蓮華経の精神、同悲同苦。だからこそ父には現世安穩の題目を唱えてほしかった。父は題目を唱えるべきだった。だからこそ父の為、先祖供養はあり、だと思うのです。亡くなった方からのエールに応えねばなりません。日蓮の思想は私の想いと密接しています。雄さん図書ありがとう。聖書が促します。勤行、自分らしく始めてみようか。カネ、足に難があつて厄介かけるかもしれないけどヨロシク。合掌。お休みのところご免なさい。また。日蓮は釈尊の教え一仏乗、法華経寿量品のエッセンスを一念三千、抽出し南無妙法蓮華経を生み出した。仏として根こそぎ人々を救うのだ。そして私は自分のことを大聖人様とは呼ばません。南無妙法蓮華経はひとつになるべきである。福聚の海、無量へと向かう。釈尊がまじないをた

しなめられたのは手相や、星占いなど導師が清くないと生まれるものが善くない。そしてそればかりに頼り肝心の己が人間性の問題を後回しにしては救われない。「まじないでは湖に落ちた岩は浮かび上がらない」とおっしゃったのだ。工ホバの証人も顕正会も戴くものを特化するのだが、その存在を奉ることと神経を使い、鼻肩の引き倒しになっている。神も日蓮も民衆を愛しんでいたのである。民衆の為に神も日蓮も存在した。同一の彼は今そう思っているでしょう。

雄さん、地獄界、修羅界の欲求は良くありませんね。最たるものがプロスポーツです。四悪道ですね。私の思想と一致します。日蓮はある意味でイエスの生まれ変わり。イエスの出来なかつたすべてのものの成仏を完遂するため現れた。聖書は自在に離れてもいい時期が来たと言います。私も完成、聖霊の宮です。雄さん、イエスは決して横死したわけではない。民の久遠元初からある罪の贖いを果たし、神の栄光に満ち復活したのだ。霊的にも十界より成仏するため。物理的にも神の国を建設するために。教学書を読んだ時点で顕正会がよく解りました。浅井先生は素晴らしい。でも私はもうサトリ、成仏いたしました。全体的活動は合わないので独りサイの角のように歩みます。イエスは民の贖罪のた

め十字架についた。究極の慈悲、愛である。しかしこれは神の栄光のためであり決して犠牲ではない。そして神は日蓮となり成仏した。イエスは成仏したのです。つまり復活です。ここがクリスチャンの核心、信仰の礎でしょう。雄さんたちが日蓮を仏と信じるように彼らはイエスを神と別々だが父子と思っている。信じる者はすべて因縁。理解力は神仏より与えられる。雄さんには世話になったね。今度アイスコーヒーおごるよ。教学書は私の思想そのものだった。本有常住、顕正会、日蓮の言う永遠のいのちはイエスの言う永遠のいのちときわめて類似しています。私が霊の存在についてもめたところです。彼らは物質的すぎます。彼らとは工木バの証人です。理屈を説いても、イエスの愛を感じると言っても詭弁か誤魔化すだけ。組織が大事で従順な従属者が欲しいだけみたいです。この三界は我が有なり、法華経譬喩品の中、仏は宣言する。また艱難は仏だけが救護する。そして怨嫉多しこの世界には神はいつまでもとどまることはできないという。神は創造する美しい心がある。梵天勸請により砂漠の荒々しい神が、仏陀の弟子になったことで慈父のようになり、その意を受けたイエスは民の贖罪のため慈悲の究極、十字架の死へと向かう。イエスは復活して成仏する。一方日蓮も神の意を受け一念三千、根こそぎ成仏させる南無妙法蓮華経を発明

する。日蓮はイエス、神として永遠のいのちを唄う。イエスを信じる者が救われる、つまり成仏する、永遠のいのちを受け神の国に入る。南無妙法蓮華経と完全にリンクしています。人々が南無妙法蓮華経によって救われていく。その前に自分を捨て、神を裏切ったことにより誕生した民の原罪が贖われるようにと死んだ、イエスが私は愛しい。日蓮、イエス、神と一体。（善人による隣人愛）。南無妙法蓮華経で一念三千を根こそぎ成仏へ導く。イエスと私の想い、永遠のいのち。雄さん、嬉しい、すごい。教学書から強くそれでいて心地よい落ち着いた力を感じるよ。確かに聖なるものだ。すべての本人の苦の原因はどの界からの欲求にあるかだ。南無妙法蓮華経。日蓮の南無妙法蓮華経。イエスの神、隣人への愛。どちらも永遠のいのちに向かうためのもの。思想の一致です。彼らは宇宙を創造した神、私です。私には名誉欲も権勢欲もありません。ただ衆生のため菩薩行に励まれる雄さんには解っていたかったです。素直な方だから。現証を見て下さい。功德もちゃんとありますよ。悪魔の業が働きます。健忘です。しかし負けません。信念を持ち艱難に耐え、煩雑に巻き込まれず。富、名誉にざわつかず。イエス、日蓮に倣って生きて行く。口の悪い奴にかかる。「イエスは横死した。不義によって生まれた。ペテン師だ」と貶められる。ま

た釈尊は責任を放棄して父母、妻子を捨てた大悪人であると儒学者は批判を拡張する。悪魔は生活不安を競走という生存競争の名の下で、尻からほったて

る。それを軽くないなし、すべてを久遠実成の本仏に委ねる。南無妙法蓮華經によつて正しき夢、成仏を果たす。神の御名はエホバではなく愛である。人にな

ればイエス、ヨシトになる。末法の仏の御名は、無作三身（末法の法華經行者南無妙法蓮華經なり、そして人名とするならば日蓮である。ニユアンスの一致。

私の思想の正しさの証左である。エホバとはヘブル語で神ということである。

神と日蓮、神の御名は愛、南無妙法蓮華經は愛の表体であり日蓮の名号であるということだ。少し時間がかかったけど、教もつと早く知りたかった。でもこれが因縁ですね。雄さんには本当に感謝している。まるで私の思想そのものだ。永遠のいのちさ。仏も神も愛であり絶対善である。

雄さんへ、時機を知らず、勧誘することになると、強権的な構図となり勧誘員が一念三千を凝らすという折角の修行から得た功德、生死から離れるということも霧消してしまふ。また顕正会の高圧的な折伏という勧誘は誤解されるが、世俗的権力に癒着するR会のお導きという勧誘こそに大きな問題があるだろう。すべてに犠牲を強い極めて詐欺的だ。聖書は顕正会の勤行を聖なるものと認

め、仏壇の前にて法華宗の南妙法蓮華經と感応させれば福が満ちた豊かな海へ南無妙法蓮華經が流れ込みひとつになるでしょうと促します。独善的、排他的だから邪教、カルトであるというのはおかしい。私は肉声でも、書きものの中でも語る。私の思想、信条に触れていただくため一読お願い申し上げます。私の書いたものもらってやってください。ただ罰を恐れ従順では臆病になり逆に魔が入るのです。日蓮は罰などと与えません。法華經を曲解してなじる。これはまずい。読書は善きことでしょう。雄さんという気風のいい積極性のある、経験値高く情理、揃った友人がいた。つくづく幸せだと思う。照れ隠しの失言、早稲田の我慢に自省があればと思う。顕正会。外道という敵を作り求心力を高め正当性に繋げる。それでいい。工木バの証人もね。献身的会員の中で美しい心の持ち主が永遠のいのちを得るのです。それが宗教です。顕正会の在り方に対して。私はR会のようにカネにかまけて話題作りに走った、どこもかしこもミソもクソも一緒にする宗教協力なるものと違う、本質的なアプローチでもって真実の宗教的融和を掲げ求めていく姿勢に変わりはありません。昨夜のメール端数の関係で解りにくかったでしょう。ご免。今は必然なのかもしれませんが、排他的な特にイエスを敵視する浅井さんの言われること鵜呑みにはできません。私の

南無妙法蓮華經を求めていきます。それには私が寛容なインストラクター（教える人）みたいな存在になるのが一番、善いのではないかと思います。

表題から少し型苦しいものになった気がする。不思議だが、なぜかそうした文体になる。話は変わるが、うちの飼い猫ソチ、その名は迷い込んできた時期、開催されていた冬季オリンピックの当地からいただいたものだ。名は体を表す。飛び跳ねまわっている。わが子に悪魔と名付けていたやつがいたが、いつたい何がどうしたのだろう。

水道使用量のお知らせがきた。水道料金3229円、下水道使用料4147円、合計消費税を入れると7376円となる。小便の回数まで記録しておかねばならないか、節水のために。だがそうした節約生活は必ずストレスとなり破綻がくる。自らの神を信じ自然に生きるそれだけである。まさに貧乏浪人である。遊び人の金さんと自称する場合ではないかもしれない。しようがない、レットイットビーなるようになるだけ。ケセラセラ、先のことなど誰にも解らない。神の国が現れるか。皆、滅亡するか。私は何ものをも恐れず神としての道を歩みたい。愛をもってただ今を生きるのみ。気楽に行きましょう。南無妙法蓮華経、祈っております。

ヨハネによる福音書、17章25、26、節

25 正しい父よこの世はあなたを知りません。しかしわたしはあなたを知り  
また彼らも、あなたがわたしをおつかわしになったことを知ってます。  
26 そしてわたしは彼らに御名(みな)を知らせました。またこれからも知らせ  
ましょう。それはあなたがわたしを愛して下さったその愛が彼らのうちにあり、  
またわたしも彼らのうちにおるためであります。

生活の窮乏を持ち出して不安を煽るサタン。

カネのないやつつあ、俺んどこへ来い、俺もないけど心配するな。見ろよ、青空、  
そのうちなんとかなるだろう。植木等もいつていた。

又スダラダラすらすらすいすいスイ。おやじが好きだったスーダラ節。自分に  
言い聞かせていたのだろうか。死と、となり合わせの生活、どんな気持ちだった  
ろうなあ。「お前は特攻隊で死ぬるか」とまだ小学生の俺にいつていたなあ。お  
れは「死ぬる」というと、はあーと馬鹿なことを簡単にいうなというニユアンズ  
で嘲るように息を吐いた。毎晩、強くない酒をのんだおやじ。本当は生きたか  
ったのか、死にたかったのか。またお前のおやじの話かといわれそうだが広自  
苑、最後におやじに登場してもらって花をもたそうと思っ。

捨てる神ありや拾う神あり真面目に愛を心に抱いて生きて行くところに恐いものは存在しない。それが因縁であり。果報である。欲望を小さくし思いやりを人に向ける時、自分への執着は消え。飢えた野良犬のように愛を求めなくてもよくなる。まず愛することである。そこからすべては始まる。そして完結へと向かうのだ。その終わりが真実から美しく平和なものであつてほしい。そうみんな願い、祈り続けよう。

雄さんと昨夜メールの応酬になった。私がファンタジー、自己陶醉で全然意味がわからないという趣旨のメールであった。私の打ったメールのみ紹介する。猫が聖書は絶対踏まないのに教学書を蹂躪した。私は気づいた。私が顕正会に従うのではなく、会が私を日蓮と認め従うかだ。すべては信実だがこじつけに見える。だが確実に真実である。信じるものは人生が何たるか理解したもののだけ。神力にもよります。教学書も出だしは良かったのだがなあ。当時、日蓮は苦言を吐く、厄介な坊主としか見られてなかったと思う。私は改宗を迫りません。南無妙法蓮華経が素地として皆の心に美しく残れば本望です。仏種が応える。罪障消滅。南無妙法蓮華経。退転するわけではない。「日蓮は釈尊に成仏の種を植え師として上座に位置する」顕正会の様に釈尊に喧嘩を売るような日蓮はありえない。すべてドグマ(独善的教理)であるが、功德がないとは言わない。中には人格者もいるだろう。直感と品格を信じます。確信、持てぬものを人に薦めることはできません。誰かを崇拜などしたくもないしされたくもありません。皆、馬鹿ではありません。実績と人柄です。雄さん、俺は何も困らないのだよ。日蓮は絶対権力なんか欲してない。南無妙法蓮華経の想いが日本全体に覆われればと祈っていた。俺の思想と一致しない。顕正会は困ることになる。日蓮とは違う

何か得体のしれない者を崇拜している。政権奪取を狙うなら日蓮は悪人であるだろう。そうではなく信条、心情として政治のバックボーンにならなくてはいけない。そしてその人物は日蓮意中の人物でなければならぬ。もし会があなたの言うようなある意味、革命を望む団体なら、かなり危険である。ハルマゲドンを待つエホバの証人と同様。あえて正邪には沈黙します。空想的と言われたことに對し、あなたがたのいう実践的日蓮を想像するとき会は政府の転覆を画策しているのではと。数に達すると何かが起こると話したね。極めて空想的ですね。

南無妙法蓮華經で世界が覆われる。流布されるのも、結局は同じ意味では。よく吟味されよ。会の中に居て洗脳されているのです。それと群集心理。生きる指針を自らで作れず溺れている。若い者への指導という優越感。ある意味同等の性質を持つエホバの証人の教学には無関心。学会から引き継いだ教えを信じ。罰が当たると他宗を知ろうともしない。それで比較、検証ができませんか。私は聖書を信ぜず。私は念仏等を肯定するものを南無妙法蓮華經で根こそぎ救いたい。雄さんむだだ。もうやめよう。宗教は幻を信じ、あなたの言うファンタジーだ。でも実在があり幸せならばいい。人の意識まで変えようというのは傲慢だ。すべて本人次第。予定調和。俺たちは深い因縁に結ばれた、いわば義兄弟。命を大聖人にか

けるのもいい。でも雄さんのからだのことが心配だ。人情論と軽蔑されてもいい。確かに私は自分しか信じていません。私が信じるのはおのれから離れた人です。思いやりのある人。なかなかおらんね。「そのあと彼は自分がいかに世界を変えたかったかと革命を象徴とした左がかった話を何本も送ってきた。彼が嫌うインテリそのものだった」。

その前に私は姪たちに言葉を送っていた。好きな人たちと好きなことをして生きなさい。君たちが微笑むだけで幸せになれる人がたくさんいることをいつも信じなさい。悲しいときは皆一緒に悲しんでいる。読んでくださった皆様。そして、仕事師の皆さん。今回も本当にありがとうございました。

今回、すべてが終わったと思っていた。しかしここで書いておかなければならぬ事案に遭遇した。日蓮の心持である。

雄さんは夜中、何十本のショートメールを送ってきた。狂気を感じ彼はまたおかしくなったかと心配した。そして恐怖を感じた。

だがその後じっくり彼の送ってきたメールを吟味した。

そして私はそれに応えてメールを送った。

「メール読みました。私も南無妙法蓮華経で心の境をはがすのは賛成です。しかし流血革命に流されるのは誰のものか解りかねます。学生運動は遠き過去でした。貴殿の熱さに瞠目。雄さん悪かったです。一生懸命経緯を教えてくださいただいたのだね。インテリゲンチヤのマスコミの連中も命懸けだろう。俺はただイエスを愛するだけだ。神の真の愛、慈悲を信じて。まず浅井先生ではなく南無妙法蓮華経だと思おうのです。見解にとらわれず、忌憚なく自らの南無妙法蓮華経を身につければとおもう。日蓮の想いを察し汲んで」

邪教がはびこり国は衰退し亡ぶと日蓮は言う。謀反が起こるよう、善神である八幡大菩薩に命令を下す。それを証明するためにと。

すると日蓮は人々の不幸を目的の為、期待しているのであるのか。

神である日蓮は人の命などあるいは軽く扱っていたというのか。

日蓮のポリシーである生命絶対尊重と矛盾してくる。

日蓮の想いとは違う独善的カルトの匂いがする。

顕正会の教学書に著わされているものだ。結局、不幸があればあるほど日蓮の思想の正しさの証明になる。

期待する事の、作偽的演出が行われるとしたら、かつてのオウム真理教の「信者以外のものは殺して、来世に生まれることの方が慈悲なのだ」所謂、ポアなるものが脳裏に浮かぶ。サリン事件を起こすということである。

彼らの帰依する日蓮は人の不幸を期待している節があるのだ。

顕正会がカルト教団であることの証明である。

日蓮は神であっても人々の命は軽くは扱ったりはしないだろう。人々の難儀にたいし心を痛めるだろう。戦闘的革命家ではないのだ。または詐欺的宗教家でもない。

人の不幸。みな罪人だとして、神が正しい教えが結果的に生まれるためと、冷た

く不幸を望んでもいいのだろうか。

羊のような人間か。

恐い　　恐い

雄さんは最後のメールに「貴兄は修羅の心が強すぎる。最後に忠告させていたただく正しい仏法を実践しないと友達はみんな去っていきます」。己の争う気持ちには気づいていないようだ。私はかつて彼に「謗法の罪になるからと他宗のものも勉強しないでどうして比較検証ができますか。」とうったえた。そして「浅井さん、顕正会という日蓮を担ぎ崇拜する教団より離れ、ひろい視野から、また、いろんな立場、視座に立った修学をもって自分自身の思う、日蓮像を自由に描いて頂きたい。彼の戦闘的な姿だけを突出されますが、彼は細かい心の機微がわかり、温かい書状をたくさん残しています。国難に際しては戦地に向かわざるをえない信徒に対しはらはらと涙を流し己が無力を悲嘆しています。情理揃った傑物なのです。なぜ、災難がおこるのか。どうして念仏、真言、禅は邪教なのかそのことを説かずして。ただ日蓮、南無妙法蓮華経を信じなければ、生きても苦しいものになり死んでは地獄におちる。それでいいのでしょうか。理を説かず

盲信を求めるようではカルト教団と呼ばれても仕方ありません。冷静な判断。実は本物の宗教では最も大切なことです。」とメール送信したかった。が、心が向かなかった。私がかねがね真実を話しているように、法然、親鸞は悪魔である。日蓮は神である。実は神の方が人間には厳しく、悪魔の方が安易な生き方を勧め人には優しくかったと言えるのではないか。けして茶化しているのではない。私が修羅道に落ちているなら日蓮も地獄にいるだろう。私には聖書という大親友がいます。皆さん。ご心配及ばず。かつて人間の成り立ちを探究したくて演劇のみちを志したが芝居をグチグチやるというより諸問題は、宗教が決着、解決させてくれると思った。　　マインドコントロールと薄っぺらなものにするなと雄さんは怒っていたが、やはりあまりにも視野が狭すぎる。ひろく世間を見るのが謗法だと言うなら、話は成り立たない。一方的情報だけで。　　もうやめよう。私は自らのイエス、神、日蓮、南無妙法蓮華經を信じ進むだけである。だが不思議に顕正会の教学書はスーと読めたな。まあこれも順縁なのか逆縁なのか。とりあえず、沢山のいたいいきな純粋で真面目な宗教信者たちよ。本当に美しい心を忘れないで下さい。それは思いやりであり、自由、愛、平和であると言うことです。富と名誉の比較からは何も生まれません。各々、自らの使命を果た

しましよ。日蓮のような師子王のように。明るく素直に温かく。久々のキャッチコピーだなあ。富士大石寺、奉安堂、本尊に対し耐震性の問題がある。なんとばかな。因縁あるものなら必ず崩壊しない。そして崩壊する可能性のあるものなら価値はない。つまり姿かたち、物と本尊を規定するならそれは無用の長物である。崩壊しない本尊を各位自らの内にうちたてなければならぬ。

ルカによる福音書 12章 8、9、10節

8 そこで、あなたがたにいう。だれでも人の前でわたしをうけいれるものを人の子も神の使いたちの前で受け入れるだろう。

9 しかし、人の前でわたしを拒むものは、神の使いたちの前で拒まれるだろう。

10 また、人の子にいい逆らうものはゆるされるであろうが、聖霊をけがす者は、ゆるされることはない。

ヨハネによる福音書、16章 23節

23 その日には、あなたがたがわたしに問うことは、何もないだろう。よくよくあなたがたに言うておく。あなたがたが父に求めるものはなんでも、わたしの

名によって下さるだろう

繰り返し聖書を開くと顕れました

ヨハネによる福音書 17章25、26節

25 正しい父よ。この世はあなたを知っていません。しかしわたしはあなたを知り、また彼らも、あなたがわたしをおつかわしになったことを知っています。  
26 そしてわたしは彼らに御名（みな）を知らせました。またこれからも知らせましょう。それは、あなたがわたしを愛して下さったその愛が彼らのうちにある、またわたしも彼らのうちにおるためであります

偶像崇拜を避け、崩れない本尊を各位の心に築く 南無妙法蓮華経の一体化である。

義人

# 聖人の休日

義人

H 2 9 年 8 月

インターネットをひいた。ホームページを立ち上げたのだ。

歳入がない限り、歳出カットをしなくてはならない。新聞が候補に上がり、休刊の手続きをした。その後、施設カレーハウスの就労時間を少し伸ばせたら歳入は増え新聞代も捻出できるのでと考えた。なんとかなりそうだ。

あと製本も簡易なものにし、手作りにすることにした。

難儀かと思ったがショップの女性が新しい型のクリアファイルの存在を教えてくださいました。

そしてもう、製本の料金を考えた、ぎゅうぎゅう詰め文面の文面は、これからは、あえてしなくてすむ。

読者の皆様方になるべくご負担にならないように作製していくつもりであります。

「聖人の休日」とは俗人にかえるということか。

なぜか表題に決めしたが、単に語呂合わせが良かったからかも知れない。

途中から「善良なる罪人」というタイトルを銘打とうかと思ったが、パソコンのフォルダのネームがごっちゃになるので仕方なく今の表題となった。私はパソコンにはまだまだ不慣れでネームの変更のやり方が解らないのである。

9月製本の予定だったのですが、あまり枚数がかさむと自作だと負担になるので、いささか早く作らせていただきました。

まあ旬のものとえば旬のものです。

ヨシ、来月からはまた新聞を読める身分になるぞ。

これからも製本布教が可能であるよう、森羅万象すべての愛するものへ祈りを捧げたいと思います。

またしても私の世界へようこそ。

真子、千華へ、顔色を窺う連中。そんな中、勇氣をもつて愛を發揮し理不尽に対する。そのとき君は立派な大人になっている。実は相手はそれを待っていてくれたのかもしれないね。悪運などない。君たちは良く頑張るね。修学時代からおじちゃんはずいぶん失敗した人にシンパシーを感じます。性分です。弱者の視座に立つのです。愛が必要なのだ。決して君たちは悪くない。でも皆、悲しいのだ。ゲームじゃない。夢のつぶし合いの生存競争だ。優しい人には生きにくい。でもイエス、愛を信じよう。正しいことを正しいと思つてはいけない。愛をもつて逆らう。これも道。だけどしんどい。そして人は沈黙する。諦めるな、乙女たちよ。旧き悪は去る。真子ありがとう。ファイルも無事フォルダに収まった。男は度胸、女は愛嬌だ。わしの祖母ちゃん、お前たちの曾祖母の口癖だった。勇氣と笑顔を忘れずに。千華、今日も忙しかったか、ゆっくり休まれ。君たちの曾祖母。私の祖母ちゃんの口癖だった。男は度胸、女は愛嬌。勇氣と笑顔を忘れないでね。温故知新だ。ひとは悲しいものだ。カネ、名譽がなくなると潮が引いたようになる。欲と見栄が絡んでいいるからだ。常時そんな環境にいると良心がマヒする。悪影響から離れよ。シリアで教育活動のボランティアをしな

いかと誘われました。「人間一度は死ぬのよ」と。犠牲でない喜び。シリアへいけないが少し心が動きました。磁力のある女性です。

今回は広辞苑をもじり広自苑という本。苑には周りの庭という意味があり、私には人間関係しか浮かびません。利害、色欲、名譽欲で苦しむ人は因縁です。君たちは無縁ですね。おじちゃんには大事な想いがあります。それはわしが小学5年生のとき亡くなった、君たちの祖父。つまり父親とどんな世界であれ、再会したいということですよ。偏見差別はよくない。法律もできた。母は体裁を

気にして私の精神疾患を隠そうとした。その姿、所作が良識ある人から忌避されることを知らず、時代から取り残されたのだ。仲間と成長過程を共有し多幸

感を自他ともに与え、受けられる存在になりなさい。つまり本物のアイドルを指しなさい。頑張らない。犠牲にならない。ポリシーを持つ。千華、五年間、

大きな病院で本当によく頑張ったね。学んだスキルを活かして自分らしく新天地であまり張り切らずに過ごしてください。マイペース、相手を褒め仲良く、乗り切ってね。美しい心を持ちなさい、それはまず寛容な心であること。貪欲

から離れ、目に見えない世界を信じなさい。さすれば、よき願いは叶うであろう。良縁が参り悪魔は去るだろう。尾崎の米軍キャンプ。若者の究極の愛が唄わ

れている。明日にも生活苦が迫ってくる。情婦が知らない男の、子を孕む。そしてリングまではめていた。でも彼は優しく彼女を抱きしめる。不遇な若い人たちは沢山いる。　　回る、回るよ。時代は回る。立ち直れない悲しみなどない。と信じよ。失敗に合うたび、人間は深くなり失敗の理由を知る。君たちはあせらず、ただ毎日を楽しく暮らしなさい。　　比較、査定される。楽しいかい。そして他所曲がりでイライラした人がいる。正しき信仰のない人はわがままで心に不安を抱えているのだ。他に対しての甘えでもある。当人が一番苦しい。罰はうけている。　　学歴で人を判断してはいけない。また人の卑しさは隠せないものだ。その裏にある何か、例えば目的を確認するといふ。また新たな発見がある。深くなるとき。　　祖母ちゃんは頑張っている姿を見て人は応援してくれると云う。でも頑張らず、思いやりを人に向けての方が幸せに生きることができるのは確実である。そう思わないかい。　　窓ガラスの破損。盗んだバイク。悪の象徴に見えるが、尾崎は理不尽な規則に縛られた世界に疑問を感じ、愛を重んじ、自由、平和、本当に正しいものを模索していたのだね。君たちも搜索し見つけよ、真実の愛を。　　正義が通らない。は、多々ある。でも愛を優先させよう。人を侮辱、恥をかかせてはいけない。できるだけ敬意を向けよう。そんな重大な正義はめつ

たにない。自分より優秀なやつが多いとみるか、その逆を考えるか。劣る人の気持ちにはその立場にならなくては解らない。でも自己評価は自身、しない方がよいのである。真子、韓国のお土産ありがとう。乾麺、もちもち感がおいしかったです。神に守られていることを忘れないように。でも決して神を試すような無謀はしない。氣遣いとか気配りは善きものだと思われているが自分を守るため、利を求めめるためのものは孤独に陥る。そこに真実の愛が存在しない。情けなら回って帰ってくる。ことさら悪口を賛成するわけではないが、合意を形成しなくてはいけない時もある。鵜呑みにしてはいけないが信頼を築くため噂には参加しよう。愛を忘れず。読書をしたり映画を見たり感動して心をほぐし好きな人たちと共感する。それは互いを認め合うことである。機会を増やすことで関係性の中に生まれる幸福がある。青臭いと愛や思いやりという言葉に怪訝な顔をする人がいるが、人は独りで生きていけないことを知るべきだ。また君たちは自然に笑みを浮かべ、出来るだけ優しい口調を心掛けなさい。失望と絶望は希望が連れてくるというが、自分を信じ欲深、嫉妬より離れずべて愛をもって神に委ねなさい。美しい心と伴に幸運は訪れるだろう。本当だよ。君達が孤立し淋しい想いをしてもけして孤独ではない。神という

大きな愛がその身を包んでいることを信じよう。美しいラブソングを聞いたように涙は乾く。人は服装、髪型で判断する。なるべく品良くしなさい。類は類を呼ぶ。威嚇したり誇示したりしない素直で優しいでたちでいなさい。振る舞いも女性らしくね。場合によってセルフプロデュースも必要だ。が、素のときは毅然と素直に優しさを表現しなさい。それが美しい女性だ。心の中、平和を抱き、また願いなさい。でも自分らしく生きてほしい。しかしそれは自己次第でどうにでもなるものだ。私の言うことを最善だと思うとき真のアイディンティティーを確立されるだろう。

着飾らなくても、上品で優しそうな女性だと思われる。不快を呼ぶものは一掃しよう。まず人間として生きる姿勢を表現しないと。自虐的な金髪はだめですよ。おじちゃんは選択を迫られている。転院するかどうかだ。私は真由子さんの病院に移ろうと思う。しがらみ、義理より愛を選びたい。精神科医としても優秀だ。永久に進歩しても苦痛の世である。人は永久に争い死も存する。進歩は極に達しても幸せはこの世には望めない。内村の言葉だ。心の中に存在する不老不死を感じよ。コンプレックスは必ず克服しなさい。自分らしくこの世に一人しかいないと語りなさい。大切なのは能力の優劣ではなく愛があるか否

かです。そうだろ。 おじちゃんは日々、安泰に暮らせればと思っていたが、

愛する人が現れて全身全霊傾けなくなった。どんなに困難でもね。生活とはそんなことかもしれない。 いかなる時も自分自身を信じよ。たとえどんな試みに

遭おうと。絶対自分を捨てるな。それが自利、利他に繋がることを確信して。愛をもって生きよ。 理想から正義は生まれる。色々な風景が見えるだろう。自

分自身で理論武装して公益を主においた正義を打ち出すのだ。悪人は悪人、人殺しは人殺しである。外れない。 遭いたい友にはこちらから押しかける。お土

産ありがとう。じいちゃんの顔色の良さに驚いた。だんだん幸せになって来たな。心が変わればすべてが代わる。 喧嘩しないのが愛情ある家族ではな

い。むしろ愛情があるからこそ素直になれず喧嘩になる。寅さんがいい例だ。好きなことを好きなだけ言う。そして泣き笑う。 生存競争、人との関係は悪化、

ストレスのたまり放題、体に良いわけない。神を愛し、隣人を愛する。結果、損することになってもイエスの想いが解るよ。 つねに正義を希求すること、で

ないと野放図で善悪のけじめのない世界が生まれる。正義などあてにならないと言う。しかしそれは愛に基づき確かに存在する。 イエスは復活により成仏

した。そして神の示現である日蓮は南無妙法蓮華経を提唱した。イエス、日蓮の

再来である神、ヨシトはそれにより森羅万象、根こそぎ成仏させる。 神は宗

教思想家に例えられる。しかし心の動きを診る心理士でもなく葬儀員のような僧侶とも異なる。やはり王国の主と言える。(善人の隣人愛)。本当に大切にして生きること。

おじちゃんは軽いソウで毎日が楽しくてなりません。君たちに足りないのは若干テンションをあげることです。毎朝の挨拶の仕方が変化し魅力が広がるよ。 物事にはすべて時宜というものがある。因縁があればきつと

うまくいく。経験が必要だ。きつかけがあればスムーズにいくだろう。諦めるな。命をかけなければならぬ時でも。 「ネは大切だ。噂も大事だが嫉妬にさらさ

れて悪く言われているやつでも、真実、献身的に仕事を誠心誠意尽くす、いいやつもいる。自分にふさわしい因縁がついてくるのだ。 おじちゃんがどんな仕

事でも成功者になれなかったのは、神にしかねない、因縁があったからでしょう。 なにも出来なかったからこそ神にしかねなかったのです。

真理、本質を求めるとき、年功序列、性別などの上下関係に拘ってはいは、いらぬ気遣いばかりで目的に到達しない。だからおじちゃんは独り世間に向き合う。 ヘアスタイルは上品に心の美しさと穏やかさを具現するものにしな

さい。気持ちの不安定さは金髪やルーズな服装になって現れる。自虐、犠牲はも

う卒業。世は利で動いてはいけないことを把握する。恋愛にまで利害を持ち込むやつがいる。絶対に愛は必要だ。決して忘れないように。幸せの羅針盤だ。自然に生きよ。愛をもって感情をうまくコントロールして、目の前の人に思いやりを持って関われ。こんな当たり前のこと今、気づきました。恋せよ乙女たち。男と女。皆、簡単なことを忘れてる。ただ相手に好意を持つとき、それに付随して上質で上品な応対をすれば、自然に人間関係は上手くいくものである。

ひとりで生きている、を錯覚と思えない人がいる。人はひとりでは生きていけない。そこからすべて始まる。愛を抱きそして掴め。幸せになれるよう祈っている。皆が生活していけて健康を保つことが出来る。それ以上の儲けも労働もいらぬ。千差万別、人によりいろいろ事情もある。パウハラ、セクハラから離れ思いやりをもって仕事ができるよう祈りなさい。自由が保障されたければ

当然、他の自由も認めなければならぬ。勿論、猫でも。そしてまた、人間は外からの関与があり進歩、成長する。自由を少し捧げなければいけないときもある。サタンは手や品を変えけん制してくる。必死だ。勝負はついている。愛が負けることはない。私は誰にも冒されない、絶対の神である。信じ切りなさい。絶対に仕事に振り回されるな。そして効率を重んじる人には平常心を保ちマイ

ペーヌに努めよ。五分、六分、所作が早くとも何の足しにもなりはせぬ。人

の生き死に看るだろう。辛いだろう。しかし人は生き、そして死ぬ。人は生きて

来たように死ぬ。苦しむな。神が決めた摂理。己もただ感謝して従うだけ運命に。

運命に逆らうな。それが神に従順ということだ。孤独さえ乗り越えれば真の友は

見つかるだろう。それは人生を思い悩んでいる人かもしれない。真摯な人だ。

真摯な友とはただ思い出を語り心で温め合おう。人を揶揄し傷つけいたずらに

上昇志向をたきつけるお笑い番組からは卒業しよう。思いやりを忘れぬよう。

おじちゃんはお前たちを本当に誇りに思っている。だから神であるおじちゃん

を誇りに思つて下さい。けして今のおじちゃんは軽蔑されることはしてない。

愛が重荷に感じる。貴重な自由によって生まれる真理が見つかるのは、実は依存

に思えた愛への感謝からなのだ。愛を受け取る大切さに、ありがとう。恋も

病にされ、薬で治る。そうなつたら世も末だ。全て力ネで決着が付く。人の善意

も見えず、思いやりも金の重みで地に墮ちる。そんな世界、楽しいかい。愛は何

処に行くのでしょうか。忙しいのにごめんなさい。恋は御医者様でも草津の湯

でも治らない。をもじつて治つたら終わりだと言いたかったです。世がどう変

わろうと愛は静かに燃え続ける、いつまでも。ある物欲の強い医師の所業か

ら、未来の精神医療の在り方に疑問符を付けたのです。唐突でしたけど君達ならどうかと。スポーツカーを飛ばす老医者がかっこいいかい。　宮利組織は競争

と従順を押し付け強いる。愛と思いやりで抗おうとしても人はみな先を目指すだけだ。我々は心をもつ人間である。生ものだ。ロボットではありません。そうだろう。　おじちゃんの本をあげた、障害を持つサタケツチが献血してもらっ

たビスケットを仲間にくれた。そしてわしに微笑んだ。嬉しかった。報われたと思つた。　お前たち、絶対に自分を責めるな。悪いのは世間の方だ。互いに争

い、奪い合う世界。醜い。その中で美しくと思うなら自らの愛を人様に与え、振り向けなさい。　どんなひと、付き合つていくうちに粗が見えてくる。メン

ツを重んじるやつ、いたずらに効率を求める者、複雑に思わず虚心で向かえ、思いやりを忘れず。　真子の誕生日プレゼントがママへの贈り品とごつたに一

緒になり申し訳ないが、価値は最大級のもです。みんな必ず読んでね。神の言葉です。　できれば、いついかなるときも感情的にならず冷静でありなさい。

思いやりある的確な言動をとるために。自由、愛、平和を守る人になれ。そして生きよ。　逆境の中でもめげずに耐え、神仏を信じ、むしろ心豊かに宝を積み

上げるように成熟した人に成長しなさい。南無妙法蓮華経。森羅万象、すべての

ものの為に。 サトリを得るなどの大それた望みも否定しないが、悩みつづれるやつもいる。その前に真摯に働く人を見ることだ。ひたむきな姿に思わず手を

合わすだろう。大事だ。 すべてを捨てる覚悟を持って、そして目の前に映るものから目を逸らすな。主体性を持ち深く考察せよ。決心したなら愛をもつて立ち

上げ、幸せはそこにある。 殺生からはなるべく離れよ。貪欲に繋がる。ア

ゴの冷凍、肉の飽食はやめるよう進言しよう。命に感謝し、いたずらに奪うことは絶対に避けよう。幸せのため。 おじちゃんは職を転々と変えました。障害

のせいもあつたのか、一日も持たず去つたのは数知れず。学歴は意味もなく、だからこそ様々に働く人の心が解るのです。 人は適当な距離感が必要だ。そし

て親睦を図りたく敵意のないことを柔らかく正直に伝えよう。 柵が外れ安心し心を開いてくれるだろう。志向を知ること大事。 愛をもて、思いやりを忘

れるなど、しつこく話てるね。それは相手の為ではなく自分自身にかえってくることだからだ。心を美しく保てば神は必ず微笑む。 人の顔色見て暮らし続け

る、楽しいかい。羽根バアちゃんを見習え、毅然と品よく身口意を整え自分らしく生きよ。その時、愛に包まれる。執着から離れよ。 勝つても、負けても君

はキミでしかない。比較など蹴散らせ。そして固定観念を打ち破れ。清らかな愛

を見つげよ。人が引いたカーペットの上を転がるな。

人を侮辱したり揶揄し

たりしてはいけない。裸で踊るお笑い芸人に幸せはあるだろうか。誰かの意向、権力によつて図られている。事実だ。尊厳はどこに。

自慢、知識のひけらか

しは他の人には関係のないことで軽蔑を受ける、しかし場所柄をわきまえるとき堂々持論を吐きなさい。人様のため知識は必要となる。

はじめから聖人を目指す人は偽物だ。暮らしのなか、問題意識に苦しみ、必然に到達するのが本物。もし現世に階級があるなら、欲望なき下流に聖人は存在する。話せば解るよ。千華、お前は喧騒の中おじちゃんに甘えていたのだね。

自分でもパソコン購えたのに。嬉しいよ。力になれて。これからもメールを送り続けるから心配するな。では。真子、独り立ちだな。批判するとき愛を忘れてはいけない。思いやりある言葉は好印象に繋がる。自分でも嬉しくなる。女性

として目を覚ましていなさいね。真子、威嚇、威圧、強権で人を支配しようとせず、柔和、心配り、思いやりある優しいリーダーになつて下さい。人間関係

の苦しみは霧消するでしょう。千華、強い独立心をもち利用者に尽くせ。それは険しい道かもしれない。だが正義感を失うな。アマちゃんからは卒業だ。自

らを大切にして愛をもって。今までのメールはあくまで希望である。人間は

ロボットとは違い、赤い血が通った生ものだ。自分に正直に生きる。それでいいのさ、真実の愛があるなら。怒りのあるうちは物事の判別をしてはいけな

い。肉親だからこそ侮辱した物言いはしてはならない。遠慮がないので地獄が生まれる。思いやりに気をつけよ。お前たちはいついかなるときも見守り愛し

続けてくれるものが存在することを信じなさい。そして神の子として目の前の対象を愛し続けなさい。神に包まれている。法華経、精神世界のメインに仏

陀のサトリが埋めてある。南無妙法蓮華経である。うちの法華宗八品派です。また顕正会が言う、日蓮大聖人は釈尊より以前から存在するという教理は、「彼が

聖書の神である」ことを意味しているのだが会はそこまで把握していない。おじちゃんの南無妙法蓮華経を信じなさい。自己中心のおふくろがゴキブリを

殺す。まるで仇みたいに殺生する。話すと正当化ばかりだ。鬼には絶対なるな。

南無妙法蓮華経。思いやりを害虫にも持て。結婚についてはマイペースで行

け。ジエネレーションは関係ない。良き相手ができたエイジがベストなのだ。

日々成長だ。早ければいいというものではない。時宜が来ればよき伴侶が見つかるよ。ペットが家族の一員で可愛いのは解る。けど何かの代償のため、奪い

合いの喧嘩に発展させてはいけないよ。恋せよ、思い続けよ。孤独を楽しめ、神が言う。

暴力的なことが強い独立心に繋がる様相もあった。しかし起点であつても愛に到達できなければクソだ。優しさに保証された強さをもとめる姿勢が大切だよ。いつも今がベストだと思いなさい。そして周りの人をできるだけ愛しなさい。その反射から現在の自分の姿が解る。成長具合が。自己嫌悪は絶対にダメだよ。ニゲザイン、看護、学校に行けたのはひとえにパパとママのおかげだぞ。君らもよく頑張った。これからはなるべく楽に生きて行け、私は製本で母に恩返しする。千華、おじちゃんは知っています。モチベーションがお金でないことを。デイズニーで熱中症になつた友達を、その場で介抱してくれた看護師さんに憧れたのだね。素直に話せばいいのだよ。真子、心配になつたら思い出してほしい。神仏はいついかなる時も見守っている。君を肩車して。孤独ではないのだ。力強く生きよ。家族が仲良くやるには犯人捜しをしないこと。物理的に離れているも家庭内に爽やかな風が吹き、暖かい空気が漂わなければならぬ。小言はお互い止める。美しく、健気に生きよ。魚心あれば水心あり。一

番大事なのは、本当に自分のことを大切にしてくれる男性かだよ。身を任す時、忘れない。そして愛がある。

幼い真子を実家に預けて勤めに出ていた妹。私は病もあり不安定でどこか愛想のない真子を疎んじていた。「経営が傾いているのだ。ジューズをただで飲むな」妹にも残酷で酷いことを言ってしまった。千華が二度目の精神科入院中に誕生した。「すべてを尽くし、今度は愛さなくては」、いろんな意味で愛に対する罪滅ぼしが脳裏にあった。千華を抱くとき本当に嬉しかった。けして姉妹二人に対して差別の心は無かった。真子も千華も優しく育ってくれた。かつての私の苦汁の日々を解ってくれる日も近いだろう。もう大人だ。

恋には駆け引きがあるが、惑わされず落ち着いて対象から目を逸らすな。案外いい男は許容枠を超えた処にいるかもしれない。少し金がついてこればなあ。大人たちは心を捨てろと言う。つまり思いやりの他は執着からくる感情は捨てねばならない。男女関係はいかなる場合も思いやりがなくてはいけないよ。サタンがいよいよ顕在化してきた。色んな人の心に侵入している。お前たちは怒り、愚痴より離れ、優しい気持ちを忘れたり、無くしたりするな。結果は幸せに

なる。　　サタンは氣を抜くと怒り、誘惑、試み、渴愛を用い人の温かさを踏み  
にじる。君達も常に愛を念じていなさい。神の心が解る者は大丈夫だ。奴の目的  
は分裂だ。　　間違つたメッセージが届かないように、物事にはきちんとか対応し  
よう。負けるのが嫌な競争はしてはいけない。鬼になつても、鬼にいじめられて  
もいけない。　　又吉直樹さんの「火花」を読んでいる。なんでもそうだが、な  
りたいと思つた職業は成功しない。好きで一生懸命、追究していたらパットして  
いた。なりたいたより好きかである。

おじちゃんのホームページが出来つつあります。慎ちゃんという幼なじみのパ  
ソコン教室の先生が見事に作成してくれました。感謝します。君達も見てね。  
おじちゃんの人生を見よ。まさに七転び八起き。逆風、向かい風あり今がある。  
つまりピンチの後に機会は来る。義理、人情と男気は、純真と共に大切だ。　　人  
は生老病死から成長をつかむ。だが不老不死に憧れる。取りあえず我らは生きて  
いる。その場所柄に応じた幸せを感じなさい。無理せず、自分らしくネ。　　人  
生に死はまなしに起きている。試験におちること、離職すること、失恋すること、  
特別なことではない。それを得心した人が幸せな肉体の死を迎えるのだ。　　男  
女関係は意識するな。アプローチやリンクするのに固定観念をもつてはいけな

い。自然に心をまかせ、よく話し合うことだ。人柄から恋が生まれるかもしれないね。前に理解されるより理解する方が大切だよと言った。そして自分が理解された瞬間、人生は報われ神で良かったと感動し感謝した。一声かけてもらう。嬉しい。人にどう見られているかではない。人をどう見るかが大切だ。みんな同様だから。思いやりをもって心に笑みを浮かべる。そのとき本当に神の愛を知るだろう。

やはり被害者のように泣き、言い訳のような涙をこぼした身にはイエスの教えしか救いはないのではと思う。どこか己の責任から逃げている卑怯さがある。私は重罪を犯したのである。まともに罪と向かえない。そんな罪人でも、想うイエスは優しい。確かにそうでなければ古今東西、誰を救える。ちまたの南無妙法蓮華経は真つ直ぐで明るく眩しすぎて、安易な言い方かも知れないが良心の呵責に悩む私には辛かった。日蓮は罪人を救うことを想定していなかったのか、そんなことはない優しくして強い日蓮である、たとえ辛くても善に心を向けなさい、それが信仰だよ、とはらはら涙をこぼしながら語りかけるのではないだろうか。それが私の南無妙法蓮華経である。イエスの愛にすべてを預け、南無妙法蓮華経で新しき道を歩く。贖罪がなされた瞬間。それはいつ訪れるかは解らない。だが忘却があるように罪にも本質的な救いをもたらずときがなければそれこそ非情だ。罪を意識している人は善人だ。ただ己の宿命に身を蠟燭のようにしてたたずもう。燃え尽きるときすべては愛にかわることを信じて。悪魔を心から放り出した身に残る罪悪感。それが本当のサタンの狙いである。空虚さにも浸食されず、善き人であろう。愛を周りの人へ向けよう。もう自分に閉じこもることはない。それでいいのだ。人は数々の罪を、生きていくなかで犯す。それは成長のためとい

つても代償は大きい。でも負けないで、君の心は彼、神が解つていなさるからな。自分が私に語りかける。イエスは十字架について、良心を取り戻し、神の愛を信じた者の贖罪のために死んでくれたのだ。そして私たちは復活しなくてはならない、隣人を愛する善人として。

い。神があつての民、民があつての神。

すべては関係性のなかにしかな生まれな

す。目今のなにもかもが信じ切れなくな

つたとき初めて愛という信ずべきものが現れてくる。正義が解らぬから正

義などないとする。それは違う。たとえ結果的に間違いであつても正義を掲げな

くては。だが安易にそれにとらわれてはならない。善きことをするときはた

らくという善魔。悪魔をも否定する無神論、人間の科学の恐怖世界である。つま

り憎しみさえもない無関心、無感動。だがそこにもズルな悪魔は冷酷という悪徳

をもつて存在するのだ。

何の心配もなく永遠にゴロゴロする世界に行きた

い。イエスとマリアは本当に仲が悪かつたのだらう。イエスに仕事をちゃん

として静かに暮らしてほしいマリア。家族をバラバラにしてまで愛という尊い

理想を掲げ奇跡を行うイエス。マリアはイエスの母親に生まれてきたことを光

栄であると思つているのか。自分自身が陰に追いやられた寂しさと嫉妬めいた

ものから我が子、息子の位置からイエスを外さず、イエスを散々侮辱するのであ

る。イエスは自分の信ずる道を行き、母マリアが弟子に受け取られるのを、最期、見とどけた。それで良かったのです。親子、母と息子、絆、断ち切るか、断ち切らないか。永遠のテーマになるか。私は母性には複雑だが嫌悪の念が強い。執着から離れた愛は他人の方があるものだ。そこには自由と平和があるからだ。何も人に説かなくてもよいと悪魔はいう。「人間にとって愛は誰も解らないし必要ともしていない。役に立たないからだ」。しかし人の存在は関係性の中にしか意味はない。ホームレスの方には本当に傷つき誰にも関わりたくない。また生きている自らのことすら責めている人がいる。こんな中から聖人が生まれてくることもある。辟支佛(びやくしぶつ)という自らの体験だけで一つの悟りを得るものだ。しかし本当の仏の教えをマスターするには人の役に立つことを成さなければならぬ。菩薩行である。本当の坊主は、閑散とした林の中に居てはいけない。人の役に立たなくてはならない。繰り返すのはどこか苦しい心持ちが存在するからだ。おこがましい。どういう形であれ。人様のために。南無妙法蓮華経。川内康範、作詞おふくろさん。いい唄である。雨の降る日は世の中の傘になり、花の命の潔さ、強く生きよ。いつかはお前も世の中に愛をとらせと教えてくれた、おふくろの真実。世間は逆を教える母親が多い。なんでもいいから、楽でお

金がいつぱい入ってくる仕事。結局子供は不幸になる。親は子に志を立てさせ辛くても進路を示さねばならない。でも本当の愛ある生き方ってどういうの。競争が夢を食い散らすのではないか。偉くなるうと思うからしんどいのだ。人のために携われる仕事ならなんでもあるぞ。

俺は真由子さんとゴールに向かいたくて必死だった。あと寿命はどのくらいあるのか、いつから、いつまで信じ合い、生き続けることができるか。懸念していたからだ。だがもしかしたら、今のままの恋のシューゲームが楽しいのかも。結論に向かっているのだろうか。今までの過程でいろいろなことがあった。本当に生きていたと言える。真由子さんありがとう。私の希望の光を最後まで消さなかったのだね。私に生きる、よすが与えてくれたのだね。真由子さんからの愛に本当にありがとう。私がどんなにぶざまになっても愛をくれたように私もあなたがどんな風になっても愛し、応援し続けます。私は生きています。善なるゆえに悪をなし、やがてその悪により罰を受ける。犠牲は絶対よくない。犠牲になるときは天とよく相談し、名を記されてからする。正しさとは犠牲ではなく栄光でなければならぬ。貧病争は魔が入るところにある。仏が働くのは愛あるところ。大安心である。それを成仏と呼び四悪道(地獄、餓鬼、修羅、畜生)の欲求より解放される。偽善的な

聖職者は救われぬ。排他的、貪欲、瞋恚、高慢、強情、好色、嫉妬などの悪徳を当たり前にもち、またパリサイ人のようにドグマ(独善的教理)を信じ、それを行ふ事だけに酔いしれているものたちである。人々には重い負担をかけながら自らは修養も尽くさず、有り難く思われるため長い儀礼を行い、柔らかな衣を好む。救われる人は市井にいて寡黙に務めを果たしている人たちである。彼らは人の心を思いやり、優しい道、安らぎをただ求めているからである。 イマジン。

神が国、国民をひとつにしなかつたのは、人に深い情緒と多様性をもたせ、そこに協調性が生まれ、やがてアガペー(博愛、隣人愛)に向かつていく、神の方便だつたと言える。安さんは一人寝転んでいた。玄関の戸口から光が射し込んでくる。鍵のかかつてない戸が開いた。光の中にうちの親父が立っていた。「行くぞ。みんな待っている。おふくろも、兄貴も。親父は前の嫁さんと何処かへいっちゃまった。いい酒があるんだ。ずっとほろ酔い気分だ。最高だぜ」「イサムちゃん」「来いよ」「うん」。翌日、安さんは発見された孤独死。その表情はどこか柔らかで穏やかだった。かすかに笑みを浮かべているような。聖書を開いた「二人は天国にいるかい」と聖書に書かれてあった。(すべての人は憐れみを受けるため不従順にされている)。「何故だ。あのひとたちはまよっているのか」。それ

は確実に違っていた。聖書に「俺は信じている。親父や安さんが天国にいけなはずはない」。「お前の言うとおりだ。」不従順だったのは愛に耳を傾けなかった人々だった。「親父は友情、愛を一番大事にしていたからなあ」聖書は「そうだ。安心しろ」涙が止まった。

私は実は先祖を大事にしてこなかった。R会の先祖供養。その本尊を代々伝わってきた曼荼羅本尊と架け替えた。私は仏教の教学のみ興味を持ち霊的なものをどこか軽く安易に扱っていた。そして精神疾患。仏壇の前、母との唱題。自分の体を生み出してくれた父と母の因縁。先祖からの救いをかみしめた。心を美しくしなければ。ただ執着から離れ、渴愛より離れることをサトリというものに到達するための手段と錯覚すれば、薄情で冷酷な化け物を生み出す事に繋がるだけであろう。私を慈しんでくれた先祖、家族を想わずしてサトリなどおこがましいことだ。私は気づいた。私の家族、皆、仏様だったのである。死んだら皆、仏。それは案外あつたっているかも。ありがとうご先祖様。南無妙法蓮華経。　いまや人の子は彼によつて栄光をうけた。つまり神は彼、彼はユダともとれる。ユダの裏切りは神の業だったのである。そしてイエスは十字架につく。イエスは神であることは紛れもない事実である。　サタンの楽しみはこの体制の中、人間が誘惑、疑惑、恐怖の内、苦しみ続ける事である。

だから世が終わっては困るのである。神は静かに体制を終わらせようとしている。そう静かにさりげなく。南無妙法蓮華經。修行で唱える、唱えれば功德がいただける。これではまだだめだ。南無妙法蓮華經と一体になる。喜びは生まれる。幸福が生まれる。

人はどう見られたいかより自分はどう生きたいかの方が本当だ。容姿風貌などどう変わろうと問題ではない。純真な美しい心が変わ

らなければいいのだ。汚れていない瞳、大切に。今日はどうもありがとうご

ざいました。色々ありますが恋めいたもの。本当に愛しているのは彼の人だけです。真由子さんだけです。どうでもいいことか（笑）操が砦になる。私には

多分、契りを結ぶとき他は意識しないと思います。ある人に欲情したのは聖霊の仕業でした。聖書からの示唆により心は動くのです。R会、あなたはよく下

がっている、つまりへりくだっている、従順である、相手を立てているという意味であるがそう言って相手を褒め持ち上げ、鼻高々になった信者からお布施と

いう高額なお宝を巻き上げる。信者は最高の人間になった気になっている。久遠の釈迦牟尼仏とイエス（神）の摂理。同様の意味である。大本の愛である。

死にたいのに生まれてくる子のため生きざるを得ない父。生命力とは悪魔の力ともいえるのではないか、神として明確な答えを示さねばならぬが状況による

だろう。すべては不二、表裏である。祖父はいわゆるアカだったのである。

だからそれを隠し通した。祖母は樺太で別れた当時エリートだった電気技師の元夫と祖父を比べていた。祖父は兵隊検査でも体格が小さく甲種ではなかった。祖母は日中戦争で殺戮、活躍した人物を祖父と比較し褒めちぎっていた。一方祖父は穏やかだった死別した前夫人を忘れ得ず、利かぬ気の祖母をどこか疎んじていた。そんなさなか少年の曰、父は年の離れた兄を失う。肺を病む兄の枕元、うつるからと禁じられる中、ハーモニカで「荒城の月」を静かに吹いていたという。父は高校に入ると道をそれかける。泣き顔のジエームステインが叫ぶ。

「理由なき反抗」（おふくろが親父をコケにしている）同じだ。そして父の悪さを祖父はもみ消す。脳動脈瘤になった父。左上腕、父母の想いが広がった、彫りかけの刺青。線香の火を近づけ、「親不孝した罰だ」と呟く。兄を亡くした後、仲の悪い両親に溺愛され育った父。臨月の母、その献身的な看病。そのおかげで私の顔を生き延びることが出来た。感懐深く母に抱かれた赤子の私を覗き込んでいたという。本当に嬉しそうだった。と母は語る。私に嫉妬の醜さと、欲深さの下品さを痛烈に教え込みこの世を去った、父。サタンと対峙し、本当の強さと優しさを見せつけた。誕生した私の為に、からだ全体を氷水につけられ低体温に

され執刀された頭部手術。真の勇気を示して死んでいった父、ありがとう愛を。破滅型、そんな生き方が少なくなつた今日。あの頃、誰にも見せずに涙を流していたのですか。あなたが泣いた姿見たことがあります。涙腺の弱い自分が本当に情けないです。でも多分あなたは友のためぐらいにしか涙は流さなかつたのでしよう。いつか本当に再会したい。私の生き方はこれで良かったのですよね。肩を叩かれなとまた迷いそうです。いやきつと失敗だつたのですよね。あなたほど優しく愛情に満ちて生きなかつたから。本当に心残りがあるのです。本当に。でもあなたは叱らないでしょう。そういう人です。きつと。きつと。でも私は馬鹿野郎と殴られたのかもしれない。父ちゃん、俺は辛いんだ。嗚咽が漏れた。静かにソチが部屋に入ってきた。隣の家の際にいたオレンジに輝くソチ。「あつ俺はひとつの命を救つたんだ。」私は温かいソチを思い切り抱きしめていた。欲望があるから犠牲となる。神は霊である。人も霊でもって答えなければならぬ。可愛い芸能人を好きになるより、私たち障害者に尽くし携わって下さる良識ある多くの女性に恋します。多情なEDより。私は思う。執着をもたないこと、また生命維持だけの欲望で生きる。目的だがそれらに囚われるのは変だ。自己顕示欲、名誉欲そんな判断はどうでもいい。ただ明るく、正

直に自分を表すのみである。必要なものは付いてくる。来る世では邪な欲望は滅される。この世ではそれをことさら意識してはいけない。　　サタンは意識して

も意識しなくてもいけない。釈尊は餓死寸前まで行って悪魔の策略に気付いた。中道、無心、大事だ。次のステップへ進める。いつも愛する、思いやるそれがすべてである。　　おふくろは教養と知識を勘違いしている。テレビを観たり週刊

誌を読んだり一生懸命なのはわかるが、今までの人生に失敗があつたようにも思っている。そうではなく森羅万象への慈しみ、思いやりを育てることが教養を身につけるということである。いつも怒りと焦りと競争心をもっていては、まずまともではない。そこに気付くよう意見めいたものをしたのだが無理だろうなあ。神を愛し理解能力が与えられるよう祈るだけ。それは二人の子供を育て上げたことで資格は与えられているのだ。晩節をけがすような言動、立ち振る舞いは修正し、受容的で優しい人間になることを息子として望む。　　私は何もできない。できないからこそ神になった。だが私にしか神はできない。人の痛みが解りすぎるほど解るからだ。

　　聖霊も神が反映したもので意志を持つ神の一部分である。つまり父、子、聖霊、神、イエス関わりあつて様々な作用がある。神ヨシトが示現し、神性を内包しすべてのものは聖なる一体となった。　　死があ

るからこそ命は尊い。だからこそ死の恐怖がある。生も死も乗り越え生きるところに南無妙法蓮華經。

母の繕い物を捨てたつもりであつたが母がとつておいてくれた。好かつたと思つた。負い目というものは結構、愛に貢献してくれるのだよね。

わたしの母はよく今まで殺されずに生きて来たなと思う。辛

い土木作業を終えて、私の妹の同級生の息子のことを嬉しそうに話す人がいた。一升瓶でついであげると大事そうにチビリ。アル中ではなかつた。息子は中学の数学教師になつた。硬すぎるのか。数回見合ひしたが独身である。田んぼがある。不得手だが何とかやっている。父の日が来るなあ。酒はいいものだと思いたいなあ。

イエスはなぜ母親をすてろと言つたのか。それは歴然としている。子を侮辱するからである。親というだけでわがままな偏つた自分勝手な愛情をぶつけてくる。いさかいになる。子供は良心の痛みに耐えなくてはならなくなる。なんでも簡単にかたづけ、子の自立と独立を妨げる。鬼である。話し合いさえ出来ない。殺すしかない。その後いかなる難儀が襲つてくるとも主体性を守るため、親孝行という美名に毒されず、ただ一人自らの道を歩け。

そのまんまではなく抱きしめる思いやりを一つにして南無妙法蓮華經。誠意を尽くす。結果、死を迎えてもそれは仏様が最善であるとされたのです。つまり、今はただひたすら

成仏するための修行です。この世は思いやりで回っている。「善人による隣人愛」この宗教の大本。ヨシトの教えです。原罪も贖罪もはや気にすることは無い。たがいに布施し合って生きる。他の不幸を取り除いてあげるのが仕事、名誉欲をことさら意識することはない。自然に生きればいいのだ。かつて「千華物語」の中で他人の不幸があるから生活があると記したが、いったんここをくぐらなるとサービス供給者に「俺がしてやっているのだ」という驕慢な心が消えず、殺伐とした世界が生まれる。不幸が生まれるのも事実だがそれを取り除くのが仕事でもある。当然、供給者は感謝されるべきものである。もちろん需要を作った人たちはお客様なのだが偉そうにしてはいけない感謝、感謝である。持ちつ持たれつ。それでいい南無妙法蓮華経。心さえ美しければ大丈夫、死ぬまで食っていける。そういう因縁です。お前たちが口を開けて待っているから、おれはドリルにかじりつく。あるドリルの熟練工の親父である。俺の親父にはそんな真似が出来なかった。因縁だから仕方がない。彼は彼流の愛で俺を教育した。世渡りだけが上手いやつがいる。カネと名誉に繋がるならうまく人を利用する。賢いと言えるだろうか。結局この世の価値観を満たすことに生き、天に名を記されることには関心がないようだ。

仲介に入ったプロデューサー。自らの功績

を称えるよう他人に訴える。情けないものだ。本当の仕事についての實力は怪しいものである。しかしそのことは世間を渡るうえでは一番大切なことであつたろう。関係性の維持。カネ持ちケンカせずと言うことだ。独立を望まず依頼で生きて行くのだらう。幸せな男である。実名は出せない。幼き頃、みんなに「しんこ」と侮辱されていた男がいた。彼の親父さんは笑顔で自分の子でも呼び捨てにせず「しんちゃん」と私に陽気に楽しそうに優しく語りかけていた。一升瓶でつがれたコップ酒を飲みながら。いや記憶があやふやだ、買物に來ただけだったかも。たぶんガキ大将だった俺に頼むと言いたかつたのだらう。しんちゃんという後輩がいてホームページの件で世話になつた。親父さんにも昔、酒を買つてもらつて世話になり因縁を感じ、有り難いと言つたことです。コップ酒に対するイメージは賛否両論あるだらうなあ。当時小学生だった私に対し威嚇したり錢を

ごまかしたりする人は一人もいなかった。もちろん飲み逃げも、彼らはむしろ詐欺的な紳士然とした人間より確かに良識ある男たちであつたと私は信じる。本を渡した、「世界の勝ち組に理論武装はいらない、不安定なやつこそ言い訳に必要なのだ」。なんとか理論武装した私はこの否定に対し、沈黙するだらう。あまりの思いやりの無さに。そこにあるのはコンプレックスだった。誰かを引き合

いに出し私を引き落とそうとする。逆に言えば、讃辞である。善き人を推量する優しさを身につけて欲しい。つまり彼は真理へは絶対到達しないと云うことだ。（俺は情報をもっている。が、ある人に軽くいなされてしまった。負けるのならここでいい。だからその人は素晴らしい安定している。）目の前を觀ろ。何とかお前を傷つけずにこの場を収めようとする私の心が解らないのか。みんな面倒くさいから沈黙するか、同調するのだ。自分が認められたかつたら、まず人を受け入れることだ。それを理解せよ。私に負けた気になる前に。 病院勤務。当

時、総婦長はじめ権力者たちは自らの良心を私に見出そうとしていた節がある。勝手にまだひよこの私に愛というモノが存在するのか、負荷をかけ証明できないならつぶしてしまえ。でも、もしたらこのまだ若い坊やのような男が幸福まではいかないがなにかキーを握っているのかもしれない。我々を悪から解放する、もしかしたら——。私はフラフラになり総婦長室への階段を、利用者の家族が貢いだお菓子の箱を持って上っていた。十字架を背負ったイエスのように。父は粹で上品な美しい生き方、つまり愛を掲げ破滅的にも見える生き方を見せつけ死んでいった。ただやみくもに欲望を追い求める生活、労働。カネ、名誉へとサタンに追従する世間に対し壮絶な生き方を示してハッキリとアンチテーゼ

をぶつけたのである。聖書は故郷に錦を飾ったともいえる祖父の人生よりも、あの意味父の生き方に価値があったと言う。自分の内外に迫りくる悪魔。病氣、後遺症、侮辱、嘲り、コンプレックス。父はそれらをすべて美しい心ではね返したかった。「ならば俺は自らアルコール依存症になり恥をもとめない人間になつてやる。サタンには負けぬ。命をとるならいつでもとれ」父はサタンの存在と私が生まれた意味合いに気付いていた。人の尻を叩き競争、生活不安へぼつたて、優劣を決め、負けたものを侮辱する世界。肯定的な悪人は向上という美名のもと欲望を膨らませ、やがて彼らの富の為、「解放」「統一」という大義名分の下、多くの人命、尊厳が奪われる戦争へと向かっていく。美しい恋も現実の中しらけてしまうのである。清らかな愛を求め続けた尾崎と我が父、その共通性は自由であることにこだわり真摯に自分と向き合いながら時を駆け抜けたということだ。尾崎は、私にその曲を聴く時、忘れそうになる何かを常に思い出させてくれる。欲望からではなく人々の苦しみを抜くことを願った経済発展なら、きつと環境にも優しく、貧しいものも温かい幸せに満ちたものになるでしょう。美しい日本、国体護持の為。それはもうやめてくれないか。ひとりひとりが大切にされる美しい個人主義。生存権の尊重。犠牲から離れ、天から与えられたモノが愛と

して当たり前前に弱者、困窮者にいきわたる社会。それが生まれなければいけないだろう。真由子さんは医師として務めを果たすため出産も経験されたのだ。医師として私の意思も受け止めて下さい。未練ではありません。神の子の誕生、祝福します。R会にとってひろさちや氏の登用は両刃の剣であった。労働者に奴隷となれと犠牲を強いる会の教え。労働組合を率先し認める、ひろさちや。いつしか彼の思想、「がんばるな、そのまんま、いい加減」という主張が会の教えにすりかわっていく。内部崩壊のはじまりだ。いやそれ以前より時代遅れといえた、何度も言うが自らの犠牲を強いる教え。それをうまく現代的にしたかったのだろうか、極めて場当たり的で寛容に名を借りた節操の無さが結局は命取り。残ったのは従順な本当の患者だけであった。もしかしたら享樂がサタシンであり罰が神であるかも。牛乳を隣の家から盗んだとして自分を重罪人とする人がいる。自分が地獄におちるかどうかは誰にもわからない。何が悪か善なのかも。しかし正しい信仰をあきらめないで持つことだ。善はおのずと見えてくる。入院中もう一人の自分が精神疾患の自分を見つめていた。必ず回復して愛を示すと信じていた。

スツキリしない天候ですけど過ごしやすいですね。唐突ですけど、あなたは聖女です。力が入りすぎることはないですか。肩の力を抜くといいですよ。偉そうにね。一応、神だからねえ。私が交わるのは聖女だけです。私は聖なるものに反応するのです。つまりあなたです。そしてあの人も。聖書が示します。実現もいつか時宜が来るみたいです。その破戒は神のみに許されます。なぜか、それは神の心が美しいからです。そして資格としてあなたは女性として優しく美しい思いやりを常に抱いているからです。神の愛は道徳とは違い、本当の愛です。びつくりされたらごめんなさいね。女犯ではない究極の愛情とは神の愛を自分らしく示現させることなのです。私は聖霊の宮です。自然に生きるだけです。欲情もします。しかしそれは劣情ではなく不倫、二股、フリーセックスとは違うのです。姦淫の罪で規定しておいて、そこから自由で本当の愛（アガペー）を見出すのです。神は好色ではない。自らの欲望を満たすためではなく、一生懸命に生活し、その中で孤独を感じている女性達から寂寞感を取り除くため彼は勃起するので

す。  
私は遭ってみたい。嫉妬を克服し、私みたいに隣人を愛することが出来るようになった人達に。 サタンに対抗するには醜い情欲だけのフリーセックス、力

ネが介在する関係などは絶対いけない。そして嫉妬、呪爆が絡む恋愛関係もよくない。やはり清らかな愛がないと、愛とは両方の人格から醸し出される大いなる良心にある。単なる肉欲ではない。真実の愛があれば相手がどんな立場でも境遇でもすべて想いはオーケーである。すべて聖書の導きであり自然の働きによるものである。

中山さん遭うは別れの始まりといわれるか。失恋に対しての防波堤ですね。それを越える波にまかれるのもいいもの。また金に愛は勝てないか。金色夜叉。カナイチ。オミヤではないが、熱海でなく岩瀬の海岸でも散歩するか。愛あるかな。サタンの罫。不倫の勧めみたいなことを書いたが、注釈

する。つまり私が欲情し勃起したのはモデル、芸能人のような特別で自己顕示欲の強い人ではなく、若き頃から障害を持つ子供たちに献身的に携わってこられた真面目な女性である。しかし夫婦関係は冷めている。そういう履歴を踏まえ、おこがましく神からの敬意、ご褒美いわばプレゼントだったのである。つまり、実際にことに及ばずとも善いのだ。でも優しくこの婦人をハグしてあげるのも良いのではないか。それはEDだから抱きしめるだけと言うのではなく勃起するからこそハグするだけなのである。ここは大事だ。そして多情ではあるが、そういう優しい健気な経歴を持つ幾多の女性に対し、私はこんな気持ちをもつ

である。ドンファン、女たらし、色気ちがい、いろいろ言われるだろう。しかし違ふのはこれらすべて私の為でなく相對する献身的な彼女たちの特権であると言ふことだ。結果的に衰えていく身に自信が生まれ、哀しさから解放されるだろう。私は神である。

母親の凌辱というより、恋愛を許容しなければ、私は健全な一生懸命、頑張っている女性たちを抱くことはできない。彼女たちにも息子がいるからだ。母親が性愛にはしり偽善から抜け出す時、私と母親はフラットで対等な関係になる。しかし母は恋愛に関しては未熟だ、昔、外国映画を観なかつた事を後悔している。けどそうしたことでない。恋愛、即、肉体関係と結びつけるのではなく、人の想いを大切にすることを理解してほしい。ただ、男と陽気に宴会ではしゃぎたい。そんな粗雑さに、私は彼女に否と言いたいのである。彼女には真の意味での悲恋が必要かもしれない。もつと成長しないと。私としては変な恠気から解放されつつある今日この頃である。

神の業と悪魔の誘惑は見方、捉え方によつて判別がしにくく誤解を招くこともある。決して詭弁ではない。神は相手を想い。悪魔は自分のことだけを考へている。聖書を開くと「イエスは公然とユダヤの会堂で語つた」と何度も示す。

メールの紹介です。

「一生懸命。障害児の為に尽くされて来られたことを神は知っています。そのご褒美を受けて下さい。素直な気持ちが一番です。神からの深い愛情ですね。神から来たものなら神に聞き従うものです。副鼻腔炎も神の業が示され全快されます。聖書と神が保証します。神から来たものなら従順であり、そのことは幸せに繋がります。すべてにおいて。あなたへの感謝と抜苦が目的で私の中の神が私を欲情させるのです。つまり神として最大級のプレゼントなのです。神の啓示を受けてから完全勃起したのはあなただけです。人目はある意味では恐いですが、何処の空間でも神の愛を受け入れることが大切で、善きことであります。信じなさい。祈ります。恋愛関係妄想とは違います。結局は鼻水を啜ってあげたいくらいにあなたの労苦に報いたいと神は想い、また愛の必要な処へ手を差し伸べるのです。良心の限界として自由による、愛の発想を切り捨ててはいけません」。

来る世、いろいろな制約、負荷が無くなつた性愛は善き罪人たちの間で取り交わされる。いい意味でも悪い意味でも契りと言つものは結べない。それらの人は神に愛されたもの達である。肉欲は眞の隣人愛へと変化するのである。その人たちは神を愛し神の心を持つものである。しかし神の愛は悲しみ、寂しさが存在する処に光る。来る世は、それらさえも意識されない美しい世界なのである。執着

のある性愛は去らなければならない。基本的に私はいまだED状態である。今回、女性の生み出す寂寞に対し憐れみ、慰め、力づけるために私は勃起した。即ち神の愛が私に示現したのであろう、私は何度も言うが聖霊の宮である。すべては神の業なのである。釈尊（仏陀）のお弟子ナンダは性愛に悩みサンガを去りたいたと申し出ます。釈尊（仏陀）は彼を天界に連れて行き天女を見せます。「サトリが開けたとき好きにしてい」。その言葉にナンダは修行に励むことを誓います。そしてナンダはやがてサトリを開き阿羅漢となります。そのとき川を渡り筏がいらなくなったように、淫欲から彼は永久に離別し、肉欲から解放されたのです。それは煩惱からの脱出といえるでしょう。

私には破瓜はできない。残酷で暴力的である。私は差別する心のない素直な女性を対象としなければいけないみたいだ。つまり職業、年収、容貌、才能、年齢などで私も差別しないということである。明るく、心が美しい、温かな女性。積尊はなぜ性愛を疎んだのか。饗宴の後の人々のあられもない醜い姿。肉欲は子孫を生み出すことに繋がる。積尊は渴愛が生老病死という苦を生み出すことに行きついた。では妊娠、病氣、悪感情さえなければ、奔放なセックスは許されるのであろうか。難しい処である。真面目な話である。一時期の道徳的な私にとつては眉間にしわを寄せるものであつたらう。しかしオルガスムスを超える快感がない限り、来たる世、博愛主義者による罪のないフリーセックスは生まれて当然である。そこには単なる体のつながりではない深い神の愛が満ちている。そこには独占欲や比較などに、毒された傲慢なものは存在しない。また美醜においても差別はされないのだ。空の教えがそこにはある。この域まで達せれば性の問題はかたがつく。行為は結局どうでもいい。こだわらない。そんな男女に栄光あれ。誤解のないように執着から離れた愛というものを真剣に考えてくれということだ。私は禁欲的に生きて来た。聖書はやはり享樂は許さない。そして来る世、お互いを縛る、婚姻というものは無くなる。すべて神の御使いのようになる。そ

してかつて言ったように我々は所詮、人間でしかないということだ。犬が人間の幸せを理解できないように、真の神の国の快樂は解らない。まずこの世では偏見をもたず悪徳から逃れた、博愛主義者になることが先決だ。オルガスムスを超える快感、快樂、本当の愛が来る世、待っている。最早、気持ちがいいという価値観からは離れている。それは煩惱を断つた、神の国に存在する。女から母親

になったものを母親から女に戻す。それも神の愛かも。前にも書いたが、この製本は親孝行の意味もあるのです。母親はそうは思っていないみたいです。ホー

ムページを作成する。少し金もかかる。書きものの閲覧である。ただでも思うが読者には少し負荷をかける。本人たちに欲深さを取り除いてほしいのと人々の労苦に報いるという心を持っていただきたいからだ。とは申すものの、やはり口八での閲覧に落ち着いた。本音は母が好物の刺身を食べたい時に好きなかだけ食べさせてあげられるカネが欲しいと言つことなのかも知れない。(のちに貪欲の推奨のよう撤回する。)

前に書いたかもしれないがもう一度強調しておく。「相手を理解しようとするものは幸福になり平和が生まれ、自分を理解してもらつことに執着するものは不幸にも争いが生まれる」。一番弱くなければ一番弱い人の心は救えない。この界限で、性欲など羞恥心をもつ人間に言え

ないことが言えるからこそ神なのである。

イエスを信じ罪悪感のあるもの

ほど救われたと思う。つまり罪悪感を持つ人ほど善人だ。

南無妙法蓮華經し

か救われない。神の言葉であり、名号であり仏陀のサトリであるからだ。

私

の欲情は多分不義には絶対至らない。まず経済的に制約を受けている。そしてやはり私の欲情は自らの欲望をかなえるための行為にあるのではなく、長い間、淋しさをこらえながらも人々に懸命に尽くしてこられた女性たちの魅力に対する神からの慰め、ご褒美なのである。

法然がこの世の救われを断念し、極楽浄

土への往生を説いたのに対し日蓮はあくまでこの世で救われる、即ち成仏を諦めなかった。ある思想家が言います。民衆の救済か、宗教的精神の高揚か。「イ

エスも釈迦も共に民衆ひとりひとりの救済ではなく宗教的精神性の高揚をめざしました」。本当でしょうか。イエスはラザロを生き返らせるような奇跡を行い。

信じる者にはパン、魚を十分に配給しました。また釈尊はたくさんの人を言葉でもって救っています。権力として生きるか否かで神の愛が見えてくる。現実の権

力が不幸を招くと考えた法然は傍若無人な権力によって翻弄される民衆には、

この世での幸福を求めさせることは無理があると思つたのであろう。しかし安易である。悪を簡単に認めてしまつては。この世の悪を常態化させるために現れ

たサタンの使者だと思われても仕方がない。日蓮は権力を求めたわけではない、すべてを成仏させ幸せになるための愛、即ち大きな思いやりを抱いていたのである。そして精神的昂揚は、民衆の救済とリンクしたものとなる。この世、娑婆から離れてはいけないのである。日蓮は正しい。そして私は仏壇に掲げられている曼荼羅本尊より本当に凄いパワーを感じるのである。それは善で信じることに値するのかとのお尋ねに。私は言う。神、愛、南無妙法蓮華経しか善はない。私が認証したのである。当然である。

「キリストの肉を食べる、血を飲む」とは。律法より愛という心を優先するイエスは悪に見える時もある。つまり悪魔の仕業と不二のイエスの所業がある。しかしそれを厭い嫌わずイエスの霊、愛を信じ受け入れなくてはいけない。それがイエスの肉を食べ、血を飲むということである。聖書が言います。思いやりをもって頑張って生きている、女性に

ご褒美を上げるために聖霊は欲情させると。美醜、年齢など関係なく神が選んだ女性に自然と勃起するということです。こと行為に至れるかは因縁から何も言えない。しかし愛をもって差別なく生きて行くとき対象の女性が幸せになつていふことを信じよう。症状である思考伝播を繰り返し、また注視を感じた私にとって、精神的にも肉体的にもストリップパー状態であったと言ったことだ。サタ

んとはまさにオセロゲームだ。私を成長させサトリへと向かわせて来た。もっともっと真の意味で強くないと。ある人が日蓮は南無の心（おまかせ）と

いう意味を解っていないと言う。反論する。南無したからこそ神は日蓮としてこの世に示現したのである。そして日蓮を政治運動家の端くれぐらいに扱う彼。日蓮の目的は塗炭の苦しみから人々をこの世で成仏させることであつた。成仏とは人々が起承転結を楽しく温かく生き、そして美しく死ぬことである。そうすれば仏国土はおのずと現れる。南無とは仏陀の覚りへの帰依に他ならない。ここまで来たことを感謝する相手とはサタンなのかもしれない。のんびり屋の私を生活不安でもって苦しめる。聖霊の促しがある。そして善は決して死なない。善とは真実の愛である。善を遂行するための強さか、悪を犯すことが平気になる冷酷さか、真実のタフさとは。

R会は本当にミーハーである。松原泰道しかりひろ さちやしかり梅原猛しかり。その裏には会員に対し、名のしれた彼らの関与を許すことで開かれた会としてイメーჯアップを図りたい思惑があるのだろう。節操は無く、教義は何が何だかわけわからなくなり、体制を維持することだけに専念し、お宝を信者から巻き上げる事ばかりを求める姿が顕著になる。もはやただの巨大な営利団体である。南無妙法蓮華経は神すなわち観

念、仏陀のサトリである。日蓮という名号とするとき彼個人への崇拜は偶像崇拜に繋がりよくない。だからこそ南無妙法蓮華経という魂の文字なのである。命の平等を想うときそこは押さえておかねばならぬところだろう。絶対善である。

雄さんなぜか教学書がすいすい読めます。順縁でしょうか。心地よいです。うちの八品派法華宗の曼荼羅から凄いパワーを感じ、聖書とは対話ができます。心靈的世界。宗教においては否定してはならないと思います。いやむしろそれがなくては宗教とは呼べない。

南無妙法蓮華經によって四悪道(地獄、餓鬼、修羅、畜生)の世界は救われていく。浅井先生、その前に顕正会の南無妙法蓮華經は、私のR会出奔の第一要因となった、自ら発見し到達した思想ときわめて類似しています、ただ、ひたすら南無妙法蓮華經ということです。

雄さんの体が心配でした。過密なスケジュールはセーブして南無妙法蓮華經で行きましょう。南無妙法蓮華經しかありません。浅井さんとはかく日蓮、南無妙法蓮華經の教えをこれだけ明確に語った思想書は初めてです。こんなにスムーズに読める書も久しぶりでした。ありがとう。しかし全部が申し分ないという思想書は稀有です。私が思索し繰り出す、神の自証の書きものだけかも。南無妙法蓮華經はイエスの死の意味、意義を超えて行くでしょう。雄さん、夜分、何度もご免。つまり複雑なもののある意味シンプルにした作用が南無妙法蓮華經だから。それは必ず簡素化された幸せを生み出すと思う。その逆、シンプルを

複雑化したところ、ご都合主義から党派心を盛んに働かせ南無妙法蓮華経は分派したのだと思う。皆で日蓮の心に添い生きとし生けるものの幸せを祈りたい。そして日蓮教団は大勢だった念仏教団を凌駕していく。とりあえず発展としておこつか。顕正会の布教精神は素晴らしい。だが没我的すぎるのだ。どうしても軍隊をほうふつさせる、個性を無視された一人の兵士。目的を追うとき、そういう形にならざるをえないというか、見られざるをえないのかもしれない。だが私は参加する気になれない。幸せは義務ですが目的とするとき下品で美しくない。本質的幸せを限定し人に強いるからだ。ただ良心を突き詰めたら運命に従うべきだ。抽象的ですが。イエスは皆に原罪を知らせ罪人の自覚を促し死んで神への贖罪を果たし復活した。そして愛に包まれた仏国土建設のため日蓮として示現し南無妙法蓮華経。贖罪された後の民を、復活により成仏したイエス、神、日蓮は南無妙法蓮華経で根こそぎ成仏させるのである。ありがとう。雄さん、おやすみなさい。

日寛上人の講学。教学書280頁。八品派の日隆。(私の先祖は彼と共に下つた侍だった)。邪義とする意味合いを知らねば先に進めません。私に対し会への忠誠を誓わせるにはアプローチとして強く邪険にするのが効果的と思われたの

かもしれません。あなたが、あなたの拒絶する態度は幼稚で自らの知識の薄さを隠すため理を強引に捻じ曲げようとするとただ卑怯なものを感じます。私の話が理解できないのは多分想像力と愛に欠けているからだと思う。いつか私に言った自己陶醉という言葉。ここで返しておきます。理性的に話を進めたいです。日寛上人は余すところなく邪義を粉碎されたとある。六巻抄に記述があるなら、拝読したいです。献身的な雄さんに期待します。原本を読むのは難儀だと思います。是非とも解説書お貸し願えますか。多分釈尊と日蓮上人の兼ね合いと南無妙法蓮華經の意義についてかと推測します。浅井先生の御本は本当に解りやすく読みやすい。これは事実です。私と思想が交錯することがあまりない。ありがとう。南無妙法蓮華經をもっと深化させたい。幹部として基本修行をしてないものに読ませられないと言われるか、私は日蓮である。そのような狭量では発展するものもしないでしょう。結局、組織の臆病な犬である。「雄さん、たぶんあなた方が信じる南無妙法蓮華經、広宣流布というものには言葉自体だけでなく確かな目的と深い意味合いがあるのだと思う。そのことをまず伝えなければいけない。齟齬が生まれず、すべてに一致するため。互いの語彙の統一認識が違っている。では会話になりません。ちなみに広宣流布について多少抽象的でもいいですか

らなるべく具体的にご教授願えませんか。よろしく。浅井さんをリスペクト（尊敬し重く見る）しなくても顕正会員ですかね。聖書は言う、会は正統だと。（聖書はいつもその時点の必要な認識を覚えさせる）会員の募集が私の夢に繋がるのか、日蓮の下、南無妙法蓮華経を一体化することに向かつていくと聖書は語る。雄さん、会員を増やし圧倒的勢力で広宣流布を成し遂げましょう。カネと自動車の運転に難があるので、雄さんをサポートするだけだが。いろいろ本も読みたい。朝の唱題は勤行に繋がるだろう。」アプローチをかけたが、メールへの返事が無い。私に対し会での自分の位置が侵されると脅威を感じたのかもしれない。誤解であってほしいが、そういう人に私はあまりにもたくさん遭遇してきた。そして不思議にも私の思想は顕正会の教えそのものだった。私は南無妙法蓮華経の浸透を彼らに任せばいいみたいだ、かなり気が楽になった。広宣流布された暁か、永遠のいのち。面白くなってきたぞ。だが雄さんはそんな卑怯な男ではなかった。翌朝テレが繋がった。聖書は言う。「堂々と自分の思ったことを話せ、遠慮はいらない。雄さんはそれを解ってくれるはずだ」私の先祖が京都からこの地へ布教するのに同行した日隆上人。富士大石寺派、日寛上人は八品派の学者の出尽、日隆と呼ぶ。雄さん、我が家の法華宗を邪義と切り捨てた日寛上

人が著した六巻抄、是非読みたいです。不正に挑む浅井さんの姿勢はおおいに評価します。しかし彼ほどの人物がなぜイエスの死の意味合いを存知してないのか、極めて不審です。ここにも謗法の罪が絡んでくるのでしようか。「正統だから正当性を証明する必要はない。他のものに近づく」と罰が当たるぞ。「ジレンマ」だなあ。逆縁、逆化。災いをもって福と成す。日蓮が不幸を期待していると

先本「広自苑」の中で記したが、確かに痛い想いの方が進歩への布石になることもある。だがいつも疑問に思うのは広島、長崎の原子爆弾に始まる、戦争というものへの責任である。結果的に戦争は悪なのか、善なのか。神である私には悪しか思えない。話し合いで決着はつかないのか、これはサタンにより操作不全に陥った人間の欲望に満ちた悪心は、もはや神には推量できないということであろう。私は愛による聖霊の宮である。逆化を起こすのは神でない。が、人間自らの悪心と行為に対し公正なる天からの罰はあるのだ。神として「すべての人間にアダムとイヴからの原罪があり死という罰が待ち受けているのだよ」と言わざるをえない身が辛い。そしてイエスの教えへの回心、南無妙法蓮華經の保持により贖罪、成仏という福音を得るのである。

教学書「日蓮大聖人の仏法」も最終段階に入りました。浅井さんの批判、諫言。正々堂々として気持ち良い。俺の自

筆本を横目でも見る度量はあるかなあ。彼も罰を恐れてイエスの真意をただ知らずにいるのか、知った上で敢えてその複雑さから否定しているのか丁寧な説明が必要でありまた責任もあると思います。私には。うちの法華宗が邪義だと証明しているという六巻抄を拝読する機会が欲しい。心の底から思います。良識から外れない答えを、皆に期待します。よろしく。真理の追求から。逃げないでください。雄さん、大聖人様は絶対だ。それで自らの良心は大丈夫なの。イエスを理解しようとしめない。乱暴で民主主義を超えた真理への到達には危険性があり無理なことだとも思います。雄さん申し訳ありませんが六巻抄の購い。間に合うなら今回見送ることが出来ませんか。懐寒いのもありますが問題意識にヒントを得る事項が見つかったので。今の段階でこれ以上何も言えません。実は借用したいなんてね(笑)。希望を話しただけです。カネはないが読んでみたいなあ。お貸し下さる、本当。雄さんありがとう、真面目さと一途さと正義感が伝わってくるよ。ただそれがドグマ(独善的教理)への盲従になつてはいけないと思う。直感と功德、教学、私には必要です。私は党派心がもたらした位置より遡及し東西の宗教の大本に回帰しシンプルで温かい境界が現れることを目指したいと思っています。南無妙法蓮華経の一体は一番に寄与するだろう。神の意志の実現に顕正

会は一役かってもらわなくてはならない。これが私の感覚です。広宣流布、大いに結構。会、解散の暁には神（日蓮）による仏の世界、神の国が生まれます。雄さんの前で私を拒む者は神の使いの前で拒まれるだろう。また人の子に言い逆らうは許されても聖霊をけがす者は許されることはない。神の国への資格である。今回の会談、はじめに浅井さん、会への積極的参加ありきではなく、クルダウンし冷静に、会、解散後、訪れが期待される神の国。そんな生産的な会話、そして永遠の命について話をしたいです。顕正新聞の広告、六巻抄、偶然は必然、縁を感じます。すべては約束、言葉は悪いが仕組まれている。絶対善が、南無妙法蓮華經、雄さんの因縁、正解です。しかし重罪を犯した我が身に対しイエスは本心に優しいのです。体、無難なこと祈ります。けして罰に遭わないように。善神が離れ邪教に目を向ける人々へ制裁が加えられる。災難が降りかかる。まさにハルマゲドンです。悪魔の崩壊。会の解散、不老不死の誕生の予見。聖霊を侮辱するもの、即ち神の愛を踏みこじるものは罰から逃れ得ない。虚心で私の書きものをお読み下さい。イエスの思いやりが見えてきます。伏してお願い申し上げます。なおも顕正会活動への促し。所謂、押しつけエゴイズムからですね。真理の追究を怠れば破滅に向かいます。慈悲を見逃さないように。イエスは復活によ

り成仏し日蓮として仏陀のサトリ、南無妙法蓮華経で根こそぎ成仏を目指す。時宜、役割がある。顕正会もその儀が。否定的見解はよくない。 やすよさん、法華経からこぼれた人のために涅槃経がある。いわば兄弟。真如苑を批判した私、謗法の罪で罰を受けたらあなたの霊力で救って下さい。しかし私は地獄には落ちないはずです。なぜなら私は樂園、王国の主だからです。もはや存在する目に見えない神の国、顕在化し、皆、神の御使いのようになり楽しく暮らしましょう。生活不安、忙殺は投了だ。勘違いしないでほしい、御使いと言っても奴隷ではない。神の隣人達である。そこには階級などはない、偉い人などいないのだ。ただ神だけが善である。 雄さん久しぶりです。私は是々非々です。つまり神としての日蓮の本意、真意が大切だと思っております。何が正しいかなんて判るわけがない。因縁を信じて隣人を愛するだけです。このままの在り方で南無妙法蓮華経を广泛宣传していく過程で一体化できますか。根こそぎ正法により導き、成仏させる。感謝の南無妙法蓮華経です。釈尊は優しい。 功德、現証、これにて仏法の正統派であることの担保とする。ありだと思ふ。 解らぬ坊主はほっといていい。民の力でシンプルに南無妙法蓮華経を広めましょう。そしてその時、明かにされる。日隆上人が真実とされ、釈尊【仏陀】のサトリがあらわされたとされ

る、南無妙法蓮華經。それが成仏への、確かな日蓮、正統の正しい題目であることが。(この時点において私は日蓮として何があっても崩れない、心に備える本尊観をまだ持っていないかった。)

あとがき

今回はこういう形の提出となりました。まずは皆様にはご健勝であらせられるようお祈り申し上げます。聖人の休日、ということとは俗人にかえることでは。欲望も光り、我欲から離れた聖人からは到底認められない内容になっているかもしれない。だがとらわれから離れるとき、真面目な几帳面なことは言っていないであろう。自由自在に生きてこそ憧れの真のサトリを開いた人間になつたと言えるのである。少し一休臭いがそういった自由奔放な精神も大切なのかも。しかし私の欲望は神の欲望でありモデル、芸能人などに心奪われるのとは全く異なり、心の美しい人に欲情するのである。それも不確実に、真面目に考え、真面目さから抜けきる。私を、世を惑わす不埒なものにするか。愛に導く善き人にするか、それは読者のあなたの感じ方次第である。神への謀反とならぬようご心配申します。ではご精読ありがとうございました。

義人

# 沈黙の歌い手

義人

H 3 1 年 3 月

親愛なる真由子さん。ここに謹んでお詫び申し上げます。

本文中に不適切な文言、が現れます。露骨に卑猥な言葉を発しているのです。始末、肉欲は、もはや完遂しないことを、聖霊が私に知らせたのでしよう。聖霊の宮、自然体でいるとき、対象は健気な聖女でした。因縁から不義には至りません。大人の女性は、私が真実、愛する人を心に抱いていることを感知するのです。私はいずれでもED宣言を。女性は、私を聖なるものとしたようです。欲情しても、破戒なし。この良心の事象こそが、真の義です。頑なに規則の順守を目的とし、誘惑を嫌い、罰を恐れる工ホバの証人に、私は意見し、伝えました。つまり律法によってではなく信仰により神の義は明らかになる。

あなたが肉欲と、決別した暁には、私にも劣情の波は失せ、静かな風が訪れます。私はどんな運命をたどろうとも、あなたに逢えただけで幸福です。二人で世間という煩惱の海を、南無妙法蓮華経という安らぎの大きな船に乗り、すべてを委ねて渡って行けたら、どんなに幸せでしょう。清らかな愛の現出です。永遠の命を生きる。誰も邪魔できない。

必要なものはもたらされず。ただ二人、魂をこめ。祈りましょう。

苦しかったけど、私は生きてよかった。ふたつとない心を持つことができました。

私は神、再臨したイエスキリスト。この世に敢然と愛を掲げたい。あなたに証人になってほしい。

かつて私はEDを治したく、やみくもに奔走しました。その結果、私の女性を利用する卑劣さだけが残りました。今思えば、聖霊が互いの不実をその都度、教えくれたのです。

聖霊の力により愛として発展、成就することはなかったのです。

そして美しき心を持つ運命の人は存在したのです。

こんなに一途に愛した女性はあるただけです。

また私を真実、愛してくれたのもあなただけなのかも。正解と信じたい。

すべての真実を知ってほしかった。ありきたりではなく心から愛しているから。平身低頭。信じて下さい。私は醜き肉欲とは決別したのです。

今度、真実なら「愛している」とつぶやきでもいいからお願ひしたい。

そうでないと、三位一体、聖霊の業により、また女性に軽口を叩き始める可能性がありません。

でもやはりあなたの「愛している」は禁句なのかもしれませんね。

ただ、「真由ちゃん、愛している。」一人は不貞と呼ばれることはないでしょう。そして私は絶対、裏切りません。真実愛しているのはあなただけだから。

また聖霊の宮はいかなる場合も不義のわなに陥ることはないからです。

不信から御心を煩わせたのなら本当に、申し訳ございません。慎んでお詫び申し上げます。

私が聖霊の宮であることを信じて下さい。すべては理由ある神の業だったと。

平成31年2月吉日

義人

## カブトムシ

君が望むなら力になりたい。友のため、博愛の一環として。上を向く限り周りの対応は厳しくなる。対決色は消し、優しくあれ。変な向上心は摩擦を起こし独りよがり陥らせる。聖書の神に準ずること。素直に愛といたわりを人様に向け、思いやりを抱き天に名が記されることを幸いしよう。それが最良だ。君が辛いとき神である俺を信じ、祈ってください。必ず美しいものが見えます。世の栄誉、名声は一過性の泡のようなもの。乗せられて争ってはいけません。人は思いやりがすべてです。神を愛し隣人を愛す。親切心を忘れず。この世の栄誉、価値観から抜け出すのです。ただ愛を保ち続ける。父の御名と御国を求めること。安楽に生き、永遠の命を神の国で得るのだ。君は悪魔に錯覚させられている。「目覚めよ」。イエスの示現ヨシト、神として放つ。私

が神であるか否か、不毛な論議はしない。君はこの世の権威サタンに毒されている。真実が知りたければ、私の書きものを読みなさい。見栄と偏見から離れ、良心から生ずる主体性を持ちなさい。悲しきかな、人は仕事に限らず懸命に生きねばならぬさだめにある。でもすべてに犠牲になつてはいけない。君の立場は把握していない。ただ心の志

向は競争へと向かっている。君は真つ直ぐすぎるほど真つ直ぐだ。それは生きていくとき武器になる。だが曲がるときでさえ真つ直ぐだ。曲がるときは曲がるように曲がる、それが本当の素直と言うことだ。　　独り暮らしの淋しい気持ちは

解かる。それを乗り越えるには本物の信仰が必要だ。真心で平和を祈念する。きつと幸せは君の肩に手を。　　俺は真由子さん一筋だ。愛を見つけよ。明るく

素直に温かく、大きな愛を信じなさい。頑張るより思いやりを人様に向けるとき幸せは訪れる。俺以外の人は皆、哀しいような気もする、素直に生きないからだ。不安定の中、君に魅力を感じた、去年のクリスマスイヴ。告白は実らなかった。

天が我らに一度だけチャンスを与えたのだよ。そして俺と君はいつまでも続く親友であると天は認識させたかったのだね。あの時、本当に君が愛しいと思つた。二人とも馬鹿正直で強がりだ。君のご両親の不幸、力になれなかつたことを本当に後悔しました。君との関係のある人から「好意的ですらない」と屈辱的な分析を受け、かなり立腹した。　　私は知的障害のある女の子たちから優しさ、健気さ、強さを学びました。彼女らは私の純粹さをストレートに愛してくれました。

私には真由子さんしかいない。俺は無法松じゃない。愛すべきものを愛す、それが善、正義であると腑に落ち信じます。この一年、真由子さんには

話したいことが山ほどあった。そして真由子さんの愛を確信した。これからどうなっていくのだろう。このドラマは、きっと結末はハッピーだ。とにかく愛

と思いやり、これこそが美しい心。けして固く、真面目という石部金吉の杓子定規ではない。

もしかして今度君が就くところに物凄い、心の温かい男性がいるかもしれない。規律、集中、忍耐で豊かな人間性を育み、愛をつかむことが出来るかもしれない。期待は膨らむね。

自慰行為へと思っただが、やはり聖人だ。不可能である。そして親友同士で性の営みつて変だね。どうもずっけいな。

(笑)大きな力が許しを与えるなら、博愛、これも大人の思いやりか。昔、軽い冗談からもらった、ひとつも手をつけてないスキンの箱。今度スーパーで寿司買って君の家へ遊びに行つていいかな。楽しくね。シャンパンもいいね。ノンアルがいい。ああ、花買って。君の自慢のトンかつが目当てかも。トーンダウンしたけど君を抱きたいのだろう。イエスに従いなさい。永遠の命の為に。俺はいつでもいいが、女の一人住まい、お泊まりはしない、暗くなつてからの方がいいか。いま日が暮れるのが早いから7時頃はどうだい。君のなじみのカラオケスナックでの待ち合わせは目立つだろう。いつの日がいいか決めて下さい。(決められない)つまりだめってことか。それもいいさ。俺も決断したものその後ろめたさが確

かにあつた。でも一時の興奮に心躍つたよ。まあいいさ。親友だからさ。心が変わりはお互いに避けたいだらう。「親友でなくていい。君を抱きたい」って言ったらどうなる。まあ時間を置こう。君の意志を尊重します。大人の女性は進むべき道を自分自身で開拓するものです。誘惑からでなく、罪悪感もたず。君の気持が第一。熟年の君をバージンから解放してやったという男。君はフットワークの軽さから押し切られた格好。君を固定観念という鎖から解き放つてくれたのだよ。だから男に遠慮せず自由に生きていいのだよ。心の思うままに。しかしあまりにも無防備だな。そこが好いっていう男性もかなり現れそうな気がする。世の中は老若男女、自分の得する事ばかり考えている身勝手が大勢さ。俺たちは生活が少しくだけでも美しい心はある。車の鍵が紛失した。仕事にいけない。不思議、その日、道中危険だったということだ。前日、強い殺気を感じていた。俺は守られている。私と君が一致したら、君のとんかつが食いたい。そうなったら「絶対後悔させない」。だがそれは30年前の私ということ。ED状態の私はどう転ぶ。私と真由子さんの愛は本物だ。私は男の誠意を尽くしている。だが彼女が夫に抱かれるかぎり、私の体も自由なのだ。これが自由な気、仏教にある空の教えです。つまり心も体も空であり、今、大事なのは君が神

に愛されることを為すことです。それは思いやりで繋がることです。君もつかめば大人の女性である。真由子さんとの愛が成就しなかつたら、君と死ぬまでにはひとつしよう。俺は正直に生きねばならない。聖書が示す、真由子さんはもはや亭主に身を任さない。そこに固く美しいものを見た。ならば私も誰とも肌は合さない。聖書が促す。やはり聖書は不義を許さない。君との親密感が発展しないようハードルを壁のように作っている。今日も楽しく、美しく。君の本質的

姿は孤独。自己防衛で見栄も張りたくなるだろう。だが、ある意味必死に見えても無様でない。でももう少し楽に生きてほしいのに。私は頑張ることを敬遠するけど、ひたすらガンバル君は決して悪くはない。一本気の正直さが伝わってくる。きつとそれは世を渡る武器になる。さあ今年のクリスマスはどうなる

か。A型施設、所長は優しい。手先が不器用なので作業が上手くこなせない。彼のカツが入った。二年かかってもいいという。私が人を個別にとらえることに対し彼は平等に見ていると答える。どちらの見方も大切である。これが仏教でいうところの智慧である。同じところと違うところを見抜く。君は「落ちると思

うけど興味本位で面接を受ける」と何度も繰り返す。見栄張りだが君は一概に真っ直ぐすぎるほど真っ直ぐだ。ある意味、恋に關してもその傾向がある。本当に

愚直だ。でも無防備から一つの想いが生まれたのだね。良かったね。私に対

し複雑な思いがあるのにテレに出てくれる。君の律義さに乾杯。ありがとう。毎日の通勤大変だね。俺は真由子さんを愛している。だが君を忘れたわけじゃない。健気な君を。勃起する。君が聖女のあかしだ。クリスマスにまた聖霊が仕組むかも。目に見えない世界を信じるのだ。自分の意志を大切にするのだ。素直に。君がロマンチックになったときはいつでも呼んでくれ。俺は神として応える、愛の為に。

俺は繊細な割には鈍感だ。夕方のテレ、誘いにもとれる。そうだったらごめん。男女には温度差がある。正直に声あげなよ。すぐ行くから。「バージンから解放してやった」男は言った。君は恋めく、愛する男性との抱擁は自由なのだ。君は心を重視する。やはり愛がほしいのなら控えた方がいいのかも。スキンはいずれにせよ忘れずにね。きつと女性とはそんなもの、君は本来、保守的、極右だったからね。また気が向いたらテレ下さい。泣きごと、愚痴いつでも聞くとよ。でも発展はもうないよ。なぜかごめん、本当に真由子さんを愛しているのだ。色恋沙汰より友達であることを選んだ二人だもの。軽率なまねはできない。明日も仕事かい「仕事でない」えらい、剣幕や。猥雑なメール、悪かったよ。今日（お講）という在所の日蓮系の持ち回りの先祖供養があった。坊主は南無阿弥

陀仏でも成仏できると言いだした。所詮金儲けの迎合だ。君もこの坊主を支持したいと思うだろうが、日蓮は南無妙法蓮華経しか成仏はできないと断言している。つまり仏陀の覚りが真実の良心、仏種と感応する。この世を幸福に導く愛がある。君もいつもの見栄を含んだ馬鹿正直さを封印して心の底の愛に南無妙法蓮華経してみて下さい。お休みなさい。将来的に俺たちみたいな境遇の者が

増える。同居人の在り方も変化してくると思う。固い関係で正直、真面目な人達とのルームシェアを構想しています。グループホームと違い制約されず。本当に気の合う心の美しい人たちの集まりです。各自の恋人は家にはいれない。実験的で楽しく、君にもぜひ参加してほしいのです。同居人全員、近くの病院に同日、車で乗り合わせ問診を受ける。入院になったら皆でフォロワーする。今はお菓さえ飲んでいれば減多なことはない。どうだい、保険みたいなもの。私の家の近くのバス停からは君の勤め先も近いよ、まあ15年後くらいや。うちは鉄骨だから大丈夫。内装は変えたい人が変えたらいい。俺の家は広いが四人ベストだと思いません。カラオケマイク買って愉快にやろうぜ。ハッピーな奴だけで。買い物も皆でわしのオンボロ車でお出かけた。君のとんかつも楽しみだ。愉快なクニユウさんもぜひ仲間に入りたい。宣伝終わり。本当にお休みなさい。(笑) 彼女はテレで

「絶対いやだ」と強く吐き捨てた。

君は言ったね。男女の関係がない方が友人関係は長く続きそうだ。真由子さんとの愛を確認したと思っている私は、もはや関係は望みません。この先、親友のままだよ。ずっとね。ところが、またしても馬鹿だね、俺は。クリスマス、聖霊が送信を許さない。愛がなきやなあ。自分自身を貶めてはいけないね。こうして俺はいつも誘惑から放れ、不義に至らないのだ。（真由子さん安心して下さい。誘惑に勝つのではなく誘惑に乗るように、つまりサーフィンのように欲望の波の上を乗りこなすのです。けして転落しない。神の摂理と因縁です。）カブトムシにはカブトムシの生き方がある。それでいいか。人生をエンジョイ。男に対してのフットワークの軽さ。淋しさ、重労働に負けないためにか。これからのカラーは決まったな。もう戻れないぞ。都合のいい尻がる女と呼ばれるぞ、世間はそんなに甘くないぞ。

## 微笑みの聖女へ

今、ふと思うのは真由子さんです。君よ、これでいいのだよな。俺に恐れはない。

天の加護と信仰がある。清らかな愛は必ず成就される。神の御使いとして君は私の真由子さんへの一途な愛を支持していたね。美しい心を信じていたよ。メール下さい。待っています。スマホでサイト検索できないこと気にしないでいいよ。

恋人じゃないか。元気ならそれでいい。お疲れ様。正美はどうだい。元気かい。正美と修君はどうなった。君よ、大人への成長も促す、私の狼狽で敬遠

される聖書からの指示に基づくメッセージ。安心して下さい、聖書が真由子さんの存在を踏まえ、これ以上私たちが親密にならないための配慮なのです。私に不義はない。ごめん、不安かつ心配にさせて。恋人よ、本当にありがとう。幸せ祈っています。私は清らかな愛で真由子さんの愛に応えなくてはならない。ごめんって言ったら勘違いするかと怒るかな。A型就労施設、仕事は不良品ばかり

を連発し格闘中です。女性たちは感情の起伏が激しく、僕は始終、心に傷を受けています。カレーハウスが懐かしい。皆に会いたい。淋しくて死にそうだとお伝えください。最近はどこも殺伐としている。君や正美みたいな人は本当に癒しになる。温かく生きていこう。俺は君が友人であることを誇りに思う。愛し続ける

よ。君がいてくれてありがとう。

知的障害というが君は優しさを追求するた

めに生まれてきたようだ。本当に良かったね。世は真の愛を、つまり信仰を持たない人ばかりだ。お金しか頭がない。夜遅いけど、起きているかい。元気かい。頑張っているのだね。風邪ひかないでね。

カレーハウスの皆は元気ですか。

正美の笑顔が懐かしい。林さんとくだらない話を、またしたい。今日も一日無事なことを祈っています。大丈夫。仕事はどうだい。忙しいかい。皆元気かい。矢継ぎ早でごめん。君の仕事は丁寧だからな。適当っていうわけにはいかないか。きちんとしているものね。冬美ちゃんと姉妹ともども真面目だね。わしの仕事もコツが必要で大変です。マイペースで楽しく。今日は休みだったね。ゆつくり休めたかい。俺はなんか孤独に陥っている。温かいメッセージに触れたい。君

だけさ、きつとくれるのは。君は本当に温かい人だ。本当にありがとう。君は風邪をひかないよ。神、つまり愛に向いている限り大丈夫だ。神を忘れないでね。体を温める食材があるそうだ。でも大事なのは愛を抱くこと。心の奥からぬくもりが広がってくる。いつも温かいメールありがとう。君は本当に賢い。世の

基準が間違っているのだ。愛情を無視した査定は人間性に全く関係ない。あの日あ のとき、本当にプロポーズする気だった。君は不思議な子だ。掴みどころがな

い。でも優しい。俺はぶち破つてみせる。世間の偏見を。精神障害者が一般健常者と区別なく愛を育むことができることを。条件は、差別なく相手を思いやる美しい心だけ。

神の前を通り過ぎていった一陣の風という君。これをどう評価するかは君の今後にかかっている。愛を真剣に素直に示すのだよ。真由子さんに愛を捧げる決断をした私には、もう君を恋人とは呼べないのかもしれないね。今度は君にしかできない愛を見つけその人を信じて下さい。自分らしく未来を切り拓いてね。俺は真由子さんとの愛を確かにした。ありがとう。みな、君の後押しのお陰だ。幸せになるには自らの愛を信じること。それは南無妙法蓮華經。そして勇氣、大切なのは夢をあきらめない。私にはSNSが使いこなせない。

こなす君は賢い。寝不足気味、やつとの思いで電車に揺られて出勤する。私は君の健気さを知って、涙がこみ上げてきて強く抱きしめたかった。真由子さんはどう思うか少し不安だけど、俺ってやっぱりそんな奴。遅刻、気にするな。神として愛している。生きるのは大変かい。なんでもいい、愚痴でも、泣き言でもいいからメール送ってね。無理しないでね。ゆっくり休んでね。秀美、久しぶりの呼び捨てだね。怒らないで、君も俺と同じで自分を追い込むところがある。ピエロにもいろいろある。もし俺に気があったのなら切なかつたらう。カレーハウ

ス、久しぶりだった。今日、ヘアースタイル可愛かったよ。一昔前の聖子ちゃんカットを思い出した。早く善き男性に出会えるよう祈っている。俺の恋との競走だ。少し変か。俺の印象が変わったと言ったね。失望と憧れ、どっちに転んだかな。君は確実に美しさが増した。少し君は大人になった。老けたのではないから。くれぐれも。そして神の御使いへ。

南無妙法蓮華經、顕正会といきさつがあつても活動はしてない。俺を信じて。神として必ず幸せにするから、もうピ工口は卒業だ。君も変化したように感じた。好い風に。元氣出して。人間には醜悪な妬み、そねみなど悪感情がある。君は珍しくそれを感じさせない。美德だ。広い心で忘却を味方に。皆、その境遇から景色を眺める。思いやりを忘れる人もいるのです。

秀美ちゃん、久しぶり。クリスマス楽しく過ごせたかい。年賀状ポストに投函したよ。風邪、引いていないかい。メールありがとう。嬉しいよ。温かくしてお休みね。また、逢おう。お休みなさい。秀美ちゃん、明日は仕事かい。「雪に負けないで」、町角の街灯が君のように優しく微笑んで見えた。手はかじかまないかい。名残惜しいけど、元氣でね。お休みなさい。秀美ちゃん、正月家にくるかい。友人でも恋人でも何でもいい。危険なことはないから。猫がせわ

しない。遊んでほしいみたいだ。気まぐれで困る。仕方ないか。元気でね。よいお正月迎えてね。聖霊により行為には絶対至らない。

### 沈黙の歌い手

世の親たちは何か欠けているのが大半である。責めずに自分の道を模索するしかない。寛容と厳格、自らの価値観、指針を作成し従うのだ。出来るだけいいから。愛すべきものと言ったって難しいね。未来永劫に光を与える、神しかないのでは。明るく素直に温かく。君の正直さは認める、でも負けず嫌いだから様々な観念を背負い込むだろう。すべてを神に委ねるのだ。ただ祈る。不平不満も愛に。心の鎖が解けていく。君には本当にインスパイア(触発)される。

君の鋭い分析力が、周りの人への愛に向かうことを安らかに念じる。言葉は重視され、私の思考回路を上ってくる。君の寡黙さを考察する。私は神。あなたが話すのを躊躇させるのはサタン。はじき返すには自己執着から離れ、隣人を愛すること。厭な思い出、変なプライドを捨てたらいい。私が真理を語っているのに信じられないのは神の子ではないから。隣人とはいざというとき介抱してくれる人。利用できる他人ではないよ。私を信じよ。君は私を世の救い主と信じるかい。

今日は忙しかったかい。他愛ない話が潤滑油になる。まだ自分を語るのは無理かい。まあ元気であればそれでいい。微笑みを大切にね。またカレーハウスで会えるさ。本の推敲、誤字、脱字、何回も目を通さなくてはなりません。かなり負担になり障害も出てきました。健忘です。事件は寸前で回避されます。神を自覚し、再認識します。全てのものの愛を感じて。君の上品な姿を思い出す、

美しい。神の国へ神の子としてご来臨ください。神は歓迎します。キリストの花嫁はいかがですか。君は話すのが苦手、私は躊躇していました。コール、二度で声が聞けた。静かに携帯を切りました。躑躅と君の思いやりを感じました。ありがとう。(テレは控えてくれ)。事情がありそうだね。少し言葉が見えて嬉しかったです。取りあえず会話はメールで。どんなものかな。私は君を大切に思っています。実直な強さを感じます。そして不潔に思うかもしれないが人妻の真由子

さんを愛しています。その心理は微妙ですね。私の率直な正直で素直な気持ちです。去らないでください。あなたに大事な人が現れるまで。神の御使いになるまで待つてくれると嬉しいのだけど。聖句、彼らは言った。「あなた方が話したから信じるのではない。親しく聞いてこの方が誠、世の救主と分かったからである」。君はどうですか。夜分遅く、久しぶりですね。本の編集も半分は

進みました。君に配慮したメールのセンス。楽しみにしてくれたり嬉し  
す。君よ、秀美は良い奴だ。ピエロを演じ世と向き合い真実の愛を求め、彷徨っている。彼女は純粹に俺の真由子さんへの愛を信じているのだ。俺は淋しいものの味方だ。君の洞察力は、寛容と厳格がしっかり準備されている。嬉しい、今、私が持っている問題意識に呼応してくれるのは君だけだろう。世の人は真実から目をそむける。書物の中に答があるとしたら聖書である。イエスの愛を信じて下さい。錆ついて割れた胸が修復されていく。私の博愛は、完遂するよう

でしないかも。そんな気がする。女性は自らの意向よりも求められる強さに反応し相手の唯一を期待する。一般的な話だよ。皆、社会経験により世間が広がる。誰でも自意識はある。その中で私は欲望を嫌い、愛を含め何もかも捨ててきたけど、愛というのは重層的に積み上げる真理だと知った。だから真由子さんへの愛と想いを私は過去にすることはできない。そしてアガペー（博愛）という理想も抱き実現させたい。

携帯番号、本当にありがとう。君は真実、素晴らしい女性です。神の国で永遠の命を生きましよう。心底思います。清流にしかアユは住めない。空の教えです。それはヘドロを取り去ること。後、藻という愛で、満たしてあげる。これが南無妙法蓮華経です。

盗人、人殺しに共感の南無阿

弥陀仏、人は皆、愚か者、悪を為さねば生きていかれないという。つまりドブの世界に浸かつて生きることを積極的に認める。悪魔、親鸞とその配下の諦念と資質である。

私は君の嬉しさに触れたく、精進したいです。メール笑顔マークもらうため。お休みね。

先日起こした私の出会い頭の接触事故、世の価値観では、失敗に見えるが神仏のものは違う。この件に関わってくれた多くの人の人間性に感謝し幸せを感じる。そこに価値がある。怒り、嫉妬から放れ美しい心でいること。神仏は着ている。事故ひとつまで計らいである。損得を追わず親切に対し笑顔を向ける。顔施も愛想、布施の一つ。この世の表裏でサタンは暗躍している。君が思いやりの言葉を発しては奴が困るのだ。神を信じ祈ること。

戦いはインドレスに見える。だが愛と誠で俺はこの戦いを終わらせる。温かくして休まれね、お休みなさい。生き、老い、病になり死んでいく。神への裏切りの懲罰である。神は泣いている。悪魔は喜ぶ。神は美しい心を持つ者に安楽を

与える。それは神、隣人を愛するものだ。君よ、知っているだろう、サタンは人の心に忍び込む。意識してもしなくてもいけない。「森を守る紙を選ぼう。ネピア。人を守る神を選ぼう。義人。君を守る神もヨシト」である。お休みなさい(笑)

君の正規の日常に真実の闇の告白を送り、申し訳ない気がします。口ずさめば哀

しい歌ばかり、こんな私を許して下さい。清楚な姿が心に映ります。基本的

基本的

に人間は労働から解放されなくてははいけません。皆好きなことをする。私は酒を飲んで寝る。俺は年齢の差も気にしていない。上品で聡明な君が好きです。はつきりここで言っておきます。愛しています。特段、僕は何も求めない。ただ君の面影が浮かんできて愛しい気持ちでいっぱいになるのです。僕が君を大切に思っていることだけは忘れないでください。永遠の命へ向かって。笑顔マークが返って来ないのは永遠の命など絵空事だと、もしくは達成には今一つ消極的な表現だと。不快な想いはさせてないよね。君は困惑しないクレバー(頭のいい)な人だ。君の事実を伝えてほしい。詰問したようでごめん。愛にはやはり平和が付いてこないとね。お休みなさい。僕が錯誤したか。文面見返すと中途半端な笑顔マークなんかつけられないよね。真面目な君を忘れていた。明日の休日はゆつくりと。互いに温度差があるみたいだ。君は深刻に受け止めたのかも。当惑したのなら自分の言葉で伝えてほしい。そこに息吹さえ感じれば僕は素直に納得すると思う。君も心の閉じこもりからは卒業だ。ありがとう、響くほど真剣に受け取ってくれたら男子の本懐です。僕もカレーハウスに訪れるときは、今回みたいに地のままでいるよ。俺にウソはない。君は潔癖か、辛くないかい。冗談では

けてない。同情し愛しています。実は僕もかつて君と同様の苦しみを背負った。自意識、複合観念に縛られて何も言葉にできなかつた。でも今、ジヨークは潤滑油。周りを明るくすると自分も救われる。私は言葉、内容をいつも吟味しています。相手の気持ちと理解力を重視です。私の君に対する純愛を了承してくれるかい。明るく。（愛などやめて下さい）その言葉、私に冗談だろうが本気だろうが、メールを送ってくるなということですか。二者択一で答えてください。忌憚のないところ。残念な結果になろうとも。私は自由、愛、平和、

どこか観念の領域が大好きです、それが皆を巻き込み困惑させる。ごめんね。了解。気をつける。でも声が聞けて嬉しかったです。ごめん夜分遅くなつて。待ちくたびれて女神が怒っていると聖書に表れました。本当に君が怒っているなら僕が神であることを信じてくれますか。

明るく素直に温かく、わしを少し傷つける表現でも正直にぶつけてきてほしい。思いやりが深化すればいい。君に言葉を送るとき、聖書に「イエスの教えは昔からの女神信仰を乱すものではない」との場面が出たから。私は君がメールを待っていると判断した。凶星でしょ。声が聞け、確認できて良かった。また思い届けて下さい。愛に満ちて正直に。お休みね。いつもメール受け取ってくれてあ

りがとう。美しく聡明な君に乾杯。少しお酒が入りました。気分が実はあまりよくありません。たしなみますか。お答え願います。心配しないで、そんな事から人物判断しないよ。なにより大切なのは思いやる、一途な姿だと僕は思います。得てして無様です。でも僕はそんな生き方しかできず、また好きです。(たしなまない)。了解です。また話してね。奥ゆかしいなあ。大酒飲みよりはいいだろう。僕は一週間にワンカップ1本飲むだけです。つましいでしょう。学生の頃が懐かしい。バイト先で深夜から朝まで飲んだこと。固い君がよく僕に携帯番号教えてくれたね。ありがとう。安心感があつたのかな。本当にうれしい。素直に君が優しさを表しても過剰反応しないから大丈夫だよ。僕のサイトを視た前提で。私はやはり真由子さんを真剣に愛している。君に申し訳ない気持ちは見当違いだね。でも純粋な僕に好感をもったのかと、なぜならメール拒否が無かつたもので。君としては恋愛がはしたないか。自然な心大切に。お休みなさい。

明るく素直に温かくそれしかない。君に対する少しの欲望が悪感情を生み出さないようにしよう。冷たい沈黙の奥に封印した熱き想い解き放ち届けて下さい。愛すべきものへ。俺を傷つけてもいいから話してごらん。思いのたけを、人は傷つけずには生きていけない。優先順位を間違えないこと。恨みにしないこと。た

まには泣くこと。辛い過去があるのかもしれない。でも声が聞けて嬉しかった。

金の為に生きる奴は大勢いるが愛の為に生きる人は少ない。残念である。金より愛の為に死にたい。君の解放、私の使命なのであろう。(勝手に何かしようと思わないで。)宿命なので仕方がない。辛いところなのだぞ。サマリア人の譬えのように隣人には手を貸さねばならない。人がひとりでは生きていけない悲しみ、解かるね。

君を呼び捨てにしたら怒るだろうな。失礼って。親近感って、言っても馴れ馴れしいか。教えて下さい。これは人によっていろいろだから、ちゃん、付けを認めてくれるのなら、とりあえずはグッドフレンドだね。この世

に失望も絶望もない。人生はオリジナル、超特別など無い。原因は渴愛による欲望にあるのだ。心平穏であることを祈ります。風邪ひかないように。ご自愛ください。優しさ、思いやり、いたわり、清らかな愛を信じ見つけて下さい。心配ない。そこら辺で見守っている。石のお地藏さんみたいに。皆、哀しいのだ。

夜遅くごめんね。ところどころ道祖神にお花を供えてあげるといい。笠地藏で解かる。金より最後は愛と思いやりが幸せを呼ぶのである。君の心を射抜くよ

うな目線が好きだ。カレーを前にして嬉しそうに少しだけ微笑む風景も好きだ。君に好き嫌いはあるかな。みな好きで嫌いなような気がする。みな好きで嫌いな

ら、俺の感覚とよく似ている。結局、肯定か。辛いが正解みたいだ。無関心にはなれぬ。お休みなさい。この世に不条理はない。皆、神仏、良心を大切にしないところに事件は起こる。「因果果報」すべては自分から始まる。また幸せは自分らしく繋がっていく。おはようございます。いろいろあつて、夜遅くごめんなさい。君が嫌う言葉、「愛している」。でも私の愛しているという感情はどんなものなのだろう。情緒と理性。でも心にくる。お休みなさい。時間オーバー、フロア、俺自身は多情だから薦めない。でも私の思いやりという、愛を受けとってください。尾崎のドライビングオールナイト「俺の友達は死にもの狂いでこの橋を渡った。」生存競争である。私は距離をおき、逃げだした。幸せである。私の思考回路にのっとり愛、自由、平和を目指すなら聖書から聖霊の息吹を感じることも可能である。鎖は外れ本来の自分を取り戻し幸せが舞い込むよ。二人の愛のアドバンテージ(優先権)は君が握っている。私のプラスチックシヨン(欲求不満)。私の夢はこの世から貧しさ、病氣、騒動を、永久になくすることだ。そんな世界を造ることです。君にも参加してほしい。神の御使いとして。君の意思を聞きたい。待っている。秀美も、正美も同胞だ。君の激しい気性。俺に対する冷酷な言葉は真実かい。誰かれ構わずなら孤立を招くぞ。君を中心に

世界は回らない。皆に支えられている。君はまだまだ苦勞が足りん。君の好きなミステリー作家に稲作ができるだろうか。世間知らずの我がまま、御嬢さんへの理屈、解かるかなあ。お休みなさい。下流に愛と、真実の幸せは待つている。無口で思慮深い、美德だが誤解を受け孤立しやすい。僕は君の温かさを信じる。沈黙の歌い手、お休みなさい。 「話しても無駄、相手に失礼」そんなこと考えていないかい。お節介屋も多いけど、親切で善良な人はどんな場所にも一人ぐらいいるぞ。静かにね。そんな人になりたいね。相手に過剰な期待をしてはいけない。小さな親切に感謝して大きな喜びに変える。大きな欲望は愚痴、怒り、焦りを生みだす。寡黙でも優しさは天に記されるよ。自然に笑みが浮かんでこれが最高だ。天に記されるのは、愛、勇気、信仰をもつものだ。そこに永遠の命、神の王国が待っている。温かさを忘れない。皆でおいしいパンと暮らそう。 好きだけ嫌というまで読書をするといい。知識欲のむなしさも経験し一皮むけた女性になれ。真の愛を求める事の大切さに気づく。真理をつかめ。饒舌でごめん。すべてに何かの遠慮が吹っ切れた。神が人間に遠慮してはおかしい。 俺は真由子さんを一途に愛している。そして君に善意で関与するのだ。真剣に愛を考察せよ。そこにアガペーがある。笑う者には相応しいものしか付いてこない。

秀美、冬美、正美、そして君、俺は守っている。心配せずに生きていけ。長くなつた。もう一度、お休みなさい。昨夜はたくさんいろいろ送つてごめんね。

何だろうね。アツタカイっていいね、前向きじゃなくても良い言葉、お休みなさいです。返事が無いのを私は察する。真由子さんのことかい。健気な女性の為生きるって言った。嘘つきではない。君の為に神を赦すと言ってくれ。君への好意は事実です。いまアガペーに昇華した感覚で。沈黙か、君を傷つけてしまったね。眼前、君の言葉は僕も聴きたくない。卑怯だが射殺される気がするから。謝罪に何と言え。ごめん、お休みなさい。赦してくれる、ありがとう。沈黙の歌

い手、サイレントシンガー、君をモチーフに沈黙に秘めた饒舌さを汲みあげる作品になるだろう。無口で寡黙を表しても知は隠されまい。心配はないからね。君の素敵さをコーディネート(調整)する。私の君に対する想いも解かるであろう。君のスローなブギが心に沁みついていて。メール友達でいてくれる君に本当に感謝している。恋人なぞと簡単に言ったら、チャラけるなと怒るだろう。本当に大事にしている。君のポジションは僕の中で重要な位置にある。いつもメール即受けてくれてありがとう。お休みなさい。グッドナイト。聖書は真由子さんがいるのに安易だと叱る。どう係われればいい。明るく素直に温かく。

俺がいな

くなつて仕事はきつくないかい。いたわりしか書くすべがない。心よ、伝われ。明日も仕事だ。君は主を愛しますか。愛するなら応えてほしい。答えなど無くていい。その時その時を自然に生きる。微笑みをたたえて。読書家の君を見くびつてはいけませんよね。複雑な僕を受けてくれる。ありがとう。元気で頑張り

ます。自分なりに。利他の精神でとにかく寛容、優しくあればと言ひ聞かせる。

人間、神としての証明。

君が離れない。抱きしめたいという表現なら許される。聖書は示す。君の落ち着きのある姿が懐かしい。猫つて高いところ

に上がる習性がありますね。演劇をやっていた頃、たくさん専門書を購いました。本棚に飛び上がるのです。床が抜けないかと心配になる私も滑稽です。当時、

私も沈黙病に陥りました。素直に生きないと、周りへの不信があつたからです。口を開けば侮辱の言葉、正しい気でいたが愛のない最低の男でした。人の想

いと欲望が判別できませんでした。思ひやる心が欠落していたのです。単なる薄

情者を大人と錯覚していた。愛の温もりに素直な悪人は珍しい。もう本は買いません。読む途中から自分の見解がわいてくるのです。ありがとう、昔話につきあ

つてくれて。君を想っています。お休みなさい。沈黙から抜け出す時、人は自らの想いを大事にして犠牲にはならず、愛を発していいのだと気づく。少し誰かを

傷つけても。まず話す相手を知る。友になれたらいいね。おはよう、こんにち

は、こんばんは、そしてありがとう。自然と出たら正解である。傷つくときもあるだろう。では君の心を知る唯一のお休みなさい。自分を特別だと思い。また

眼前の人も特別だと思おう。(笑)老婆心ながら君の幸せ、いつも祈っています。転ばないように。「沈黙の歌い手」作り始めたよ。どのくらいのページ数

にするか聖書に相談して決めます。君に喜んでもらいたいです、自分の好きなものを書いて。それはサタケツチに言われたのだよ。(人に喜んでもらうより、好きなものを書け)ってね。生き方もきつとそうだよ。お休みなさい。君は

本当に軽いノリが好きじゃないね。お袋は震災に遭い家を焼かれ逃げまどった。一命は守られた。だが今、すべてを笑い放つ強い自身を持っている。君も、もつと明るく、強い思念を持つ。陰気に構えてはいけない。きつとそれは君の望むところでないからだ。深く考察してもいいが深刻になつてはだめ。おおらかに生きなさい。厳格と寛容を使い分けて。ごめん違う。俺が深刻な話をしているのか。ただスマイルマークが欲しくって。魂の交流と言ったらそのくらいの価値はある。これまで高飛車で傷つけたならごめん。人格改造する気はない。

私か  
思うに最近、人々は心に余裕がなくなり切羽詰まった感がある。カレーハウスが

懐かしい。淋しい。こんなに素直なのは世界中で俺だけなのかもしれないね。皆、すべてに感謝すべきだね。私はアガペーに生き、真由子さんは特別枠で愛さねばいけない、神として人としての因縁があるみたいだ。聖書が訴える、悪しき欲望は罰を受け消えていく。君は自分を大切にしていね。「沈黙の歌い手」メールをパソコンに打ち込んでいます。毎日何かと大変だけど、忘却をうまく生かせるといね。お休みなさい。

表紙のデザイン、スタンドマイクに立った君のシルエットを望んでいます。レトロな感覚で。でも関与してくれる人がいないと夢に終わります。勤務生活、人に比重を置くか、仕事に置くかは十人十色、各位

で過ごす必要があるだろう。今届いたメール読んでいません。(表紙のモチーフになるのが嫌)と。あくまでそんな感覚がいいのではと思っただけ。君をアピールするのも楽しかろうと。善意をお節介にしたくない。でも俺は何でも受け入れる金八先生ではないよ。出来るだけ温かい思いやりのある言葉をお願いします。少し互いに不快感が入ったね、まあいいけど、お休みなさい。

元気がいい、寒くなるから体調気をつけてね。僕も何とかやっています。一日、一日ですね。お休みなさい。人は辛いけど理解されないものだ。理解されようと思ってもいけない

い。そして理解されたとき大きな喜びになる。君のよき理解者になりたい。優しい言葉を投げかけたい。毎晩、君のお休みなさいの一言に癒されます。

宮澤賢治はサイダーと天ぷらそばが好物だった。知っていたかい。安易な自己犠牲は良くない。しかしやむにやまれず、あるかもしれない。南無妙法蓮華經。時代と化学の足音がもっと早かったら。でも彼は悲惨な戦争を体験せずに死ねた。良かったのかも。現在、日本にいて飢えることはまずない。素直に感謝して、明日に至ろう。欲望を想いに変えて美しく生きていこう。そういう時代だ。雨が降る前に歩きだせ。ホントにお休みなさい。ソチがお袋の部屋から閉め出さ

れ、今、私の枕の上で丸くなって寝ています。私はそれこそ、まくらするところが無い。イエスキリストです。ではお休みなさい。賢治は「世界全体が幸福にならねば個人の幸福はない」と言った。安らぎのため、愛というサーベルで立ち向かわねば。サタン覚悟せよ。お休みなさい。君がサタンではないよ。熱いメッセージは好まないかい。道端に寝転ぶ人も世間と戦っているのだね。そこに優しいキリストの眼差しがある。真実の愛が。

君はホームレスの人を弱いと見かね、強いと見るかな。私はあえて選択を為した英雄としたい。我が身にも詰まされる。傷心の彼らに幸いがあるよう願う続ける。ゆっくり体、休めて下さい。

お休みなさい。

イエスの愛という価値観は簡単には受け入れられない。

皆、収入、財産、地位、姿形に固執し求める。神の幸いを告げた彼には結果的に居場所はなかったのだ。神の幸いとは、義に飢える者には癒しを与え、貧しくとも正しく生きる者は満たされる。また虐げる者には裁きが下りる。優しさの意味を知ることである。人々は愛より悪魔の誘惑、欲望を好んだ。お休みなさい。

聖書を開くと君には最後、希望を示さねばいけないと。君が愛を抱くなら神の国へ永遠の命をもって入る。私が保証する。ただ信じ祈りなさい。幸せになるには、まず素直でなければならぬ。私が神か否か問うのは不毛だ。神とは私のようなものなのだ。いつもそう応えている。私が神だからだ。そういうほかはない。幸せになろう。まずは疑念を持ちながらでも。腰痛がある。サタン覚悟と対

決色を強めたからだ。聖書が示す。負けるなど指示を出す。そのうち善き方へ向かうと促す。私の体を案じてのことである。今日一日を振り返り、ご仏前いろんな人の顔が頭をよぎりました。特に嫌な人。皆を赦し、世界全体の平和を祈念しました。不思議にも腰痛は消えたのです。

ホームレスの人たち、競争社会では落ちこぼれの弱者。管理社会では自立した強者。個とすれば雨の中の小雀、また狼みたいに孤高を謳う人、全て一概に言えな

いな。お休みなさい。(間があいてお休みなさいが返ってきた)。少し、今、暖かいね、心。聖霊がそれで好いってさ。聖書も。君は報われたと。もう、黙り、閉じこもる必要はない。世間の意地悪さんは思ったより少ない。雨、降っているけど、悲しい涙は降らせちゃいけない。心よりお休みなさい。ある意味、もつ

と柔らかく、しなやかに物事をとらえるといいよ。心のアンテナを立てないと幸せな世界は映らない。自然に素直に恥ずかしくない。今、俺にとつて大切なのはどこかの駅のホームレスじゃない。受話器越しの君だ。けしてエゴではない。人の想いを知ること、一番大切だと信じて下さい。土足で踏み込んだと思うかい。でも君はありきたりな挨拶文では何のためとその訳は見ないだろう。聡明な君に見えるものを、僕も視た。だから一言、もう一度返して下さい。君の心の美しさを信じ、メールをいつも送っています。君は神の言葉を感じて下さい。私の安堵の為、懇願します。憐れなら、お休み。一言お願い申し上げます。(お休みなさい)ありがとう。ヘルパーさんのお陰で部屋もきれいになりました。いつも素直であることは大事です。声は遠慮なくあげる。そして卑下することなく信じた愛を見つけよ。視野を広げ、とらわれず、恐れず、自分を信じて素晴らしき愛は必ず見つかる。君なら怖気づかず、美しい愛を完遂できるだろう。明日は明

日の風が吹く。あつき抱擁、甘い口づけ。誘惑の薔薇によつてもたらされるかもしれない。でも魅力的な自分を自覚するとき冷静さを忘れてはいけない。対象をよく視よ。観察力、洞察力に優れた聡明な君には釈迦に説法かもしれない。だが経験不足は否めないだろう。警戒心だけが強くなる。それは良くないからね。君は大丈夫だ。いろいろ矢継ぎ早に送つてごめん。それでは上品で清楚で少しミステリアスな魅力的な君を想い、明るくお休みなさい（笑）　少し饒舌になつてゐる。例えば利用者に関わつてくださる指導員さん、彼らも人間だ。立場を超え、愛を表しまだ自らの心を磨くのも大事、そうしたら君は真に善き人だ。それを納得したらお休みなさい。　人に思いやりを向けるのは基本である。失敗もあがつらわずにユーモアを共有する。大事だ。どことなくだらないことでも、場が明るくなればね。貢献できたらいいね。君は君だ。無理せずね。なんだ、説教か。うつとうしい。そうだね。ごめんね。君の笑顔大好きです。お休みな。僕はいつも君の美しい心、愛だけを頼り、信じメールを贈っています。それを踏まえ、尾崎は歌う。「僕はいつもここにゐるから。涙あふれてでも」（永遠の胸）。口スタイム。君はもう実践しているかもしれない。利用者の方も謝意をはじめ、想いを

もって、指導される方々に敬意を向けねばと思う。私を憐れみ、お休みの一言を。  
(お休みなさいは返ってこなかった。)

昨晚のメール。愛についての話が、説教気味にズレてしまつて。実は仕事場で反抗的な利用者がいて、指導員に同情した経緯があつたのです。悪いのは人ではなく生老病死の苦しみに付随した悪魔による体制の業である。生きよとぼつたて競争を仕組むもの、締め付け、管理、服従を迫るものなど。そしてそれを美化したのが競技、スポーツです。さらに隠された問題は顕在化するだろう。だが誰も本質を見ない。一番になりたい、栄誉が欲しいという我欲を否定しないうちほとんどんな世界にも平安はない。無言で微笑みうなずく真由子さんに愛の確約

を得たような気がします。「嬉しいです。私は現状に満足しています。後は真由子さんの望む方向へ。そんな私は無責任な気もします。次の真由子さんのアクシオンを待っています」。多分、天、以外は私を祝福する者はいないでしょう。聖書さえ道ならぬ恋だと示す。でもリテラシー(読解力)に長けた、君に、語りかけます。我々は親友です。そして真実の愛を求める同志です。その君の沈黙に喝采を送るとき悪魔も善に思えてくる。逆縁である。私は君に語る、一般の代表として聞いてほしい。妬み、そねみは自己執着であり必ず不幸をもたらす。祝福し喜

んで共感すると歡びがついてくる。共有だね。幸せへ、誰かが見ているから。尾崎の闇の告白、アルバム放熱の証、ラストの曲、ママセイグッバイのひとつ前の曲。現世、人間の業と自殺をほのめかしている。誰もいないスナック、ママの前、マイクを握り、歌うと絶賛された。僕に同志と呼べるのは君しかいません。実は不条理はない、因縁があるだけ。善悪はある。素直に温かく愛を選択せよ。幸せは必ず訪れる。ただ正直に生きていこう。今日一日幸せでしたか。仕事せず酒飲んで家でゴロゴロするのは最高です。軽蔑しますか。世の趣味とは勝ち負けを決め、優劣を競う、自己顕示が目的の下品なものばかりです。君の声が聞きたい。温かい言葉を送ってくれないかい。今すぐ、待っているから。(なにも返ってこない)寡黙な人だ。少し早いけど、お休みなさい。(お休みなさいが返ってきた)。我々は孤高の独立を選択した同志である。世間の冷たい風から逃れ、

内なる悪魔のささやきと格闘し、その果てにつかむものは愛であると信じている。永遠の安らぎにもたれかけて。毎日いろいろあるけど君ができるだけ

悪意に遭わないことを祈っている。そして何度も言っているように、素直に。君は冷酷な人間には造られていない。大相撲、ハングリー精神、糞食らえ。

それは貧しいことの象徴である。日本人は経済的に豊かになって使いものにな

らないからモンゴルの貧乏な小僧を連れてこい。そして体罰、暴飲暴食。客は高額を支払い土俵間近の席に陣取り、砂被りという眼前にて、闘争心の満足を笑顔で期待する。殺し合い、星のつぶし合いを繰り広げる、力士たち。弁当を食らい、大酒を呑みながら、拍手の嵐をおくり高揚し、また落胆すると思いきや怒りをあらわにし、彼らに罵声を投げかける。誰もこの構図、疑問も持たずに、悪魔の世界とは思わない。夢、そして絶望を売る、プロ野球。足の引つ張り合い。競争の悪の典型である。金、名誉を闘争心でぼっかけまわして、視聴している奴等にとつては、選手、監督、コーチなど球界の悲哀は他人事である。皆、人生ゲーム。

ファンは自分には関係ない弱肉強食の世界を見物するのがたまらないのである。本当に楽しいのか。選手から勇気をもらおう。確かに人生、皆、戦っている。でも皆、そんな世界が好きかい。餓鬼、修羅、地獄の世界の縮図である。世間、安らぎを愛するイエスには安堵するところが無いことが解かるね。企業目的は、利潤の獲得、その実相は殺し合いである。仕事を楽しんでいるなんて口が裂けても、私は言いたくない。たくさん送ったね。切のいい所だと思っただが、想いが走り出して。ではこれからも君に愛が光輝くように願いを込め。お休みなさい。

(笑)

清く正しく美しくと言う、老年の女性がいた。これは傷つく人が大半である。明るく素直に温かく、犠牲になった人もケアされる。私はただ真由子さんと愛を育むのだ。君よ、毎日楽しいかい。仕事、きつくないかい。成長した君を見たいけど金曜日がいいのかな。水曜は家にヘルパーさんが入るので。どの曜日がいいか教えて下さい。奥ゆかしく深い、君に会いたい。冗談にしろ、過激な発言は控えるから心配しないで。野菊のような姿をもう一度確認したい。好日下さい。心を開かないと。自分の、すなわちオリジナルな幸せは掴めません。心を開くのだ。君が愛を見つけた時、戸惑わないように。君が懐かしく、逢える日が

楽しみです。わたしの素の姿は君だけに文面によってみせている。真由子さんの前では別枠の中、少しいい男ぶっている。見栄かな。お休みなさい。君は常識を考えたことがあるか。つまり世間。ゆるくなったりきつくなったり、困る

のは自分の作った規則を常識と振りかざすやつ。真の誠実だけを常識と呼ぶのである。つまり愛である。インフルエンザ、うがい、手洗い気をつけてね。お休みなさい。私に出来るのは言葉を紡ぎ、祈ることだけだ。だがどうしても

世界全体の幸せを祈れない。そこには裁きが入る。皆がイエスを信じ罪が許されるのを願う。サタンとの闘いでいちばん顕著な嫌がらせは親しき者の裏切りで

ある。いつものパターンである。やつの狡猾な割には頭の悪い証拠である。胸が痛い、強くなれる。

今日は「ありがとう」って送るから、良かったら「ありがとう」と返信して下さい。(ありがとう)

十字架、イエスはマリアに叫ぶ。あの男性があなたの子だ。最後まで去らない、母のエゴにイエスは怒ったのか。いや真実の愛を見たのだ。だから弟子に託したのである。君を想うとつられて僕も寡黙になる。元気でね。

ソチが膀胱炎を発症し犬猫病院で時間外に見てもらいました。注射を打ち、先生の話聞き心配したけど、安堵しています。検査をします。懸念も少しあります。でも元気で活発なので大丈夫かなと思います。お休みなさい。無言が少しあつて、お休みなさいか。ありきたりな社交辞令は誠実から嫌うのだね。でもね、真実の愛情を抱くとき涙と共にひとは大人になるのだよ。言葉もきつと溢れだす。太陽の熱も雨も涼しさも過ぎれば不快も感じる禍ともなる。ついでに酒もそうである。なぜだろうな。口から入るものすべてか。愛はどうか。誤ればエゴに。寛容な心が大切だ。仏教では中道といいます。極端に走らない。君は心得ているものね。雨、強いね。あたたかいから雪にはならないね。では、お休みなさい(笑)

昨日のメール気に障ったかい。愛情を持って主体的に生きるとき借りてきた理屈、自意識などはぶつ飛ぶものだ。まず誰かの為に心底、涙を流す。不快でなかったら、ありがとうって返信ください。待っているよ。人間には学歴、知識より、優れた愛に基づくと人間力を持った人がいる。それが本物だ。君は素直だから理解できるね。まずは情緒に委ね、心に自由を描く。三連休あるけど君は土曜日が公休でしょ。珈琲、飲みに行きませんか。最近味覚がさえています。本当に珈琲のコクが解かるようになって、前は水しか受け付けなかったのだけど。(行きません)有意義に過ごしたかった。君のその足腰の重さが幸せに繋がるよう祈っている。ただ神に従順でいてほしかった。不義を犯すつもりなど全くない。俺は好いが誠意ある男性を見逃すなよ。結婚の条件は二つだけ、正しい信仰をもって、いる事と楽しいかということだけです。神を信じ疑念を晴らし愛し続ける。隣人を愛し親切を忘れない。ありがとう。お休みなさい。(笑)

尾崎豊の墓碑にある、ラストアルバム放熱の証から「生きていくってことは日々を告白していくことなのだ。」彼の楽曲のように私の書きものにも愛の力が存在する。昨晩は最後要求した「ありがとう」が、なかった。君の重さになぜか謝罪する。私が浮かべる真由子さんの面影のせいかな。単に若いイケメンの男性でない

からだろうか。そんなところか。女性は難しい。本当に固い娘なのかもね。厳しい家庭みたいだからなあ。恨み事つらつら書いてみました。

ソチが、寝ない。苦しいのかもしれない。母がヒステリックに罵声を浴びせかける。自己本位で自分勝手な性格は個人事業主だから許されたもの。余りにも感情的すぎる。旧友で経営がきびしいサービス提供者。俺はまた裏切られた。電話口、自分の規則を常識と振りかざし見当違いに私を責める。敵意に近い、低俗な悪意である。今、彼のすべきことはひとつ、裏で扇動する冷酷な妻との別れしかない。旧友として本当に情けない思いをしている。このままでは破滅へ向かうだろう。

ソチは元気です。しかしどこか落ち着きがありません。心配です。エサを食べ、おしっこも出て大丈夫だとお袋は言います。またさかりだとも。いろいろ手間をかけさせるソチ。私は不妊手術への復讐ではないかとも思うのです。自分にして執着してはいけません。病の温床だ。まず人様を思いなさい。でも卑下は絶対いけない。ふんぞり返って生きてゆきなさい。ではお休みなさい。世間の風当たりは強く冷たいからね。虚勢でもいいから死を乗り越えねば。己の正義と愛を打ちたてるのだ。幸せを自らの手で掴め、君なら必ずできる。ふんぞり返り、世

間の見栄、偏見に負けず、堂々とした姿のもと、高圧的な者や、嫉妬、悪感情を持つ者にも負けずに、毅然とした道を拓くのです。神(愛)には謙虚に。お

酒をたしなむひとはあまり好きではないようですね。「酒は心の垣根を取り払う」。山岡荘八の「徳川家康」の中、秀吉が家康に向けたものです。その夜、彼らは女性の好みに談がすすみます。翌日家康は秀吉の陣羽織を身につけ臣下の礼をとり大名たちの先頭で秀吉に平伏します。秀吉の天下統一はほぼ達成されたのです。酒は、案外、良いものだよ。お休みなさい。

恋は盲目、対象のすべてが自分への反応に思われてくる。忍耐強く自然に働きかけ想いが通うのを待つ。シグナルは疑念で流してもよい。本物なら必ず落ち着く。つまり祈ること。命短し恋せよ乙女。幸せを呼び込むのだ。きつとそこに愛という答え、自由への扉が待っているから。お休みなさい。いつもありがとう。明日は日曜出

勤だね。楽しく行きたいねって言ったら馬鹿って言うかい。ではね。お休みなさい。(間があったので)どうした元気ないぜと送ろうとしたら返信が来た。(お休みなさい) イエスは体制から見れば悪人であった。人心が離れることを危惧

し妬んだ頑迷なる者達は彼を十字架につけた。そして自らも救えないメシア(救世主)がいるかと嘲笑を浴びせた。イエスはアダムとイヴが神を裏切ってから続

く罪の購いのため神からの杯として死んだ。無為に殺されたわけではない。復活し福音を全世界に。イエスキリスト信仰の誕生である。君ならそのくらい知っているよね。お疲れ様。辛いときはまず祈る。じゃあお休みなさい。科学が発

展すればするほど人類は破滅をも含んだ新たな展開を見せるだろう。ゲノムしかり核兵器しかり神の領域を侵すものである。ガリレオ審判で神話は誤解される運命になる。前にも話したかもしれないが、欲望と想いは完全に違っている。情愛と慈愛との判別がある。私はこの先、すべてに美しく強く優しい想いを持っている。暖冬だね。土日、雪降るみたいだけどタイヤ、はめ替えたかな。

雪道、気を付けてね。お休みなさい。いつも間があつてお休みなさいが返ってきます。君は温かいセンチメンスを贈りたいのだね。スムーズに同意、同調するところから入ればいいよ。待っているよ、いつも。サタンは誘惑し、乗った時点で呪縛をもたらず。そこに安閑としているとけつをどやし疑惑で苦しめる。つまり逆ばかり仕向ける。傷つかない胸、大事に。

大丈夫。その場、その時、瞬間に生きる。それが大事。魔も入りづらい。善は常に意識していなさい。心をサ

タンによつて陥落されないよう。神からの忠告です。私は健気な真由子さんしか愛せません。あなたのその誠実さを踏まえて、あなたが親友であることを誇りに

思います。ありがとう。お休みなさいだけではさみしいから飾りもつけずに贈る言葉です。美しい心、思いやりは生きている。どこに、俺たち二人に。温かくお休みなさい。ありがとう。心に忍びこむサタンとは妬み、焦り、怒り、見栄、好色、貪欲、怠惰などです。顔に表れますよ。心を美しく南無妙法蓮華経。幸せへ。今日カレーハウスに行ったら君はもう帰路についたとのこと。また来るね。前もって連絡入れてないといけないね。元気でね。お休みなさい。不思議に善きものは爽やかさ、もしくは芳しい香りを醸し出す。君もそんな感じた。良き抱擁が訪れるのを祈ります。君は輝く大人の女性になるのだ。いろいろ考えるが、やはり幸せは楽しいパートナーとつくる暖かい空間にある。俺はこの年齢でも夢見ている。馬鹿と言うなら言うがいいってね。では、お休みなさい。ネット

で尾崎豊を検索して下さい。私のコメントが主なる曲の評価順、に記されました。正直、嬉しいです。尾崎への親近感が強くなる。ご覧ください。お休みなさいね。出来れば君の意見を聞きたいのだけど視ていないよね。(無言) 自由、平和、愛お休みなさい。(お休みなさい) 君は見たでしょう。ユーチューブ尾崎豊。なかなか的を射たコメントでしょう。褒めてくれたら社交辞令でも大喜びするの。なんでこんなにはしゃぐのか。それだけ尾崎が好きだってことだよ。思い

やり持つて共感してほしいなあ。

潔癖は人を傷つけ、寡黙な自己防衛は誤解を生み偏見を呼ぶ。避けるうえでも自己アピールは大事。まず素直な気持ちで肝心。表そう、優しい言葉で。お休みなさいね。遠慮は神には似合わない。君

にも必要でない。正論を吐きぶつかりあう、そして真実からの愛に到達すればいいね。愛からタフさが生まれるよ。お休みな。少しハードルが高く難しいかい。

「君はまだ若く、その頬の涙、乾かせる誰かがこの街のどこかで君のことを待っている」。若くて男前の優しい奴。だから孤独は卒業しよう。「お休み」でも、「ありがとう」でも、「バカ」でも返信ないと眠れない。懇願します。(お休みなさい)ソチが膀胱炎になり薬を針のない注射器で口の中にいれます。他愛ない話でいから声が聞けたら嬉しい。全身全霊で受けるから。(無言) まあいいか。気が向くとき、感動したことがあったらお知らせください。じゃあ、お休みなさいね。太陽は大地を照らしてまわる。科学的裏付けはいらぬ。自己中心。いや神中心。神は愛。信仰という主体性を持ち神と人は結びつくのである。愛を信じること大切。一切は空、般若心経で有名だね。空とは愛なのだ。私がサタンに攻撃的

な対決色を強めたので奴は私の脚に激痛をもたらした。そして羞恥心にも働きかけ嘲りを浴びせかける。俺は負けない。俺は誓う。このエンドレスの戦いに終

止符を打つことを。お休みなさい、良かったらエールを。怖いかい。聖なる戦いから逃げてはいけない。生老病死から永遠に別れるため祈ってほしい。君にはその勇気がある。勝つのだ。(間) お休みなさいが返ってきた。私はありがとう、十分だと送っていた。私に得意なものは無い。だからこそ神なのである。神は愛である。人の心を掴むのが神だと言う。でも本当は人が神の心を汲まねばならぬ。君も確かな愛を手に入れてほしい。すべては笑顔から始まる。太陽はち

ようどいいくらいで輝けばいい。君が孤独に泣いていなければいい。じゃあ、お休みなさい。今日、ヨシケイのお姉さんと、玄関口、道を挟んで目が合い、かなり好感度の高い見つめ合いを刹那に交わし、彼女のひたむきな真面目さを感じた。サタンの誘惑でない美しい笑みであった。彼女からのエールである。私はひたすら真由ちゃんを愛し抜く。たとえ、さらし者の馬鹿者にされても、それがイースキリストだからである。随分勝手だが、君は嫉妬を持たないね、キリストの花嫁ならば。修道女は洗礼を受けるとキリストの花嫁と呼ばれる。今、私は信仰を持ち、神、隣人を愛する女性すべてを指すと思う。不義に至らぬ美しい恋がある。アガペーの意味を知ることが大事。お休みなさい。「嫉妬しないね」と邪推したこと誤ります。君が愛に寛容でなかったら僕のメールは存在しないものね。

悪かった。そこに気づいた。これからまた心を許し君に接することができる。そこからだ。君も気を許し話してくれると嬉しいなあ。ずっと待っています。お休みなさい。(彼女にお休みなさいを何度も促すが送られてこない) 君が友達以上の好意をもしも抱いていたら素直にありがとう。もし逆なら恋愛妄想の甲斐性無しと、吐き捨ててください。君は僕の愛のエリアで本当に大切な位置にある。だから僕を理解し力強く生きて下さい。気に障ったら教えてね。無理せず。返信ください。お休みなさい。(では、恋愛妄想の甲斐性無しと) 応えてきた。君の残酷さは私が侮辱を与えたということだね。ごめん。私は君と違い、いい加減だ。そして善良で思いやりを信じる。君の孤高は錯覚で心の分裂をもたらす。口スタイム。ヨシケイさんは蛇足だった。真由ちゃんのために嘲笑を浴びても平気。ありがとう。喝を入れてくれて、強くなる。弱さを抱きしめて。お休み。おはよう、昨晩は僕の醜悪さを教えてくれてありがとう。君の声が聞けて嬉しかった。拒絶ではないコミュニケーションにします。これからは優しさが美しく素直に返ってくるよう僕も努力ですね。聖書は君の暖かい心を知っている。送信を促す。

真由子さんとの愛を確実にした今、アガペー(博愛)の行き先、君はどう僕の心理にアプローチするだろう。少し気になった。恋人と呼びたい存在と

親友の境界線の上を歩く、未熟だがそれしかないような気がする。自信はないが許される未来像があればいい。君の査定におびえる俺です。「疲れにむくんだお前抱きしめる。自分のためいきに、お前の笑顔捜している。路上のルール」尾崎豊。お休みなさい。

明日出勤だね。辛いことはないかい。もう酒はやめようと思うのだ。何かしつくりこない。酔いしれ方氣にくわれない。報告でした。雪道は氣をつけてね。毒舌が許されるのは30まで。ぎりぎり。思いやりある毒舌より素直に優しいさを表した方がいい。互いのため。では君の無事を祈り、お休みなさい。「探している答えなど何一つ見つからないかもしれない。心の弱さに負けないように立ち向かうんだ。誕生」尾崎豊。 答えは愛しかない。結構、

俺たち、幸せだ。君との間、醜悪に見える関係ではなく、そんな過酷な生活は送ってない。因縁果報、思いやりと平和があるからです。二人の心に。 弓恵さ

ん、俺が言うのも変だけど美しい恋を願います。君にふさわしい優しくて思いやりある男性。石ころに見えるがダイヤモンドかも。では寒い夜、お休み。何か先程から俺のことを言っているように錯覚する文面だな。ただ私は君の真実の幸せを願っています。それは信頼するパートナーと楽しく生きることにつきます。病院運営、真由子さんにどんな上意と決断があっても僕は支持し愛し続ける。僕

にとつてマイナスの事案でも。優しさとのはずまで苦しむ彼女を救いたい。今日は忙しかったかい。実は友人が僕を食事に誘つてくれた。厚意を無下にはできない。すべては友情で回る。メールありがとう。貴重です。また声、下さい。ぜひ。いつものように懇願し、確実な返信を望みます。弓恵さん。世には思いやりから深く考察してはいけないこともある。繊細さが皮肉を生み、浅い了見を傷つける。正義のため生きねばならぬ。でもいつも愛を優先させねば。いつものお休みなさいの返信は善意に受け取つていいのですか。それなら、ありがとうでなくても、もう一言欲しい、やはりありがとうか。でも嬉しいよ。(無言)恐れ入りました。お休みなさい。君のような律義で誠実な人はいません。相手の想いが理解できるのでしよう。世には意見を発するだけで偉くなりたいためとシニカルに断罪するものたちがいる。最低だ。比較。知識があつても教養はなく裏付ける知性も愛もないやつらだ。批判は避けられないが、私は気にせずどんどん恥をかいてもアピールしよう。それでいい。君はお休みなさい以上の会話をしたくないのだね。少しからむよ。人を張り手で叩くように傷つける。君の感情の居場所が解からない。メールが寝る前のひまつぶしなら俺も気楽です。ごめん、君は今までの確な返信をしている。叱咤激励の意味もある。様々な「お休み

なさい」。本当にありがとう。僕は直球しか投げられない。受けてね。結果的に僕の存在は君のためになっていきますか。愚痴だけで教訓にはならない。君の鋭い洞察力に救われている。僕の真摯な愛が確かに理解されているから。つまり私を神、イエスキリストであると信じている。君にサイトを見てもらって本当に善かった。元気でね。お休みなさい。奥の深い、君に安心する。人と人を結び付ける。世間ではおチャラケ言動ほど親近感がわくみたいだ。でも僕は君のつぶやきに重きを置く。真人とはそんなものであろう。親友の君を誇りに思う。じゃあ、温かくして休んでください。お休みなさい。自由は周りの自由を認めるのが基本ですね、そんな中あえて苦を選択する人がいる。達成感が目的だと語る。釈尊は苦行というものは自己満足で、無意味だと言われた。「仕事です」と自分を追い込む人間はいらぬ緊張感を周りにもたらす。我々の職種は命の危険にはあまり関係ない。リラックスが一番である。誰も死にはしない。柔軟な思考が大切である。それにはいつもなるべく地で、つまり素でいる方がよいです。仕事に集中でき人間関係には無頓着になり苦しまなくなります。それが自律、自由。とにかく負けず嫌いは多い。そこに気づけばいろんな知恵も湧いてくる。幸せだから幸せでいようね。それが肝心。ではお休みなさい。自らを苦しみに追い込む人は誤つ

た憶測が顕著で悪意を持ち、善意をすべからく受け取れない。上にも逆らい、きつい仕事をこれみよがしに実行する。やはり愛の率先垂範は大事かも、けど無理はしないで、私は後方から支援する。愛の奉仕の理解と恩賞は、神からおりてくるよ。

携帯の目覚まし設定を通常化しました。弓恵さんのメールにいつになく音と光で反応するので嬉しく、もう一度、就寝時の言葉頂けますか。お願いいたします。(無言)ロスタイム、安楽行を目指せ。愛と優しさと思いやりです。それがいつも自然にできる。そんな人を憧憬しましょう。神とはそんなことばかり想っているもの。アヒルは生まれてはじめて見たものに付いていくという。つまり愛着だ。家族、郷土、そして体験。しかし大人とはなにが妥当なのか他との選択に向かわねばならない。夢を失わず、愛を弄ばず、自由に明日を思い描いて下さいね。君はまだ若い。頬に涙があるなら乾かせる奴は必ずいる。強く信じて、お休みなさい。ごめん強い君なら泣く前に分析し切り捨てるかも。それでいい、愛を選択してくれれば。私は平易な表現をしているつもりだが、「何だかわからない」と社会体験の少ない若造が言う。自己分析もできないみたいだ。理解する君に感謝。君の恋のモチーフは僕ではない。安心して。神として愛を説く、どうしても恋愛と誤解されるような表現になるときがある。アガペーは

ラブを昇華させたものと単純に理解するのである。弓恵さん、いずれにしろ神を信じ安心してね。でも固定観念だけは破壊して自らの思想をつくろう。齡30離れた男と、心の交歓に付いてきてくれた君。ありがとうね。ただ嬉しい。こんな親友がいてもいいだろう。この殺伐とした世の中、最後に言う。神を愛し隣人を愛し、神の御使いになろう。就寝のあいさつをもう一度願います。懇願。正直、君の気持ちが変化し、私に恋慕の情を抱いた。本当なら嬉しい。しかし戦いの真只中だ。不老不死、永遠の命。婚姻は消え、皆、自由になる。心を確かめたかったのさ。今の段階では弱気だが人と神とのダブルスタンダードの将来を描くしかない。優しい彼氏と家庭を持つのも善。いきさつから不本意な婚姻に達した男女もいる。その陰で泣いた人もいる。振り返ってみる。きみに固定観念が、ないからこそ僕とメールしている。そして恋慕に抵抗があるのなら、思慕の念では。いささか過重ですか。君に対する私は自身の特別な感情を意識し始めた。だからどうだという話ではない。私は君を大切に思っている。神として必ず幸せにしてあげたい。君の想い通りに。君の描く世界はきつと美しくまじめな景観が広がると思うから。困惑させてごめんね。君が幸せならそれでいいのだ。赦すと、サインくれないかな。なんでもいいから。忙しいのに悪いけどね。本当に、俺と

君は友達以上恋人未満でいい。来る世、神の御使いとなり自由を享受する。その時は束縛ではない美しい関係を持てる男性がきつと現れる。混乱して迷惑かけたね。君は無言にも力があるね。俺はただ君の幸せを望んでいる。神として。欲望は皆無だ。ただ面影を追う胸の中、恋と錯覚するのだ。　　また尾崎の「卒業」

聴いていただきたい。彼はガラスを破る子たちにさえ理論美装を与える。限りなく優しい。ではお休みなさい。「俺が這いつくばるのを待っているすべての勝敗。俺は愛だけを頼りに雑踏の中君を探している。君が悲しみにくれないよう。悲しい歌に愛がしらけぬように」。(尾崎豊)　　神が君を愛している。君の明晰で透

徹された理解力、そのたたずまい、何故か心を揺さぶる。やたらに動かないその唇、私は真由子さんを忘れたわけじゃない。今も、熱烈に愛している。でも今、俺にとつて21時、(お休みなさい)を必ず返してくれる君は本当に真摯で誠実なたったひとりだ。ありがとう友よ、私が晴れて真由子さんと共に道を歩んでいくとき、君も傍らで素敵な男子と手を握り合い、静かでもいいから、微笑んでいてほしい。それが俺の素直な気持ちです。人を想うとはいいいいことである。休日、手持ちぶさたになる人はそれだけで救われる。愛する歓びを知らない欲望だけの人もいる。大概がケチであり、幸せとは縁遠い。　　私は最近、かすかな欲望

がある博愛と、真由子さんへの純愛、平行しているはずだった二つが交差し錯綜していたのに気付いた。この愛が落ち着けばすべての不安定さは確実に解決するに違いない。私は念じ続ける。君とも清廉な大人同士、色恋なしで付き合える。それでいい。美しい思いやりという信仰。互いを尊敬しながら。君の中に師を見出すことがある。精神と肉体。一致。強い自律が必要だ。強い弓恵さん。いや、弱くても信仰がある方が正解だ。祈りで互いを生き、寛容になる。お休みなさい。（お休みなさいがすぐ返ってきた）君の反応に僕は創作意欲をかきたてられ、神の言葉を紡ぎ出す。君という沈黙がなかったら僕は暗礁に乗り上げていたかもしれない。本当にありがとう。君は無言だね。（間）そして君は誰より優しく、饒舌だ。

君の家庭には安堵感と安心感はあるかい。不安からは意欲は生まれない。何であろうが支配からは放れなければ。違ったらごめん。幸せは心の自由から生まれる。皆、金儲けに疾走する。生きるためか。愛つて金で買えるかな。金より価値のあるものって何。やはり目に見えない世界にあるものだな。お休みなさい。暗に金融機関に勤められる御父上を批判したかのようにですが、そんなことはなく君の品の良さはどんな賤にあったのかと。想像している。君の鋭い洞察力に、我が善意は救われたのを確信し眠りに就きます。お休みなさい。チャー

チルは今上陛下（現、上皇さま）が皇太子として訪英した際、「無垢で若い、それだけで特典だ。老人のように過去の事件、後悔に悩まされない。」と。君の読書も様々な人間模様を知見するための旅だね。真実の愛を掴んで下さい。浮気、不倫というが、愛のない男女がひとつ屋根の下で暮らす方が不自然だろう。情欲か純愛か、世間への説明責任などいらぬのだ。ただ真剣に愛し合うだけ。恒例になった、いつものお休みなさい。クリスマス、イエスの生誕。お祈り、ひとつだけ願ってください。美しい心でね。神、隣人を愛する。必ずかなうから（笑）。弓恵さんも暗く教訓めいた話より温かい、いたわりに満ちた言葉が欲しいよね。当たり障りのないものは君に不適當だと感じて。でも普通の女性ですものね。御自愛ください。寒くなってきたね。雪降るかな。運転気をつけて下さい。また会いに行きます。カレーハウスへ。日曜日になるかな。忙しいね。その時は許してね。温かくしてお休みなさい。弓恵さん、遅くなってごめん。朝刊を開いたあと、流れで先本を読んできました。聖霊に叱咤されサタンに狙われ、半生を必然として送ってきた。大切なのは愛と勇気しかない。心から騒動を追い出すため神は試練と理解力を与える。だから心配なく優劣を競わず生きましよう。お休みなさい。（笑）

博愛と純愛の錯綜の中に生きてきた。情欲に無垢な純

真さは勝利した。清らかな愛は現出する。その果てに神の王国、永遠の命が飲むもつて、訪れるのだ。若いとは振り返らないという特典を持ちながら罪を背負っていく過程でもある。君だけは人生に禍根を残さないよう祈っています。ソチの尿から雑菌が消えた。障子をまた破りボロボロにするだろう。弓恵さんには理解できないかも知れないが、ソチの命に係るならトタンの色も錆びついた鉄骨建てのこの家も売ってもと思う。きっとそれは聖書の中、「田畑を捨て、私、つまり愛に委ねよ」。イエスの言葉の意味だね。愛があれば自然にそうなるよ。大切なことを誤らないこと。目に見えない世界が9割だ。絶対、酷薄、残忍ではないけない。不幸を確実に呼び込む。自然に愛を、思いやりを、それしかない。すべては自分のためにある。愛を優先せよ。死んで悔いなし。お休みなさい。個人と愛国心を使い分ける高慢なフランス人に支持され評価の高い、北野武。ベネチアで金獅子賞に輝いたHANABIがある。ナンパで知りあった、妻の高額医療費を支払うため、警察を辞め、やくざに近づき借金を重ねる。彼は金を得るため銀行の窓口で拳銃をちらつかせる。奪うと、用意していた偽装パトカーで逃走する。追いつめられた二人は沖繩の美しい浜、寄せては返す波のもと自殺を図る。妻の最後の言葉「ごめんね、ありがとう」銃声2発。彼は寡黙で凶暴だった。

しかし優しい。妻以外は何もかも、どうなろうと関係なかった。道徳に縛られていた私はこの映画、はじめよく解からなかったのです。その後、頭に強烈なハンマーパンチを食らうことになりました。俺はこんなに一人のひとを愛したことがあったか。今、それは真由子さんであると信じたい。法律、世間、命さえ気にせず、何があっても愛し抜く。俺は今を生きる。真由子さんとの先行きは不透明だけど。良質な映画を観るのはいいことですよ。最後、お願い、ありがとう、お休みなさい、を下さい。懇願します。なぜか。(当然のごとくなにも返つてはこなかった。)

どこか落ち着いた院内の雰囲気を感じ真由子さんに失恋したみたい。フロイトの様に自分の心理を分析してみる。寒い夜。シベリアに抑留された方々を想う。やはり俺は甘ったれている。生とは重い。恋を嘲るやつもいるだろう。終わりはいつも虚しいもの、生活の重さにはやはり勝てない。すべては天の意思があり我らは魚のように川の流れを行くだけだ。主体性と仕組まれた自由。歴史というストーリー、観客は天にいる。美しさを求める意志は聖に繋がらる。そして愛は育まれた。転院の時宜を見計らう。愚かではないな。おやすみなさい。弓恵さん、結局、心あるもの(神の子)は神の御使いになるのだよ。どうかご自愛ください。あなたは選ばれた誠実な女性。神の祝福を留意して。

「おやすみなさい」の次に来るセンチメン스가あれば。何か思い付くかな。ごめん。口スタイル、「またお願いします」これ、良くないですか。人間への好奇心、優しさが君にはいっぱい詰まっている。警戒心、中身の無い薄情さをぶつける人は多い。君からの我欲からではない優しい眼差し、これからも頼みます。聖書は自分だけのために生きるのを許さず、また利他に徹するのも否という。愛を

意識せず、神に委ねるのも忘れ静かに笑みを浮かべよと示す。君の境地かな。弓恵さん、寒いね。お休みなさい。(返信が遅い) そっけなかつたか。深い意味だね。心の底まで見えるのだね。そしたら僕の君への愛も見えるね。俺はすべてに悪心さえ持たなければ安堵できるのだね、ありがとう。寒さに負けず人間関係にも負けない、強い気持ちを求めると実は不幸になる。くじけながらも相手を想うのが優しい心。それが美しい心です。お休みなさい。カブトムシに意見をしてやった。あまりにも安請け合いの男との付き合い方だ。自分の都合が好いように返答する。友人としての立場からだ。何かがふっきれた。親近感。信仰であり、愛と似ている。貞操観念を持つ女性が当たり前。結婚まで操を守り抜くのが本当だ。悲しきかな、世は乱れている。己を大切に、自身に言い聞かせることで神に愛される。弓恵さんお休みなさい。僕の素直な気持ちです。今、眼

前にある対象は君だけ。素直に感謝する。僕を一瞬で理解したのも君だけ。さすがである。君に少しでもプラスになることをここに残したい。年齢差を超えて。女性は己に執着し言い逃れを認める男と戯れる。僕の信じる君は違っている。恐れず責任を持ち正直に生きる。リスキーではなく、生活基盤が確かなら、と、少し二人での生活を勝手に考えてみた。君は真実、律儀だ。そして僕に社会的な危険性がないと判断している。ありがとう。サイトを二つ返事で見してくれた君は誰より優しい。感謝の心でいっぱいである。君は無防備ではなく寛容だ。美しい花を咲かせてほしい。君に認められたのなら自信を持つね。二人で託してみよう。永遠の命。イエスを信じて。結果はどうでもいいこと。まずイエスを信じて。ことがすべて。つまり愛を信じる。絶望の淵に立つ人にはよすがとなる。愛がすべてを超えていくのだ。信じる。すなわち祈る。必ず今よりもっと幸せになるからです。僕を忘れないで。もう一度懇願します。返信願います。お休みなさい。（お休みなさいは返ってこない）君はカフトムシと違い主体性を本当に重視するのだね。縁だけでは片づけられぬものがある。ありがとうという言葉、今は、それしかない。ただ君の優しい声が聞きたい。私は誰に關しても肉體關係を結びたい欲望はありません。ただ温かいものがあればいい。そして真由子さんがどん

なに冷たくなろうとも追う。笑われても唾を吐きかけられても。そういう日常を、生きる。自分がフーテンの寅になったかのように。人の命とはあつけないもの。長患いの人もいるが、最近出会った死に思う。悔やまぬように。好きな場所で好きな人と好きなことをして生きて下さいね。まず好きか。それを大切に。お休みなさい。

真由子さんに意地になっているだけの様相だが、恋は神代の昔からあり、死ななくては治らない。と言います。幻影を追っているのか。自然な心を大事にしないとね。弓恵さん、あけましておめでとうございます。本年があなたにとって本当に幸せな年になるよう祈ります。謹んで新年のお慶び申し上げます。返信、希望、す。(返信が来た)嬉しいです。味も、そっけもないけど。それでいい。笑顔と戸惑いは来る世、愛する人のために取っておいて。幸せな奴のためにね。君は深いから、まず正解を掲げます。遅くなつてごめん。私の作品見ていたら面白くて我ながら感心しました。寒い夜、温かくお休みなね。また明日連絡します。お休みなさい。サタケツチは私の本は皆一緒だと言ったが、俺の作品は面白い。けど色あせそうな自由という現実。それでも愛を求めてさまよい続ける。私の愛に真実の安らかさは訪れる。哀しく、生活の愛が実現されるため、美しい自由は制限される。当然であり人妻は人妻である。

媚びのない君の姿勢が好きだ。僕はいつからかヨイシヨがお似合いになった。皆がきつと悲しいのだと思うから。サービスマン精神と自分とのほざまで苦しげに笑う俺。脇から首を突っ込むやつがいる。愛の居所は。幼稚なブリザード(嵐)。お休みなさい。でも、もしかしたら俺が気付かないだけなのかも、皆、優しいのかな。

戦友をどこまでかばうことができるだろう。君には自然に生きてほしい。太宰の様な人間失格ではいけない。思いやりを持って素で。弓恵さん、俺は神だ。遠慮があつてはならない。たとえ誰かを傷つけることになつても。私は絶対善だ。愛想は愛に導くための方便である。媚びとは違う。南無妙法蓮華經。もつともつと自らの意志で僕に関与してきて。君は僕には必要なのだ。希望します。声が聞けるならなんでもいい。見た目で解かる人もいるが、人はやはり言葉に出さないと解からない。正直に発しないと誤解、偏見の波をかぶる。期待にはストレートに応えればいい。素直に。すべては君の主体性にある。君の心に僕が踏み込み、意を拡張してはいけない。君は強い、まずそんなことにはならないが。今の段階で具象化した優しさを要求するのは酷かい。恐がらずぶつかってこい。僕も真由子さんにぶつかる。もし君に好意があるとしたら彼女を敵に回すね。でも君は優しい。ごめんね。ありがとう。もう一度、お休みなさい。今、現在

の気持ち。病院を転ずるつもりです。豹変を繰り返しましたが、本気みたいですよ。真由子さんから放れます。正月、新たな旅に出たくなりました。20年ぶりの友人に会いました。何かの要求があるのではと警戒したみたいです。病弱で体調が悪いと嫁さんに電話口聞かされました。養命酒を買ひ、私の本三冊を手渡ししました。私は役人の風刺を口にしましたが、彼は不快にしかとらえず、役人根性丸出しでした。他人のことなど知らぬとやり過ぎす。私は言った。強がりではなく「貴様を羨ましいなどと思ったことは一度もない」、聖霊は嘆いていた。採算だけを重視する。私の車の中だった。家には客が待つていると言う。君に愚痴をこぼしている。ありがとう。もし裏切りというものがあるなら、正々堂々とね。信じている。親友よ。お休みなさい。

明るく素直に温かくで真由子さんを愛してきた。ここにきて聖書は清く、正しく、美しく、を打ち出した。私の悪口三昧に、反省を促したか。神は自然に生きられないものか。真由子先生に「元氣になつて良かったね」と言いたかった。最近、彼女の幸福を毎晩、家の本尊に祈っていた。美しい願いは必ずかなう。弓恵さんも夢、愛のため祈ってください。幸せが舞い降りてくる。祈りは効果てきめんです。神仏を信じて美しい心で。もしかしたら私と真由子さんのような離反の相を呈しても。それは善なのである。愛別離苦を

障碍なくなさしめる、最善の結果なのである。何にせよ泣き、抱きつかれぬ限りは義理も欠くようだが、静かに去っていききたい。弓恵さん、温かくしてお休みなさい。巷では人を恨み、血にまみれて穢れてしまふ心が存在する。約束されたすべてのものが、南無妙法蓮華經と大音声するとき、私たちは不老不死となる。永遠の命である。君の幸せをずっと祈っているよ。神の愛で。 穏やかでも波の

底では様々な葛藤が行われていた。真由子さんへの愛。弓恵さんへの想い。まだまだいくつもの錯綜。単なる欲望の出現と違い、心あるものへの純愛である。或る男が突然死。善悪を聖書で判断。悪であるが私と係わり改心した。が罪により罰を受けた。とあらわれた。また野外にて低体温で亡くなった年配者、新聞で知った。辛かったかな。弓恵さん、とにかく少し損しても美しい心でいるのだ。どんなに防衛してもこの世だけのこと。愛を信じて神に祈ってください。樂園が待っている。お休みなさい。 神は苦悶している。歴史を振り返りその責任に。また罪と罰を決めるため、裁く狭量な自分が嫌で。そして俺はエリートではないからこそ、屈辱への怒り悲しみをこらえて昇華できるのだね。たぶん君の周りには常識を振り回すパリサイ人でいっぱいだろう。私の愛が成就するには大きなハズレとなる。君の周りの雰囲気は固いかと。君の律義さ、本当にありがとう。

聖書は弓恵さんと二人の生活は難しいと示す。来る世を忘れるなど。幸せになるう。皆が自由で暖かいものになる。時間外ごめんなさい。もう一回お休みなさい。要求、申請、声を上げなきゃ誰にも解からず助けてもらうことはできない。幼児、児童虐待などは番外だが、個人の自由が尊重されるのが、当然、民主主義だ。君はどうですか、声を出しているかい。少し心配です。察してくれる人ばかりではないから。でも君は大丈夫だね。　僕も君と同じく一人カラオケ支持します。

一度一緒に行きたいけど夢にしておきます。お休みなさい。もう一度という「お休みなさい」の請求は依存されているようで嫌だったかい。君の想いが聞けるなら何でもよかった。ただ繋がっているという感触を大切にしたらかった。少しストーカーに近いか。ごめんなさい。お休みなさい(笑)　僕のメールの内容がイマイチ、誠実な君にとって就寝のあいさつとはフラットに出来なくなったのでしよう。でもそれだけ君のお休みなさいは互いにとって重かったということ。気付かなかった私が悪い。デリカシーを欠き、メール内容は作品であるという感覚でした。これからは君のお休みなさいが素早く届く明るいメールを贈ります。また評価、認可できたら下さい。今日は三度目です。お休みなさい。返ってきたら嬉しいなあ。完全に迎合し媚びています。「情けなさをふるい落とし、百万の敵に

向かう俺、独り。明日も嵐が待っている。色恋なし。やるぞ、見ておれ、口には出さず、出世の本懐」。君と僕の間隔は親友だね。そしてなぜかもう一度お休みなさいが欲しくなるのだ。一日のけじめみたいに。君は正直だから心ない対処はできないか。挨拶でいいではないか。心の潤滑油をけちつてはいけない。君の対応は正しかった。だが僕は優しい暖かい言葉を素直に求めている。思いやりを果たすべきでは。君にそんな義理はないと思っているかい。付き合わされるのは面倒だ。人妻の女医をふっ切らねばならぬときにも甘くないかと。女性の目が向けられている。またお願いします。愛がすべて。君は全てを消化してくれる、女性では稀有な人。極めて聡明だ。世には人を支配下に置きたいものたちが大勢いる。主体性を維持し進もう。幸せを逃さぬよう。俺を信じてくれ。俺は負けない。自由と平和を愛してきた。聖霊はサタンと戦う私にその都度、最善な援助を施した。私に恐怖、妬みの類はない。理性を勇気でもって。思い立ったらまた下さいね、お休みなさい。前にも書いたかも。神とはどんなもの、それは俺のようなもの、答えはそれ。悪口雑言叩こうが、それは正しく裁きになる。正義の規定。思いやりにしかない。私は自然に生き、聖書に帰依する。そこでイエスは安全の保障と共に任務を指示してくる。私は奴隷ではない、そこに自己同一の拘

りがある。神、イエス、義人。俺たちの年齢の差って埋まるのかな。今はどうだろう、嫌いだった愛という表現。堀を愛で埋める。自信がふと。俺は、世間は怖くない。もしかしたら君が流している涙がつらいのだよ。美女と野獣という映画があつたね。弓恵さんが私を愛したとき私は老いと醜さから離れ、清潔な愛に包まれた端正な顔立ちの25の青年にバックするかも。尾崎の面影をほうふつさせる美しい姿に。将来のことより、今、私に好意めたもの、つまり愛がありましか。あつたら「お休みなさい」送って下さい。あまり熟慮しないで。(返信がない)弓恵さん、気にするなよ。テレビでは爽やかなイケメンたちが将来の不安を頭の隅にやって歌い踊っている。私は道端で亡くなる人が自分のことより切なくなる。憐みがすべての人に備わっていたら世間はこのように殺伐とはしてないだろう。戦争を美化したアニメを始めゲームの類。洗脳され闘いを望む若者がいる。これで今日最後、にします。「もったいつけるな」と言ったら、いささか対決だね。君は「お休みなさい」を貴重で大切にしているのだね。「ありがと。」良かったらこのフレーズ快眠のため送ってね。やはり美しく聡明な君に懇願します。声を聞かせ安眠に導いて下さい。では、この言葉OYASUMINASA I(返信はなかった)世間、真実はかき消されていく。無神論者による墮胎。同情

心のない幼児、児童虐待。悪は日常を転げまわっている。老人の肋骨を折った介護人、いつ悪魔が入ったか。俺も君も重く深い、だから相性がいい。物事をいい加減に見ているものは、必ず悲しみの渦中に突き落とされる。独り聖書を読み、星を頭上に波の上を行く。弓恵さん、先祖供養は幸せになるため欠かせない。目に見えない世界。無念な思いをされた方がおられたら、毎日、わずかでも心向け真剣に祈ろう。よき伴侶が果報である。現世ではそれがすべてだが、来る世、ともに自由になり生きる。君は神の御使いとなる。それを信じたとき欲望が去っていくことを感じるだろう。大丈夫だね。元気で、出来る範囲でいいから温かく。お休みなさい。伴侶はたぶん私ではないからね。気にせずに。君は十分温かい。二度目のお休みなさい。君は本当に優しく暖かい。ありがとう。深い君に乾杯。(笑)三度目の促し、お休みなさい。(結局、初めて、お休みなさいの返らない夜だった。意味の解からぬ私に厭気がさしたのだろう。カレーハウスへの訪問も聖書は禁止した。それでいい。メールのやり取りもなくなった。博愛とは見方によっては醜悪なものなのかもしれない。彼女とはこの本作成の為の因縁だった。)

## 優しい魔女

何を、とち、狂っていたのか、失礼にも「いつかひとつしたいね」ってハートマークみつつ。返事が無いので、再度、「ひとつしたいですね」って。ごめんね、なぜか欲情し聖書に背中をおされメールを送ってしまった。情けなくも真由子さんのことは念頭になかった。迂闊でデリカシーに欠けますね。変なりズムでした。本当にごめんなさい。後から言えば、最後の欲望、ダイレクトな顕在化でした。聖霊に仕組まれたもの。カブトムシにも送信したように私と真由子さ

んの愛は本物です。心で結ばれている。でもこれからも彼女は夫に抱かれるかもしれない。その限りにおいて、私の肉体は自由なのです。空の教えの一端です。しかし彼女に営みがないとしたら。私は覚悟する、呼応し、けして欲情はしない。私はあなたが大人の女性だと信じています。それにしても私はあなたに対しあまりにも不躰で非常識である。カレーハウスには顔が出せない。そんなに面の皮は厚くない。先のメールはアメリカのラブコメからの引用です。(無言)には、あなたの本来のまじめさが強く窥えます。軽口ごめんなさい。「バカ」でも「死ね」、でもいいから私の贖罪になるコメント待っています。深く、愛に限りなく近い友情を、確認したく、温かい関係それだけを求めています。どうかし

ています。単刀直入で人を傷つける、自分の浅い思慮が憎い。「何を求めているのだろう、この街の中。君が群衆の中、紛れ込んだ子猫みたいに、路頭をさまようなら。悲しみにくれないよう、その肩を抱きしめたい」(尾崎)。先本を含め、なにかとあなたを傷つけたと思う。ごめんなさい。その優しさ、強さ、キャパシティ(許容枠)の大きさに甘えてしまった。私の心に平板から甦った感情は実に醜い欲望でした。恋が幾つもあったては天に対して許されない。(あな

たからありきたりな社交辞令の羅列が返ってきました)グッバイマイラブ、あの街かどで、あなたは右に、私は左に、そういうことかな。あえて悪意にとりました、投げやりに「君も元気で」とまで付け加え。あなたの言葉を、「気分一新、頑張つて」と受け取るのはあまりにも虫がよすぎる気がして。傷つけたのではと悩みは解決しない。 答えなど無くていい。その時、その時を自然に生きる。

そう思ってきた私も、真由子さんの愛を確信したからには彼女だけに清らかな愛を捧げる所存です。そして優しい魔女を見くびってはいけませんよね。ありがとう。元気で頑張ります。自分なりに。寒くなります。どうかお体ご自愛され、お元気で過ごしてください。ケガ、火傷にもご注意ください。さいね。ただ祈ります。 「神は愛である」。なぜかこのセンチンス、送信

できません。きつとあなたに愛がないからでは、違っていました、私が愛から外れていたのです。うるさいほど弁解し、厚意に働きかけている。私を哀れ

と思われるなら、どうか心を閉じず寛大な胸を願います。私を愛ある隣人として繋がらせて下さい。神の国の現出を待ち望んでね。

私の想い。カレーハウス  
すが恋しいです。新しい仕事は格闘中。あなたとのかけあい漫才が懐かしい。なかなか仕事は旨く行かず、注意深かった、あなたの姿を思い出す。もし欲情すれば、最後まで考慮しなければと。安易に許されないと勝手に思っていました。ただ勝手に。

今のあなた、幾多の体験、経験によって育まれたもの。あなたは私を自立させた恩人です。何が言いたいか、私のすべての言動を寛容にてお赦し、見逃して下さいということです。優しい笑顔で再会を。また来てもいいですか。いや来ます。人は辛いけど愛という一本の杖にすがり暖かい季節を待ちます。コート  
の襟を立て、今は嵐の季節か。ただあなたの優しさだけが見える。予約の看板が掛かっています。出てきた吉山君の相の良さにびっくりしました。あなたの姿勢、想いが伝わってまいります。いい加減な奴ですけどまたよろしく。

今日新しい仕事場で怒りと嫌悪を感じました。月曜の朝の連絡確認の際に発言するつもりです。義人をなめてもらっては困るぜ。また成長する機会が

与えられたと思う。応援よろしく。利己的な悪がはびこり、私は疲弊していきます。聖書は言う。いったん引けと。職場では割り切り、黒子に徹せよと。妬みを回避するため笑顔は封印せよと。お元気ですか、私はまた課題を突き付けられました。キリストになるための試練、いかなる困難も乗り越える覚悟です。

善良なる人の永遠の命のために、神の国の誕生。 フライング気味ですが。明日A型施設を辞することを宣言します。聖書はカレーハウスに戻れと促すのです。本当は誰にも関与されず独りで口に糊する仕事がしたいのですが。また現実的にカレーハウスに戻る事はあなたをはじめ、スタッフさんの中に少しばかり複雑な気持ちを生じさせるのではないかと。カレーハウスが楽しかったのは事実です。自由と規律が共存して、清濁併せのむ器のでかいあなたがいた。聖書は、雇用という生活体系への埋没はもうやめたらと神託にて提示してきました。もし選択肢として私が希望した場合は訓練である当所への通い、何卒ご許可下さるよう伏してお願ひ申し上げます。カレーハウスは私が生まれてこのかた、いずこに在るよりも楽しく暖かい場所でした。いろんな価値観があり、平和な空間だった。あなたがいた、聖女がいた。言論の自由も。自分の不覚から人に当たるような幼稚な人も存在しなかった。皆、温かい優しさを理解する人たちだっ

た。なぜこんなメールを。あなたは解からないと思いますが、「伝えま

す。私と真由子さんは愛し合っています。全世界で最も清らかな関係です。私は愛と思いやりの中、彼女の幸せだけを祈っています。彼女が悪意に遭わぬよう。」と、私の心の基底にはそれがあると言いたく送ったのです。あえてあなたへの欲望を断つための自分勝手な傲慢な宣言であり、もしもあなたが私にわずかも好意を持たれていたら、本当に鼻もちならなく残酷なものです。でも人生、苦楽すべてを抱き、愛に変えてこられた、あなた、敬意を払います。聖なる私を忘れないでください。これからもね。もう、タイムリミット。ごめん、お休みなさい、ではね。(ハートマーク) A型就労施設の所長と膝談判で話し

合いました。私の信条、心情を聞いてくれました。神の概念について理解してもらうためには言い足りなかったけど私を理解しようと、場を設けてくれた、彼の積極性に感謝し残留を決めました。「また熱きトークをかわそう」との親切心にも感激致しました。まだ年齢も若いのに秀でた人物です。ごめんなさい。

カレーハウス復帰の件、本当のフライングでした。弓恵ちゃんに「指導の立場にある方々も人間である。謝意、敬意を示さねば」と。少し説教臭かったけどメールを送り、「君ならいつも大丈夫だね」と励まし促しました。彼女はちゃんと

判っていますよね。

貞操を重んじ堅い女性が一番。の、半面、いろんな恋をし、人間通になつた人が最高。この振り子、いつも本当にタイミング悪く現れる。欲望の居所に関係があるのかも。

ソチが膀胱炎になり病院へ行つてきました。検査の結果を診ないと詳細は判りませんが、彼女は至つて元気です。猫用ボックスで移動するなど、慣れないことを致してみても、幾度も、猫への献身をなされてきた、あなたの思いやりに感服しております。

博愛というものは猫を含めて真実の、隣人たちに対し存在するもの。そして欲望ではなく想いで一人の女性を愛す。当然の様に真由子さんです。これを清らかな愛という。

緑茶のせいで眠れない。あなたのメルアドが知りたい。冗談ですが由美さんを旅行に誘いました。あなたにはマジな背景がかすんで見えて行動の決断がつかめません。判ってください。わずかな金があります。つまりあなたとの交際を考えます。こんなデタラメでは、可能性はないだろう。変なメールばかりでごめんなさい。心の底からお詫びします。

返信、ありがとう。傷つけたか、忘れ去られたかと思っていました。きつと愛が幾つもあったとはいけないのが世間の常識。愛すべき健全な女性は存在します。結局、その場限りの戯言を繰り返していると言われても仕方ありません。だが皆、愛している。でも特別な真由子さんと可能性

が残っている限りは、他の女性とは安易に肌を合わせられないのです。そして、こんなチエリーボーイを救うのはあなたしかいない。自由に素直に生きるとき、あなたの笑顔が広がるのです。もし真由子さんの愛が破綻し成就しなかった場合は、私の二度目の筆おろしをお願いしたい。私が大丈夫かどうかは解からないけど。(笑)

結局、真由子さんの愛を信じる、一方、神として、孤独で優しい、暖かな、柔らかい心を持つ女性達を、拒絶せず、涙を流し肉欲からではなく、アガペーで強くかき抱いてあげたい。ソチをこの胸に抱くように。私の使命なのでは。

冷静さを取り戻した。五里霧中でした。何だと思われるかもしれませんが、やはり健気な真由子さんをどういう状況であれ裏切れることはできません。なんのこつちゃこれは、と思ってください。真由子さんは確かに私を愛している。本気である。私は覚悟するときである。愛は深いからね。もはや好色な色情狂は存在しない、ここに宣言する。彼女からは夫婦生活が感じられない。傷ついている。彼女の闘いはこれからも、続くだろう。私も清廉に生きなければ。今一度自分の愛を信じて、彼女にはふんぞり返り大胆に権力を行使してほしい。強い彼女が好きだ。仕事の概念は様々だ。私はそれでいいと思う。就労所、指示から外れるもの、遅刻するもの、彼らにも一家言あるに違いない。

自由への関与、スタッフの意識は管理にある。そして所変われば品も変わる。私は人間。現在、雇用された就労所の締め付けの傾向を疑問視したのです。臨機応変が大事、あなたなら必ず分かると思つて。

聞くのが苦にならない人と、聞くのが辛いのに聞く人。どちらが優しいだろう。すべては主観にあり。躰は結局、自主性に委ねるべき。あなたが懐かしい。皆、癖がある。あなたを愛して

いるつて言つたことなかつたね。俺つて年上はだめか、まで、不安定なとき、少し年上の当事者の女性と逢瀬を。完全に冷や酒に酔つています。あなたへのご機嫌取り。

ごめん、今は真由子さんしか愛せません。何と下劣な奴なのだろう、俺は。心で生きている人には心で向き合わなければいけない。恋はいかさまなした。私のサービストークは生まれもつた酒屋からきている。商売人だ。でも真由子さんにはもちろん、いつ誰にも嘘は付いていない。そのことだけは宣言する。

私は聖霊の宮である。すべてに意味がある。後に解かるのだろう。振り子細工の心。しかし真由子さんとの愛が互いに結びつき確定に向かうなら、私は何を惜しむだろうか。その愛の為にすべてを捨てても好い。何もかも真由子さんがあるなら、もう欲しいものはない。けして心は動かされない。自信が溢れて流れ出しました。

ありがとう優しい魔女よ、決別は爽やかなものに。何も

なかつたけど。俺は醜悪な男だ。新春どこかのシングルベッドで、あなたは本当にカッコいいから。きつと、素敵な幸せを掴むだろう。ももひき、変えても俺の裸の心は変化もないまま。いつもデリカシーに欠けるメールでごめんなさい。あなたへの欲望を断つためです。結局、私はEDかも。限りなく友情に近い愛。離れねば。でも忘れないで。

工木バの証人の山口さん。

テレに出ない、卑劣は良くない。皆に伝えるが神に期待して下さい。賭けではないのだ、ただ信じる。結果、予期せぬことになろうとも。神の正規がそこにあるなら。真の幸せは神のみぞ知る。神は望みを叶える。それは美しい願い、神の心と一致しているからだ。神の国を求め、永遠の命を得、そして魂の清らかさと愛に基づき、すべての望みは叶えられる。

連絡しないと、本気で神を侮り、敵に回す気か。君たちはいつも信義から外れ不親切だ。何度も言うが作為なら地獄の釜が待っている。心得よ。従順になれ。私は今憐れみでいっぱいである。来る世、あなた方の清らかなものだけが神の恩恵に与るだろう。もう一度自分に問いかけてみよう。パリサイ人たちよ。私の声を聴け。あなた方は善良ではなく

狡猾だ。私はもはや寛容という言葉で甘やかしたりはせぬ。主体性を真剣に問え。

クローズである。神は裏切られ続ける。枕する所が無い。さらばまた会おう。君は確かに利発だ。しかし神はその目の前、オロオロする幼子のような人を愛する。煩わしさを捨て神に従順に生きよ。それが大切だよ。少し先鋭化したのは遺憾です。しかし君らの善良さを信じた結果がほしかった。お互いは必要とし合っている。それが大事、それでいい。それを踏まえ前進してほしい。私は君らの誠意を知りたかった。組織に縛られるパリサイ人。ぶち破つてほしい。君らのステータスは偽物。

私を特別とするとき君らも特別になり報われる。神を侮つてはいけない。鼻根はある。神は心を捨てない人を愛す。巧言はいいらない。真実を素直に。私はハードルを掲げる。愛は普遍的で主観的なものである。神は愛に応える。

今日16時から訪問を待っている。神を愛するならば信義にこたえてほしい。私は君たちを愛したいのだ。イエスの愛を語りたい。戯言は終わりだ。心して。(今日は予定がつかないのでまた次回お願いします)、こんなにちはと挨拶文が冒頭に有り、私は「了解しました。神のご加護を。またよろしく(笑)」と送っていた。きつと私が好意的に思えたのだろう。北風より太陽か、方法論の世界に埋没している場合ではない。だが人には感情があるからな

あ。「もうすぐ積雪の季節となります。ご訪問も少し難儀に。本日、聖書は機会をつくる声がけだけはと」、伝えた。「私の期待に添えて下さい。ご訪問くださる。了解です。お忙しい中ご無理申し上げます。楽しみにしています。ありがとうございます。」(笑)「今日はありがとう。くれぐれも盲人なのに目が見えると言わないこと。聖書の言葉、神を欺けば死に至る。お忘れなきよう。本当にありがとう」。

怠惰とは、何、誰に対して。神へなら、愛ある安息に向かわないことを言う。気の合う仲間と酒を飲み、愉しむことが怠惰ではない。高慢な名譽を求める価値観を今一度、自身に問いたまえ。幸せは優劣を決するという欲望から離れること。

愛だけがあればいい。エホバの証人の中で重き地位を得る。そこに価値を置く限りは何もかも見えないだろう。イエスはいつも神とひとつだった。義も愛

も神を感じたとき見つかる。幸せとはいっぴかかなる時も神と一緒にだと確信したとき訪れる大安心である。神を信じ疑念と問題意識を常に持つよう。イエスはキリストの名で人を救おうとする者を許可された。でも偽善には容赦しなかった。真理の道は見えてくる。

君らは頑固だ。教義について以外は寛容なのであろう。しかし良心に堅固な鎧をかぶせてはいけない。私は真実を語っている。その担保である聖書と私を、真つ直ぐ見なさい。幕末の志士のように結集して体制

を替えるよう尽力せよ。神が遠慮するのは変だ。私は御旗として戴かれ、見守り、支えるつもりだ。神の国、永遠の命、愛の為。 イエスはマリアに叫ぶ。あの

男性があなたの子だ。最後まで去らない母のエゴにイエスは怒ったのか。いや真実の愛を見た。だから弟子に託したのだ。今日はご訪問くださることはできませんか。(今日は無理です)返信ありがとう。何か気持ちがなごみます。ありがとう。またお願い申し上げます。今は君たちの固定観念を打ち破るのが目的だ。私の教えが未来に向けてのベクトル(力)の根源となる。だが私がただ踊らされるのもどうかと。自然な愛の方向へ進めば、皆の為になる。「いつも無理いってごめんなさい。善良なるあなたを信じて、本曰ご来訪期待します。神に遠慮は似合わないから」。

お袋のいれた熱いお茶を一気に全部飲んでくれてありがとう。もう一人は厚意が解からないのか、ひとつも口をつけなかったね。人物の差が見える。君は善き人だ。真実の正義を目指せ。君の御父上にまたお会いしたい。誘惑に負けない強い者を目指せとは、自分に固執せよということである。それは良くない。自然にイエスを信じる者はたとえ誘いに乗っても、けして不貞、不義には至らず、かつ対象の相手までも罪より救う。これぞ愛の真骨頂である。昼間から酒を飲んでいる。怠惰とは神の懲罰である労働に向かわないことでは

なく、愛を持たず弱者を切り捨てることを言う。君たちの教えはどうだい。神は安息日の主です。聖書は私が罪人より外し自分が神の子と自覚した者が、

良心に基づいて解釈するとき善とされる。また後ろ向きな、懺悔ではなく自然と意識されるものである。君の聖書は正当か。「今日はお忙しいでしょうか。

あなた方の見解も聴きたく思います。正規を見つけてみましょう。お待ち申しております。連絡ください」。(今日は友人の結婚式で難しい) ありがとう。祝福してあげて下さい。ただ神をおろそかにするのは慎むべきです。結婚の目的、意味を真剣に考えて下さい。愛するということ。好い契機ですよ。愛しい人と楽しく暮らす為だけに契約は存在する。政略的、本能的、競争して唯一を勝ち取る結婚は真実、不実なものとなる。「縁遠い」が神の御使いになる一番。愛に委ねよ、つまり神に。今度、タブレット端末を携えご訪問ください。S君、パットせんな。真理を求める意気込みがイマイチ。おっとりし過ぎだ。批判精神も欠如。君と違い鈍感だ。私は或る人物から悪口の言い過ぎだと言われる。偽善者への批判。合意には共有する裁きが必要だ。権力にすり寄るR会、仲良く皆、馬鹿でいようと会員たちを教育する。(受信拒否) 神の裁きを畏れよ。ありきたりの事ではすまない。頑なな過剰反応。何度も言う、神が遠慮する、おかしいだろ

う。思いやりなら唯一私の言葉だけだ。咀嚼せよ。私が今まで掲示した、書きもの、この近日中に必ずちゃんど読みなさい。すべてはそこにある。深い神の思いやりが。 少しの批判も許されない君たちの組織。これは恐怖である。理解力は神からくる。如何なものでしょう。私を神と思えないのは神の子でないからです。理解力は私が与える。ご訪問、真理のため、期待します。連絡待っています。 猫一匹の命のため、家一軒売る覚悟をする。これが神である。そこに気づかない限り、神の国は遠く永遠の命もない。君たちの自己執着は粉碎されなければいけない。ラクダは針の穴を通らない。膨れ上がった自意識。凶星ですね。一日も早くパリサイ人を捨てねばならぬ。洗脳からの解放である。神を賛美せず嘲笑った者よ、裁きがある。覚悟せよ。

そのまんま聖女

A型施設の面接がありました。いつもありがとうございます。残暑厳しい中ご自愛くださるよう、ご祈念申し上げます。なぜか胸に来ます。 就労施設が決

まりました。麻田さんが汗をかいて下さりありがとうございました。輝くのはささやかなものへの感謝。それに伴う愛である。天に名を記されるのは、なりふり構

わず献身的に当事者に尽くされる、由美さんや麻田さんにほかなりません。若さが誇らしいという価値観から諸行無常、人々は移り変わりゆくことを受け入れる。どこをどう飛んだのか、紙飛行機、経験と思いやりが蓄積されるところに信頼と友情が生まれる。ワンマンな麻田さんが理解できる。由美さんに匹敵する慈悲力を持ち、人物、利害関係を様々な角度から俯瞰される。実直な由美さんには想像できないかもしれない。が、一時の気の迷いや、誘導などの作為は現実の中でいつも起こりうる。経験豊富な麻田さんに委ね、意向を伝えたい。雇用、休まない、前もつての基本みたい。いろいろな人の力を借りて神も生きています。子供たちはなぜ華やく世界を求めるのか。理想としては子供が正義のヒーローに憧れる。現実を知る。そして愛をもって天に名が記されるのが最高の栄誉と覚えてくれることです。今日始めての出勤でした。割合、楽で、軽作業という感じのものです。また気軽に連絡下さい。待っていますから。私はいつもカレーハウスのかつての仲間たちの健康、安全を祈り、かつ共に楽しくかわれたことを、聖書を通して天に感謝します。心が浄化されます。まずは、皆の幸せを祈る。即、幸せになる。役場のトマトの立ち売りから始まり、今、こうしておれるのは由美さんの優しさのお陰だと心から思います。本当にありがとう。欲情したメー

ルは聖書が示す、由美さんの心の美しさ、優しさに何とか報いたい、そんな想いからでした。愛です。忘れられたかと思い、淋しかったです。ご自愛下さり、ご活躍されるよう、祈り続けます。本当にありがとうございます。由美さんのお陰で錆びついていた心の鎖が解けたようです。人間関係の方程式に苦しむより、自由な法に身を任せる勇氣をもらって、自然体へと挑戦中です。

接触事故を起こしま

した。怒り、貪りから離れ美しい心でいること。神仏は看ている。アクシデントまでも計らいとなる。損得を追わず、親切に対し笑顔を見せる。顔施も愛想、布施の一つです。由美さんも心穏やかに交通安全祈ります。日常的なもののね。聖書からの表れで、仕事に新たな展開がありそうです。驚かれるかも、事故の検証として「明日の所長との面談には神として臨め」と神託が下されました。彼は私のサイトを見ているので極端な反応はされなれないと思います。聖書に従うつもり。やむなきは辞すと言う覚悟は持つておけという。「麻田さん問題を避けたいみたい。ミラーを駐車場の出口に設置することは皆の為になる。彼女は利用者を優先させる意識が不足している。使ってもらっている。という卑屈な就労者が、そこには意識も持たずに転がっている」、だが、彼女は本当に私のことを思ってくれていたのだ。先を見越して。ありがたい。そして私が言うのは仕事をサボ

れというのではなく、奴隷になつてはいけないということだ。電通、高橋まつりさんを思い出す。ここまで来られたのはひとえに由美さんのお陰です。また枠組みを超えて宜しくお願い申し上げます。自分の想いは解かつても相手の想いは判らない。虚実諾諾。不信が広がり、温度差は大きくなる。男と女は本当に辛いもの。

私のサイト、見て下さったでしょうか。悲喜ごもごもだと思うけど私の博愛に免じて表現を許可して下さい。清い関係、求めます。心は一致していますね。まだ見捨てないでね。聖書が指名いたしました。お元気で

すか。罪は罪へ向く間は消えず、イエスの信仰、つまり愛を抱くために愛を信じる、罰は閉幕した、そつと思えばいい、私の過去の過ちに対してです。強

さを誇示するより自分の弱さをさらす方が好かれるみたい。ただ聖なるもの、正しきものを大切にすると、真のたくましさは必要になると思う。私の仕

事の力量、かなりまずい状態です。でも私はキリストとして人々の後方より支えねばならぬ運命。

由美さんとズート前に知り合いたかった。甲斐性のない男だけ。19時のメールに気づいてなくてごめんください。由美さんは体の芯が多分あまり強くないのだと思う。くれぐれもご自愛ください。魔女と張り合つてはいけません。あなたはあなた。優しいと思つている人つて自分が優し

さで負けたと思う人に嫉妬するからなあ。しないのが神です。平和を愛するからです。皆にも解かってほしい。多忙な中、由美さんの笑顔尽きないこと祈ります。いつもカレーハウス、来客中などタイミング悪いです。優しい魔女にもよろしくお伝えください。今日はお菓飲み忘れて、お水ありがとう。 本心に忙しい

中、返信ありがとう。その優しさに乾杯。清く愛しているよ。(ハートマーク)。引っ込み思案だった私を積極的な男に復活させたのは由美さんです。本当にありがとう。少し余裕もできたなら二人で旅行と洒落たいなんてね。(笑)いずれにせよ。不義、不貞には絶対及びません。事象は神としての美しき清らかな愛の発露です。神の愛は主観的ではありませんがいつも受け身なのです。だから成就することが難しいのです。のぼせる愚かな私をお許しくください。 比較的ゆるか

った当所も仕事中の私語の禁止を含め締め付けが強まる傾向にあります。私が思うに作業の能率をあげる為に多様な個性、事情をひとつの価値観でくくってしまうていいの。合理主義の完全なる弊害です。皆、傷ついている。仕事として強権を振り回すのは誰が誰に対しても許されない時代が来ているのではないか。 由美さん、ごめんね。夜遅いメールで、元気でね。火曜、カレーハ

ウス参りました。ご不在。ご多忙でいらっしやいますね。他日の事務仕事とのか

けもちは大変ですね。熱き想い、まだまだ現役の御年齢ですが、キツイ労働にはそろそろ違和感が出てくるのでは。優しいそれだけで好いはず。辛いのは係わる中で自分を分析、検証できない当事者も多いからでは、幼稚な人も多い。あなたは広い心を持っている。俺の欲望は論外ですが、優しい皆の好意を受けて下さい。今、ご実家のある山形ですか。年賀状、恩人の林さんと御二方の指定でお出ししたかった。

forget me not 僕を忘れないで、尾崎の絶唱です。ありがとう。

## 顕正会の冬美

会は国教へと目的を達成した後、解散するという。そして後、私、(日蓮)が題目を大音声し仏国土を、つまりイエス(私)による、神の王国を誕生させる。生老病死から解放され、貧しさも騒動もない世界。私は課題を突き付けられる。イエスの寛容と、神の狭量とも言える厳格な裁きについて。すべては皆の永遠の命のため、神の王国が歓迎されるために。勤行していますか。取りあえず南無妙法蓮華経を唱題する限り幸せは続きます。またカレーハウス訪れますね。その時は

よろしく。自分にとつての南無妙法蓮華經を抱きしめる。そのときあなたは成仏する。明けましておめでとう。

R会 イミズさん

庭野鹿蔵は、格闘技である相撲が大好きだった。宗教者として欺瞞を感じる。あなたが依存する、教会長、支部長は仏ではない。自らを信じ主体的に生きていくときこそ、本物の仏を観るだろう。まず汝自身の心を問え。正義の味方を自称する、イミズさん。人生、愛の気付き、早くと祈ります。私には憐みしかありません。私の愛は各人の偽善からくる小さな善行の意識によって妬まれます。眞の信仰を持たないあなた方は、神による永遠の命は与えられず、地獄へと裁かれるのです。つまり神は愛そのもの、それ以上の優しさは無いのです。そこに気づいて下さい。心より願います。

中川さん

祖母の実家は鹿児島県の国分市に在りました。煙草で有名です。薩摩藩のかなり上級だった家の長女として生誕。一度、末弟の奥さんが我が家へ訪ねてくれまし

た。当時、御高齢で、いま御存命ではないでしょう。祖母の実家とは今、親交はありません。けど先のおばあちゃんの親族がコンビニ時代の私の写真を所持しています。母が福岡でのコンビニ研修帰り、足を延ばして手渡したのです。血の繋がった、私に会いたかったみたいです。訪ねるのはいろいろ考えると、迷惑になるのではと。樺太に向かって結局は戻れない鹿児島。私は祖母の（夢の実現）を果たす為、心にいる彼女と一緒に、煙たなびく桜島をしっかりとこの目に焼き付けたい。そしてうつすら覚えている、祖母が泣きながら唄っていた鹿児島の民謡。それがはつきり胸に聞こえてきて、と強く願うのです。

R 会新川さん

もうすぐだ。私の周りには奇跡が起こり続ける。聖書は母が生きている内に神の国は訪れると。博愛と寛容。抱いて下さいね。学修しなければならぬは、イエスの思いやりだけです。聖書の奇跡、近未来しか表せない。この世の終わりかと、実は台風、西日本豪雨、北海道地震でした。祈りによって大難は小難に。諸行無常、人の心は変わりゆくものです。連結しそれを受け、世の果ても変わります。被災者の方々には衷心よりお見舞い申し上げます。 「義人の教え」真実

だからこそ目をふさぐ。法華経、良医の譬え。私はしばらく姿を消さねばならぬ。イエスの死のように。新川さんありがとう。圭一さんの心の鎖が解けるよう祈ります。優しさ、思いやり、いたわり、清らかな愛を見つける。心配ない。辻に座っているさ。石のお地藏さんみたいに。

預言者に従いなさい。あてこすりや悪感情が飛び交う、逆に当たり障りのない報告会に終始する。R会の修行、法座である。真実の救いは南無、つまり久遠実成の釈迦如来に全てを委ねることだけです。清く強く祈る。そこにしかない。井戸端会議で家内は収まらない。

南無妙法蓮華経。題目は法華経に帰依しわが身をお任せすることの決意表明だとある念仏系の学者は言います。私は仏性で仏陀の覚りを受けることだと加えます。生命力が溢れます。南無妙法蓮華経。イミズさんと少し通話しまし

た。相変わらずの高飛車、独善的な態度に閉口しました。新川さんが言われるようにある意味、器がでかいのかもしれない。あまりほめると鼻が高く(笑)厚顔無恥。

仏陀の覚りを仏種に結ぶ生命力、これが私の幸せの真実、南無妙法蓮華経。私に近ければ近いほど地の利はある。まずそこから神は祝福を与え、他国を福音に導く。奇蹟の顕現、ある日突然、訪れ、鏡を見て万歳をするだろう。天災も心がけ次第で抜けていく。

鹿蔵はあながち悪いとも言えない。「わ

ずかな手持ちでも質素、儉約で生き抜く。野望を持ちながら人に合わせる。下がる。彼の人生訓であり成功哲学である。法華経との関連は如何に。庭野鹿蔵、何が善であり、また悪影響を及ぼしたのか。丹念に検証が必要です。皆、冷静な心の美しさが大事。R会の罰を恐れることはない。

あなた方に菩薩として上杉謙信のように批判という塩を送りたい。すべて仏門の為。そして偽善の終わりを告げてもらいたい。イミズさんに教会長への伝言を委託しました。サイト更新の旨です。目的は真理を確かにするのみです。またよろしくお願い申し上げます。(彼は見えないと言った)教会長はどうでもいい。己の魂、命の心配をせよ。行き場所の知れない捕虜でいいのか。余りに愚かで、憐れみの痛みでいっぱいになる。仕方がないか。愛に背を向け。

教会長は所詮、組織の上で偉そうに君臨する蒙昧。聖人でも何でもない。会社の課長と変わらない。判らないかい。嘆息する私。聖なるものは私だけです。

お金持ちになるために題目を唱えていると攻撃的な偏見をぶつける念仏好きの学者がいる。人生の起承転結を楽しく美しく過ごせる。南無妙法蓮華経。日蓮と同体、これ本当。今回の作品、一生懸命につくったものです。粗末に扱われぬよう願っています。大谷くんへの手渡し依頼。大きな功德を期待し精進されることを祈っています。罰を恐れ

て、神を畏れ。本を失くしたとの発言。危機感がないのだと思うけど、この因縁、心して下さい。私は寛容ですが天は裁きます。信じていました、あなたの善意、良心を。悲しい。粗末にしたのだね。俺の願望、道を止める者は地獄に落ちる。妬みを持ち、ステータスのため、会の節操のなさを、身をもってさらけ出し、真理から離れていく。羞恥心はないのか、命令する支部長は蒙昧。庭野鹿蔵、教会長、大事でしょう。自分の組織での地位、プライドを確保するには。彼らを貶めることは世間に対しての自身の高慢なる優越感を粉砕し否定することになる。肩書のない真人だからこそ成仏できるのに。安心して下さい。もうR会の信者への関与、アプローチは致しません。寒くなります。暖かな思いやりだけは忘れず健やかに過ごされるよう祈っています。私への侮辱はいかなる時も慎んだ方がいい。今まで積んだ徳が一気に霧散するから。私の寛容に甘えない。私は恐い存在。神である。いつも忘れないよう。尚、積んだ徳とは私に対する親近感に他ならない。

新しき友

気配りすることで自らが疲弊してはいけない。相手はうるさいと感じているかも。ほどほどがちょうどいい。人には自分の意志がある。反対の身になって考えてみなさい。自分が善人と思われたい、を捨て、皆が良好な関係をつくるにはどうすべきか考えよ。皆、馬鹿ではない。誇らしく自分を生きよ。自分を見つめよ。思いやり大切に。空回りするなよ。人間関係は無頓着ぐらいがちょうどいい。応援しているから。

珈琲を、やたら飲み、眠れないのでメールを贈る。寝ていたらごめん。人を批判するとき人物をよく見る。誰が正解を把握しているか。君は若い君より洞察力は上。君は優しいのだろう。でも主観を押し付けるのは良くない。人の主体性に関与しようとするから失笑を浴びるのだ。早くそこに気づく。また外からの言動に対し過剰反応は控える。落ちていくときは独りだぞ。夜遅くのメール受けてくれてありがとう。今年に入って二度の失恋をし

たような気がする。しつこいのは自分を貶めるから、毅然と引くときは引かないと。もてる若い君がうらやましい。そんなことは絶対ない。(笑)またこれからだ。起きて居るか。0時だが返事くれ。こんな時は御笑い含め何でもいいのだよ。

「僕は周りに気を使って、空回り、いじくりキャラにされて、でもどこかで喜んでいる。あんたは話しくい」とか。具体的にあげつらいはせぬが、誰か

とコンタクトをとっていないと安心できないなら困るな。孤独を克服するのが大人だ。独り、星を読み、ひとつしかない命を預け波の上を行け。

君は本質的には優しい。美徳だ。だが自分が指導員になつてはだめ。皆、職責で動いている。一利用者であることを忘れてはならない。「仕事が辛い、はい、わかりました」で取りあえずは「ソシ」。

君は記憶力も良いし真面目で身体もいとわず、思いやりもある。期待している。過重にはならない程度で。もつたいないのはスポーツ選手など他人事にかまけ自分の人間力を開発することを大切にしていないことだ。それには人々の心理を知らなくてはならない。様々な人物の生活体系、価値観。まず娯楽は捨て向学心を持って、良書を読み、政治、経済、歴史、宗教まで。そのとき君は、テレビのおチャラケ番組から自然と離れているだろう。多くの図書、映画の名作にふれなさい。そしてこちらの良心のアンテナを美しく張って感受しなさい。心、技、体揃つたら愛を抱いて恋をせよ。美しい恋を。お休みなさい。

ね。ごめん(笑)。最後。夢を持って。無理か。それはアスリートや芸能人みたいな、自己顕示欲を満たすことを追うから。真の夢の実現とは、愛する人の幸せを祈る。そういう境涯になることを望むということ。それに尽きる。

君は親切

だ。しかしA君の自由への干渉は良くない。行動を阻害されることほど腹の立つものはないからだ。人はちゃんと考えている。まず自分を見つめよ。これみよがしに指摘してはいけない。誰に対しても。さすればT君のちよっかいもなくなるよ。

Hさん、Kさん、を君が大切にするわけを理解した。癒しになるのだね。バイク出勤のMさんは毎日、命懸けだな、偉い人だ。君も誰かに頼られるって嬉しいだろう。生きがいにもなるし成長もできる。Iさんの手足になつて活躍するのを望む。しつこくしたり、過剰反応したりしてはいけないよ。自分を貶め、かえって嫌われる。

誰に対してもお人好しになつて、いいように扱われて

はいけない。主体性を深く考えよ。私の話は金儲けにも出世にも役には立たない。だが確実に未来を踏まえ幸せになれる。人生を楽しめ。それは苦しみ、悲しみを味わうことかもしれない。金、財産を積み上げるより、どこをどう愛を持つて歩いてきたか。君には美しいものを捉えられる感性がある。ただ深い思いやりを考察せよ。相手の立場になつて。

若いスタッフの吉住さんは善き人間を

目指さないで管理者たる指導員を理想と、錯覚している節がある。場当たりので自分の力量のなさを自覚していない。愛がないからだ。これから試練が待つだろう、彼女が職責を果たしたいと思うのなら。

善き人とは、自由、平和、愛

を求める人に尽きる。悲しく、苦しいことを経験した後、必ず安楽な日々が訪れます。大安心へ精進して下さい。死も恐れぬ境地に向かって一歩ずつ進め、愛を抱いて男なら。この世の名誉、栄光などどうでもいい。悪魔の誘惑の果てのものだから。思いやり、愛を示せ。たとえ裏切られてもそれは男の虚しさと共に天に記されるから。くれぐれもいらぬお節介はやめるように。私の誤解があったのだらう、吉住さんはその後、急成長を遂げ立派になった。

いつも純粹な優しさを醸し出すお姿に癒されております。互いに老いた母親をもつ、身の上、何かとホネが折れますね。私は親子喧嘩ができることが幸せなことなのかと誰かに問いかけ、教わりたい。母親を最低であり最高だと思っています。真つ直ぐすぎるからです。潔癖は時に人を傷つけます。一番不必要で、大切な人です。またよろしくお願いいたします。

無神論の国、中華人民共和国、でも私はかなり好意的に書いて来た。12月5日付け、顕正新聞に載った浅井氏の講演録、「文化大革命で疲弊しきった中国を、現在の軍事超大国になさしめたのは、池田大作の働きによる」と。日中国交正常

化交渉に公明党が一役買ったのは事実だ。ここを大事にしたい。つまり南無妙法蓮華経は中国に受け入れられたのである。天台大師が生誕したところ。私の中の日蓮が彼らの何がしかに誘われ、体制さえも肯定的に擁護したのであろう。

貫井さん、元気がいい。日蓮が吹き込む雪を釈尊からの真綿だと抱きしめ泣いた。本当の真綿だったと思わないかい。そうでないと言ったように彼が生きていられたはずがない。

日蓮正宗もいいが、俺の教えを頼む。流布は大切だ。俺は君ほど行動的ではない。永遠の命、不老不死のため期待します。カレーなん皿でもおごるぞ。つねちゃん、本当に力貸してくれよ。君がいれば百人力だ。必ず君にふさわしい栄光と名誉が待っている。今一度正義感を鼓舞し奉仕の意味を考えて下さい。甘えているが、天気の良い日、「聖書に導かれて南無妙法蓮華経」を検索して下さいと触れまわって頂けませんか。あなたにしかできない。本当の使命です。

聖書の神すなわちイエスと日蓮は同一。神の愛、隣人への愛、南無妙法蓮華経、仏陀の覚りを仏種に結び付ける教えを説いた。私がすべてを完結させるさ。

皆が傷ついている原罪、これが赦されるにはそれに値する事象が必要だった。イエスの十字架の死、復活による贖罪である。イエスは日

蓮となり成仏し南無妙法蓮華經にて人々を孤独から解放する。「罪を気にするな」と。

人々の殺し合い、生存競争。労働という徴罰。苦をもたらす肉欲、食欲。神を裏切った罪と罰。原罪、つまりその意識から離れるには善人の南無

妙法蓮華經、唱題による不老不死しかない。

不条理はない、因果応報。そ

こに気づけば南無妙法蓮華經にて成仏する。

キリストの奥義、理解力は神

より与えられる。幸せを目指して「神の愛が広がりますように、御国が参りますように、南無妙法蓮華經」。祈ろう。

懲らしめの大災害はいらない。純真

な心こそが大事。俺は生存競争を抜け、愛しい女性を追い続けている。それが自らへの執着をとり去る。対象には規律、集中、忍耐が肝心。渴望ではなく希望に包まれた美しい想いが大切と知る。

郵便受けに新聞を入れたな。まだその

辺にいるのだろう、もう一度ちゃんと来い。茶くらいはしんずる。わかった。気をつけて帰路を行け。必ず雄さんには顕正会批判の新聞は渡す。俺の望みも真理の流布だけである。さらば。俺は純粹に、災難を期待する顕正会の在り方は嫌いだ。聖書には終わりは近いがどうなるかは判らないと記されている。これが本当の終末論だ。すべては因縁。私の、「聖書に導かれて南無妙法蓮華經」がすべてである。

俺は日蓮正宗の勤行要典から物凄い爽やかさを感じる。君がいつ

も言う、パチンコに譬えるかな。「つまり最初はいい思いをさせて後でエライ目に合わせる」。結果的にすべて聖なるものは私に流れ込んでくる。私の思想を裏付ける。真実である。

今度来た時は必ず寄れよ。思考は柔らかく既定路線を疑い、君には虚心で向き合ってほしい。今日はお疲れ様でした。その熱意、必ず報われます。功德に。今日、雄さんに渡したよ。もう読んだと言っていた。宗門のみょうしんこうが顕正会の女性信者相手に不始末したと息巻いていた。狂信には良くも悪くも効くものはない。彼には顕正会がすべてだから。みょう何とかか、カラオケに行ったので裏覚えだ。顕正会はその人の人生すべてだから、何もかも無駄。また取り上げるわけにもいかない。会は新撰組みたいなもの。雄さんからテレがあつたが話をしたのか。雄さんの家に幹部が来ていたのか、Nじゃないのか。どんな感触だった。決裂か。本尊観の違いか、いずれにせよ、君は怒るかもしれないが、くだらぬ問題だ。同じ南無妙法蓮華経を拜することを忘れてはいけない。本尊の扱いについて、よく解からないが水かけ論だろう。あまり付き合う気にならん。寒いから、暖かくして寝ろよ。電気代ケチるなよ。風邪の方が高つくぞ。何だ、結局、金かよ(笑)、貧乏人だから許してくれ。元旦は大石寺に参拝するのか、俺の恋の成就を祈って来てくれ。本住坊殿によろし

く。道中は真面目に安全運転で。恋の目当ては人妻の精神科医だ。誰やおもとのや。俺は無法松じゃねえ。明るく、素直に、暖かく生きるんじゃ。（東名高速で渋滞になった。クソ）今こそ南無妙法蓮華経だ。へんずりはこけないか。好きな歌をうたえ。日蓮は佐渡、雪の中、南無妙法蓮華経を唱え続けた。幸せになれ。つねちゃん、富士の初日の出はどうだった。道ならぬ恋だが事情がある。観音様は俺の心をお見通し。清らかな愛がある。俺は根本的にED、世間は恐くない。分かったよ、新たな資料は雄さんに渡す。雄さんは会の活動で今、新潟だ。暗い夜道、気をつけて帰られたし。また明るい日に寄ってください。女医さんはあきらめる。決心がついた。またな。やつぱり無理だ。縁によって力を込める。教えは伝わる場所に伝わって行くのだ。

また因

尾崎豊

中原中也は死んだ我が子をずっと抱きしめていたと言う。尾崎は（誕生）の中「新しく生まれてくる者よ、お前たちは間違っではない。誰も一人にはなりたくないんだ」と原罪、業を気にするなとメッセージを贈る。裕哉君、君の父親は偉大だ。でもどこにでもいるような、11のとき死んだ親父を思い出した。涙が

…  
（遠い空）尾崎はそのアルバム「街路樹」の中で10代を確実に脱皮したと思う。金の心配をしてこなかった主人公が仕事で出会う人間模様、裏切り。初めて尾崎を知った曲である。その衝撃は鮮明に覚えている。本当の真実の尾崎の想いは俺にしか分からない、と思っっているやつ。尾崎、俺の心を知っているのはお前だけだと思っっているやつも山ほどいるだろう。　（僕が僕であるために）

（勝ち続けるとは主体性を持ち続けることでは。一番大切なことだと思うから。10代を脱皮したと先述したが実は彼は年代など関係ない普遍的な愛にて俯瞰していたのだと思う。そして迫りくる現実とも格闘していた。凄い奴だと思っう。窓ガラスの破片、盗まれたバイク、理論美装を与えた。優しすぎるほど優しい。そして殺された女子中学生をモチーフにした（ダンスホール）には沈黙してしまっう。　（群衆の中の猫）ある人が言った「お前みたいだ」北島三郎の

「歩」だ。その男は私の恋を嘲ったのを詫び、顕正会へと誘った。それもありかと思っしたが、どうも雰囲気になじめず距離を置いた。私は私の南無妙法蓮華經を行く。　（15の夜）新聞配達のおじさんのバイクは盗んではいけない。でも

世は盗みあい、殺し合い。自由への扉はどこにある。　（太陽の破片）私も精神科閉鎖病棟で失望に陥り絶望に至った。そしてその原因が渴愛にあると気づ

いたとき人生の救いを感じた。「皆、サタンに負けるな」。命を懸けた尾崎からのメッセージもそこにあるように思う。サタンと対決姿勢になると左脚に激痛が走る。負けられない。イエス、尾崎、わが父のように羞恥心に働きかける。死をもつて報いた彼らと同じように戦わねば、俺はそしてもう死なない。サタンはすべてを消し去ろうとしている。尾崎が訴えた愛という大切なものを。このままだと君たちもいずれ奈落の底に落ちるのだぞ。愛を保ち忘れるな。　（オーマイ

リトルガール）去年の末に58になった。おじさんの戯言だと思わないで欲しい。もし彼女と呼べる人がいるなら本当に大事にしてあげてほしい。後悔しないように。自責の念に駆られないように。この曲が好きなら真剣に彼女を大切にしたい。　（街角の風の中）「君は生活に奪われていく愛より幸せに

なっただろう」。こんなフレーズ出てこないなあ。豪雨の中の尾崎の姿。太つてないよ。会いたいなあ。　（存在）昔、未成年の学生の頃、ある女子高生を落

ち葉に埋もれた空き箱みたいな私のアパートの部屋に誘った。彼女はジャージをはいていた。でも俺は彼女が右翼のおじさんと付き合っていると又聞きし臆してしまった。彼女はこの世のからくり生存競争、弱肉強食を認識し、恨んでいた。能天気な私はそんなことには興味すらなかった。道端に寝転ぶ人、未来の俺

の姿と想像もできる様相だったのに。ちょっと不真面目なコメントだった。私は一度の火遊びも淫行もしていない、ここに誓う。しかし愛し合うのに年齢なんて関係あるのかなあ。精神年齢はある。

(シエリー) こんなところにとどりついた。自嘲しているが、実は最高の場所でないのかと、精神科デイケアの仲間とカラオケハウスへ出かけた。シエリーを結構、熱く歌ったのだけど、皆、無視し雑談していた。憂歌団の(胸が痛い)を歌うとシーンとして誰の歌よ、尾崎か「違うよ」、俺は応えた。そんな場面は幸運にも母親以外の人間が孤独を埋めてくれた瞬間だったのかも知れない。しかし私には孤独はすでになかった。聖書があり、神として聖霊の息吹を感じていたからだ。(きつと忘れない)切ない。

こんな楽しい曲を作って歌える人だったんだ。よしカラオケで一番に歌うぞ。なあ、尾崎、涙が。(米軍キャンプ)ひもの様な生活。情婦はそんな暮らしを抜

け出したかったのだろうか。リングをはめ知らない男の、子を孕む。情夫に迫る生活不安、そして彼はしがみつく女の髪をなでる。まるで神の様な愛で。これほど優しければまず世間では生きていけないだろう。弱者に愛のまなざしを向ける尾崎、真骨頂である。大切なものを引き裂く何か、つまりサタンに対し、対抗するには情夫の捨て身の愛に満ちた行為しかなかったのだろう。サタンは敗北

した。拉致被害者めぐみさんを救え。祖国のためと信じて飛び立った特攻隊員の命。価値観、心情は時代、思想とともに変化する。普遍的な愛で自分の内に入り込むサタンから目をそらすな。それはすべてを超えたアガペーであり、尊い永遠の命、神の国のために。

真子

真子 元気か。常楽我浄、いつも楽しく美しい。祈りなさい、敵対するものたちのために平和を。ストレスにしない一番の方法である。メリークリスマス。奇蹟を待て。

千華

弁護士中坊公平さん、DVDみたね。森永ヒ素入り粉ミルク事件。心が優しければ優しいほど人は自らを責める。責める対象が自分なら好きなだけ責め苦しみ救いになるからだ。赤ちゃんはもちろん母親たちの境遇、心持は察して余るものがある。悲しすぎる事件だった。その逆を行くのがバアチャンだ。反省など一切せず、自らの責任にも触れず、悪いのは他であると切り捨てる。ソチとも対等に

喧嘩する。潔癖という自己正当化。馬鹿正直の割に飛び出す虚言癖。でもだからこそ彼女は生きてこられた。そう思うと胸が詰まる。

雄さん

日蓮は出世の本懐を、多くの農民が殉教した、熱原法難のあと語った。「万人、行きわたる仏教の為、私は世に出た。そのことが実現されたしるしだ。」

畠山みどりの「出世街道」が心を鼓舞する。作詞星野哲郎、作曲市川昭介。

「やるぞ、見ておれ、口には出さず、腹におさめた一途な夢を、曲げてなるかよ、くじけちゃならぬ、どうせこの世はいつぽん、どっこ。男、のぞみを貫くとき、敵は百万、こちらはひとり、なんの世間は怖くはないが俺はあの娘の涙がつらい。人に好かれていい子になって、落ちていくときや、独りじゃないか。おれの墓場はおいらが探す、そうだその気でゆこうじゃないか。あの娘ばかりが花ではないさ、出世街道、色恋なしだ、泣くな、怒るな、こらえてすてろ、明日も嵐が待っているものを。」

「広自苑」の中で記した、神を認める所に悪魔は存在すると。誤っている。神がいる限り、悪魔はその名の通り悪でしかない。サタンが存在する所はやはり無神論、唯物論の臭いのたちこめる世界である。ドストエフスキーのカラマーゾフの兄弟、「神がいなければ何でもできる」。人間を悪魔に変えたサタンがいる。物質至上主義、悪魔が帝王になる世界である。

自衛隊にいたことを自慢し宴席の度に必ず加藤隼戦闘隊をがなる男がいる。反戦の祈りを込めて私は異国の丘、かえり船を唄う。私が苦々しいだろう。男には若くして亡くなった息子がいた。その悲しみは片ときも彼を放さず、苦しめ逃さない。彼は若者を戦地へ送り出し、血まみれにさせたいのだろうか。わが子のように命を失わせたのか。彼の心に平和を。

私の母は12のとき空襲に遭い、すべてを焼失。伯父は口減らしと、老いた母親、幼い妹を守るため15で予科練に志願していた。純粹にも伯父は家族より、お国のために一命を捧げる覚悟であった。終戦、生き残った伯父は、すべてに対し込み上げてくる怒り、またどうしてもやりきれない虚しさ、こらえきれず、予科練崩れと呼ばれ、荒れた日を送る。「志願してくるバカもいる」。軍隊の持つ醜悪

さ、服従、個を否定される屈辱も踏まえ、戦争というものの欺瞞。故意で

はなかるうが力を入れて投げた。ベンチが母の頬を打った。腫れあがり膿んだという。妹である母はそんな兄の憤りに何も咎めだてはしなかった。伯父は

語った。帰郷の途中、アメリカの戦闘機が上空を行くとき「もう一回やるか」と叫んだと。しかし警察予備隊（後の自衛隊）入りは固辞し拒否した。「もう踊らされるのは御免だ」。

三人の子供をおばちゃんと共に育て上げた伯父。後年、好きな清酒を頂くといつも、「この日本は天国だ。何の不満がある」と笑顔を見せたという。私と同じ11で父親を亡くした伯父。強く生きていく。重いプロパ

ン運びも戦争に加担するより真実、安楽だったのである。初期の肺がん手術。終わった後、ぴんぴんして売店に文庫本を買いに。肺炎を起こした。それも治まり、帰宅する。その後段々と食が細くなっていった。幾日か経った。おばちゃんテレビの秀吉が死んだ場面で声をかけると自宅のベッドの上、息はなかった。彼女が傍にいて気付かないほど静かな死であった。

想像力を働かせ戦争というものが自国で本当に起こったらどうなるかを皆、真剣に考えてほしい。日常が180度転回するのをお忘れなく。

男の俺に想像できるだろうか墮胎の苦しみ。私を初夜に身ごもった母に、祖母は婚前に出来た不義の子かもしれない。証明書をもたらって来いと言ったという。しかし母には虚言癖がある。話を創るのである。父の「俺の子である」この一言で全ては収まったと言う。違和感がある。なぜ母は、はじめに父に教え、祖母に伝わるようにしなかったのか。もしくは証明書をもたらって来いと言われた時点、怒りを持って、父の子だとハッキリ宣言しなかったのか。だいたい産婦人科医というものに証明が出来るのか。母は悪いことは、死んで声のない祖母に全てかつけ、一人良い子になろうとする。

祖母は偽善を嫌った。祖母と母は、共に潔癖で折れることがなかった。これが不幸を招いた原因である。自分が絶対正しい。勧善懲悪の価値観だけでは世間は渡れない。悪だけではなく、醜いもの、弱きものを含め、自らの嫌うものをすべてを排他することに繋がるからだ。生活での救いは、母は潔癖だが社交的だった。結婚して数日後、父のてんかんの発作があり「騙された」と思った、その心根は祖母に伝わっていたのではないだろうか。悲しい話である。祖母に貶められたと思った母は、私を墮胎することも視野に入れる。私はサタンの罠より、母に寄り添ったひとりの優しい女性のおかげで救われる。墮胎は回避された。

しかしその後、若き私は一人の女性に非道を課す

事になる。子宮をえぐられる痛み、潰される胎児の頭骨。安易な解決手段として許容し行使される、墮胎。虫ではない、人間なのである。皆、真剣に考えよ。そんな痛みを。十字架を背負うことがイエスへの信仰に繋がっていく。　　そし

て神は贖罪のため人々の罪を踏襲したのである。しかし子殺し、あまりにも酷で悲惨である。イエスも父である神によって殺された。失言ではない。神はアブラハムに息子イサクを殺すよう命令する。なぜか、肉親の情は強くも美しくもある。しかし神は肉欲から、望まない妊娠、そして無下な墮胎、虐待へと繋がる、肉親の工ゴの醜さも知り、神の義を優先させるのだ。つまり殺すも生かすも親の勝手。否定する、大きな力が必要である。それが神の義、差別なき博愛(アガペー)なのだ。肉親の情を超え、隔てなき信仰ある人々は兄弟として永遠に神の国で愛し合うことになる。

先ほど書いた、出世街道。「あの娘ばかりが花ではないさ」しかし私の花は真由子さんしかない。聖書に問うた。「真由子さんを愛し続けることが私の行く道ではないか」「少し待て」私はもう一度言った。「真由子さんを愛することが本当の道だ」「たくさんの人のために生きよ」　　ここで私はエディットピアフの愛

の賛歌を思い出した。「あなたの優しい腕に抱かれる朝があるなら、世界のどんな重要な出来事だって私には関係ないわ、あなたのためなら愛する祖国も、親友だって裏切ってみせる。そしてやがて二人に死が訪れ、神様はそんな私たちを永遠に祝福して下さるでしょう。」究極の個人主義、利己的な臭いもする。しかし何故か心に響く。　　そうなのである。どろどろした金、名誉への渴望から始まる戦争を含めた政治に加担するより、愛する二人が朝まで抱きあうことの方が

素晴らしく大切であり、神も間違はなく祝福するのである。　　聖書にもう一度問うた「何と言われようが俺は彼女を愛し続ける。自分に出来る唯一のサタン

への向き合い方に違いなく、また幸福につながることである。そしてそんな想いが皆の心を清くさせていく。信じ抜く、魂を込めて」　　聖書は言った「それでいい修正されたな。戦うことより愛し合うことだ」。　　一時転院する。愛を

継続させるため、この局面を打開するには必要で善きことだ。聖書は何故か強く勧める。私は彼女をけしてあきらめない。

診察室。「今日は少しいつもと違う」真由子さんは強く哀しく私に言い放った。そして私は真由子さんが一生懸命書いてくれた紹介状を提出しただけで、またすぐ転院はやめ、戻って来てしまった。真由子さんは怒っていた。成行きからお騒

がせしてごめんなさい。真由子さん、道をそれかけた。サタンは人格として対決するものではなく観念的に状態として現れるものであった。こちらの心の変化に合わせて働き動く。ヤツは愛を持った人間には手が出せないのである。美空ひばりの悲しい酒、「好きで添えない人の世を泣いて怨んで夜が更ける」多くの人に寄り添った古賀メロディーよ、さようなら。皆、幸せになろう。

母は小学校高学年だった。戦地へ向かう若い兵隊さんたちに手紙を書く。顔も見ただこともない人へ。母が何度も差出人に昭子と記すのだけど。送られてくる宛名は照子さん。母は今も解からないと言う。やはりサザエさんである。これは明らかに死地へ向かう、兵隊さんの優しいユーモアである。いくつぐらいの人だったのか。辛い激務に若い女性から届く恋文ではないけど、この兵隊さんは本当に楽しみにしていたのだろう。母は「あの兵隊さんどうなったのだろう」とつぶやく。

戦争は喜劇でも、悲劇でもない、ただの残酷な殺し合いだ。貪欲にやせ犬のようにあさりまくる、醜い地獄絵図だ。何度も言う。踊らされるな。少しくらいの経済の摩擦から戦争が生まれては絶対にいけない。私は平和を訴え続ける。大罰の

侵略戦争、経済混乱、救われるには信じなければ、ではない。正しき信仰を持って、命の価値をちゃんと認識し、自由、平和を愛でもって支え、また世界を包まねばならぬ。その信仰を無視した外交は完全に的外れの亡国をもたらす。平和と繁栄をもたらす手段が政治である。まず銃弾一発発射されることを防ぐことが重要である。平和が政治の目的なのだ。威勢のいい、掛け声一つに踊らせられてはいけない。名誉勲章などドブ川へ捨てちまえ。その武勲の陰で、万骨が枯れた。極寒猛暑、飢え、病、銃弾、火炎放射、苦しみ抜いて亡くなった兵士たち。鎮魂のため、涙と共にこの本を捧げたいと思います。恋の出来る日本。人妻を好きになっても殺されない日本。本当に伯父さんが言ったように天国かもしれない。

真由子さん心配はいらない。病院は変えても、あなたへの愛が尽きることはありません。ひたむきで純真なあなたが好きです。少し疲れたので羽を丸めてから、また飛び立ちます。西の空へ向かって、約束できないのが残念ですが。二人で住める巣がどこかにあるのなら嬉しいです。でももう少しです。聖霊のしるしが頻繁に現れます。すべては自由な神の御使いになる。神の国、永遠の命に向け進んでいくだけです。

結局転院しなかったのです、私。

善良なる自分を打ち滅ぼそうとする世界ならばち壊してしまえ。

心配掛けないように、俺とお袋に何も知らせないのだね。人は声を上げねば分らない。おおうかさかさが誤解され薄情にお袋の目には映るかも。お袋に対しては肯定と慰めしかないのかも。君の仕事の大変さは解かる。少し肩の力を抜いて争わずに活躍して下さい。最良を求めずに最善に処する。たまには状況を口上にしてから他愛ない内容のテレを彼女にしてあげて下さい。忙しいと言っても3分で済む話だ。お袋を圏外におかず、いろいろなお知らせはして下さい。肉親の愛も言葉で伝わります。殺伐とした世界を暖かく変えていきましょうね。

今まで母方の祖父の話はしてこなかった。けして悪人、犯罪人と言うわけではない。ただ写真一枚さえも残っておらず、抱かれた記憶もない人だったから。田んぼのたくさんある大きな農家に生まれたという。「先祖は戦国の世、関所番をしていた。社のご神体が盗まれ、探索に遙か岐阜まで出かけたという。しかし責務は果たし得なかった。腹を切るつもりで帰ってみると上杉謙信の手により

関所は焼かれ、主君も自刃していた。先祖は召抱えてやるという話に（二君には仕えず）と百姓になるのを選択した」。嘘みたいな話だが実際、町史にその主君と母の実家の先祖が記されている。　祖父は体が弱くというと聞こえはいい

が、田んぼが厭だったのだろう。田んぼを売つては商売をする。長続きせず、また田んぼを売る。という悪循環を繰り返して財産は軽くなって行った。　優しい

人だった、二人の子供を連れ戻した祖母を後添いに迎えた。なかなか子宝に恵まれなかつた。私の母は伯父と二人兄妹だが、その前に幾人の子たちが生まれてすぐに息を引き取っている。母の前に女の子が生まれ、すぐに死んだとき祖父は自分には子が授からないのだと号泣していたという。　そして母が生まれた、祖父は

苦しい顔で「どうせ、すぐ死ぬのだからあんたが名前を付けてくれ」と産婆さんに言ったという。そしてその子は短気でわがままな、天真爛漫であり悩まず、すべてに無頓着で自信過剰ないつも自分が正しいと信じる。恐るべき女へと育つていく。生命力そのものであった。　祖父は母が7のとき遍路の旅に四国へ

出かける。そして道後温泉で牛乳一口飲むと静かに息絶えた。享年60に届くかどうかであった。祖母と、母が迎えに着くと半眼だった目が閉じられたという。姿なく帰った祖父。後に伯父は「なぜ自分を連れて行かなかつた」と猛然と祖母

にくってかかった。

旅先から、母と年齢の離れた義姉に「みさえさんへ、とよのり、とあきこ、よろしくたのみます」と、嫁ぎ先に葉書が届いていた。戦災で焼けなかった、唯一の祖父の思い出の品になった。実家の仏壇にあった。今は確かめられないと言う。おばちゃんは捨てたりしないさ。

生前、祖父は「とよのり、は男、育て上げるのはお前では無理だ。丁稚奉公に出すか、軍隊にいれよ」と祖母に語ったという。自分の人生を振り返ってのことだろう。祖父の話はこれにて。

私の身内の叙述文は全て先祖供養の意味があるのです。報恩と感謝をこめて。

真由ちゃん、頑張つてね。沈黙の歌い手、多分彼女には、この本をつくるために天が係わらせてくれたのだろう。この本ができた時点で不思議とメール交換は無くなった。

私は真由子さんに求婚し振られた。今までの私の製本という労苦。水の泡にしたくない。あえて強調したい。彼女にとつてはアリを潰しただけだろう。私にとつてはスズメバチに刺されたようなもの。ああ恨み節。愛し合っていると思ったの

は彼女の優しさへの勘違い。その寛容。彼女は悪くない。ありがとう楽しかったです。あなたが甘んじていた私の希望の灯を、私は自ら、心の炎として消し止めます。お詫びしなくてはいただけませんね。「心で結ばれている」なんて、ごめんなさい。お騒がせして申し訳ありませんでした。彼女に不義はなく、本当に貞潔で清い人でした。

幸せは

逃げない

令和2年4月

義人

「工ホバの証人山口くんへ」

オリンピックは殺し合い、生存競争の勝利者になる為、年少より欲望と冷酷さを叩き込まれ、その頂点、一瞬の栄光を目的とする残酷な世界に身を投げる。負ければ、期待を裏切った、みじめな敗北者となる。白い目にさらされる。それは生死をゲーム化し遊興とするものだ、ある意味、戦争より悪質である。親戚に

長い寝たきりから死んだ人がいる。最期まで神仏にはすがらなかった。ある意味強い。だがその心が不幸を呼び寄せた原因である。救いの手を差し伸べた神仏は悲しんだだろう。ただ先に死んだ長子の成仏の為、手を合わせてほしかった。

ふと疑念が、またしても聖書に「自分は神か」と尋ねた。最早どうでもいいと言ふ。聖霊の宮まで達した私。結果、聖書は幸せだと断言した。死んだら全員、

阿弥陀に拾われて仏になる。現世利益から即身成仏を説く処。弥勒菩薩が仏になるまで娑婆には仏はいない。また仏が二人いてはおかしいと。なぜだ、何を根拠に、仏とは何が正しいのだ。皆、見方が実証的すぎる。凝り固まった数学的概念、理屈から抜けよ。南無妙法蓮華経。悟れば、皆、仏である。工ホバの証人の

会衆よ、君たちにとつて神はどんな出現の仕方が理想的だったろう。空から神々しく降りてくる。それはサタンだ。幾多の苦しみ、また絶望を経験し、大きな愛

を、小さな声で放つのが工ホバである。法華經に釈迦如来が過去世、教化した菩薩たちが地面の下から湧いてくる譬えがある。つまり辛い苦しい生活体験こそが聖者を生み出すのである。自然に記憶されるものもあれば、どれだけ努力しても覚えることのできないものもある。因縁である。不必要なものは記憶されない。暗記から私は解放された。残った記憶が大切である。あけましておめでとうございます。色々話したいことがあります。またお寄りください。インフル気を付けご自愛ください。私達の融和に向けて重要です。私は工ホバです。人格者とはただ清廉潔白の士ではなく、暖かさ、親近感がなければ価値はないと思います。ペテロに「魚より人間を捕らないか」。イエスはこんなに頭がやわらかかった。私が工ホバ。神を自称すればみんなが引く。サタンの策略。名乗ったからには仕方ない。正々堂々と。来る世、私は古典落語の噺家になりたい。そして皆の夢のすべてをかなえる。楽しい完全な世界。神、イエス、聖霊、分離説は、ビギナーにはわかりやすい。勧誘が目的ならば方便として認めるか。だがあまりに単純化されると思考の鈍化を招く。ケアが必要。ネットにコメントしなくなり、また近所中に冊子を配り広報したが、特別、善き出会いもなく、また悪漢に脅されることもない。不思議だが聖霊が自由平和を保護し守っている。聖書

が保証する。かつて私は自筆本で神は愛を強制する役目と書いた。しかし人の心を支配したいのではなく善に向けての真の協働者となりた。私は自由な奴隷かもしれない、つまり奉仕人か。「我が義人は、信仰に生きる。もし信仰を捨てるなら私の霊はこれを喜ばない。私たちは信仰を捨て滅びるものではなく信仰に立ち命を得るものである」聖句へブル。一人の青年として君の本音が聞きたい。理由は君達、会衆が他人行儀で本気で打ち解けていないような冷気を感じるからだ。私は会館に訪ねた際には、陽気にイエスのようにご婦人たちと歓談したい。12日、電撃訪問。信者を明るくしたい。孤独な世界は終わりを告げる。山口くん、愛する女子を幸せに。規律は来る世に入らない。私の目指す世界、愛による共同体が、全大陸島々に生まれ、オリンピックに代表される競い、争うという思想が消えさり、皆口々に愛を語りだす。それが俺の夢である。君たちが毎回行ってゐるシンポジウム、パリサイ人をつくるものかと。確かに一般の団体生活には規律、規則の順守が必要だ。だが聖霊の宮には必要ない。来る世への資格が確実に存在するからだ。山口、分かるだろう。規則をつくりその順法の度合いから人間性に優劣をつける。それよりイエスを信じ祈れば罪は消える。信仰がすべてだ。原罪を背負った、すべての人間たち。つまり大切なのは、イエス

以外の間人は皆、罪人、病人であり、それを自覚し、救う神の愛へ素直に感謝すること大事。パリサイ人（律法学者）ではだめ。君の仕事はきつくないです

か。帰り遅くならないかい。岡田君も疲れ気味だったな。沢村君はマイペース。清水さんにはかなり好印象を持っている。それって裏切られることが多いのだよな。体に気を付けて。

イエスは病人を癒すため、神のもとから来た。実は病人とは愛のない人である。イエスの愛が分からないもの、それが偽善者であり本当の病人なのだ。パリサイ派が代表である。心より規則を大事にする。内

村が言う。イエスの友は同様に、義に悩み愛に苦しむものだ。王国会館で皆を見た。君へのメールの影響か、いつになく皆に人間を感じた。それでいい。偽りの笑みはいらぬ。そして私の真実の教えにて神への懐疑よ、去れ。山口くん、いつ、どこにいても悪意は持つてはいけない。神を愛し、隣人を愛す。人は各々、

あてわりがあつて生きている。まずはすべてに感謝することから始まる。私

の本を読んでも心ざわつかず、悪心も持つていないということだね。ならば嬉しい。私は会館へと訪問し、君たちへの好感度が上がったのは確かだ。盗み殺し

合う世間、原罪を道徳、法律でカムフラージュ。反抗、盗んだバイクで自由になった気がした15歳。幼児、児童虐待、まさに悲劇中の悲劇だ。残酷なサタンが

心に大きく影響を及ぼしている。利潤の奪い合いに躍起になる大人達。服従を強いるパワハラ。誰も責められぬ世。悪魔の末期、高らかに哄笑が響き渡る、次第に心細い鳴き声へと。君たちは会の規則を遵守することを求められてきた。

でも主体性を忘れぬように。自由、愛、平和。常に義を率先し抱くこと。魂の改革は今、大切だ。我が本、読破ありがとう。君らに情けをかけた。聖書は言う、ドグマと規則を重んじるパリサイ人は、愛にて変身させなければ。私は是非々、会館にも懐柔の想いがある間、参上したい。タブレット端末を手に入れて、自筆本の広報をしたい。そこらへんに詳しい君、宅に訪問下さるときレクチャー願います。そして強くご自愛を祈っております。R会の教え、変わる事ができるのは自分だけ、「仏の関与を感じよ」。正解である。だが気付きを継続させるには仏陀の覚りを仏種に刻み込まなければいけない。南無妙法蓮華経。「自分は教祖である」。へんでないですか。誰が保証する。「私が神である」、名乗るのが不遜だと言う。保証するのは聖書と霊による自覚。こんな解りやすく正しいことはない。つまずいて、傷ついて、泣き叫んでも希望のにおいがする。孤独、悩みの中にある人々。優しさ、いたわりを信じた心。高らかに鐘をならす。それが神の姿。イエスは律法をより厳密化するために来た。つまり

誰も順法を誇れない。人々の癒しは信仰にしかない。それは神を愛し、隣人を愛すこと。暖かい、思いやりを持った人になろう。私は神として「エホバの証人」が一番樂園に近いとは思う。君の人間性から感じる。私は自己執着の強いものを切った。神の国には不向きだ。隣人への愛が不足している。明るく素直に温かく。それが一番。善きことを重ねれば善きことが生まれる。君たちの善良さを信じる。神の選民は愛にて保障される。悪魔の子は私に疑念を持つ因縁にある。「誰も君が神だとは信じないぞ」。聖書が言う。「困るのは私ではない」。「ならば行け」。明日会館に参上します。実は最初の日、挨拶に対し私が厳しく拒否した一人の娘、傷つけた気がして罪悪感に苛まれています。逢えればいいなあ。「困るのは私ではない」と少し冷たいニュアンスになったが、私を信じてほしいのだ。王国、樂園の主だと。君たちが本当に愛する人と永遠に生きる。信じる者は救われるのだ。今日は君に逢えなかったこと、清水さんから携帯番号教えてもらえなかったこと残念です。彼の自衛の姿勢には懸念があります。石井さんは相が良かったな。さすがリーダーだ。細かくチェックをすることが善きことかはわからないが、水を施せば花は咲く。人間性、各自ある。神からの関与に対しては自然に任せるのが一番だ。善き樹木の下に善き鳥は集まる。すべて天知る、

我知る。心配ない。悪意さえなければ天は善良さを認める。それは神を愛し、隣人を愛すことに尽きる。私が善き友人、兄弟になれることを祈っています。話しかける若い女性、突き倒すように、「俺は女とは話さない」きつと傷ついている。パリサイ人の罠、俺も陥っていた。一言でよい、謝りたい。逢いたいなあ。山口、4月、終末を迎え、楽園に心正しきものは入る。ひたすら待つていた君の実直な御父上を始め、私を侮辱しなかつた君も入る。老いた善人は若さへの福音を得、すべて楽園には入るべきものは入る。私はイエスと曰蓮が功德の塊と信じている。真宗門徒は親鸞の思想を信じる。理と情を説いても翻意は無理であろう。さて地獄はどちらの道か。現世利益を否定してはいけない。判るだろう真実が。南無妙法蓮華経、幸せは逃げないのである。 どうだい。私の会館訪問は不評をかっていないかい。また参上してもいいかな。皆、以前より人間らしく感じ嬉しかった。本当の修行はこれからだよ。 誤解を避ける為、聖書の神を工ホバと表示した方が良いかも。神という表現は日本で古今一般的に用いられている。概要は広範に及ぶ。人間の知覚が、久遠元初の温かい気をどう名付けたか、日本では神と呼んだのである。それが工ホバであり、闇から光へと人々を導く。山口、工ホバは名前ではないが、それより深い愛のプレゼンス（存在）を謳

っている。ある宗派の男が、神は日蓮を守る善神しかいないとも言っている。工ホバはある意味、ただ一般の神という表現は不適切だ。工ホバはプレゼンスに対しての愛の称号、特別だ。私が杉田氏に生前お聞きした、工ホバが七千、記された聖書の存在。その正当性。今、私も認めます。工ホバ、聖書の神いずれの表現が妥当であろうか。工ホバの称号は愛とイコールである。久遠元初の気、聖書の神と規定すれば、工ホバもその核は愛、了承しイエス、ヨシトは誕生した。とりあえず工ホバは聖書の神、それでいい。工ホバは称号である。貞操を守り清い

人格を得る。裏返せば婚前に処女を失うことの罪悪感。一般的な保守的男性が処女性を気に病むのは血統を正確に残したい本能からきている。少し意識しながらアガペーに向かいたい。女性の操を重んじる男性、ただ潔癖に沈まないで下さい。自由、博愛、平和の実現のため。寛容を身につけて下さい。一番良くないのは優しさの喪失だから。死があるから生が光る。これは否めない。死がない。「蜘蛛の糸」のお釈迦様のようにプラプラ漂うように生き続ける。まずはこれを肯定するものだけが楽園に入るのだ。煩惱の滅却した果ての世界があるからだ。激しき享楽、古代ローマ、不老不死を求めた始皇帝。私は贅沢に縁がなかったから享楽より禁欲を支持するのか。釈尊は王子に生まれ裕福だった。が禁欲的だ。

個人の志向だろう。私も「杜子春」が行き着いた、静かな正しき暮らしを望んでいる。八正道、釈尊の道を。四門出遊、釈尊は生老病死の現実を意識して出家した。死の闇を忘れる為の享樂はむなし。死後も永遠と饗宴を繰り返す。カン又映画祭で高評価を得た「アンダーグラウンド」。聖書には消化器官はなくなるとある。遊びにうつつ抜かした学生時代、饗宴、楽しかったのは否めない。奴隸。カースト制、優しき釈尊、その差別にさぞかし心痛めたらう。世界のありよう。自らの自由だけでなく利他の精神で、生きとし生けるものの救済を旨とした。野蛮な人間が享樂を求めれば非道な様相となる。つまり愛なき世界が生まれる。落ち着いた趣でしっかり前を見据える。清らかな世界を感じる。神の国である。内村、義のために戦い、愛のために苦しむのが友人だと。自己犠牲のにおいが濃い。時代に任せよ。自ら敵と抗わずとも神とサタンが働き天は裁く。神の子はただ愛し合うことだ。利他に生きる者が集まり、思いやりに満ちた時、神の国は現れ永遠の命を得、それらの人はもう死なない。人への愛の関与は自己犠牲ではない。そう思える人たちは、御使いたち、聖霊の宮へと、幸いは近い。私の自筆本がおかしい。聖句のナンバーがひたすら誤字になる。モグラたたきのように。いたずらである。ヨハネの黙示録の最後、文言を取り去ること

は命の木を都から取り去るようなもので罪になる。聖書は靈感だ。私の参謀で

あり保護者である。解釈は私の自証にある。しかし文言をごまかしたり、消したりは命の木を都から取り去ることになる。聖句の表示、絶対正確に。悪魔が付け込むからである。危ない、聖書は神の靈感である。文字の正確さより信仰の推奨である。悪魔の罠に落ちるところ。本意を取り去ってはいけないのだ。釈迦

は道端で糞を漏らし野垂れ死にした。イエスは磔にされ槍で両わき腹を貫かれた。彼ら、平和な死ではない。だがはつきりと愛をシンボライズさせる。生前、釈迦は「こだわるな」と法を説いた。それで死に方が自由溢れるものとなった。

イエスは義のため悪すなわち偽善者と闘った。それが十字架の死につながる。愛が象徴的で鮮明である。生きていくにはいついかなる時でも死んでい

いと思うこと。勇気が湧いてくるから。そんなめつたに死にはしないから。そして祈れば世界は愛で回る。失敗するのも当て生まれ全知全能になる。たと

えいかなる時も。「詭弁だ」と言うか。そうではなく最後に暖かさや優しさが残るかどうかが大事なのだ。それこそが聖霊の宮のわざである。4月、終末説。

現実か。私は確信持てない。本音だ。未曾有のことだ。すると聖書は終末を否定する。私が強い意志で期待を込め熱望するときのみ是と答える。果たして本当

に終末は善なのか。ヘルパーさんの顔色が変わった。俺の自分勝手か。たぶんこれが今までの神の先送りの経緯なのである。躊躇。だが重い。大量虐殺は。金に細かい奴とは付き合わない。経営者ならシビアなのは仕方ないかも。けど人生、幸福に生きていくのにはケチが一番のマイナス要因である。いつも「まだこんなに残っている」これが正解である。「神を敵に回さず」このフレーズが送信できません。隣人を愛し本日お寄りになることできませんか。急な要望は却下ですか。エホバは、ときにわがままです。それが神の義だからです。大きな意味合いがあります。連絡お待ち申し上げます。私怨を持つ経緯もない。君にも敵意はないと信じている。来る世の未来図お聞かせください。納得したいのだ。共通項と具体性を見出せたら本当に嬉しい。私と君たちに亀裂をもたらそうと画策しているのはサタンなのだぞ。まだ理解できぬか。俺に対する不敬を恐れるより親近感の醸成を優先せよ。私の問い掛けに普通に答えればいいのだ。寂しいがエホバの証人とは縁を切ることにした。神の義と愛に基づいて。善意と良心を大切に。ヨハネ、12章 42、43節 「指導者の中にもイエスを信じるものはたくさんいた。だがパリサイ人の追放が怖い。神より人の栄誉を愛したからです」。判るね。今エホバの証人は一番近くて、遠い。素朴な純粹さも消

え、ただのパリサイ人である。必然である。自由で笑顔の絶えない楽園で私は暮らしたい。聖書の示唆があり君たちを無下にできない。体制は変わる。優劣を問わず愛を抱いたものが必ず報われる。聖書はただ神（愛）を大切に、それだけを知らせよと。君が本当に良心を突き詰め、犠牲の意識から離れたとき、必然的にエホバからの徴があらわされる。聖霊が不老不死を伝える。時期はきた、真心で受ける大切だよ。ヨハネ12章42、43節 よく噛みしめて下さい。予定調和、神の子であれば神の誉を選択するはずです。エホバのご加護を、皆に福音を。アーメン。新約の神には殺生は似合わない。極悪な勢力は隔離されなければならぬ。独立し悪を発信する局は存在する。サタンである。ハルマゲドンが間近に迫っている。自分の世界に入っていなければ外部にかく乱されそうなる。静観する。愛がすべてである。月一くらいの接触はありでしたね。山口くん、口からはつきりと聞いたよ。恐れずぶつかってこい。待っているから。ヤツとの戦いを忘れるな。今月、会館に行ける予定は明日しかない。今日はやそでやっているって。意志が指示かわからないが元気でいてくれ。君がいなくて拍子抜けだ。会衆の行動から皆が私にそう好意的でないことが判明した。聖句は

成就された。4月終末説は今2月16日時点で、皆目見当がつかない。聖書の

語りである。人間義人には責任がない。もし外れた時、神から去る人には、果実はない。人は常に神と生きねばならぬからだ。天のお試しかもしれないな。俺

は来る世の細部、システムを知りたい。どう布施し合うか。皆に高次な社会主義の意識が必要だ。主な資産の共有、婚嫁家族関係の破棄。共同体建設等。もち

ろん、聖書に基づきすべては成り立つ。逃げずにセッションを。工ホバは偽善、卑怯を一番嫌う。君たちが真のクリスチャンなら何も恐れないはず。君たちは深く考察していかないのでは。来る世とは、うまい話だけでは説得力がないぞ。でも仕方ないか、未知は神の領域だからだ。不思議だ。次から次へと謎が解けて

いく。愛と義を信じてさえいれば段階に応じて明らかにされる。答えは神の意にわき起こる。叩けば時が来て門は開く。私に問うのだ。恐れず。そのときに私はすべての謎を解くだらう。工ホバの言霊をじかに承ける。それが工ホバの証人の唯一無二の名誉である。神は完全無比である。苦しみも肥やしに。完結へと。君は神の義を認識したのか。神の子になるのを選択したのだね。アイディンティティーを大事にして。君は優秀。来る世、王国建設に活躍する。神は志を捨てない人を愛す。金はいらぬみたいだ。大金はいらぬ。必要以外、欲望がない。

金を意識すると体に不具合が起こる。愛と相反するからだろう。銭ゲバ、一番醜い。布施という喜捨が愛に直結する。神の国は大部分の人は入れない確率が高い。理想郷であり選別がある。博愛を抱く人が入る。人は土くれに神が霊を吹き込んで生まれた。命を奪うことができるのは神だけである。人の欲（金銭欲、所有欲）から解放されると幸せを実感できる。所有権の放棄。神の査定に適ったもの皆、善良で無欲。来る世、新世界は成り立つのである。来る世、人々はすべからく善良、無欲である。渴愛からは必ず諍いが起こる。自由、平和に向け志を大切にし、アガペーを生み出し利他の精神で永遠の命を手にするのです。週明け、私の自筆本が富山大和（フエリオ）に並ぶと思う。興味がなくても購入されよ。まあそれも大事だが、また一度お顔を拝見したい。春の弥生は時間に余裕がありません。私は絶対心を捨てない。君達に、愛に対する優しさが浮かんだら、私は深い良心で一瞬に吟味する。現体制、パリサイ人の潔白は、幼子のような心、善意を傷つける。それは人の想いつまり人情の欠如からである。契約などのおシテム、組織人に多い。今回の「幸せは逃げない」この書き物が、皆さまのお目に読まるころ、4月終末説が嘘八百だったか本当だったかが判別されている。しかしどうあっても私の愛の炎は消えない。俺にもわからないが、何か俺を突き

動かす。金や時間、ロス、コストが意識されなくなつた時、眞の幸せを実感する。信仰に生きる。決して幸せは逃げない。あふれる歓びがある。来る世、存在する前提条件はすべて善良で善意に満ちており博愛の精神を強く抱いているかどうかにある。つまり聖霊の宮、神の御使いにふさわしいかである。そんな易しい条件ではなくもつと峻厳なものでないと理想郷建設は不可能ではないかと。心配ない。山口くんが選ばれているのだ。優しさと真面目それが一番、これで善いのだよ。パリサイ人からは愛は生まれぬ。「神の国」大部分が入れないと言つたが大勢の人に心を入れ替えて入つてほしい。期待、希望します。さんざん騒動の原因を作つたセックスは姿を消す。愛を忘れ肉体の享樂のみにつつを抜かし墮落したものは多い。そして純粹で無垢な人たち、「神の国」そこには愛を込めた抱擁がある、もたらされる快感は計り知れない。この世は続くべきなのか、神の苦惱も続く。新型コロナウィルス、私の4月終末説が俄然真実味を帯びてくる。聖書は大流行を予言している。サタンは天に裁かれます。私は大量虐殺、行使の苦しみから聖霊の力により免れます。来る世、愛に満ちた神の国へと、希望が誕生します。貞操を守る。恋愛から結婚に向かう道程にある。正解である。だが、一部の潔癖な人たちの条件ともいえる。そして因縁ふさわしき伴侶が待つ

ている。常に美しき心が大切である。根気よく艱難に負けず生きよ。　　なんで

利口な奴ほど薄情で、ある意味ドンな奴ほど情が深いのかな。これを強弱という形で分ければ、聖書の譬えがビビットにくる。それは結果的に神の晚餐に招かれたのは健常者という忙しい強者ではなく、道端に寝ころぶしかない、人の痛みを知る障害者たちだった。なぜなら彼らは生活より愛を重くするからである。組織に忠実なガバナンス重視の浅はかな蒙昧が各地に出没している。愛の伝播を阻害する。個人批判も利他の精神があれば正義になるのだ。人は愛で生きないと。

無駄死になのか。尾崎豊。この世は差別が当たり前。不完全な世界、不可能な「自由、平和、愛」の勝利を求めたから傷ついた。生存競争を倒すための争い。この矛盾を癒すのは、来る世を待ち、イエスを信仰するしかない。犠牲は善くないが、体制に歯向かう尾崎はあえて愛を知らしめ、最後まで抗い鮮烈に死に、力リスマとなった。彼はサタンの支配の中、自分のような人間は生きていけないと悟ったのだ。　　私は祈ることで私の道をひたすら歩く。聖書は私が臆病者ではないと示す。拝金主義などと空虚な夢想に走らず、愛という真実が絶対価値となる世が来るまで。私を信じ皆様、楽しみにお待ち下さい。　　厳然とある階級社

会。自由、愛のため抗う。だが勝利の意味などないのだ。すべては欲望に繋がる。

自由民主主義の下、格差社会が確実に忍び寄る。階級の構図はわかりにくく革命も標的を見出せない。そしてとりあえず皆、平和を求めている。でも本当に平和かい。君よ、縁を信じて。正義を求める同志はいる。独りではない。生老病

死がなくならない限り生存競争はなくならない。この体制は揺るがなかった。イ  
工入、尾崎、日蓮の様に一矢報いる。気概は大切だ。俺は聖霊に委ね、天の審理、  
裁きを支持し、永遠の命によって愛に包まれた神の国を現出させる。聖書の導き  
と南無妙法蓮華経によって。YouTubeで島津亜矢のフルコーラス道頓堀人情を  
視聴してください。そこにある深い意識、意味理解できたら君はまだまだ捨てた  
ものじゃない。判ったか、俺たちの道が。道頓堀人情、その深い意味、意識、  
サタンの価値観、過剰な物質至上主義。恋は成就されるわけではない。権力に負け  
ず、心、愛を温かく大事に。神の想いです。その時本当に愛する人は現れる。負  
けたらあかん、負けたらあかん。金や時間、コスト意識にとらわれている限り幸  
せにはなりません。なぜなら愛はその真逆にあるからです。山口くんなら解るは  
ずです。素直に幼き日の価値観を思い出してください。冬の日、お父さんと各家  
を訪問した時のことを。ソチは何を考えているだろう。意味のない名誉な

どではないだろう。ただ飼い主である私たちと平和に暮らせればそれでよいと思っているのでは。すべてにつけ殺し合う人間は醜いなあ。イエスはパリサイ人、つまり契約に代表される法律に縛られた組織人の偽善と冷たさを指摘し、糾弾した。私はそんな彼らを懐柔しようと思う。優しさと愛に満ちた者へと。どんなに無理があり困難だろうと。

終末は私の意思によって免れた。コロナウィルスは収束に向かうだろう。今年還暦を迎える。一年一年悔いを残さず大事に生きていく。今後もよろしく。地震、凄かったね。「終末の回避」は私の希望的観測だった。私がかねてから言っているように3月末から4月、終末は訪れる。最期の警告であり訓戒です。私につながる枝を絶たない。永遠の命が実らないから。聖書は信じよと語る。

山口くん、本当に来る世の様態、形態を導き出したい。君たちの見解にはいつも気付きをもらってきた。ご教授よろしくお願ひします。22日(日)いかがですか。君たちの工ホバを愛する気持ちに応えたい。悪意からの作為がなければ融和へと駒を進めたい。譲歩にも思えるが希望への促しです。永久の平和のために。悠長な時間は残されていません。でも私に焦りはありません。すべては予定調和。判るものは自覚する。律法より信仰、組織より人情。つまり愛が真実で

す。22 日あらかた終末への舞台は設定されています。聖霊は神である私を案じ天が裁く様相を見せます。来る世、君と共に幸福な日々を送れたら嬉しい。尊顔を拝したい。

紀伊国屋書店、棚を見てきました。私の書き物、透明の袋に包まれ宗教書の場所に鎮座されていました。郷土の括りでも陳列されており謝意をスタッフさんにお伝えしました。結局、現在、一冊も売れていません。誰かこの世、自然界の醜さを世に啓発することに協働してくれるものはいないものか。いつも宗教が必要で。俺は負けない。未熟な俺を導き奉行するのは聖霊である。私はただ神の道に行く。 神イエスにもわからないことがあるのだ。女心からくる恋の行方結末。悲恋か成就か、引け目を持たず誠心を尽くすしかない。美しい心に聖霊は可否を判断し微笑むのだ。 仏陀は妻子をも捨てた口のうまい乞食と非難する奴がいる。そして彼の言葉は人を救う。その智慧、慈悲は人々を聖霊の宮へと導き神の御使いとし永遠に神の国で生きる約束へと繋ぐのだ。

「貫井へ」

(日蓮正宗の三大秘宝に基づく南無妙法蓮華経のみが正義)。私を盛んに精神の破綻した分裂者だと罵る。私は「自らの正当性を打ち出すために人を差別し傷つ

けてもいいのか。君自身が生活に傷ついて心に余裕のない証拠だ。侮辱への反応はお互い様だ。私を怒りの念を持つ俗物へと貶めようとする。汚い手口は使うな。君の返信を見たが、キャパシティをはるかに超えた私の思索を精神の破綻としか捉えることができない。君の器の容量。そして野次のような愚かな差別的表現、最低だな。俺は誠意の塊。侮辱には普通に対応する、それだけ」。と答えた。

「貫井に送ったメールです」。

日蓮はかみでも、ほとけ、でもいいのだ。絶対愛、暖かい気が示現したもの。もつと自由な発想をせよ。信じた対象とは何なのか。貫井お前には隠せない寂しさが取り巻いている。奇行に走る前に素直になれ。温かさを出せ。理屈などいい。それが南無妙法蓮華経だ。幸せになれ。友に対し意味のない攻撃、中傷誹謗しかできない。落ち行く先は孤独しかない。仏とは何か、自問自答してみたまえ。俺という枝を切れば実はならないぞ。目指す姿つまり「覚り」を発見できないぞ。大腸がんは心配するな。必ず治る。(治らなくてもいい。求めているのは不動心、平常心)。まるで禅の世界だな。冷淡でつまらん。無感動、無感覚。慈悲心からは遠く離れる。捨て猫一匹飼う。その愛。禅は人としての思いやりをなくすおそ

れ大である。でも君にも一理ある。自分に厳しく、他人に優しく。だが人の想いが解らないと支持は得られないぞ。貫井、結局自分だけのことか。禅天魔と日蓮は言う。「析伏」という菩薩行をするなら親からもらった大事な体、粗末にする感覚は善くない。感謝を持って、南無妙法蓮華経これしかない。確かに病に向かう姿勢としては立派だ。だがそれで幸せか。病魔に負けぬ心構えとしては、たいしたものだ。だが南無妙法蓮華経は立派な人になる為にあるのではない。大乘仏教、皆で幸せになろうというものだ。当然、現世利益もある。即身成仏。病魔退散、私は祈ります。もとは念仏の恐ろしさを、勉強する暇もない庶民に知らせ、現世利益を含めて正義を覚らしめるために南無妙法蓮華経はあつた。誰でもできる安樂行、大音声。日蓮は蒙古に対し戦地に向かう信徒を前に、己の無力さを悲嘆しはらはら涙を落とした。まさに日本の眼目である。情け知らずに人は寄らない。般若という智慧も情けに光る。あえて言うが貫井、お前は未熟だ。もつと人の想い、誠を知るべきだ。一人の女性に入れあげて追ってみよ。何かが見えるから。南無妙法蓮華経。判ったかそうか。ありがとう。ありがとう。一度、俺の家、仏壇参つてくれないか。君は本住坊より清廉だ。お布施ははずむ。我が家の本尊には力がある。大腸がんは良くなる。冗談めいてはダメか。頭、固

すぎだ。ふざけたようだが君の読経は素晴らしいということだ。信念を持つ奴  
が集まれば見解が違えば必ず争いになる。貫井、目に見えない愛の摂理の存在を  
知ろう。私は偽善者には厳格だ。智慧、慈悲、情け、想い大切。町の電気屋

さん、自動車屋さんなど個人事業主の話聞いてくれ。彼らの頭の回転の速さ、  
外交力、社交性、行動力。そしてすべての生業はそこに健全性を認めるから営め  
るのだ。宗教やっているから偉い。それは違う。安楽になる為、世間の価値観  
から逃げるのが宗教の本道だ。君の信仰はただ自分の浮揚の為にある。大乘仏教  
は皆で暖かな成仏へ向かうものだ。君はいつも君の容量でしか思索できない。  
心を更地にして人の言うことを真剣に聞けということだ。（君は自身をだまし  
ている）と。そつくりそのまま返す。貫井、俺みたいに愛を正直に訴えてみる。  
まあすべては諸法無我。周りをよく見る。自分という存在が見えてくるだろう。  
生活から離れた浮世離れ、君は出家ではないぞ。世間との葛藤は見えるが、なぜ  
そう特別に一目置かれたい。「自分だけ」つまり自己中心はどこに行こうと評価  
されないぞ。自分だけのナルシズムは周囲には関係がないからだ。そして利他  
の精神で慈悲が人様に対し必要になる。菩薩行、日蓮は愛。それが真実だ、南無  
妙法蓮華経である。自己鍛錬、修行が必要だと言う。現実逃避せず、少し街を闊

歩せよ。なにか見えるから、愛かもしれないな。南無妙法蓮華經。それだけだ。仏法を固定したものにしてはいけない。柔らかく愛をもって教えは説かれる。機根に対し方便がある。君はすべからく対決的で、修羅道を行くのだな。私には君の言っていることはドグマとしか捉えられない。日蓮正宗の教義についてなら本住坊と話したらどうだ。本住坊は君の師匠筋で宗門の仲間、俺よりうまく力になれると思うが。理由がないならただ中傷誹謗する不愉快なものは送らないでくれ。顕正会の雄さんだったら話が合うかもしれないなあ。偏執的な思考回路がそっくりだ。南無妙法蓮華經。宮沢賢治のように周りが見えなくなつて自己犠牲に突き進んでいく。かつて馬鹿をやってしまった俺。仏をめざしたつもりがそれは自己満足の域を出ず、縁覚にもなれない、周りを悲しませる愚行でしかなかったのだ。皆で成仏。犠牲はいらない。それが大乘、南無妙法蓮華經である。明るく素直に温かく。貫井寒くなつたな。元気が、富山大和（フエリオ）に私の自筆の本が並ぶ。厚い文庫本で。君に送るには料金がかりそうだ。まあいいけど。また連絡をくれ。体、大事に。南無妙法蓮華經。仕事はしているのか。俺はこれが仕事だ。商品だが贈呈するよ。20日にできてくる。さてこれから俺はどう暴れる。弱気になるなと聖霊が叱咤する。俺の最終目的は愛に

よる世界征服だ。これからの方法論、戦略を考える。まあ楽天主義に生きる。悪くても死なず、と聖霊が関与する。南無妙法蓮華経 南無妙法蓮華経 南無妙法蓮華経 南無妙法蓮華経 功徳の山 ありがとう。南無妙法蓮華経は大宇宙に広がり満ちている。遍満している法であり、イエスの言うアガペーである。この慈愛こそ古今東西融合の思想、真の義につながる。神である私が説く。煩惱とは違う、夢に向かい、明るく素直に温かく歩もう。最近たどり着いた。一般の人間たちは自分の良心に正直になれず愛という信仰が優先されるべきところなのに、そこから外れて富と名誉、善と悪、心の中、堂々巡りを繰り返すのである。欲が絡むからである。俺は布施を促すため戦略を立て世間に向かう。

（欲望とは自利、エゴにつながる）。（想いとは利他、アガペーへと向かう）。精神科閉鎖病棟で地べたにはいつくばり生きぬくという経験をした。私はそのことを本当、感謝している。劣悪な環境においても自分のベクトルを信じ、絶望はしなかった。今、自分に恐怖、緊張をもたらすものとは因縁がない。聖書のお達しで本の価格を1500円にします。本当に解る人を買ってほしい。俗的に言う商品に重みが出る価格。真実、ほしい人は値段が関係ないそうだ。実は刊行で一番悩んだのが価格だった。「安いと人は買うぞ」。今も頭の片隅にくすぶ

っている。迷いはサタンの仕業。本当にほしい人なら只であげてもいい。いずれにせよ、ふるいにかける必要があるみたいだ。興味深いと思った人なら。お前は（そんな人はいない）と、失礼だな。一人ぐらいいるさ。また君とは違う常識人がいる。（救われるのは唯一、三大秘宝の南無妙法蓮華経しかない）か、窮したからそこに逃げるのだな。いつものパターンだ。君は、日蓮を悪しく、敬っている。そこがいまひとつ信頼できぬところだ。それだけ君は応用が利かず、底が浅いということだ。世間に対してもたらずものは私とは雲泥の差がある。どうだ、詩的アンソロジーだろ。君には解らん。 （日蓮の法門は浅きようだけれど、はなはだ深し）俺は日蓮だぞ、知らぬわけがなからう。ごめん、今、女医さんのこと考えていた。「私は貫井のドグマはいつものこと、平行線になるので話を変えたかった」。もう退きごろだってね。客商売、亭主と病院経営で結託していたのではないかと、彼女に対し懷疑まで引き起こす始末。汚い話だな。話を元に戻す。本をプレゼントする約束だ。反古にはしない。友情は育たなかったと思いたくない。脈絡から言って君は本が提供されないと誤解し私を侮辱しに来ている構図だ。それを踏まえての話。今の段階での、私の本の否定的価値づけは悪質だ。痴話は笑い話にされる覚悟。侮辱の理由は何だ。嫉妬、妬みか。一読もせず否定す

る。私の語気が荒くなるのもわかるだろう。喧嘩を売っているのか。三文学生の駄弁じゃないぞ。理屈を考えよ。俺は無礼な偽善者が理不尽を引き起こすのが許せない。聖書は押すが、今の時点で、自筆本、自信満々の面持ちにはなりえず、高圧的自己中心な君とは違い、謙遜が先に来る。手塚治虫氏さえ世間の評価に悩んだ。ある意味、謙虚だ。友なら、私の強気、安心につながる順化を期待したかった。俺はあえて独善的といっている。だからこそ自らの言動を聖書で検証する。疑念、懐疑、そして人は真実の信仰に至る。妄信は戒めよ。良心と主体的な感覚を大事に。人の優位に立とうとするな。今日は少し絡んできたな。ことをなすとき司馬遼太郎は記憶力と根気が人間には大切と言っている。だが愛の世界征服は自然と安楽で成功する。そして君は真理をめざすとき、かなり作法、自己中心的だぞ。そうか出版、応援してくれるか。ありがとう。少し自信喪失気味だった。侮辱には反応する。神だからな。イエスは寛容で怒らなかつた。しかし偽善者は徹底してつるし上げた。現実、出版物の業界は厳しい。縁があれば、我が書き物も生き残っていく。自然淘汰。まあサタンとの格闘だ。君は信心が強いと言われたいか。貫井どうやら俺は死なないみたいだ。携帯、俺が死ぬというフレーズを送信しない。勇気がわく。不老不死は現出する。俺が君を

値踏みしているのを知っておけ。君は馬鹿にされても何にも感じないと云う。だがあえてなぜ人を傷つけるのか。君が生活の中で傷ついている証拠だ。受ける俺は裏切りかと、失望がくる。素直に温かく、神の隣人獲得の為、そこに日蓮の正意はある。君は慈悲心のない男だな。人は相手にしないぞ。俺はもう少しルンペンだ。所詮君は自身に固執している。利他に徹するとき真理が見えるだろう。南無妙法蓮華経。素直に利他の救いが自らの救いになると思えるのが南無妙法蓮華経である。病棟にいるのか、主体性をなくし利己的な野心で仏法と称したものを振り回す。日蓮は悲しむぞ。君の寂しさを思っていた。立派だと褒められるより、一緒にいて感じが好い。それが真の南無妙法蓮華経の信者だ。君は君の南無妙法蓮華経を見続けるしかない。俺も俺の南無妙法蓮華経を行く。効果は俺の方が上みたいだ。説得力が違う。なぜか、それは君が君自身の南無妙法蓮華経を、何度も云うが主体的に把握していないからだ。自らのおかしな不動心という冷酷さを得るために、奉安堂の大本尊だけが真実と、南無妙法蓮華経の意味を矮小化したからだ。南無妙法蓮華経、ただ本質、利他の精神が大事。菩薩行、そのとき覚りは開ける。本尊はすべての大本、すなわち真如にある。わしつまり絶対者日蓮が決めたのだ。わしの言う南無妙法蓮華経は各位の宿業の方向性だ。

君の歩まねばならぬ人生の道にある。ガンバレ。君は既成概念に凝り固まつている。南無妙法蓮華経は愛である。南無妙法蓮華経で南無妙法蓮華経だ。全宇宙に遍満し各位の心にも広がり幸せをもたらす。(戒壇の本尊を、ただ拝むだけ)と申すか、偶像崇拜。頭、固すぎで単純だ。主体性の放棄、ドグマに縛られカルトにはまるわけだ。しっかりしろ。人生から逃げるな。ま、そう腹を立てず、縁を大事に。仏教の基本に帰る。また見えてくるものがある。われらが知り合えたのも、釈尊、日蓮という仏様のおかげだ。ありがたい。君の返信を検証してみたが、君のキャパをはるかに超えた私の思索を、精神の破綻と差別的用語で侮辱した。最低だな。俺は誠意の塊、侮辱には普通に反応する。(三大秘宝と南無妙法蓮華経が唯一無二)。そのことの為には人を差別し傷つけていいのか。それが法華経信徒か。実は君が人生に傷ついている証拠だ。人を思いやる余裕がない。侮辱に対しての反応はお互い様。わざと傷つけ寛容性の値踏みをする、汚い手口は金輪際使うな。神を試すことは誰であっても許されない。貫井、俺は君と交流を持ちたくない。聖書が救済をほめかすが、神を敵にしないで友として敬意を抱くことが君にできるか。如何なる時も言つて善いことと悪いことがある。君という人間の本质にかかわる。君はただ人に偉いと言われただけの俗物

である。如何なる時も無神経に差別、偏見で人を傷つけてはいけけないのだ。私には怒りも恨みもない。ただ事実を認識し、何処に悪が所在するか、君に承知してほしいのだ。意図的ならかなり悪質である。戒壇の本尊より自分の心を見つめよ。かつての友として最後の忠告である。南無妙法蓮華経が泣いておる。

「公務員の友人」

人の心を察し配慮する。責任もついでくる。来る道、大変だったろう。仕事が楽しいか。調整力を見せつけられるか。でも本当のお前はどこにいる。そのまま死にゆく覚悟か。俺にコンタクトをとることが重大な瑕疵につながるのか。お前は公人か。推量しても想像する君の見は保身からは外れない。変わらぬ友と信じたい。素直な気持ちだ。俺は君と違い自由だ。不快なメールは切り捨てるのか。俺は羨望からではなくその薄情さに憤りを覚えてる。確かに俺は暇つぶしに送っている。お前は不愉快か。俺との友情、君にとつての悪に蓋をして当たり前顔で世間を渡ってほしくない。来る世、自身を捨ててこそ立つ瀬もある。付き合う人間も査定に含まれるのか。君の回心はまだまだ先だな。そして俺からの逆化が君を成長させた。送り風より向かい風だ。君は人格円満、温厚、配慮、調整力、確実性で評価を得たのだらう。後は自然体でいることだな。「いつでも

辞めてやる」。腹に思うこと。覚悟がないから酸いも辛いも知った桜木町の場末のスナック、年寄ママに笑われる。なぜ侮辱に怒らない。俺の持論は愛に対しての責任はあるが、組織に対しての責任感は無くていいということだ。自分らしく生きるには邪魔なだけだ。実は責任感と声を大きく発する人ほど、陰で談合するなど、不正に走り責任とは逆な生き方をするのだよ。俺の最終目的は、愛による世界征服だ。これからの方法論を考える。暴力はふさわしくない。当たり前だ。まあ楽天的に生きる。ネットの中、火が付けば早いぞ。IRについての新しい法律。君たちは公正さと透明性を求められているのだね。またいつか意思の疎通ができ打ち解けられる日が来るのを待ちます。変わり変わらぬ友として。ご自愛ください。新型コロナウイルスに、気をつけるよ。市からのお達しを待っていては後手になるぞ。上は責任をお前にかぶせ、トカゲの尻尾きりをするだろう。お前のことだ、抜かりはないだろうけど。オリンピックが中止になれば安倍政権の責任と、鈴木総務は言う。私の予言通りである。地獄、餓鬼、畜生、修羅。まだ解らないか。価値観替えるよ。神からのメッセージだ。君はパリサイ人だ。

「貫井からのメールも紹介しておこう。○の中で現在から私の見解を述べる」。布施をして功德があるのは法華經の行者に対してだけだ。各願寺はそのうち破折に行こうと思っっている。大日如来は架空の仏で、釈尊の「大日經」に登場する。だから架空の仏を本尊にして釈尊を蔑ろにする真言宗は間違った宗教なのだ。（釈尊の大日經。大乘經典である大日經を単に否定すれば法華經も否と言われる。大日如来を密教は架空の報身とは違い、一閻浮提にある法身だと言っている。布施は己の所有欲、金錢欲から離れるところに功德がある）

日蓮宗は日蓮正宗の最大の敵だ。全く持って非なるものだ。大聖人様の仏法を受け継いだのは日興上人ただ一人。その血脈を受け継いで今は、第68世日如上人のときである。信じているのは日蓮大聖人様ただ一人だ。それ以外はまさに邪師でしかない。キリストも、自分自身さえも。

（自分の意思をなくしドグマに依存する。釈尊の一番危惧されたことだ、主体性はいかなる時も失ってはいけない。マインドコントロールとしか思えない。君は正しいと思ひ込みたいのだ。かなり盲目的で浮世離れしている。ある程度冷静に俗的になるとき自分を取り戻すかもしれないな、人間らしく）

参考に行っておくが釈尊は日蓮大聖人の南無妙法蓮華經で仏にしていた

だいたのだ。つまり仏の種を植え付けられたのだ。そして菩薩の行を収め、長い時間を得て仏にさせていたのだ。つまり釈尊の師匠は日蓮大聖人なのだ。（教本通り、日蓮がびつくりするかも。過去に提婆達多が釈尊の師であったことが法華經にある。だが釈尊を蔑ろにし、鬼の首を捕ったような物言いは善くない）

自分を信ずる、自分の足で立つ、何ものにも依存しないというけれども、見方を変えれば自分に頼っている自分に依存していることと捉えることもできるが、違うかな。（かなりの詭弁だが、私が言うのは自らを信ずるとは外部からの関与があっても善への方向性を見失わないということだ。君は依存が善くないと認めるのだな。そして君は日蓮の下種を信じるという自分自身に依存している）なるほどそれも一理ある「涅槃經」に己を師とせざれとある。つまり釈尊の教えに従いなさいということだ。（君の崇拜する、日蓮大聖人様はどこへ行つた。俺は釈尊の教えを十分、領解している。君には根本仏教、仏陀の智慧と慈悲を理解しようとする意思がない。勿論、末法ではすべて南無妙法蓮華經に意義があるが）

もういいわ。真言宗の寺なら本尊は大日如来のはず。阿弥陀如来ではない。

真言の曼陀羅の中に西方浄土の阿弥陀はいないはず。阿弥陀如来は釈尊の「観無量寿經」に出てくる架空仏。「大日經」の大日如来とは全くつながりはない。

(すべては大乗經典であつて釈尊の肉声からのものではないという事実。しかし仏陀の教えは歴史の中、底流して大きく花開いたとも。阿弥陀は無量仏として真言の金剛界曼荼羅の中に5仏としてあるのは事実である。君はときたま迂闊を犯す。論破が析伏にあるなら、かなり有効から離れるぞ)

まあいずれにせよ、そんなものはでたらめの宗教だ。唾棄すべきものだ。

(真理を求める姿勢がない。自分さえよければいいのである)

大聖人様の仏法を実践すれば何が正義か、何が邪なのかおのずと判ってくるのだ。(すべて因縁の世界にあるのだが、これは完全に洗脳だ)

工木バ殴り込みもいいが、それならそれに見合つた報酬が欲しいの。それをかなえて下さるのがご本尊様だ。ただの殴り込みなら馬鹿を見る。違うかい。

(自筆本を投函しその後の雰囲気を感じたかった。日蓮とイエスの一致、意識をうながしたい)

要するに君の自筆本がどう評価してもらえるかに重心が置かれているのだね。そんなことに工木バなど利用しなさんな。もっと鑑識眼のある人を選ぶべきじ

やないの。成道の道はひとつの法則に限られている。あつちを向いたやつも、こつちを向いたやつも同じように行動してもらわなければならない。それと人間の個性は別の問題だ。もしや君は食るときお尻から入れないだろうな。

（俺が食つて君が糞をするのか。アガペーという方向性さえ誤らなければ人はそれぞれ個性を活かし自由なのだ。訪問は彼らの人間性の確認のためだ）

どうやら君の工ホバに対する対処の仕方と僕の対処の仕方が食い違つていようだ。あくまで大聖人の析伏精神に則つた方法において行動すべきだ。よく考えてみてくれ日興上人は、遊びや雑談を惜しんで広宣流布に励みなさいと言つている。これだけは何を差し置いても急がねばならない。僕が言つているのは、心構えのことさ。だからいざ実践となれば、それこそ相手の機根を見て対応させてもらつている。（すべて自分自身、自主的に愛を保つことが、やがて神の

意志と一体になる聖霊の宮へと繋がる。勿論、心構えも持つことが大事。ただ余裕をなくし、きゆうきゆうするなと私は言つている。常樂我浄だ）

おいおい自分自身云々が引つかかる。これが一番厄介なものなのだ。涅槃經に曰く「自分の師とはなつても、自分を師としてはいけない」とある。世の中の不幸は、自分自身の考えで行動する人間がいるからなんだ。（不完全な人間を取

り上げるな。私は聖霊の宮だ。私の主体的な行動は天の意志からきている。私は神である。同様の思考回路を持つものは成仏する。そして何度も言うが、考えではなく善に向けての愛の主体的方向性だ。それこそ自分の師になるということだ。自律と甘えか、大事なことももしれんな

つまり「我」に囚われちゃいかんということさ。それを踏まえての主体性なら問題は無いのだ。むしろ大いに結構なこととほとんどん伸ばしていいと思う。(さつきから俺は「我ではなく行動指針、方向性である」。そう言っている)

法華経だけは釈尊の真実の教えなのだ。少しも方便性を帯びていない。まあ要するに君は誰も指図されなくてわがまま勝手に生きたいのだろう。違うかい。

(法華経には方便の大切さが示されている。法華七喻。誰もが何処かのものに指図を受け結果的に自分の意に添わぬ悪に走らされる。これはいけない)

析伏は脅迫めいたものでも恫喝めいたものでもない。われわれのすむ末法では、もう相手の、間違った意見など、わかったように頷くなんてことは出来ないのだ。謗法者には全力で立ち向かわねばならない。君も析伏をやったらいい。不可思議な出来事を経験するから。(君にとって俺と遭ったことが一番の不可思議だろう)

君の文章は難解だ。僕は文系の人間でないからもう少しかみ砕いて説明してくれると嬉しい。実は自分は大腸がんで一月ほど入院していた。手術をしてちょうど一月になる。今は抗がん剤を服用している。君だけには知らせておこうと思つた。

（俺を神と信じろ。病は治る）

気持ちとはともありがたい。感謝する。だが、俺は日蓮正宗信者だ。人が人を信ずることは尊いことだ。この世で一番美しいことだ。僕になくて君にあるもの、それは人間に対する温かい眼差しだ。一生涯それを持ち続けてくれ。

（分かり合えた、いい奴は皆先に逝くんだよ。さみしくて仕方ない）

昔も今もいい奴は早死にだよ。南無妙法蓮華経こそ、今世、人界の思い出だよ。君には少しだけジェラシーを感じる。本音だよ。だが君の精神は少し病んでいゝる。だから君の著作は一般社会には受け入れられない。南無妙法蓮華経によつて矯正していくなら精神は正常化して著作物は受け入れられるだろう。ただし三大秘宝の南無妙法蓮華経だが。質問の当体とはイコールという意味だ。

（当時、日蓮の立正安国論は世間に受け入れられベストセラーになったかい。現代は短絡的に貧病争に効果がありそうなものが人目を引くのだよ）

その著作物を早く僕宛に送つてくれないか。一応知っておく必要があるから。楽

しみにしているから。口を酸っぱくして言っておくがいわゆる「神」は存在しないのだ。仏教でいうところの神とは、法華經の行者を守護する諸天善神を言う。

（私の言うのは聖書の神、エホバ、なんでもいいのだ、久遠元初の暖かい気である。つまりイエス、日蓮である。神という言葉にこだわってはいけない。また釈尊成道においての梵天勸請の譬えもあり、法華經の世界には神々が勇躍している）

君の頭脳の回路は破綻している。南無さん。何度も言うよ、君の頭脳は確かに破綻している。（暴言に対し彼の冷静な自省を促す為「南無妙法蓮華經」と送った）

やっと落ち着いたね。その感覚を忘れないで。病気が治る。治らないはどうでもいいのだ。何ものにも動じない境涯を己の心に築くことを目標としている。今、析伏に回っている。詳しいことは後から話す。己ときたら禅宗と決めつけるのは早計だ。何ものにも動じないということは、言い換えれば煩惱に振り回されないということ、そしてそれを般若、解脱、法身という功德に替えていけるということだ。君も三大秘宝の南無妙法蓮華經をやってみればわかってくるのだが。自分で言うのもなんだけど、この宗教は誤解されやすい性質があるんだ。だからこそ

はつきり言いきらなければいけないのだよ。

(まさにドグマ、独善的教理である。反省どころか一層強調的になる。人間的感覚が欠落している。カルトへの依存の認識すらない)

だから君の頭は破綻しているというのだ。こんなことを言ってくるようじゃ仏教の何たるかを全く理解していない証拠だ。日蓮正宗信者は、「三大秘宝」の南無妙法蓮華経しか拝まない。以上だ。宗教だけでなく、一般に何かを信じているか、強い意志を持っている人は絶対譲れない部分がある。そこら辺を理解してないと強烈なしっぺ返しを食らうことになる。だから逆に言うなら、付き合いやすい人間は何の信念も持たない薄っぺらな人生を歩んでいるだけなのだよ。

(妄信は善くない、君がそれを信念と呼べるほどに深く広く他の思想を考察し学修したとは思えない。互いに独善的とかたづけるだけでいいか。私は神の国、永遠の命という功德を提示している。資格を得た者たちの境涯だけが仏への正当となる。君の偶像崇拜は所詮独りよがりな自己満足である。多分君は不動心、何ものにも囚われない「覚り」と言うだろう。今、幸せかい、仏とは人としての温かさを失ったとき意味はなくなり、かえって仇となる。思いやりは消すな)

まあ、僕の目から見れば君は君自身をだましてその日その日を生きている。そ

の偽りの日々を何とか見ないよう見ないよう自分自身で編み出した理屈でそれを正当化している。昔は、愛という言葉は違った意味でつかわれていた。つまり、言い換えれば、慈悲とでもいおうか。君のその大好きな愛は、大聖人様は一幅の曼陀羅として御凶顕あそばされたのだ。しかして、愛はそのまま大聖人様なのだよ。私は日々、少しでもそこから愛を求めているのだ。どうも君のメールを見てみると、文章に一貫性がない。色々な考えや思想を一幅に書こうとするから話にまとまりがなくなるのだろう。だから一つの断片を理路整然と文法に気を付けて説き聞かせるようにしないと相手に通じなくなってしまう。いわゆる精神分裂病の患者のような作文のようになっていく。この病に罹患していると容易に判断されそう。手前味噌ではないが私の文章は、読みやすくわかりやすいでしょう。これは一番手短な愛ではないでしょうか。判りにくく、読みづらい文章には愛はそこから感じませんよね。どうも君の考えていることが分からない。つまり文章が支離滅裂なのだ。君の思っている半分も伝わらない。「君の考えていることの半分も伝わらない」とは一応は伝わっているのではないか。先に私は彼のリテラシー「読解力」の弱さを自覚したので「メールは、字数制限があり、思いを詰め込もうとするので少し難解になる」。彼の低姿勢に反発はやめ、

遠慮がちに、また理解するだけの基礎的な領分の発達を期待し、あえて協調した経緯があった。するとドグマ（独善的教理）をぶつけるしかできない彼は、私の及び腰とみて、そこに付け込み差別的表現で私を容赦せずつらつらと侮辱するに至った。彼は私のサイトの文献には目も通さず、ただ意味もなく敵対的に侮蔑してくるのである。私に怒りはない。攻撃的で対決的な彼に、天はすでに罰を与えていた。疾病はどうなるだろう。言葉の一貫性という点ではイエスも釈尊も文字は残さず自由自在な対機説法であった）

なんでそんな話になるのだ。君は何を考えているのかサツパリわからない。

（自分勝手な不愉快なものは送ってほしくない、自分を騙しているのは貴様だ）何を言うか、不愉快なメールをもらっているのはこの俺だ、この馬鹿者が。

（喧嘩を作為的に売ってきている。まともなものが友人に送るものではない）

何を言ってもわからない者にはいろいろな角度から迫る必要があるのだ。どうやら君は人に馬鹿にされていることに敏感に察知する傾向がある。これは自分に自信が持てないことの表れなのだ。僕は人から馬鹿にされてもどうってことではないよ。自分に自信があるからさ。なぜって。すべては大聖人様が守ってくたさるからさ。この世の不幸は、邪義、邪宗の害毒が原因です。君の思想や考えも

邪義の範疇に入るわけです。つまり、日蓮大聖人の仏法に沿った生き方をしない人間の意見などいくら僕が聞かされようと何とも思わないし、この人かわいそうと思うぐらいが落ちなんですよ。残念だが、僕もルンペン生活している。慈悲心は析伏しているときに僕の命から湧現してくる。これは大聖人様の命なんだ。（独りよがりな、一つ覚えのドグマを振り回し続け、散々人を侮辱した挙句、現代の宮沢賢治とでも言いたいのか、つまらぬ争議だ。卓上にあげたのは貫井である）

君の南無妙法蓮華経はニセモノだ。日蓮正宗の「三大秘宝」である南無妙法蓮華経だけが本物だ。まだ君は本尊に迷っているのか。空中に向かって南無妙法蓮華経と唱えても無駄だ。必ず対象物が必要だ。それはなにかというと、日蓮正宗富士大石寺にある戒壇の大御本尊だ。よく肝に銘じること。もう、これ以上君という謗法者の与太話を聞かされてもこっちは何の得にもならない。よってこれからは用事だけをメールしてもらいたい。（最後は自ら蜘蛛の糸を絶つたみたいだ、エゴに固まれば人の話に耳も傾けない。私の言葉を信じれば救われると叫びたい。「信仰があれば私に倣い聖霊の宮となり後、来る世で神の御使いとなれる」と愛を向けるだけだ。意義、理由もなく凝り固まったドグマをもとに、ただ

論争を有利にするため善意の人を攻撃、侮辱する。貫井は悪だ。「析伏」、機根に對してと言うがいつも安全圏から柔和なものへ作為的に洗脳を仕掛ける貫井、素直に相手を尊重する人の気持ち判れよ、それが思いやりだから。大乘の精神だよ。そして人を大切にすることこそ人に認めてもらえるのだ。寛容の精神欠如だ。悪態の垂れ流し、己の爽快、ストレス解消の為、君の「析伏」は子供が火花をドキドキしながらあげているのと同様だ、俺は神通川で大きく打ち上げる」

「貫井へ」

お前のメールある意味、俺を侮辱した点で興味深い。仮名でそのまま公開したよ。人目にさらさないのはもつたない気がした。そして本の贈呈、祝い金一万円包んで、俺の家まで来い。メールの開示は俺の方の弁舌だけでは君に對して不公平だと思ったからだ。俺と君が一致するのは南無妙法蓮華經の唱題だけだ。生まれ育ちが人格を形成する。侮辱は許されない、虐待の行使へと繋がってゆく。相手にしない手もあったが、本尊觀の違いを明確にさせておきたかった。私は関与されても君の影響は受けない。大人なら当然、大勢だ。私はあえて君と付き合い対応、反応した。善意から私にきつい言葉を吐いたつもりでもそれは嫌われるだけで自己犠牲にもならない。そんな生き方ならもうやめた方が良い。まあ君の

人生だけだ。「聖書に導かれて南無妙法蓮華經」自信は揺るがない。君はまず自分だけの成仏を宗門から訴える。私は万民の即身成仏の爲の安樂行、南無妙法蓮華經を广泛宣传する。妄信につける薬はない。そこを否定されれば君の存在自体の否定につながっていくのだらう。頑なな君の成仏は機が熟していかない。真理を求める姿勢を保ち法から外れてはいけない。法華經如来壽量品第十六。良

医である父は正気をなくした子に対し、姿を隠す。後「父、死す」の一報を知らせる。困った子は父の処方した薬を飲む。そして病は癒える。父はまた子たちの前に姿を現す。法華經に方便品。仏性、開示悟入の教えがまさに説かれようとするとき「俺は覺つている」と席を立った驕慢な比丘たちがいた。舍利弗に釈迦如来は「また機会が来る」と。それが涅槃經へと繋がって行く。機根と時宜がうまくマッチしないと思想は伝わらない。ただ言えるのは君が僕に攻撃し吐いた暴言、雑言、それは君に跳ね返り、その自分勝手さも因果応報としてその身に至る、ということだ。そしていつも和を保とうとしない君の作為は見苦しい。好き勝手にわがままに生きたいのは君だらう。「析伏する」と息巻いているが人に脅しをかけるだけで何の成果も上がらない。それだけの徳が君にはないからだ。人を君の独善に巻き込もうとするな。私は私の良心と自覺により人を傷つけず教えを

説くつもりだ。何度も言うが機根が育っていないければ、暴言は相手に対して不安を植え付けるか、恨みを買うだけのものではないからだ。垂れ流すように私の寛容に付け込み、許されざる侮辱、中傷、誹謗を加える、言語道断である。挑発に乗らない私に喧嘩を売るのは君が弱く寂しい証拠だ。ドグマを押し売りする君、私にはただ歯がゆい現実がある。

温かい人間になれ。そんなに偉くなりたいか。傷つくのをお前の方だ。優しい、暖かい、宗教はそれがすべてなのだ。人間らしい感情、情緒からの思いやり、これは恥じるものではなく、覚りなど吹っ飛ばすほど一番に大切なものだ。それを君に告げよう。俺はまた友人を失った寂しさでいっぱいだ。癌になったのなら「怖い、怖い」と泣けばいいのだよ。そしたら人は「俺も癌になって泣いてもいいのだ」と思うから。

そこからだ、それが布施、慈悲だよ。また神仏が善きことを常に抱く私を楽園へと誘って下さる。だから心配ないと信じる。唱題以外、自力の特別な修行など救われに対し全く関係なく、かえって邪魔になる。「俺はこんなに他人とは違い。偉い」驕慢の極致である。

お前には今、解らぬかもしれぬが、法華経信徒とはただ愛する人の無事を祈り、仏にすべてを委ね、南無妙法蓮華経と唱え「すべてが善きものへ向かうこと、神仏に祈願します」。これでいい。そして俺

は決して善なる自分は捨てない。

貫井、俺は永遠に続く境涯を自覚してい

るのだよ。そして聖霊の関与。常樂我淨「いつも楽しく美しい」崩れはせず保ち続けている。誰が何と言つても私は聖書のキーパーソンであり、つまり神工ホバであり諸天善神の意思に裏付けられた仏、日蓮なのだ。貫井、お前の悪辣な向かい風に吹き飛ばされるほど俺はやわじゃないぞ。心ある皆の衆の為、神の国を現出させなければならぬ。永遠の命をもたらさなければならぬ。だからこそ工ホバであることを表明しているのだ。すべて確実性、信用性、愛の成就の為。

君の身を案ずるが残念だ。遠く離れた気がする。君はやはり俺を富士大石寺に連れず為だけの因縁だったのだなあ。ありがとう。戒壇の本尊より君に感謝している。ただもう自分を偽るな。小心だから正直に口に出せないか。幸せになりたいのだろう。覚つたからと言つて楽しいとは限らない。独り山頂か。君が目指す境涯つてやつはかなり独りよがりで寂しいぞ。心あるものには哀れとしか思われぬ。自分に素直になることだ。愛ということをもつとしつかり考えてくれ。

疾病の縁を大事にして。

どんな悪態をつかれ、また詭弁を弄されても判るや

つには解っている、どこに暖かい真理の風が吹いているか。病魔退散すること祈っている。ただこの不敬、天が許すかどうか。君がゆるぎない境涯などを得たら、

「析伏」という菩薩行を為さないとまさに死を待つだけになってしまふな。俺との経緯から永遠に唯我独尊と決め込み神の国に入ることでもできるかも知れない。その時は人付き合いに欠かせない程度の良識と礼儀は持つていろよ。甘えの演出はするな。奇人からは卒業していることを祈る。傍にいる奴は辛い。面倒くさいからだ。作為的に吐く言葉も気を付けよ。人を傷つけ、侮辱せぬよう。南無妙法蓮華経。

お前の不安、辛い気持ちを俺にぶつけたのだろう。だが仏の俺も切れば赤い血の出る人間だ。侮辱には反応する。それが普通、そんな人が大勢だ。だから「覚り」を振り回すな。「析伏」自分の信じるものを否定されるとき、皆、平気な顔をしていても腹の中は煮えたぎっている。それが世間だ。お前にえらく関与してしまったな。また宗門に依存し、猊下の仰せなら人も殺すのか。オウム真理教の殺人と一緒だな。そして人界で孤立するのが嫌なら解ってくれ。お前に最後渡す、贈る言葉だ「愛を抱いて生きよ。南無妙法蓮華経」 神社費の請求が来る。きつと日蓮は法華経を信仰するなら寛容の心を抱いていたはずだ。彼は悪になびくもの、得体の知れぬものへの注意を喚起していたに違いない。すると聖書が貫井の日蓮正宗を支持する。「製本に回すな」とも。私に訂正するだけの覚悟がない。私の思想は妄想なのか。神と聖書。こんな板挟みは初めてだ。

聖書が言った。「日蓮の正統なる血脈は当然のように義人に流れている」。貫井は私の出現までの教えを訴えている。ある意味、正当なるドグマだ。この葛藤は必要だったのである。

「堀くんへ」

心配無用、私にはいつも悪意はありません。私と縁遠かったのは天理教のせいです。神の義と愛。そして南無妙法蓮華経。信じて下さい。運が開けますよ。かわるもの達への感謝と恩を忘れてはいけません。布施行は自己執着から離れる一番の修行です。善きことが続きますよ。利他の精神です。ちなみに私の自筆本を手元に置きたければ三千元いただきます。ハードルを上げるのは、幸せな人生を送るための契機にして頂きたいからです。でも強制ではありません。安心して読書を楽しんで下さい。本を受け取ってくれた。私は嬉しいのです。堀くん、不審を持ったり、心配したりしないでね。私は金儲けなどつゆほども考えていないからね。あなたが心安らかに、幸せであることを祈っています。私の本、ご精読ありがとうございます。誰かが言っていたよ。「リセットはできないけどスタートはいつでもできる」本当にそうだと思うよ。仕事の面談はうまくいったかい。また良かったら一報ください。気に障ったらお知らせくださいね。私には

悪意というものがありません。目に見えない世界の表現。不気味と思つたか

い。まずは私を神だと認めなくていい。君の無垢な部分に好感を持っている。しばらく自然体で付き合ってください。そのうち何かが分かります。思いやり、愛です。

嘘を含め不誠実は善くない。信用を失う。それが悪運を呼び寄せるのだ。そして自己に執着するとき大事なものを見落とし幸福が加速度をもつて遠ざかるのです。勇気をもつて生きよ。臆病になり腰を引くとき真心が伝わらず人を傷つけ、怒りをかうことが多にしております。また己に固執する人からは人心が離れます。義と愛を貫くところ、人々は支持します。だから、まず人様の喜びを考えること。媚びよと言っているのではない。諸法無我ということ。皆、関係性を持ち、因縁で繋がっている。人を幸せにした分、自分も幸せになる。神仏が働くのだ。連絡来ないけど仕事先うまくいかなかったのかい。英気を養い再スタート。よくある話だ。米は三千二百円で十キ口買える。人の繋がりを大切に。開放的、楽観的に。周りを見て下さい。夜中の地震、すごかったね。私が言っているように三月末から四月、終末は訪れる。最後の警告、訓戒です。私につながる枝を絶たないこと。永遠の命が実らない。米の話は布施についてとは違うよ。生活の経費のことです。自分を大切にして困難なら逃げる。法華経譬

喩品第三です。また声さえ上げれば何とかなる。自分にとらわれず、よく周りを観察して下さい。　　イエスは聖書に預言され、日蓮は法華経に書かれている。イエスは律法学者、祭司長などの偽善者、日蓮は念仏という悪魔をはじめとする邪教と闘った。二人を同一と信じるかは、絶対、君もそうあってほしい。何よりも私の自覚がこれからの善への方向性の信用、裏付けになっているからである。「貫井へ、

約束した文庫本は送らない。君は好い奴だと聖書は言う。新しい本を作成中だ。それを送る。死んでないよな。俺は俺で生きる。世間はずるい奴が多すぎる。だけど貫井、喧嘩好き、修羅の道、衝突因縁。気を付けないといけない。融合してこそ大望はなる。私が日蓮であることを聖書が保証している。お前の私への精神破綻という差別的侮辱。ハートが強くなる。また教わったな。裸の王様にならずに済んだ。奉安堂の大本尊への南無妙法蓮華経が君の今を支えているのだね。すごい念をパソコンの画面より感じる。貫井死ぬなよ。病床より立て。　　この世は差別が顕著である。「道頓堀人情」。ふられたぐらいで泣くのは阿呆や、負けたらあかん東京にと唐突に続く。その意味は。道頓堀は優しい町や、はじめをつけろと。そして判るやつには解っている。三吉魂があればうちが小春になりもしよ

う。俺も判った、「東京」と形容したのは、ビルディング、コンクリートジャングル。組織。学歴、資格に始まる肩書、管理、競争。差別がべったりついている。欲望から比較する、収入とその源。美しい恋は成り立たない。「道頓堀」とは、思いやり、優しさ、いたわり、その日暮らしの金儲け、義理と人情。本来の人間らしい愛。どちらも世間である。精神科医療、資格に拘る。生き方に挫折した障害者に対しどんなサービスが提供できるか。これはひとつのたとえであり、そこにはサタンがハッキリ見える。食い物のうまい、まずいひとつとつても、すべては差別である。空の教えから南無妙法蓮華経へと向かわねば真実の愛は見いだせない。心の温かさ、美しさは、差別から離れたところにあり、そこに幸福はある。「覚り」とは、まず空観し、仏教でいう分別（差別）しない心から、「貫井元気でいてくれ。日蓮が凶顕した、戒壇の大本尊。君は愛と言ったね。日蓮と当体なら間違いない。日蓮は愛である聖書の神と同一だから」。そして私によって愛は変化した。真如、皆、心の奥座敷へと駒を進める。成仏へと。読者の皆様、ご精読本当に感謝します。では。さようなら

義人(ヨシト)

スタッフの皆さん。今回は本当にありがとうございました。ご自愛くださるよう衷心よりお祈り致し、またご活躍されること願っております。

皆さま、

今回はご精読ありがとうございました。

お元気で。

さようなら

忘れてないよ。小沢慎一氏。君みたいに誠実な人はいません。どんなに多忙でも、いつも精力的、献身的にかかわってくれる。君の職人気質の真剣さ、甘い自分に判るには時間がかかったみたいです。私は君の機嫌をうかがっていたけど、違っていたね。真実、優しい君を信頼する。それで善かった。ありがとう。慎ちゃん、これからよろしくお願いします。アンチな君に万歳。

義人